

横浜市高齢者実態調査 報告書

資料編

単純集計表(事業所・従事者調査)

令和8年3月
横浜市健康福祉局

目次

	先頭ページ
09 特別養護老人ホーム調査	2
10 介護老人保健施設調査	21
11 介護サービス事業所(居住系)調査	41
12 介護サービス事業所(訪問・通所系)調査	55
13 居宅介護支援事業所調査	69
14 地域ケアプラザ調査	74
15 認知症医療に関する調査	83
16 ケアマネジャー調査	88
17 訪問介護員(ヘルパー)調査	105
18 施設介護職員(ケアワーカー)調査	111
19 外国人介護職員調査	117

資料の見方

- 調査票毎に、調査票および単純集計結果を表示している。
- 各ページは、ページ左に調査票、ページ右に集計結果(数表)を掲載している。
- 表中の「調査数」は、設問、選択肢への回答者数を表す。
- 集計結果(数表)の上段(度数)は「回答数」、下段(%)は「回答割合」を示している。
- 回答率(%)は、すべて小数点以下第二位を四捨五入し、小数第一位までを表示している。したがって、その合計値が100.0%にならない場合がある。
- 複数回答の場合、その回答率(%)の合計が100.0%を超える場合がある。

アンケートご協力のお願い

日頃から、本市の高齢者保健福祉行政に御理解と御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

横浜市では、横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画・認知症施策推進計画の改定に際し、3年に1度、特別養護老人ホームの皆様の御意見をお伺いする調査を実施しています。

この調査の結果につきましては、高齢者保健福祉施策を検討する際の重要な基礎資料となりますので、業務ご多用のところお手数をおかけいたしますが、本調査の趣旨を御理解いただき、御協力を賜りますようお願いいたします。

調査の回答については、12月8日(月)までにご回答くださいますよう、併せて御協力をお願いいたします。

なお、調査報告に関する秘密が保持されることと、個々の施設ごとの調査結果を公表するものではなく、サービスごとの横浜市全体の集計結果を公表する予定であることを申し添えます。

貴施設の概要についてお伺いします。

問1 施設名を教えてください。

施設名										
介護保険事業所番号										

問2 貴施設の定員をご記入ください。

		4人部屋	3人部屋	2人部屋	従来型個室	ユニット型個室	その他	
入所	入所(短期入所は除く)	人	人	人	人	人	人	
	短期入所	人	人	人	人	人	人	
通所介護								人

Q2. 入所(短期入所は除く)(1)4人部屋【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
66	4	0	0	0	1	1	2	5	9	2	42
100.0	6.1	0.0	0.0	0.0	1.5	1.5	3.0	7.6	13.6	3.0	63.6

Q2. 入所(短期入所は除く)(2)3人部屋【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
66	8	0	1	0	0	0	0	1	0	0	56
100.0	12.1	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	0.0	84.8

Q2. 入所(短期入所は除く)(3)2人部屋【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
66	2	0	6	1	4	4	2	2	1	0	44
100.0	3.0	0.0	9.1	1.5	6.1	6.1	3.0	3.0	1.5	0.0	66.7

Q2. 入所(短期入所は除く)(4)従来型個室【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
66	3	0	3	3	7	1	4	0	1	0	44
100.0	4.5	0.0	4.5	4.5	10.6	1.5	6.1	0.0	1.5	0.0	66.7

Q2. 入所(短期入所は除く)(5)ユニット型個室【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
66	6	0	0	0	1	3	0	0	9	24	23
100.0	9.1	0.0	0.0	0.0	1.5	4.5	0.0	0.0	13.6	36.4	34.8

Q2. 入所(短期入所は除く)(6)その他【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
66	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	58
100.0	12.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	87.9

Q2. 短期入所(1)4人部屋【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
66	8	1	7	2	0	0	0	0	0	0	48
100.0	12.1	1.5	10.6	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	72.7

Q2. 短期入所(2)3人部屋【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
66	9	0	1	0	0	0	0	0	0	0	56
100.0	13.6	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	84.8

Q2. 短期入所(3)2人部屋【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
66	5	0	7	4	2	0	0	0	0	0	48
100.0	7.6	0.0	10.6	6.1	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	72.7

Q2. 短期入所(4)従来型個室【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
66	7	2	8	2	2	0	0	0	0	0	45
100.0	10.6	3.0	12.1	3.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	68.2

Q2. 短期入所(5)ユニット型個室【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
66	8	0	2	1	18	9	0	0	0	0	28
100.0	12.1	0.0	3.0	1.5	27.3	13.6	0.0	0.0	0.0	0.0	42.4

Q2. 短期入所(6)その他【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
66	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	58
100.0	12.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	87.9

Q2. 通所介護【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
66	11	0	0	0	3	4	8	0	0	0	40
100.0	16.7	0.0	0.0	0.0	4.5	6.1	12.1	0.0	0.0	0.0	60.6

Q2. 入所(短期入所は除く)合計【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
66	0	0	0	0	0	4	1	2	20	34	5
100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.1	1.5	3.0	30.3	51.5	7.6

Q2. 短期入所 合計【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
66	2	0	11	10	23	9	1	0	0	0	10
100.0	3.0	0.0	16.7	15.2	34.8	13.6	1.5	0.0	0.0	0.0	15.2

問3 認知症入所者のケアをするにあたり、フロアやユニットを分けて対応していますか。(〇はひとつ)

1. 分けている	2. 分けていない → 問4へ
----------	-----------------

問3で「1. 分けている」と回答した方にお伺いします。

問3-1 分けているフロア・ユニットの数について記入してください。

認知症対応 ⇒ _____フロア・ユニット 全フロア・ユニット数 ⇒ _____

全ての方に伺います。

職員、人材確保、処遇等についてお伺いします。

問4 令和7年10月1日時点の貴施設の職員数についてご記入ください。

職員数とは、貴施設が実施する全ての事業に従事する者(正規・非正規職員問わず)の在籍者総数です。また、職員の市内在住状況を教えてください。ただし、派遣労働者、委託業務従事者は含みません。該当者がいない場合は空白で結構です。

注1) 資格ではなく、従事している仕事(職種)に着目して入力してください。

なお、兼務している職員については、主として従事する仕事(職種)にのみ入力してください。

注2) 正規職員・非正規職員とは

正規職員(雇用している労働者で雇用期間の定めのない者)

非正規職員(正規職員以外の労働者(契約、嘱託、パートなど))

注3) PT(理学療法士)、OT(作業療法士)、ST(言語聴覚士)等の機能訓練指導員

職種別(下記の職種のみ)(注1)	正規職員(注2)	非正規職員(注2)
①介護職員	人	人
②看護職員	人	人
③生活相談員	人	人
④PT・OT・ST等(注3)	人	人
⑤ケアマネジャー	人	人
⑥その他職員	人	人
職員総人数 正規職員 :市内在住()人、市外在住()人 非正規職員:市内在住()人、市外在住()人		

問4-1 貴施設での外国人介護職員の採用状況について、令和7年10月1日現在で、採用している外国人介護職員の在留資格であてはまるものをお選びください。(あてはまるものすべてに〇)

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. 特定活動(経済連携協定「EPA」) | 5. 留学 |
| 2. 介護 | 6. その他(具体的に:) |
| 3. 技能実習(介護) | 7. 外国人介護職員を採用していない |
| 4. 特定技能1号(介護) | |

Q3. 認知症入所者のケア

調査数	分けている	分けていない	無回答
66	10	55	1
100.0	15.2	83.3	1.5

Q3-1. フロア・ユニット数(1)認知症対応			
調査数	平均	最小値	最大値
9	1.33	1.00	2.00
100.0			

Q3-1. フロア・ユニット数(2)全フロア・ユニット数			
調査数	平均	最小値	最大値
5	13.00	3.00	50.00
100.0			

Q4. ①介護職員 正規職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
66	0	0	0	1	8	12	25	14	1	1	4
100.0	0.0	0.0	0.0	1.5	12.1	18.2	37.9	21.2	1.5	1.5	6.1

Q4. ①介護職員 非正規職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
66	0	0	10	11	18	10	11	1	0	0	5
100.0	0.0	0.0	15.2	16.7	27.3	15.2	16.7	1.5	0.0	0.0	7.6

Q4. ②看護職員 正規職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
66	0	4	48	8	2	0	0	0	0	0	4
100.0	0.0	6.1	72.7	12.1	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.1

Q4. ②看護職員 非正規職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
66	2	9	41	5	1	0	0	0	0	0	8
100.0	3.0	13.6	62.1	7.6	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.1

Q4. ③生活相談員 正規職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
66	0	12	48	1	0	0	0	0	0	0	5
100.0	0.0	18.2	72.7	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.6

Q4. ③生活相談員 非正規職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
66	20	6	1	0	0	0	0	0	0	0	39
100.0	30.3	9.1	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	59.1

Q4. ④PT・OT・ST等 正規職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
66	11	24	10	0	0	0	0	0	0	0	21
100.0	16.7	36.4	15.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	31.8

Q4. ④PT・OT・ST等 非正規職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
66	17	10	3	0	0	0	0	0	0	0	36
100.0	25.8	15.2	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	54.5

Q4. ⑤ケアマネジャー 正規職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
66	0	30	27	1	0	0	0	0	0	0	8
100.0	0.0	45.5	40.9	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.1

Q4. ⑤ケアマネジャー 非正規職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
66	17	9	2	0	0	0	0	0	0	0	38
100.0	25.8	13.6	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	57.6

Q4. ⑥その他職員 正規職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
66	1	3	27	19	6	1	0	0	0	0	9
100.0	1.5	4.5	40.9	28.8	9.1	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	13.6

Q4. ⑥その他職員 非正規職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
66	2	5	12	9	22	3	4	0	0	0	9
100.0	3.0	7.6	18.2	13.6	33.3	4.5	6.1	0.0	0.0	0.0	13.6

Q4. 職員総人数正規職員 市内在住【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
66	0	0	0	0	7	6	25	12	5	0	11
100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.6	9.1	37.9	18.2	7.6	0.0	16.7

Q4. 職員総人数正規職員 市外在住【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
66	1	6	17	15	12	3	1	0	1	0	10
100.0	1.5	9.1	25.8	22.7	18.2	4.5	1.5	0.0	1.5	0.0	15.2

Q4. 職員総人数非正規職員 市内在住【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
66	1	0	1	7	17	10	12	5	1	0	12
100.0	1.5	0.0	1.5	10.6	25.8	15.2	18.2	7.6	1.5	0.0	18.2

Q4. 職員総人数非正規職員 市外在住【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
66	11	7	16	4	6	1	1	0	0	0	20
100.0	16.7	10.6	24.2	6.1	9.1	1.5	1.5	0.0	0.0	0.0	30.3

Q4-1. 外国人介護職員の採用状況

調査数	特定活動(経済連携協定「EPA」)	介護	技能実習(介護)	特定技能1号(介護)	留学	その他	外国人介護職員を採用していない	無回答
66	11	29	11	52	3	13	6	1
100.0	16.7	43.9	16.7	78.8	4.5	19.7	9.1	1.5

問4-1で「1」～「6」のいずれかに回答した方にお伺いします。

問4-2 問4-1で回答した外国人介護職員の在留資格について、令和7年10月1日現在で、資格別の採用人数を国籍別にご記入ください。非該当の在留資格・国籍については無回答（空白）で結構です。

	採用人数 (人)									
	インドネシア	フィリピン	ベトナム	中国	ミャンマー	カンボジア	ネパール	モンゴル	タイ	その他
在留資格										
①『特定活動』（経済連携協定(EPA)）										
②『介護』										
③『技能実習』（介護）										
④『特定技能1号』（介護）										
⑤『留学』										
⑥その他										

問5 貴施設では、従業員の職種別（注1）過不足の状況はいかがですか。（①～⑦それぞれで○はひとつ）
「不足」とは、募集を必要としていることを指します。

注1) 資格ではなく、従事している仕事(職種)に着目してください。

注2) PT(理学療法士)、OT(作業療法士)、ST(言語聴覚士)等の機能訓練指導員

職種別(注1)	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種はない
①介護職員	1	2	3	4	5	6
②看護職員	1	2	3	4	5	6
③生活相談員	1	2	3	4	5	6
④PT・OT・ST等(注2)	1	2	3	4	5	6
⑤ケアマネジャー	1	2	3	4	5	6
⑥その他職員	1	2	3	4	5	6
⑦全体でみた場合(上記①～⑥について)	1	2	3	4	5	6

問5の⑦で1～3と回答した方にお伺いします。

問5-1 「⑦全体でみた場合」で、不足している理由はどれですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 採用が困難である	3. 事業拡大によって必要人数が増大した
2. 離職率が高い(定着率が低い)	4. その他(具体的に)

	インドネシア		フィリピン		ベトナム		中国		ミャンマー		カンボジア		ネパール		モンゴル		タイ		その他	
	施設数	人数	施設数	人数	施設数	人数	施設数	人数	施設数	人数	施設数	人数	施設数	人数	施設数	人数	施設数	人数	施設数	人数
①特定活動	6	29	3	7	3	8														
②介護	10	35	4	8	15	33	6	11	2	6	1	1	0	0	0	0	0	0	2	3
③技能実習	3	14	1	2	2	5	0	0	7	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
④特定技能1号	26	91	5	12	18	55	10	16	28	94	0	0	4	18	1	2	1	4	2	5
⑤留学	0	0	0	0	0	0	1	2	1	5	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
⑥その他	2	4	7	16	0	0	4	6	2	2	0	0	1	1	0	0	0	0	5	5

Q5. 従業員の職種別過不足状況

(1)介護職員

調査数	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種はない	無回答
66	13	20	26	7	0	0	0
100.0	19.7	30.3	39.4	10.6	0.0	0.0	0.0

(2)看護職員

調査数	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種はない	無回答
66	2	10	14	37	2	0	1
100.0	3.0	15.2	21.2	56.1	3.0	0.0	1.5

(3)生活相談員

調査数	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種はない	無回答
66	1	1	12	51	0	0	1
100.0	1.5	1.5	18.2	77.3	0.0	0.0	1.5

(4)PT・OT・ST等

調査数	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種はない	無回答
66	0	4	15	31	1	12	3
100.0	0.0	6.1	22.7	47.0	1.5	18.2	4.5

(5)ケアマネジャー

調査数	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種はない	無回答
66	1	3	13	44	2	2	1
100.0	1.5	4.5	19.7	66.7	3.0	3.0	1.5

(6)その他職員

調査数	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種はない	無回答
66	0	3	12	48	0	1	2
100.0	0.0	4.5	18.2	72.7	0.0	1.5	3.0

(7)全体でみた場合(上記全てについて)

調査数	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種はない	無回答
66	1	15	27	20	0	0	3
100.0	1.5	22.7	40.9	30.3	0.0	0.0	4.5

Q5-1.「全体でみた場合」で、不足している理由

調査数	採用が困難である	離職率が高い(定着率が低い)	事業拡大によって必要人数が増大した	その他	無回答
43	42	10	0	4	1
100.0	97.7	23.3	0.0	9.3	2.3

全ての方に伺います。

問6 令和6年度の人材確保の状況について、人材派遣会社または人材紹介会社の活用によって確保した人数は何名ですか。該当者がいない場合は空白で結構です。

	介護職員	看護職員	その他
① 正規職員	人	人	人
うち人材紹介会社の活用	人	人	人
② 非正規職員	人	人	人
うち人材紹介会社の活用	人	人	人
人材派遣会社の活用	人	人	人

問7 貴施設では職員の採用に際し、どのような工夫を行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. ハローワークや福祉人材センターを頻りに訪れている	8. 新規卒業者や若手にこだわらないようにしている
2. 求人に対し、仕事そのものの魅力や労働条件を掲載する等求人内容を工夫している	9. 近隣の事業所と連携し、採用に関し情報交換をしている
3. 職員や知人と連絡を密にとり、人材についての情報の提供を受けている	10. 福祉系教育機関への働きかけを積極的に行っている
4. 採用について、従来より多くコストをかけている	11. 採用説明会や職場体験を実施している
5. 自施設の理念やアピールポイントをHP等を通じて対外的に発信している	12. 内定後のフォローをしっかりと行っている
6. 介護資格や介護経験の有無にこだわらないようにしている	13. くるみん認定など、国や地方自治体の認定等を取っている
7. 福祉系の教育機関出身者にこだわらないようにしている	14. 子育て支援を行っている(子ども預かり所を設ける、保育費用支援等)
	15. その他(具体的に)
	16. 特に行っていない

問8 介護職員の人材不足に対し、新たな人材の確保に向けた自治体の取組として、効果的と考えるものは次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 若い世代に向けた介護業界のイメージアップ	9. 人材紹介料の補助
2. 職場体験を実施する施設への支援	10. 潜在介護福祉士の(再)就職支援
3. 新たに介護業界へ就職をする者が資格取得等に関する研修参加をする際の支援	11. ロボット・ICT活用による職員の負担軽減への支援
4. 多様な働き方(時短、夜間のみ、週休3日)の導入支援	12. 子育て世代が働きやすい環境の整備への支援
5. 元気高齢者(ボランティア等)の受入れ支援	13. 合同就職相談会の実施
6. 介護助手の受入れ支援	14. 介護福祉士養成施設に対する財政的支援
7. 外国人介護職員の受入れ支援	15. その他()
8. 介護職員の住居借上支援	16. 自治体からの支援がなくても人材の確保ができています

Q6. 人材確保状況①正規職員(1)介護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
66	2	2	16	7	5	0	1	0	0	0	33
100.0	3.0	3.0	24.2	10.6	7.6	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	50.0

Q6. 人材確保状況①正規職員(2)看護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
66	3	8	8	1	0	0	0	0	0	0	46
100.0	4.5	12.1	12.1	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	69.7

Q6. 人材確保状況①正規職員(3)その他【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
66	3	7	5	0	1	0	0	0	0	0	50
100.0	4.5	10.6	7.6	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.8

Q6. 人材確保状況①うち人材紹介会社の活用(1)介護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
66	2	7	11	4	3	0	0	0	0	0	39
100.0	3.0	10.6	16.7	6.1	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	59.1

Q6. 人材確保状況①うち人材紹介会社の活用(2)看護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
66	4	4	6	0	0	0	0	0	0	0	52
100.0	6.1	6.1	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	78.8

Q6. 人材確保状況①うち人材紹介会社の活用(3)その他【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
66	4	8	2	0	0	0	0	0	0	0	52
100.0	6.1	12.1	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	78.8

Q6. 人材確保状況②非正規職員(1)介護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
66	0	5	9	8	1	2	0	0	0	0	41
100.0	0.0	7.6	13.6	12.1	1.5	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	62.1

Q6. 人材確保状況②非正規職員(2)看護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
66	4	9	7	0	0	0	0	0	0	0	46
100.0	6.1	13.6	10.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	69.7

Q6. 人材確保状況②非正規職員(3)その他【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
66	3	2	7	0	0	0	0	0	0	0	54
100.0	4.5	3.0	10.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	81.8

Q6. 人材確保状況②うち人材紹介会社の活用(1)介護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
66	4	5	6	3	1	0	0	0	0	0	47
100.0	6.1	7.6	9.1	4.5	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	71.2

Q6. 人材確保状況②うち人材紹介会社の活用(2)看護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
66	8	2	2	0	0	0	0	0	0	0	54
100.0	12.1	3.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	81.8

Q6. 人材確保状況②うち人材紹介会社の活用(3)その他【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
66	6	3	1	0	0	0	0	0	0	0	56
100.0	9.1	4.5	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	84.8

Q6. 人材確保状況③人材派遣会社の活用(1)介護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
66	5	6	11	4	2	0	0	0	0	0	38
100.0	7.6	9.1	16.7	6.1	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	57.6

Q6. 人材確保状況③人材派遣会社の活用(2)看護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
66	6	5	10	2	1	0	0	0	0	0	42
100.0	9.1	7.6	15.2	3.0	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	63.6

Q6. 人材確保状況③人材派遣会社の活用(3)その他【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
66	6	3	0	0	0	0	0	0	0	0	57
100.0	9.1	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	86.4

Q6. 合計 介護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	無回答
66	1	3	13	11	8	7	0	1	0	0	22
100.0	1.5	4.5	19.7	16.7	12.1	10.6	0.0	1.5	0.0	0.0	33.3

Q6. 合計 看護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	無回答
66	2	8	15	4	3	0	0	0	0	0	34
100.0	3.0	12.1	22.7	6.1	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	51.5

Q6. 合計 その他【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	無回答
66	1	7	10	1	1	0	0	0	0	0	46
100.0	1.5	10.6	15.2	1.5	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	69.7

Q7. 職員採用の工夫

調査数	ハローワークや福祉人材センターを頻りに訪れている	求人の際、仕事そのものの魅力や労働条件を掲載する等求人内容を工夫している	職員や知人と連絡を密にとり、人材についての情報の提供を受けている	採用について、従来より多くコストをかけている	自施設の理念やアピールポイントをHP等を介して対外的に発信している	介護資格や介護経験の有無にこだわらないようにしている	福祉系の教育機関出身者にこだわらないようにしている	新規卒業者や若手にこだわらないようにしている
66	20	39	29	22	31	42	45	48
100.0	30.3	59.1	43.9	33.3	47.0	63.6	68.2	72.7
	近隣の事業所と連携し、採用に関し情報交換をしている	福祉系教育機関への働きかけを積極的に行っている	採用説明会や職場体験を実施している	内定後のフォローをしっかりと行っている	くるみん認定など、国や地方自治体の認定等を取得している	子育て支援を行っている(子ども預かり所を設ける、保育費用支援等)	その他	特に行っていない
	9	12	19	19	3	3	2	0
	13.6	18.2	28.8	28.8	4.5	4.5	3.0	0.0
								無回答
								2
								3.0

Q8. 人材の確保に向けた自治体の取組として、効果的と考えるもの

調査数	若い世代に向けた介護業界のイメージアップ	職場体験を実施する施設への支援	新たに介護業界へ就職をする者が資格取得等に関する研修参加をする際の支援	多様な働き方(時短、夜間のみ、週休3日)の導入支援	元気高齢者(ボランティア等)の受入れ支援	介護助手の受入れ支援	外国人介護職員の受入れ支援	介護職員の住居借上支援
66	44	28	38	22	6	16	29	34
100.0	66.7	42.4	57.6	33.3	9.1	24.2	43.9	51.5
	人材紹介料の補助	潜在介護福祉士の(再)就職支援	ロボット・ICT活用による職員の負担軽減への支援	子育て世代が働きやすい環境の整備への支援	合同就職相談会の実施	介護福祉士養成施設に対する財政的支援	その他	自治体からの支援がなくても人材の確保ができています
	49	23	30	34	12	16	5	0
	74.2	34.8	45.5	51.5	18.2	24.2	7.6	0.0
								無回答
								1
								1.5

問9 今後、貴施設において外国人介護職員を受け入れる予定はありますか。新規に受け入れる場合の在留資格の希望についてあてはまるものをお選びください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1. 特定活動(経済連携協定「EPA」) | 5. 留学 |
| 2. 介護 | 6. その他(具体的に:) |
| 3. 技能実習(介護) | 7. 在留資格にこだわりはない |
| 4. 特定技能1号(介護) | 8. 新規に受け入れる予定はない |

問9で「1」～「6」のいずれかに回答した方にお伺いします。

問9-1 問9で回答した新規に受け入れを希望する外国人介護職員について、在留資格別に採用を希望する国籍をご記入ください。

在留資格	採用したい国籍										
	インドネシア	フィリピン	ベトナム	中国	ミャンマー	カンボジア	ネパール	モンゴル	タイ	その他	国籍にこだわりはない
①【特定活動】(経済連携協定(EPA))	1	2	3								11
②【介護】	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
③【技能実習】(介護)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
④【特定技能1号】(介護)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
⑤【留学】	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
⑥その他	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
⑦在留資格にこだわりはない	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11

全ての方に伺います。

問10 外国人介護職員を、貴施設で受け入れるにあたり、自治体の取組として効果的と考えるものは次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---|-----------------------------------|
| 1. 在留資格の違いや、受入れ手続きの流れ等を理解するための研修やセミナーの実施 | 6. 外国人介護職員に対する介護に関する研修や日本語研修などの支援 |
| 2. 受入れのための入管手続きなどの事務の支援(施設向け相談窓口の設置) | 7. 介護福祉士試験合格のための支援 |
| 3. 受入れにあたり施設にかかる経費の補助等の経済的支援(住居費等) ※給与や紹介手数料は含まない | 8. その他() |
| 4. 外国人介護職員向け相談窓口等の生活支援 | 9. 自治体からの支援がなくても、十分受入れができる |
| 5. 受入れ施設の職員のための研修(教育方法や、文化等の理解、コミュニケーションの方法等) | |

Q9. 新規に受け入れる場合の在留資格の希望

調査数	特定活動(経済連携協定「EPA」)	介護	技能実習(介護)	特定技能1号(介護)	留学	その他	在留資格にこだわりはない	新規に受け入れられる予定はない
66	4	23	9	39	2	2	2	16
100.0	6.1	34.8	13.6	59.1	3.0	3.0	3.0	24.2
								無回答
								2
								3.0

Q9-1. 在留資格で受入れる国(1)【特定活動】(経済連携協定(EPA))

調査数	インドネシア	フィリピン	ベトナム	中国	ミャンマー	カンボジア	ネパール	モンゴル	タイ	その他	国籍にこだわりはない	無回答
4	3	1	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0
100.0	75.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0

Q9-1. 在留資格で受入れる国(2)【介護】

調査数	インドネシア	フィリピン	ベトナム	中国	ミャンマー	カンボジア	ネパール	モンゴル	タイ	その他	国籍にこだわりはない	無回答
23	13	1	7	0	6	2	2	2	3	2	8	1
100.0	56.5	4.3	30.4	0.0	26.1	8.7	8.7	8.7	13.0	8.7	34.8	4.3

Q9-1. 在留資格で受入れる国(3)【技能実習】(介護)

調査数	インドネシア	フィリピン	ベトナム	中国	ミャンマー	カンボジア	ネパール	モンゴル	タイ	その他	国籍にこだわりはない	無回答
9	4	0	3	0	4	0	0	0	0	1	3	0
100.0	44.4	0.0	33.3	0.0	44.4	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	33.3	0.0

Q9-1. 在留資格で受入れる国(4)【特定技能1号】(介護)

調査数	インドネシア	フィリピン	ベトナム	中国	ミャンマー	カンボジア	ネパール	モンゴル	タイ	その他	国籍にこだわりはない	無回答
39	19	2	8	1	17	2	4	2	3	2	10	0
100.0	48.7	5.1	20.5	2.6	43.6	5.1	10.3	5.1	7.7	5.1	25.6	0.0

Q9-1. 在留資格で受入れる国(5)【留学】

調査数	インドネシア	フィリピン	ベトナム	中国	ミャンマー	カンボジア	ネパール	モンゴル	タイ	その他	国籍にこだわりはない	無回答
2	1	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0
100.0	50.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q9-1. 在留資格で受入れる国(6)その他

調査数	インドネシア	フィリピン	ベトナム	中国	ミャンマー	カンボジア	ネパール	モンゴル	タイ	その他	国籍にこだわりはない	無回答
2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

Q9-1. 在留資格で受入れる国(7)在留資格にこだわりはない

調査数	インドネシア	フィリピン	ベトナム	中国	ミャンマー	カンボジア	ネパール	モンゴル	タイ	その他	国籍にこだわりはない	無回答
2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0

問 11 職員の早期離職防止や定着促進を図るために、実施しているものを教えてください。

(あてはまるものすべてに○)

1. 残業を少なくする、有給休暇を取りやすくする等の労働条件の改善に取り組んでいる
2. 本人の希望に応じた勤務体制にする等の労働条件の改善に取り組んでいる
3. 賃金水準を向上させている
4. 能力や仕事ぶりを評価し、賃金などの処遇に反映している
5. 職員の仕事内容と必要な能力等を明示している
6. キャリアに応じた給与体系を整備している
7. 非正規職員から正規職員への転換の機会を設けている
8. 新人の指導担当・アドバイザーを置いている
9. 能力開発を充実させている(社内研修実施、社外講習等の受講・支援等)
10. 管理者・リーダー層の部下育成や動機付け、能力向上に向けた教育研修に力を入れている
11. 仕事内容の希望を聞いて配置している
12. 悩み、不満、不安などの相談窓口を設けている(メンタルヘルス対策を含む)
13. 健康対策や健康管理に力を入れている
14. 職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図っている(定期的なミーティング、意見交換会、チームケア等)
15. 経営者・管理者と従業員が経営方針、ケア方針を共有する機会を設けている
16. 業務改善や効率化等による働きやすい職場作りに力を入れている
17. 介護ロボットや ICT 等の導入による働きやすい職場作りに力を入れている
18. 福利厚生を充実させ、職場内の交流を深めている(カラオケ、ボーリングなどの同好会、親睦会等の実施を含む)
19. 職場環境を整えている(休憩室、談話室、出社時に座れる席の確保等)
20. 子育て支援を行っている(子ども預かり所を設ける、保育費用支援等)
21. スポットワーク等(短時間・単発の就労や有償ボランティア)を受入れている
22. その他 (具体的に)
23. 特に方策はとっていない

問 12 『スポットワーク等(短時間・単発の就労や有償ボランティア)』の受入れについてどのように考えていますか。(○はひとつ)

1. すでに受け入れている	4. 必要ではない
2. 活用に向けて検討している	5. わからない
3. 必要だと思うが、具体的な検討などはしていない	

Q10.外国人介護職員を、受け入れるにあたり、自治体の取組として効果的と考えるもの

調査数	在留資格の違いや、受入れ手続きの流れ等を理解するための研修やセミナーの実施	受入れのための入管手続きなどの事務の支援(施設向け相談窓口の設置)	受入れにあたり施設にかかる経費の補助等の経済的支援(住居費等) ※給与や紹介手数料は含まない	外国人介護職員向け相談窓口等の生活支援	受入れ施設の職員のための研修(教育方法や、文化等の理解、コミュニケーションの方法等)	外国人介護職員に対する介護に関する研修や日本語研修などの支援	介護福祉士試験合格のための支援	その他
66 100.0	19 28.8	35 53.0	52 78.8	24 36.4	20 30.3	37 56.1	39 59.1	3 4.5
							自治体からの支援がなくても、十分受け入れができる	無回答
							1 1.5	2 3.0

Q11.職員の早期離職防止や定着促進を図るため実施しているもの

調査数	残業を少なくする、有給休暇を取りやすくする等の労働条件の改善に取り組んでいる	本人の希望に応じた勤務体制にする等の労働条件の改善に取り組んでいる	賃金水準を向上させている	能力や仕事ぶりを評価し、賃金などの処遇に反映している	職員の仕事内容と必要な能力等を明示している	キャリアに応じた給与体系を整備している	非正規職員から正規職員への転換の機会を設けている	新人の指導担当・アドバイザーを置いている
66 100.0	46 69.7	28 42.4	34 51.5	33 50.0	18 27.3	32 48.5	45 68.2	24 36.4
	能力開発を充実させている(社内研修実施、社外講習等の受講・支援等)	管理者・リーダー層の部下育成や動機付け、能力向上に向けた教育研修に力を入れている	仕事内容の希望を聞いて配置している	悩み、不満、不安などの相談窓口を設けている(メンタルヘルス対策を含む)	健康対策や健康管理に力を入れている	職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図っている(定期的なミーティング、意見交換会、チームケア等)	経営者・管理者と従業員が経営方針、ケア方針を共有する機会を設けている	業務改善や効率化等による働きやすい職場作りに力を入れている
	24 36.4	18 27.3	17 25.8	31 47.0	14 21.2	34 51.5	23 34.8	34 51.5
	介護ロボットや ICT 等の導入による働きやすい職場作りに力を入れている	福利厚生を充実させ、職場内の交流を深めている(カラオケ、ボーリングなどの同好会、親睦会等の実施を含む)	職場環境を整えている(休憩室、談話室、出社時に座れる席の確保等)	子育て支援を行っている(子ども預かり所を設ける、保育費用支援等)	スポットワーク等(短時間・単発の就労や有償ボランティア)を受入れている	その他	特に方策はとっていない	無回答
	36 54.5	15 22.7	22 33.3	4 6.1	16 24.2	0 0.0	0 0.0	1 1.5

Q12.『スポットワーク等(短時間・単発の就労や有償ボランティア)』の受入れ

調査数	すでに受け入れている	活用に向けて検討している	必要だと思うが、具体的な検討などはしていない	必要ではない	わからない	無回答
66 100.0	26 39.4	8 12.1	16 24.2	10 15.2	5 7.6	1 1.5

問13 『スポットワーク等（短時間・単発の就労や有償ボランティア）』について、どのようなイメージを持っていますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 柔軟に人材を確保できる	5. 人材の質にばらつきがある
2. 急な欠員に対応できる	6. 教育・研修に時間がかかる
3. 採用コストを抑えられる	7. 職員との連携や利用者とのコミュニケーションが取りづらい
4. 働き方改革につながる	8. イメージがわからない

問14 貴施設で採用しているスポットワーク等の働き方について教えてください。

（あてはまるものすべてに○）

1. 直接雇用の短時間勤務者	5. 雇用仲介アプリを使ったスキマバイト
2. 直接雇用の単発バイト	6. ギグワーク（業務委託契約した単発の仕事）
3. 人材派遣	7. その他（ ）
4. 有償ボランティア	8. スポットワーク等を活用していない

問15 『介護助手』の受入れについてどのように考えていますか。（○はひとつ）

1. すでに受け入れている	4. 必要だと思うが、具体的な検討などはしていない
2. 受け入れる準備をしている	5. 必要ではない
3. 受け入れるかの検討をしている	6. わからない

問16 貴施設における介護職員等処遇改善加算の届出状況を教えてください。（○はひとつ）

1. 届出をしている（届出予定を含む）	→ 問16-1へ
2. 届出をしていない	→ 問16-2へ

問16で「1. 届出をしている（届出予定を含む）」と回答した方にお伺いします。

問16-1 貴施設では、どのように介護職員等処遇改善計画書の周知を行っていますか。

（あてはまるものすべてに○）

1. 掲示板等への掲示	3. 面談・会議等での説明
2. メールや閲覧形式等による通知	4. その他（具体的に ）

Q13『スポットワーク等（短時間・単発の就労や有償ボランティア）』のイメージ

調査数	柔軟に人材を確保できる	急な欠員に対応できる	採用コストを抑えられる	働き方改革につながる	人材の質にばらつきがある	教育・研修に時間がかかる	職員との連携や利用者とのコミュニケーションが取りづらい	イメージがわからない
66	29	25	17	8	43	17	27	4
100.0	43.9	37.9	25.8	12.1	65.2	25.8	40.9	6.1
								無回答
								1
								1.5

Q14.採用しているスポットワーク等の働き方

調査数	直接雇用の短時間勤務者	直接雇用の単発バイト	人材派遣	有償ボランティア	雇用仲介アプリを使ったスキマバイト	ギグワーク（業務委託契約した単発の仕事）	その他	スポットワーク等を活用していない
66	10	5	7	4	20	2	0	28
100.0	15.2	7.6	10.6	6.1	30.3	3.0	0.0	42.4
								無回答
								2
								3.0

Q15『介護助手』の受入れについて

調査数	すでに受け入れている	受け入れる準備をしている	受け入れるかの検討をしている	必要だと思うが、具体的な検討などはしていない	必要ではない	わからない	無回答
66	38	2	1	17	3	3	2
100.0	57.6	3.0	1.5	25.8	4.5	4.5	3.0

Q16.介護職員等処遇改善加算の届出状況

調査数	届出をしている（届出予定を含む）	届出をしていない	無回答
66	65	0	1
100.0	98.5	0.0	1.5

Q16-1.介護職員等処遇改善計画書の周知

調査数	掲示板等への掲示	メールや閲覧形式等による通知	面談・会議等での説明	その他	無回答
65	59	22	26	1	0
100.0	90.8	33.8	40.0	1.5	0.0

問 16 で「2. 届出をしていない」と回答した方にお伺いします。

問 16-2 介護職員等処遇改善加算の届出を行わない理由について、教えてください。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------|------------------|
| 1. 対象の制約のため困難 | 5. 非常勤職員等の処遇上の問題 |
| 2. 事務作業が煩雑 | 6. 賃金改善の必要性がない |
| 3. 追加費用負担の発生 | 7. 算定要件を達成できない |
| 4. 利用者負担の発生 | 8. その他 |
- (具体的に)

全ての方に伺います。

問 17 令和6年度に離職(注1)した人数は何名ですか。

- 注1) 「離職者」とは、令和6年度中に施設を退職したり、解雇された者をいい、他企業への出向者・出向復帰者を含み、同一企業内での転出入者を除く。
- 注2) 正規職員・非正規職員とは、正規職員(雇用している労働者で雇用期間の定めのない者)、非正規職員(正規職員以外の労働者(契約、嘱託、パートなど))、常勤労働者(1週の所定労働時間が主たる正規職員と同じ者)、短時間労働者(1週の所定労働時間が主たる正規職員に比べ短い者)

	介護職員	看護職員	その他
①正規職員(注2)	人	人	人
②非正規職員(注2)	人	人	人
常勤労働者	人	人	人
短時間労働者	人	人	人

待機者及び入退所者についてお伺いします。

問 18 令和7年10月1日時点の待機者の人数を記入してください。

人

問 19 貴施設における待機者数は満床にするために十分であると感じていますか。(○はひとつ)

- | | | | |
|----------|---------------|-------------------|-----------|
| 1. 十分である | 2. どちらかといえば十分 | 3. どちらかといえば十分ではない | 4. 十分ではない |
|----------|---------------|-------------------|-----------|

Q16-2 介護職員等処遇改善加算の届出を行わない理由

調査数	対象の制約のため困難	事務作業が煩雑	追加費用負担の発生	利用者負担の発生	非常勤職員等の処遇上の問題	賃金改善の必要性がない	算定要件を達成できない	その他
0	0	0	0	0	0	0	0	0
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
								無回答
								0
								0.0

Q17 離職人数別①正規職員(1)介護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答	調査数	平均
66	4	5	28	13	6	1	0	0	0	0	9	53	5.47
100.0	6.1	7.6	42.4	19.7	9.1	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	13.6	100.0	

Q17 離職人数別①正規職員(2)看護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答	調査数	平均
66	10	14	9	0	0	0	0	0	0	0	33	23	1.52
100.0	15.2	21.2	13.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	100.0	

Q17 離職人数別①正規職員(3)その他【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答	調査数	平均
66	4	12	9	0	1	0	0	0	0	0	40	22	2.05
100.0	6.1	18.2	13.6	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.6	100.0	

Q17 離職人数別②非正規職員(1)介護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答	調査数	平均
66	3	9	25	8	2	0	0	0	0	0	19	44	3.80
100.0	4.5	13.6	37.9	12.1	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.8	100.0	

Q17 離職人数別②非正規職員(2)看護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答	調査数	平均
66	10	10	10	1	0	0	0	0	0	0	35	21	2.19
100.0	15.2	15.2	15.2	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	53.0	100.0	

Q17 離職人数別②非正規職員(3)その他【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答	調査数	平均
66	7	7	14	2	0	0	0	0	0	0	36	23	2.78
100.0	10.6	10.6	21.2	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	54.5	100.0	

Q17 離職人数別②のうち常勤労働者(1)介護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答	調査数	平均
66	6	15	12	2	0	0	0	0	0	0	31	29	2.21
100.0	9.1	22.7	18.2	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	47.0	100.0	

Q17 離職人数別②のうち常勤労働者(2)看護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答	調査数	平均
66	11	6	1	1	0	0	0	0	0	0	47	8	1.75
100.0	16.7	9.1	1.5	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	71.2	100.0	

Q17 離職人数別②のうち常勤労働者(3)その他【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答	調査数	平均
66	12	2	2	1	0	0	0	0	0	0	49	5	2.40
100.0	18.2	3.0	3.0	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	74.2	100.0	

Q17 離職人数別②のうち短時間労働者(1)介護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答	調査数	平均
66	8	9	18	4	1	0	0	0	0	0	26	32	3.28
100.0	12.1	13.6	27.3	6.1	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	39.4	100.0	

Q17 離職人数別②のうち短時間労働者(2)看護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答	調査数	平均
66	12	4	6	0	0	0	0	0	0	0	44	10	2.20
100.0	18.2	6.1	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	100.0	

Q17 離職人数別②のうち短時間労働者(3)その他【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答	調査数	平均
66	7	4	10	1	0	0	0	0	0	0	44	15	2.80
100.0	10.6	6.1	15.2	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	100.0	

Q18 令和7年10月1日時点の待機者の人数【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答	調査数	平均
66	1	0	1	1	2	1	8	5	9	31	7	58	103.14
100.0	1.5	0.0	1.5	1.5	3.0	1.5	12.1	7.6	13.6	47.0	10.6	100.0	

Q19 待機者数は満床にするために十分である

調査数	十分である	どちらかといえば十分	どちらかといえば十分ではない	十分ではない	無回答
66	7	21	19	18	1
100.0	10.6	31.8	28.8	27.3	1.5

問 19 で「3」「4」のいずれかに回答した方にお伺いします。

問 19-1 待機者数が、満床にするために十分ではない理由として考えられる要因はどれですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 近隣に高齢者施設が多い
2. 施設へのアクセスが悪い
3. 居住費等の利用料が高額である
4. 医療処置など特別なケアを要する入所者の受入が困難である
5. 建物・設備の老朽化
6. 入所希望者に施設の特色が伝わっていない
7. その他 (具体的に: _____)

全ての方にお伺いします。

問 20 空床を解消するために必要な支援として効果が期待できると思うものはどれですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 特定の入所希望者への経済的支援
2. 従来型への改築・新築の推奨・支援
3. 職員の加配に対する財政支援
4. 医療ニーズなど特別なケアを要する入所希望者受け入れへの財政支援
5. 要介護1・2の特例入所の要件緩和
6. 入退所プロセスの簡素化
7. 介護スタッフ施設職員の安定的な供給
8. 高齢者施設・住まいの相談センターの機能強化
9. その他 (具体的に: _____)

問 21 貴施設では次のことを理由に、入所(継続)を断ることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | | | | |
|---------|---|----------|----------------|---|----------|
| 1. 医療処置 | → | 問 21-1 へ | 3. 医療処置及び認知症以外 | → | 問 21-5 へ |
| 2. 認知症 | → | 問 21-3 へ | 4. 断ることはない | → | 問 22 へ |

問 20 で「1. 医療処置」と回答した方にお伺いします。

問 21-1 何の医療処置を理由に入所を断ることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|---------------------------------------|
| 1. 点滴の管理 | 9. 経管栄養(経鼻経管栄養) |
| 2. 中心静脈栄養 | 10. 経管栄養(胃ろう・腸ろう) |
| 3. 透析 | 11. 痰吸引 |
| 4. ストーマ(人工肛門)の処置 | 12. モニター測定(血圧、心拍、酸素飽和度等) |
| 5. 酸素療法 | 13. 褥瘡の処置 |
| 6. レスピレーター(人工呼吸器) | 14. カテーテル(コンドームカテーテル、留置カテーテル、ウロストーマ等) |
| 7. 気管切開の処置 | 15. その他 |
| 8. 疼痛の看護 | (具体的に _____) |

Q19-1.待機者数が、満床にするために十分ではない理由

調査数	近隣に高齢者施設が多い	施設へのアクセスが悪い	居住費等の利用料が高額である	医療処置など特別なケアを要する入所者の受入が困難である	建物・設備の老朽化	入所希望者に施設の特色が伝わっていない	その他	無回答
37	29	11	4	25	6	5	9	0
100.0	78.4	29.7	10.8	67.6	16.2	13.5	24.3	0.0

Q20.空床を解消するために必要な支援として効果が期待できると思うもの

調査数	特定の入所希望者への経済的支援	従来型への改築・新築の推奨・支援	職員の加配に対する財政支援	医療ニーズなど特別なケアを要する入所希望者受け入れへの財政支援	要介護1・2の特例入所の要件緩和	入退所プロセスの簡素化	介護スタッフ施設職員の安定的な供給	高齢者施設・住まいの相談センターの機能強化
66	11	22	33	23	34	18	43	9
100.0	16.7	33.3	50.0	34.8	51.5	27.3	65.2	13.6
							その他	無回答
							7	2
							10.6	3.0

Q21.入所(継続)を断る理由

調査数	医療処置	認知症	医療処置及び認知症以外	断ることはない	無回答
66	64	18	2	1	1
100.0	97.0	27.3	3.0	1.5	1.5

Q21-1.何の医療処置を理由に入所を断ることがありますか

調査数	点滴の管理	中心静脈栄養	透析	ストーマ(人工肛門)の処置	酸素療法	レスピレーター(人工呼吸器)	気管切開の処置	疼痛の看護
64	50	60	46	0	5	54	52	17
100.0	78.1	93.8	71.9	0.0	7.8	84.4	81.3	26.6
	経管栄養(経鼻経管栄養)	経管栄養(胃ろう・腸ろう)	痰吸引	モニター測定(血圧、心拍、酸素飽和度等)	褥瘡の処置	カテーテル(コンドームカテーテル、留置カテーテル、ウロストーマ等)	その他	無回答
	51	0	26	26	5	2	5	0
	79.7	0.0	40.6	40.6	7.8	3.1	7.8	0.0

問 21 で「1. 医療処置」と回答した方にお伺いします。

問 21-2 貴施設では、医療処置を理由に、入所（継続）を断る場合、以下のいずれかの機関を紹介していますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 介護老人保健施設	4. 一般病床
2. 介護療養型医療施設（介護医療院）	5. どこも紹介していない
3. 医療療養型医療施設	6. その他 (具体的に)

問 21 で「2. 認知症」と回答した方にお伺いします。

問 21-3 認知症状を理由に入所（継続）を断る場合、その方の認知症高齢者の日常生活自立度はどの程度ですか。（○はひとつ）

1. II 以上	2. III 以上	3. IV 以上	4. M 以上	5. その他（具体的に)
----------	-----------	----------	---------	---------------

問 21 で「2. 認知症」と回答した方にお伺いします。

問 21-4 認知症状を理由に入所（継続）を断る場合、断る理由となる具体的な症状はどのようなものですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 昼夜逆転がある	5. 収集癖がある
2. 大声を出す	6. 物や衣類を壊す
3. 介護に抵抗する	7. 他者に手を出す
4. 1人で出たがる	8. その他 (具体的に)

問 21 で「3. 医療処置及び認知症以外」と回答した方にお伺いします。

問 21-5 具体的にどのような理由でしょうか。

自由記載

全ての方にお伺いします。

問 22 貴施設では「身元保証人」がいないことを理由に、入所（継続）を断ることがありますか。

(○はひとつ)

1. はい	2. いいえ	3. その他（具体的に)
-------	--------	---------------

問 22 で「1. はい」と回答した方にお伺いします。

問 22-1 入所（継続）を断る理由について記入してください。

自由記載

Q21-2.医療処置を理由に、入所（継続）を断る場合、いずれかの機関を紹介していますか

調査数	介護老人保健施設	介護療養型医療施設(介護医療院)	医療療養型医療施設	一般病床	どこも紹介していない	その他	無回答
64	19	31	38	20	13	4	1
100.0	29.7	48.4	59.4	31.3	20.3	6.3	1.6

Q21-3.認知症状を理由に入所（継続）を断る場合、その方の認知症高齢者の日常生活自立度はどの程度ですか

調査数	II 以上	III 以上	IV 以上	M 以上	その他	無回答
18	0	1	6	8	1	2
100.0	0.0	5.6	33.3	44.4	5.6	11.1

Q21-4.認知症状を理由に入所（継続）を断る場合、断る理由となる具体的な症状はどのようなものですか

調査数	昼夜逆転がある	大声を出す	介護に抵抗する	1人で出たがる	収集癖がある	物や衣類を壊す	他者に手を出す	その他
18	0	7	3	10	2	9	18	3
100.0	0.0	38.9	16.7	55.6	11.1	50.0	100.0	16.7
								無回答
								0
								0.0

Q22.「身元保証人」がいないことを理由に、入所（継続）を断ることがありますか

調査数	はい	いいえ	その他	無回答
66	22	37	6	1
100.0	33.3	56.1	9.1	1.5

施設のサービスや運営、取組状況についてお伺いします。

全ての方にお伺いします。

問 23 貴施設ではショートステイの利用申込みは、通常、入所日の何日くらい前なら希望の日程で対応できますか。(〇はひとつ)

1. 前日	4. 2週間から1か月前	7. ショートステイを実施していない→ 問 25 へ
2. 2日前から1週間前	5. 1か月から2か月前	
3. 1週間から2週間前	6. 2か月以上前	

問 24 ショートステイの利用申込みについて受入れできない場合、どのようなことが理由になっていますか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 利用希望日が満床だった	3. 重度の人への対応が困難であった
2. 医療処置の対応が困難であった	4. その他(具体的に)
	5. 受入れできないことがない

問 25 貴施設の運営やサービス向上のために、どのような情報や支援が必要ですか。次のうち必要と考えられる情報・支援を3つまでお選びください。(〇は3つまで)

1. 介護保険制度・介護報酬等に関する情報	11. 定員の空き状況、空室・空床に関する情報
2. 介護保険以外の保健・福祉サービスに関する情報	12. 緊急時ショートステイや入院などの受入れ先情報
3. 情報提供・相談等の窓口	13. 事業者連絡会等に関する運営サポート、バックアップ
4. 介護技術・方法に関する情報	14. ケアカンファレンス等の運営サポート、バックアップ
5. 認知症ケアに関する情報	15. サービス展開のための土地・建物に関する情報
6. 医療処置を必要とする場合のケアに関する情報	16. その他 (具体的に)
7. 困難事例、多問題事例に関するケース情報提供、助言	17. 特に必要な情報・支援はない
8. 介護予防に関する情報	
9. 研修・講座等に関する情報	
10. 周辺事業所や医療機関に関する情報	

問 26 地域とどのような内容で連携をとっていますか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 地域の行事への参加	5. 地元商店街や企業からの商品等購入
2. 講師として指導してもらう	6. 認知症サポーター養成講座の開催
3. 施設イベントへの招待	7. 災害対策・避難訓練
4. 小学校・中学校の体験学習	8. その他(具体的に)
	9. 特にない

Q23.ショートステイの利用申込み、入所日の何日くらい前なら希望の日程で対応できますか

調査数	前日	2日前から1週間前	1週間から2週間前	2週間から1か月前	1か月から2か月前	2か月以上前	ショートステイを実施していない	無回答
66 100.0	4 6.1	7 10.6	5 7.6	5 7.6	14 21.2	26 39.4	3 4.5	2 3.0

Q24.ショートステイの利用申込みについて受入れできない場合の理由

調査数	利用希望日が満床だった	医療処置の対応が困難であった	重度の人への対応が困難であった	その他	受入れできないことがない	無回答
61 100.0	60 98.4	42 68.9	13 21.3	4 6.6	0 0.0	0 0.0

Q25.運営やサービス向上のために、必要と考えられる情報・支援

調査数	介護保険制度・介護報酬等に関する情報	介護保険以外の保健・福祉サービスに関する情報	情報提供・相談等の窓口	介護技術・方法に関する情報	認知症ケアに関する情報	医療処置を必要とする場合のケアに関する情報	困難事例、多問題事例に関するケース情報提供、助言	介護予防に関する情報
66 100.0	34 51.5	5 7.6	17 25.8	10 15.2	9 13.6	5 7.6	28 42.4	1 1.5
	研修・講座等に関する情報	周辺事業所や医療機関に関する情報	定員の空き状況、空室・空床に関する情報	緊急時ショートステイや入院などの受入れ先情報	事業者連絡会等に関する運営サポート、バックアップ	ケアカンファレンス等の運営サポート、バックアップ	サービス展開のための土地・建物に関する情報	その他
	15 22.7	12 18.2	13 19.7	5 7.6	1 1.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0
							特に必要な情報・支援はない	無回答
							3 4.5	4 6.1

Q26.地域とどのような内容で連携をとっていますか

調査数	地域の行事への参加	講師として指導してもらう	施設イベントへの招待	小学校・中学校の体験学習	地元商店街や企業からの商品等購入	認知症サポーター養成講座の開催	災害対策・避難訓練	その他
66 100.0	48 72.7	4 6.1	28 42.4	30 45.5	12 18.2	1 1.5	27 40.9	11 16.7
							特にない	無回答
							2 3.0	2 3.0

問 27 介護ロボット等、ICT 機器の導入や利用についてどのような課題・問題があるとお考えですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 導入コストが高い	7. 清掃や消耗品管理などの維持管理が大変である
2. どのような介護ロボットや ICT 機器があるかわからない	8. 投資に見合うだけの効果がない
3. ケアに介護ロボットを活用することに違和感を覚える	9. 介護現場の実態に合う介護ロボットや ICT 機器がない、現場の役に立つ介護ロボットや ICT 機器がない
4. 技術的に使いこなせるか心配である	10. その他 (具体的に)
5. 誤作動の不安がある	11. 課題・問題は特にな
6. 設置や保管等に場所をとられてしまう	

問 28 ボランティアの受入れ頻度とよこはまシニアボランティアポイント事業の実施状況について教えてください。(1)、(2)のそれぞれに○は1つ)

	1. ほぼ毎日	2. 週1日 (月4回)程度	3. 月2回程度	4. 月1回程度	5. 年に数回程度	6. 受け入れていない
(1) よこはまシニアボランティアポイント事業	1	2	3	4	5	6
(2) その他のボランティア	1	2	3	4	5	6

問 28 で「1」～「5」のいずれかに回答した方にお伺いします。

問 28-1 施設で受け入れているボランティアの活動内容をお選びください。

(1)、(2)それぞれあてはまるものすべてに○)

(1) よこはまシニアボランティアの活動内容

1. レクリエーションなどの指導、参加支援 (音楽の演奏・踊り等も含む)	6. 話し相手
2. お茶出しや食堂内での配膳、下膳などの補助	7. 洗濯物の整理や衣類の縫製
3. 食事介助の補助	8. 入浴後の整髪、ドライヤーかけ、からだ拭き等
4. 散歩、外出、館内移動の補助	9. 施設への利用者の送迎
5. 施設関係行事の手伝い	10. その他 (具体的に書きください)

(2) その他のボランティアの活動内容

1. レクリエーションなどの指導、参加支援 (音楽の演奏・踊り等も含む)	6. 話し相手
2. お茶出しや食堂内での配膳、下膳などの補助	7. 洗濯物の整理や衣類の縫製
3. 食事介助の補助	8. 入浴後の整髪、ドライヤーかけ、からだ拭き等
4. 散歩、外出、館内移動の補助	9. 施設への利用者の送迎
5. 施設関係行事の手伝い	10. その他 (具体的に書きください)

Q27.介護ロボット等、ICT機器の導入や利用についての課題・問題

調査数	導入コストが高い	どのような介護ロボットやICT機器があるかわからない	ケアに介護ロボットを活用することに違和感を覚える	技術的に使いこなせるか心配である	誤作動の不安がある	設置や保管等に場所をとられてしまう	清掃や消耗品管理などの維持管理が大変である	投資に見合うだけの効果がない
66 100.0	59 89.4	8 12.1	4 6.1	24 36.4	8 12.1	10 15.2	22 33.3	17 25.8
					介護現場の実態に合う介護ロボットやICT機器がない、現場の役に立つ介護ロボットやICT機器がない	その他	課題・問題は特にな	無回答
					7 10.6	5 7.6	1 1.5	2 3.0

Q28.実施状況 (1)よこはまシニアボランティアポイント事業

調査数	ほぼ毎日	週1日(月4回)程度	月2回程度	月1回程度	年に数回程度	受け入れていない	無回答
66 100.0	3 4.5	13 19.7	6 9.1	7 10.6	5 7.6	29 43.9	3 4.5

Q28.実施状況 (2)その他のボランティア

調査数	ほぼ毎日	週1日(月4回)程度	月2回程度	月1回程度	年に数回程度	受け入れていない	無回答
66 100.0	0 0.0	11 16.7	7 10.6	7 10.6	19 28.8	16 24.2	6 9.1

Q28-1.ボランティアの活動内容 (1)よこはまシニアボランティアポイント事業

調査数	レクリエーションなどの指導、参加支援(音楽の演奏・踊り等も含む)	お茶出しや食堂内での配膳、下膳などの補助	食事介助の補助	散歩、外出、館内移動の補助	施設関係行事の手伝い	話し相手	洗濯物の整理や衣類の縫製	入浴後の整髪、ドライヤーかけ、からだ拭き等
34 100.0	19 55.9	1 2.9	0 0.0	3 8.8	5 14.7	19 55.9	6 17.6	0 0.0
						施設への利用者の送迎	その他	無回答
						0 0.0	3 8.8	0 0.0

Q28-1.ボランティアの活動内容 (2)その他のボランティアの活動内容

調査数	レクリエーションなどの指導、参加支援(音楽の演奏・踊り等も含む)	お茶出しや食堂内での配膳、下膳などの補助	食事介助の補助	散歩、外出、館内移動の補助	施設関係行事の手伝い	話し相手	洗濯物の整理や衣類の縫製	入浴後の整髪、ドライヤーかけ、からだ拭き等
44 100.0	30 68.2	0 0.0	0 0.0	3 6.8	12 27.3	16 36.4	4 9.1	2 4.5
						施設への利用者の送迎	その他	無回答
						0 0.0	7 15.9	0 0.0

全ての方にお伺いします。

問 29 貴施設を運営する上での問題点はどれですか。(〇は3つまで)

1. 今の介護報酬では、人材の確保・定着のために十分な賃金を払えない	
2. 経営（収支）が苦しく、労働条件や労働環境改善をしたくても出来ない	
3. 良質な人材の確保が難しい	
4. 新規利用者の確保が難しい	
5. 介護従事者の介護業務に関する知識や技術が不足している	
6. 介護従事者の介護業務に臨む意欲や姿勢に問題がある	
7. 管理者の指導・管理能力が不足している	
8. 教育・研修の時間が十分に取れない	
9. 介護従事者間のコミュニケーションが不足している	
10. 経営者・管理者と職員間のコミュニケーションが不足している	
11. 利用者や利用者の家族の介護サービスに対する理解が不足している	
12. 介護保険の改正等についての的確な情報や説明が得られない	
13. 指定介護サービス提供に関する書類作成が煩雑で、時間に追われている	
14. 雇用管理等についての情報や指導が不足している	
15. その他（具体的に)	
16. 特に問題はない	

Q29.施設を運営する上での問題点

調査数	今の介護報酬では、人材の確保・定着のために十分な賃金を払えない	経営（収支）が苦しく、労働条件や労働環境改善をしたくても出来ない	良質な人材の確保が難しい	新規利用者の確保が難しい	介護従事者の介護業務に関する知識や技術が不足している	介護従事者の介護業務に臨む意欲や姿勢に問題がある	管理者の指導・管理能力が不足している	教育・研修の時間が十分に取れない
66 100.0	42 63.6	32 48.5	45 68.2	13 19.7	7 10.6	5 7.6	4 6.1	12 18.2
	介護従事者間のコミュニケーションが不足している	経営者・管理者と職員間のコミュニケーションが不足している	利用者や利用者の家族の介護サービスに対する理解が不足している	介護保険の改正等についての的確な情報や説明が得られない	指定介護サービス提供に関する書類作成が煩雑で、時間に追われている	雇用管理等についての情報や指導が不足している	その他	特に問題はない
	4 6.1	2 3.0	2 3.0	1 1.5	8 12.1	0 0.0	2 3.0	0 0.0
								無回答
								1 1.5

施設の老朽化対策についてお伺いします。

問 30 施設の築年数をお選びください。(あてはまるもの1つに○)

注1)増築をした施設の場合、既存建物の築年数をお選びください。

1. 0～4年	5. 20～24年	9. 40～44年
2. 5～9年	6. 25～29年	10. 45～49年
3. 10～14年	7. 30～34年	11. 50年以上
4. 15～19年	8. 35～39年	

問 31 施設の大規模修繕の予定をお選びください。(あてはまるもの1つに○)

1. 大規模修繕の具体的な予定が10年以内にある
2. 大規模修繕の必要性を感じているが、具体的な予定を立てられていない
3. 大規模修繕を10年以内に実施する必要性を感じていない

※大規模修繕に該当する例:施設の全体または広範囲、複数個所にわたって実施するもの(外壁補修、屋上防水の更新、居室やトイレの内装リニューアル、照明設備のLED化、非常用自家発電設備の導入、空調配管の更新、エレベーターの更新、厨房設備の更新、浴槽の交換等。)

※大規模修繕に該当しない例:施設の一部で実施するもの、応急的対応・メンテナンス行為(外壁調査、屋上防水の部分的な補修、漏水した部分のみの天井の補修、電球の交換、エレベーターの定期保守・メンテナンス等。)

問 31 で 1 と回答した方にお伺いします。

問 31-1 予定している大規模修繕の概要を記入してください。

※該当しない場合、「0」とご記入ください。

※不明な場合、「-」をご記入ください。

※エリア・棟を分けて発注する等、工事が複数の期にわたる場合には、まとめて記載していただいて構いません。

※設計管理料や工事に伴う一時移転等の付随する費用が発生した場合には、合わせてご記入ください。

①時期 (西暦)	②工事費総額 (税込)	③工事費の資金調達(税込)				④工事内容 (あてはまるものすべてに○)
		※②の内訳(概数)				
		ア 自己資金	イ 補助金	ウ 借入金	エ その他寄付等	
_____年	約 _____万円	約 _____万円	約 _____万円	約 _____万円	約 _____万円	01 外壁 02 屋根/屋上防水 03 内装 04 電気設備 05 空調設備 06 給排水設備 07 EV等昇降機 08 消防設備 09 その他の設備機器 ()

Q30 施設の築年数

調査数	0～4年	5～9年	10～14年	15～19年	20～24年	25～29年	30～34年	35～39年
66	6	7	6	14	17	7	4	1
100.0	9.1	10.6	9.1	21.2	25.8	10.6	6.1	1.5
					40～44年	45～49年	50年以上	無回答
					2	2	0	0
					3.0	3.0	0.0	0.0

Q31 施設の大規模修繕の予定

調査数	大規模修繕の具体的な予定が10年以内にある	大規模修繕の必要性を感じているが、具体的な予定を立てられていない	大規模修繕を10年以内に実施する必要性を感じていない	無回答
66	9	43	14	0
100.0	13.6	65.2	21.2	0.0

Q31-1. 予定している大規模修繕の概要①時期(西暦)

調査数	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	無回答
9	1	4	0	0	0	0	4
100.0	11.1	44.4	0.0	0.0	0.0	0.0	44.4

Q31-1. 予定している大規模修繕の概要②工事費総額(税込)

調査数	0円	1～100万円未満	1000～2000万円未満	2000～3000万円未満	3000～4000万円未満	4000～5000万円未満	5000～6000万円未満	6000～7000万円未満	7000～8000万円未満	8000～9000万円未満	9000～10000万円未満	10000万円以上	無回答
9	1	0	2	0	0	1	0	1	0	0	0	1	3
100.0	11.1	0.0	22.2	0.0	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	11.1	33.3

Q31-1. 予定している大規模修繕の概要③工事費の資金調達(税込) ア自己資金

調査数	0円	1～100万円未満	1000～2000万円未満	2000～3000万円未満	3000～4000万円未満	4000～5000万円未満	5000～6000万円未満	6000～7000万円未満	7000～8000万円未満	8000～9000万円未満	9000～10000万円未満	10000万円以上	無回答
9	1	0	2	0	0	1	0	1	0	0	0	0	4
100.0	11.1	0.0	22.2	0.0	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	44.4

Q31-1. 予定している大規模修繕の概要③工事費の資金調達(税込) イ補助金

調査数	0円	1～100万円未満	1000～2000万円未満	2000～3000万円未満	3000～4000万円未満	4000～5000万円未満	5000～6000万円未満	6000～7000万円未満	7000～8000万円未満	8000～9000万円未満	9000～10000万円未満	10000万円以上	無回答
9	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
100.0	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	77.8

Q31-1. 予定している大規模修繕の概要③工事費の資金調達(税込) ウ借入金

調査数	0円	1～100万円未満	1000～2000万円未満	2000～3000万円未満	3000～4000万円未満	4000～5000万円未満	5000～6000万円未満	6000～7000万円未満	7000～8000万円未満	8000～9000万円未満	9000～10000万円未満	10000万円以上	無回答
9	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
100.0	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	77.8

Q31-1. 予定している大規模修繕の概要③工事費の資金調達(税込) エその他寄付等

調査数	0円	1～100万円未満	1000～2000万円未満	2000～3000万円未満	3000～4000万円未満	4000～5000万円未満	5000～6000万円未満	6000～7000万円未満	7000～8000万円未満	8000～9000万円未満	9000～10000万円未満	10000万円以上	無回答
9	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
100.0	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	77.8

Q31-1. 予定している大規模修繕の概要④工事内容

調査数	外壁	屋根/屋上防水	内装	電気設備	空調設備	給排水設備	EV等昇降機	消防設備
9	1	1	1	3	5	2	1	1
100.0	11.1	11.1	11.1	33.3	55.6	22.2	11.1	11.1
							その他の設備機器	無回答
							3	2
							33.3	22.2

問31で2と回答した方にお伺いします。

問31-2 大規模修繕の具体的な予定が立てられない理由をお選びください。(あてはまるものすべてに○)

【準備資金の不足】	
1. 自己資金を十分に確保できない(具体的に)	()
2. 活用できる補助制度がない	()
3. 借入金を十分に借りられない(具体的に)	()
4. その他()	()
【工事、用地や代替施設の確保等】	
5. 建築価格や資材価格が高騰している	()
6. 用地の確保が困難	()
7. 工事中に利用者と職員が移転して事業を継続する代替施設の確保が困難	()
8. 作業スペースがなく(狭く)、重機や足場を組むことが困難	()
9. 資材の搬入、残土搬出、資材置き場、仮設事務所のスペースが困難	()
10. その他()	()
【その他】	
()	()

全ての方にお伺いします。

問32 貴施設の建物、設備の老朽化による機能低下や劣化の状況について、場所、設備ごとにご回答をお願いします。(それぞれに○は1つ)

※ 本調査における「老朽化の程度」は、建築の専門家等による診断結果ではなく、ご回答者様からみて、次項の主な例にあてはまる数が多いかどうかによりご回答をお願いするものです。

	小 ← 老朽化の程度 → 大				
01 外壁	1	2	3	4	5
02 屋根/屋上防水	1	2	3	4	5
03 内装(居室、廊下、階段、食堂、事務室等)	1	2	3	4	5
04 電気設備	1	2	3	4	5
05 空調設備	1	2	3	4	5
06 給排水設備	1	2	3	4	5
07 エレベーター昇降機	1	2	3	4	5
08 消防設備	1	2	3	4	5
09 その他の設備機器()	1	2	3	4	5

【上記の判断基準例】

- 非常に良好: 明らかな不具合はなく、見た目・機能ともに非常に良好な状態。今後数年間は修繕の必要はなし。
- 良好: 一部に経年劣化が見られるが、機能に支障はなく、使用上の問題はない。定期的な点検・軽微な補修で対応可能。
- やや劣化: 外観や機能劣化が見られ、今後数年以内に修繕・交換の検討が必要。使用には支障がないが、注意が必要。
- 劣化が著しい: 劣化が進んでおり、部分的に使用に支障がある。早期の修繕・交換が望ましい状態。
- 非常に劣化している: 著しい損傷や故障があり、安全性や機能性に重大な問題がある。即時の対応が必要。

Q31-2.大規模修繕の具体的な予定が立てられない理由

調査数	【準備資金の不足】自己資金を十分に確保できない	【準備資金の不足】活用できる補助制度がない	【準備資金の不足】借入金を十分に借りられない	【準備資金の不足】その他	【工事、用地や代替施設の確保等】建築価格や資材価格が高騰している	【工事、用地や代替施設の確保等】用地の確保が困難	【工事、用地や代替施設の確保等】工事中に利用者と職員が移転して事業を継続する代替施設の確保が困難	【工事、用地や代替施設の確保等】作業スペースがなく(狭く)、重機や足場を組むことが困難
43 100.0	22 51.2	19 44.2	0 0.0	7 16.3	24 55.8	6 14.0	7 16.3	1 2.3
					【工事、用地や代替施設の確保等】資材の搬入、残土搬出、資材置き場、仮設事務所のスペースが困難	【工事、用地や代替施設の確保等】その他	【その他】	無回答
					0 0.0	1 2.3	3 7.0	3 7.0

Q32.建物、設備の老朽化による機能低下や劣化の状況 01外壁

調査数	1 小	2	3	4	5 大	無回答
66 100.0	11 16.7	13 19.7	20 30.3	16 24.2	3 4.5	3 4.5

Q32.建物、設備の老朽化による機能低下や劣化の状況 02屋根/屋上防水

調査数	1 小	2	3	4	5 大	無回答
66 100.0	12 18.2	10 15.2	20 30.3	17 25.8	5 7.6	2 3.0

Q32.建物、設備の老朽化による機能低下や劣化の状況 03内装(居室、廊下、階段、食堂、事務室等)

調査数	1 小	2	3	4	5 大	無回答
66 100.0	6 9.1	11 16.7	26 39.4	17 25.8	4 6.1	2 3.0

Q32.建物、設備の老朽化による機能低下や劣化の状況 04電気設備

調査数	1 小	2	3	4	5 大	無回答
66 100.0	6 9.1	14 21.2	20 30.3	18 27.3	5 7.6	3 4.5

Q32.建物、設備の老朽化による機能低下や劣化の状況 05空調設備

調査数	1 小	2	3	4	5 大	無回答
66 100.0	8 12.1	11 16.7	14 21.2	16 24.2	14 21.2	3 4.5

Q32.建物、設備の老朽化による機能低下や劣化の状況 06給排水設備

調査数	1 小	2	3	4	5 大	無回答
66 100.0	6 9.1	9 13.6	13 19.7	23 34.8	11 16.7	4 6.1

Q32.建物、設備の老朽化による機能低下や劣化の状況 07エレベーター昇降機

調査数	1 小	2	3	4	5 大	無回答
66 100.0	12 18.2	10 15.2	19 28.8	15 22.7	8 12.1	2 3.0

Q32.建物、設備の老朽化による機能低下や劣化の状況 08消防設備

調査数	1 小	2	3	4	5 大	無回答
66 100.0	11 16.7	4 6.1	26 39.4	20 30.3	3 4.5	2 3.0

Q32.建物、設備の老朽化による機能低下や劣化の状況 09その他の設備機器

調査数	1 小	2	3	4	5 大	無回答
66 100.0	2 3.0	3 4.5	4 6.1	8 12.1	7 10.6	42 63.6

問 33 老朽化による機能低下や劣化を原因として、利用者の安全性や生活の質の向上に関して生じている課題についてお聞かせください。（あてはまるもの最大2つに○）

1. 日常のケアが停止、変更になることの増加	
2. 転倒・転落リスクが高まる	
3. ヒートショック、熱中症のリスクが高まる	
4. QOLの低下が懸念される	
5. 災害発生時の避難の困難性が高まる	
6. プライバシーの確保が困難	
7. その他（	）
8. 特になし	

問 33 で「1」～「7」のいずれかに回答した方にお伺いします。

問 33-1 具体的なエピソードをお聞かせください。

例) 給湯設備の故障による利用者への食事提供や入浴提供への影響がある。
夏にエアコンの故障により、利用者が熱中症になる可能性がある。
エレベーターの不具合や水漏れが発生することで、職員の業務に支障をきたす可能性がある。

全ての方にお伺いします。

問 34 大規模修繕に用いるための積立金の準備状況をお選びください。（あてはまるものすべてに○）

1. 施設単位で、修繕のみに用いる積立金を独立して確保している	
2. 施設単位で、他の積立金（人件費等）と合算して確保している	
3. 法人単位で、修繕のみに用いる積立金を独立して確保している	
4. 法人単位で、他の積立金（人件費等）と合算して確保している	
5. その他（	）
6. 計画的に確保していない	

問 34 で 1～2 と回答した方にお伺いします。

問 34-1 施設として準備している大規模修繕に活用できる積立金の額をお選びください。（あてはまるもの1つに○）

1. 0円（積立なし）	5. 2,000万円～5,000万円未満
2. ～500万円未満	6. 5,000万円～1億円未満
3. 500万円～1,000万円未満	7. 1億円以上
4. 1,000万円～2,000万円未満	8. 金額不明／回答できない

Q33.老朽化による機能低下や劣化を原因として、利用者の安全性や生活の質の向上に関して生じている課題についてお聞かせください

調査数	日常のケアが停止、変更になることの増加	転倒・転落リスクが高まる	ヒートショック、熱中症のリスクが高まる	QOLの低下が懸念される	災害発生時の避難の困難性が高まる	プライバシーの確保が困難	その他	特になし
66 100.0	29 43.9	4 6.1	17 25.8	10 15.2	13 19.7	1 1.5	4 6.1	14 21.2
								無回答 4 6.1

Q34.大規模修繕に用いるための積立金の準備状況をお選びください

調査数	施設単位で、修繕のみに用いる積立金を独立して確保している	施設単位で、他の積立金（人件費等）と合算して確保している	法人単位で、修繕のみに用いる積立金を独立して確保している	法人単位で、他の積立金（人件費等）と合算して確保している	その他	計画的に確保していない	無回答
66 100.0	15 22.7	3 4.5	9 13.6	6 9.1	3 4.5	23 34.8	10 15.2

Q34-1.施設として準備している大規模修繕に活用できる積立金の額

調査数	0円（積立なし）	～500万円未満	500万円～1,000万円未満	1,000万円～2,000万円未満	2,000万円～5,000万円未満	5,000万円～1億円未満	1億円以上	金額不明／回答できない
18 100.0	1 5.6	1 5.6	2 11.1	3 16.7	1 5.6	3 16.7	2 11.1	5 27.8
								無回答 0 0.0

問 34 で 6 と回答した方にお伺いします。

問 34-2 大規模修繕に用いるための積立金を計画的に確保していない理由をお選びください。(あてはまるものすべてに○)

1. 運営費が逼迫しており、積立に回す余裕がないため
2. 修繕の際は都度、現金預金や補助金、や借入で対応する方針のため
3. 建物が比較的新しく、まだ積立の必要性を感じていないため
4. 修繕積立金として積み立てると使途が限定されるため(柔軟な資金運用を優先しているため)
5. 修繕積立の制度や方法について十分な情報がないため
6. その他 ()

全ての方にお伺いします。

問 35 中長期今後(5~10年後)の、施設の大規模修繕に備える費用の準備状況をお選びください。

(あてはまるもの1つに○)

1. 費用を確保できる見通し
2. 費用を確保することが難しい
3. わからない
4. 10年以内に大規模修繕の予定がない

問 36 既存施設における中長期(5~10年後)の事業展開をお選びください。

(あてはまるものすべてに○)

1. 現状維持のまま
2. 定員規模の拡大を検討している
3. 定員規模の縮小を検討している
4. 他施設との合併を検討している
5. 廃止・撤退を検討している
6. 一部の事業の廃止・撤退を検討している(具体的に) ()
7. その他 ()
8. 検討していない

Q34-2.大規模修繕に用いるための積立金を計画的に確保していない理由

調査数	運営費が逼迫しており、積立に回す余裕がないため	修繕の際は都度、現金預金や補助金、借入で対応する方針のため	建物が比較的新しく、まだ積立の必要性を感じていないため	修繕積立金として積み立てると使途が限定されるため(柔軟な資金運用を優先しているため)	修繕積立の制度や方法について十分な情報がないため	その他	無回答
23 100.0	17 73.9	8 34.8	1 4.3	2 8.7	1 4.3	1 4.3	1 4.3

Q35.中長期(5~10年後)の、施設の大規模修繕に備える費用の準備状況

調査数	費用を確保できる見通し	費用を確保することが難しい	わからない	10年以内に大規模修繕の予定がない	無回答
66 100.0	6 9.1	23 34.8	23 34.8	8 12.1	6 9.1

Q36.既存施設における中長期(5~10年後)の事業展開

調査数	現状維持のまま	定員規模の拡大を検討している	定員規模の縮小を検討している	他施設との合併を検討している	廃止・撤退を検討している	一部の事業の廃止・撤退を検討している	その他	検討していない
66 100.0	53 80.3	3 4.5	0 0.0	0 0.0	1 1.5	2 3.0	1 1.5	5 7.6
								無回答 2 3.0

問37 施設運営の中長期（5～10年後）の見通しにおける課題をお選びください。（それぞれあてはまるもの1つに○）

	課題の大きさ				
	小さい				大きい
1. 利用者の需要、確保	1	2	3	4	5
2. 職員の確保	1	2	3	4	5
3. 後継者不足	1	2	3	4	5
4. 事業を展開するための資金の確保	1	2	3	4	5
5. 大規模修繕、改築（建替え）	1	2	3	4	5
6. 介護保険制度、高齢者福祉の動向	1	2	3	4	5
7. その他（ ）	1	2	3	4	5

【上記の判断基準例】

- 1（非常に小さい）問題なし：現状で特に課題は見られない。
- 2（小さい）軽微な課題：現状では大きな問題はないが、将来的に注意が必要。
- 3（中程度）課題あり：現状維持は可能だが、改善の余地がある。
- 4（大きい）重要な課題：中期的に対応が必要。計画的な改善が求められる。
- 5（非常に大きい）深刻な課題：早急な対応が必要。放置すると運営に重大な支障が出る。

問38 今後の事業展開に向けて、施設の建物・設備の老朽化によって生じる懸念事項についてお聞かせください。

問39 期待する支援策について、該当するものをお選びください。（あてはまるもの最大3つまで）

1. 災害発生時の利用者及び職員の安全確保を目的とした設備改修への費用補助	
2. プライバシー確保、感染症への対応のための設備改修への費用補助	
3. 職員の負担軽減、生産性向上に向けた設備改修の費用補助（介護ロボット・ICT機器の導入、DX化等）	
4. 省エネ、SDGs等に向けた設備改修の費用補助	
5. 設備の老朽化による大規模修繕への費用補助	
6. 建築や設備の専門コンサルへの費用補助	
7. 借入申請要件の緩和（具体的に ）	
8. 工事中に利用者と職員が移転して事業を継続できる代替施設の建築、もしくは確保	
9. 介護報酬（基本報酬、地域区分等）の引上げ	
10. その他（ ）	
11. なし	

ご協力ありがとうございました。

Q37.施設運営の中長期（5～10年後）の見通しにおける課題 01利用者の需要、確保

調査数	1 小さい	2	3	4	5 大きい	無回答
66	2	6	12	26	16	4
100.0	3.0	9.1	18.2	39.4	24.2	6.1

Q37.施設運営の中長期（5～10年後）の見通しにおける課題 02職員の確保

調査数	1 小さい	2	3	4	5 大きい	無回答
66	0	0	7	16	39	4
100.0	0.0	0.0	10.6	24.2	59.1	6.1

Q37.施設運営の中長期（5～10年後）の見通しにおける課題 03後継者不足

調査数	1 小さい	2	3	4	5 大きい	無回答
66	4	7	16	24	10	5
100.0	6.1	10.6	24.2	36.4	15.2	7.6

Q37.施設運営の中長期（5～10年後）の見通しにおける課題 04事業を展開するための資金の確保

調査数	1 小さい	2	3	4	5 大きい	無回答
66	2	2	23	19	15	5
100.0	3.0	3.0	34.8	28.8	22.7	7.6

Q37.施設運営の中長期（5～10年後）の見通しにおける課題 05大規模修繕、改築（建替え）

調査数	1 小さい	2	3	4	5 大きい	無回答
66	3	3	13	21	20	6
100.0	4.5	4.5	19.7	31.8	30.3	9.1

Q37.施設運営の中長期（5～10年後）の見通しにおける課題 06介護保険制度、高齢者福祉の動向

調査数	1 小さい	2	3	4	5 大きい	無回答
66	0	1	12	24	24	5
100.0	0.0	1.5	18.2	36.4	36.4	7.6

Q37.施設運営の中長期（5～10年後）の見通しにおける課題 07その他

調査数	1 小さい	2	3	4	5 大きい	無回答
66	0	0	1	1	0	64
100.0	0.0	0.0	1.5	1.5	0.0	97.0

Q39.期待する支援策

調査数	災害発生時の利用者及び職員の安全確保を目的とした設備改修への費用補助	プライバシー確保、感染症への対応のための設備改修への費用補助	職員の負担軽減、生産性向上に向けた設備改修の費用補助（介護ロボット・ICT機器の導入、DX化等）	省エネ、SDGs等に向けた設備改修の費用補助	設備の老朽化による大規模修繕への費用補助	建築や設備の専門コンサルへの費用補助	借入申請要件の緩和	工事中に利用者と職員が移転して事業を継続できる代替施設の建築、もしくは確保
66	28	4	26	9	48	2	0	4
100.0	42.4	6.1	39.4	13.6	72.7	3.0	0.0	6.1
					介護報酬（基本報酬、地域区分等）の引上げ	その他	なし	無回答
					45	0	0	4
					68.2	0.0	0.0	6.1

アンケートご協力をお願い

日頃から、本市の高齢者保健福祉行政に御理解と御協力を賜り厚くお礼申し上げます。
 横浜市では、横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画・認知症施策推進計画の改定に際し、3年に1度、介護老人保健施設の皆様の御意見をお伺いする調査を実施しています。
 この調査の結果につきましては、高齢者保健福祉施策を検討する際の重要な基礎資料となりますので、業務ご多用のところお手数をおかけいたしますが、本調査の趣旨を御理解いただき、御協力を賜りますようお願いいたします。
 調査の回答については、12月8日(月)までにご回答くださいますよう、併せて御協力をお願いいたします。
 なお、調査報告に関する秘密が保持されることと、個々の施設ごとの調査結果を公表するものではなく、サービスごとの横浜市全体の集計結果を公表する予定であることを申し添えます。

貴施設の概要についてお伺いします。

問1 施設名等を教えてください。

施設名										
介護保険事業所番号										

問2 貴施設の定員をご記入ください。

		4人部屋	3人部屋	2人部屋	従来型個室	ユニット型個室	その他
入所	入所(短期入所は除く)	人	人	人	人	人	人
	短期入所	人	人	人	人	人	人
通所介護							人

Q2. 入所(短期入所は除く) (1)4人部屋【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
30	0	0	0	0	0	1	4	4	7	6	8
100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	13.3	13.3	23.3	20.0	26.7

Q2. 入所(短期入所は除く) (2)3人部屋【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
30	10	0	0	0	0	0	0	0	1	0	19
100.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	0.0	63.3

Q2. 入所(短期入所は除く) (3)2人部屋【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
30	0	0	4	6	3	0	1	0	0	0	16
100.0	0.0	0.0	13.3	20.0	10.0	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0	53.3

Q2. 入所(短期入所は除く) (4)従来型個室【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
30	0	1	1	6	5	4	4	2	0	0	7
100.0	0.0	3.3	3.3	20.0	16.7	13.3	13.3	6.7	0.0	0.0	23.3

Q2. 入所(短期入所は除く) (5)ユニット型個室【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
30	6	0	0	0	0	1	2	0	0	5	16
100.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	6.7	0.0	0.0	16.7	53.3

Q2. 入所(短期入所は除く) (6)その他【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
30	8	0	0	0	0	0	0	0	0	1	21
100.0	26.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	70.0

Q2. 短期入所 (1)4人部屋【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
30	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	26
100.0	6.7	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	86.7

Q2. 短期入所 (2)3人部屋【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
30	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	26
100.0	10.0	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	86.7

Q2. 短期入所 (3)2人部屋【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
30	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	27
100.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	90.0

Q2. 短期入所 (4)従来型個室【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
30	2	0	3	0	0	0	0	0	0	0	25
100.0	6.7	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	83.3

Q2. 短期入所 (5)ユニット型個室【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
30	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26
100.0	13.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	86.7

Q2. 短期入所 (6)その他【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
30	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	26
100.0	10.0	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	86.7

Q2. 通所介護【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
30	3	0	0	0	0	4	15	2	0	0	6
100.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	13.3	50.0	6.7	0.0	0.0	20.0

職員、人材確保、処遇等についてお伺いします。

問3 令和7年10月1日時点の貴施設の職員数についてご記入ください。

職員数とは、貴施設が実施する全ての事業に従事する者（正規・非正規職員問わず）の在籍者総数です。また、職員の市内在住状況を教えてください。ただし、派遣労働者、委託業務従事者は含みません。該当者がいない場合は空白で結構です。

- 注1) 資格ではなく、従事している仕事（職種）に着目して入力してください。
 なお、兼務している職員については、主として従事する仕事（職種）にのみ入力してください。
 注2) 正規職員・非正規職員とは
 正規職員（雇用している労働者で雇用期間の定めのない者）
 非正規職員（正規職員以外の労働者（契約、嘱託、パートなど））
 注3) PT（理学療法士）、OT（作業療法士）、ST（言語聴覚士）等の機能訓練指導員

職種別（下記の職種のみ）（注1）	正規職員（注2）	非正規職員（注2）
①介護職員	人	人
②看護職員	人	人
③生活相談員	人	人
④PT・OT・ST等（注3）	人	人
⑤ケアマネジャー	人	人
⑥その他職員	人	人
職員総人数 正規職員：市内在住（ ）人、市外在住（ ）人 非正規職員：市内在住（ ）人、市外在住（ ）人		

問3-1 貴施設での外国人介護職員の採用状況について、令和7年10月1日現在で、採用している外国人介護職員の在留資格であてはまるものをお選びください。（あてはまるものすべてに○）

1. 特定活動（経済連携協定「EPA」）	5. 留学
2. 介護	6. その他（具体的に： ）
3. 技能実習（介護）	7. 外国人介護職員を採用していない
4. 特定技能1号（介護）	

Q3. ①介護職員 正規職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	無回答
30	0	0	0	0	1	7	17	1	0	0	4
100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	23.3	56.7	3.3	0.0	0.0	13.3

Q3. ①介護職員 非正規職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	無回答
30	0	0	3	1	13	5	2	0	0	0	6
100.0	0.0	0.0	10.0	3.3	43.3	16.7	6.7	0.0	0.0	0.0	20.0

Q3. ②看護職員 正規職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	無回答
30	0	0	7	10	9	0	0	0	0	0	4
100.0	0.0	0.0	23.3	33.3	30.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	13.3

Q3. ②看護職員 非正規職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	無回答
30	0	2	4	6	10	2	0	0	0	0	6
100.0	0.0	6.7	13.3	20.0	33.3	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0

Q3. ③生活相談員 正規職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	無回答
30	1	2	23	1	0	0	0	0	0	0	3
100.0	3.3	6.7	76.7	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0

Q3. ③生活相談員 非正規職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	無回答
30	15	2	2	0	0	0	0	0	0	0	11
100.0	50.0	6.7	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	36.7

Q3. ④PT・OT・ST等 正規職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	無回答
30	0	0	7	14	6	0	0	0	0	0	3
100.0	0.0	0.0	23.3	46.7	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0

Q3. ④PT・OT・ST等 非正規職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	無回答
30	1	11	6	5	0	0	0	0	0	0	7
100.0	3.3	36.7	20.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	23.3

Q3. ⑤ケアマネジャー 正規職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	無回答
30	0	7	20	0	0	0	0	0	0	0	3
100.0	0.0	23.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0

Q3. ⑤ケアマネジャー 非正規職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	無回答
30	10	5	4	0	0	0	0	0	0	0	11
100.0	33.3	16.7	13.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	36.7

Q3. ⑥その他職員 正規職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	無回答
30	0	0	8	7	9	1	1	0	0	0	4
100.0	0.0	0.0	26.7	23.3	30.0	3.3	3.3	0.0	0.0	0.0	13.3

Q3. ⑥その他職員 非正規職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	無回答
30	1	0	2	6	7	4	3	0	0	0	7
100.0	3.3	0.0	6.7	20.0	23.3	13.3	10.0	0.0	0.0	0.0	23.3

Q3. 職員総人数正規職員 市内在住【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	無回答
30	0	0	0	0	0	0	12	9	1	0	8
100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	30.0	3.3	0.0	26.7

Q3. 職員総人数正規職員 市外在住【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	無回答
30	0	0	4	3	8	5	1	1	1	0	7
100.0	0.0	0.0	13.3	10.0	26.7	16.7	3.3	3.3	3.3	0.0	23.3

Q3. 職員総人数非正規職員 市内在住【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	無回答
30	0	0	1	0	1	6	11	2	0	0	9
100.0	0.0	0.0	3.3	0.0	3.3	20.0	36.7	6.7	0.0	0.0	30.0

Q3. 職員総人数非正規職員 市外在住【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	無回答
30	1	2	8	3	5	1	1	0	0	0	9
100.0	3.3	6.7	26.7	10.0	16.7	3.3	3.3	0.0	0.0	0.0	30.0

Q3-1. 外国人介護職員の採用状況について

調査数	特定活動（経済連携協定「EPA」）	介護	技能実習（介護）	特定技能1号（介護）	留学	その他	外国人介護職員を採用していない	無回答
30	2	10	6	20	0	6	3	1
100.0	6.7	33.3	20.0	66.7	0.0	20.0	10.0	3.3

問3-1で「1」～「6」のいずれかに回答した方にお伺いします。

問3-2 問3-1で回答した外国人介護職員の在留資格について、令和7年10月1日現在で、資格別の採用人数を国籍別にご記入ください。非該当の在留資格・国籍については無回答（空白）で結構です。

	採用人数 (人)									
	インドネシア	フィリピン	ベトナム	中国	ミャンマー	カンボジア	ネパール	モンゴル	タイ	その他
在留資格										
①『特定活動』（経済連携協定(EPA)）										
②『介護』										
③『技能実習』（介護）										
④『特定技能1号』（介護）										
⑤『留学』										
⑥その他										

全ての方に伺います。

問4 貴施設では、従業員の職種別（注1）過不足の状況はいかがですか。（①～⑦それぞれで○はひとつ）
「不足」とは、募集を必要としていることを指します。

注1) 資格ではなく、従事している仕事(職種)に着目してください。

注2) PT(理学療法士)、OT(作業療法士)、ST(言語聴覚士)等の機能訓練指導員

職種別(注1)	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種はない
①介護職員	1	2	3	4	5	6
②看護職員	1	2	3	4	5	6
③支援相談員	1	2	3	4	5	6
④PT・OT・ST等(注2)	1	2	3	4	5	6
⑤ケアマネジャー	1	2	3	4	5	6
⑥その他職員	1	2	3	4	5	6
⑦全体でみた場合(上記①～⑥について)	1	2	3	4	5	6

問4の⑦で1～3と回答した方にお伺いします。

問4-1 「⑦全体でみた場合」で、不足している理由はどれですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 採用が困難である	3. 事業拡大によって必要人数が増大した
2. 離職率が高い(定着率が低い)	4. その他(具体的に)

	インドネシア		フィリピン		ベトナム		中国		ミャンマー		カンボジア		ネパール		モンゴル		タイ		その他	
	施設数	人数	施設数	人数	施設数	人数	施設数	人数	施設数	人数	施設数	人数	施設数	人数	施設数	人数	施設数	人数	施設数	人数
①特定活動	1	2	0	0	1	12														
②介護	6	16	2	3	2	2	3	3	2	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
③技能実習	3	13	0	0	1	4	0	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
④特定技能1号	9	24	2	4	7	15	0	0	12	31	0	0	1	5	0	0	0	0	0	2
⑤留学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑥その他	2	2	3	7	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2

Q4. 従業員の職種別過不足状況(1)介護職員

調査数	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種はない	無回答
30	7	10	10	2	0	0	1
100.0	23.3	33.3	33.3	6.7	0.0	0.0	3.3

Q4. 従業員の職種別過不足状況(2)看護職員

調査数	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種はない	無回答
30	2	6	12	9	0	0	1
100.0	6.7	20.0	40.0	30.0	0.0	0.0	3.3

Q4. 従業員の職種別過不足状況(3)支援相談員

調査数	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種はない	無回答
30	1	3	6	19	0	0	1
100.0	3.3	10.0	20.0	63.3	0.0	0.0	3.3

Q4. 従業員の職種別過不足状況(4)PT・OT・ST等

調査数	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種はない	無回答
30	2	6	7	13	1	0	1
100.0	6.7	20.0	23.3	43.3	3.3	0.0	3.3

Q4. 従業員の職種別過不足状況(5)ケアマネジャー

調査数	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種はない	無回答
30	2	5	8	14	0	0	1
100.0	6.7	16.7	26.7	46.7	0.0	0.0	3.3

Q4. 従業員の職種別過不足状況(6)その他職員

調査数	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種はない	無回答
30	1	2	7	19	0	0	1
100.0	3.3	6.7	23.3	63.3	0.0	0.0	3.3

Q4. 従業員の職種別過不足状況(7)全体でみた場合(上記①～⑥について)

調査数	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種はない	無回答
30	2	7	17	3	0	0	1
100.0	6.7	23.3	56.7	10.0	0.0	0.0	3.3

Q4-1.「全体でみた場合」で、不足している理由

調査数	採用が困難である	離職率が高い(定着率が低い)	事業拡大によって必要人数が増大した	その他	無回答
26	24	3	3	2	1
100.0	92.3	11.5	11.5	7.7	3.8

全ての方に伺います。

問5 令和6年度の人材確保の状況について、人材派遣会社または人材紹介会社の活用によって確保した人数は何名ですか。該当者がいない場合は空白で結構です。

	介護職員	看護職員	その他
① 正規職員	人	人	人
うち人材紹介会社の活用	人	人	人
② 非正規職員	人	人	人
うち人材紹介会社の活用	人	人	人
人材派遣会社の活用	人	人	人

問6 貴施設では職員の採用に際し、どのような工夫を行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. ハローワークや福祉人材センターを頻繁に訪れている	8. 新規卒業者や若手にこだわらないようにしている
2. 求人に際し、仕事そのものの魅力や労働条件を掲載する等求人内容を工夫している	9. 近隣の事業所と連携し、採用に関し情報交換をしている
3. 職員や知人と連絡を密にとり、人材についての情報の提供を受けている	10. 福祉系教育機関への働きかけを積極的に行っている
4. 採用について、従来より多くコストをかけている	11. 採用説明会や職場体験を実施している
5. 自施設の理念やアピールポイントをHP等を紹介して対外的に発信している	12. 内定後のフォローをしっかりと行っている
6. 介護資格や介護経験の有無にこだわらないようにしている	13. くるみん認定など、国や地方自治体の認定等を取っている
7. 福祉系の教育機関出身者にこだわらないようにしている	14. 子育て支援を行っている(子ども預かり所を設ける、保育費用支援等)
	15. その他(具体的に)
	16. 特に行っていない

問7 介護職員の人材不足に対し、新たな人材の確保に向けた自治体の取組として、効果的と考えるものは次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 若い世代に向けた介護業界のイメージアップ	9. 人材紹介料の補助
2. 職場体験を実施する施設への支援	10. 潜在介護福祉士の(再)就職支援
3. 新たに介護業界へ就職をする者が資格取得等に関する研修参加をする際の支援	11. ロボット・ICT活用による職員の負担軽減への支援
4. 多様な働き方(時短、夜間のみ、週休3日)の導入支援	12. 子育て世代が働きやすい環境の整備への支援
5. 元気高齢者(ボランティア等)の受入れ支援	13. 合同就職相談会の実施
6. 介護助手の受入れ支援	14. 介護福祉士養成施設に対する財政的支援
7. 外国人介護職員の受入れ支援	15. その他()
8. 介護職員の住居借上支援	16. 自治体からの支援がなくても人材の確保ができて
	いる

Q5. 人材確保状況①正規職員(1)介護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
30	0	1	13	7	2	0	0	0	0	0	6
100.0	3.3	3.3	43.3	23.3	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0

Q5. 人材確保状況①正規職員(2)看護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
30	3	2	12	0	0	0	0	0	0	0	13
100.0	10.0	6.7	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	43.3

Q5. 人材確保状況①正規職員(3)その他【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
30	9	1	7	1	0	0	0	0	0	0	12
100.0	30.0	3.3	23.3	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0

Q5. 人材確保状況①うち人材紹介会社の活用(1)介護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
30	2	3	11	4	0	0	0	0	0	0	10
100.0	6.7	10.0	36.7	13.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3

Q5. 人材確保状況①うち人材紹介会社の活用(2)看護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
30	3	3	9	0	0	0	0	0	0	0	15
100.0	10.0	10.0	30.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0

Q5. 人材確保状況①うち人材紹介会社の活用(3)その他【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
30	8	3	5	0	0	0	0	0	0	0	14
100.0	26.7	10.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	46.7

Q5. 人材確保状況②非正規職員(1)介護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
30	8	3	4	1	2	0	0	0	0	0	12
100.0	26.7	10.0	13.3	3.3	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0

Q5. 人材確保状況②非正規職員(2)看護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
30	7	7	3	1	0	0	0	0	0	0	12
100.0	23.3	23.3	10.0	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0

Q5. 人材確保状況②非正規職員(3)その他【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
30	7	0	7	2	0	0	0	0	0	0	14
100.0	23.3	0.0	23.3	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	46.7

Q5. 人材確保状況②うち人材紹介会社の活用(1)介護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
30	8	2	3	1	0	0	0	0	0	0	16
100.0	26.7	6.7	10.0	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	53.3

Q5. 人材確保状況②うち人材紹介会社の活用(2)看護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
30	10	3	1	1	0	0	0	0	0	0	15
100.0	33.3	10.0	3.3	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0

Q5. 人材確保状況②うち人材紹介会社の活用(3)その他【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
30	9	3	0	0	0	0	0	0	0	0	18
100.0	30.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0

Q5. 人材確保状況人材派遣会社の活用(1)介護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
30	8	4	7	1	0	0	0	0	0	0	10
100.0	26.7	13.3	23.3	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3

Q5. 人材確保状況人材派遣会社の活用(2)看護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
30	10	3	3	0	0	0	0	0	0	0	14
100.0	33.3	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	46.7

Q5. 人材確保状況人材派遣会社の活用(3)その他【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
30	13	1	0	0	0	0	0	0	0	0	16
100.0	43.3	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	53.3

Q5. 合計 介護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
30	1	2	10	5	7	1	0	0	0	0	4
100.0	3.3	6.7	33.3	16.7	23.3	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	13.3

Q5. 合計 看護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
30	2	2	13	5	0	0	0	0	0	0	8
100.0	6.7	6.7	43.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	26.7

Q5. 合計 その他【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
30	7	0	7	3	2	0	0	0	0	0	11
100.0	23.3	0.0	23.3	10.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	36.7

Q6. 職員採用の工夫

調査数	ハローワークや福祉人材センターを頻りに訪れている	求人に対し、仕事そのものの魅力や労働条件を掲載する等求人内容を工夫している	職員や知人と連絡を密にとり、人材についての情報の提供を受けている	採用について、従来より多くコストをかけている	自施設の理念やアピールポイントをHP等を介して対外的に発信している	介護資格や介護経験の有無にこだわらないようにしている	福祉系の教育機関出身者にこだわらないようにしている	新規卒業者や若手にこだわらないようにしている
30 100.0	6 20.0	13 43.3	12 40.0	12 40.0	17 56.7	12 40.0	14 46.7	16 53.3
	近隣の事業所と連携し、採用に関し情報交換をしている	福祉系教育機関への働きかけを積極的に行っている	採用説明会や職場体験を実施している	内定後のフォローをしっかりと行っている	くろみん認定など、国や地方自治体の認定等を取得している	子育て支援を行っている(子ども預かり所を設ける、保育費用支援等)	その他	特に行っていない
	3 10.0	6 20.0	5 16.7	15 50.0	1 3.3	6 20.0	0 0.0	0 0.0
								無回答
								2 6.7

Q7. 人材の確保に向けた自治体の取組として、効果的と考えるもの

調査数	若い世代に向けた介護業界のイメージアップ	職場体験を実施する施設への支援	新たに介護業界へ就職をする者が資格取得等に関する研修参加をする際の支援	多様な働き方(時短、夜間のみ、週休3日)の導入支援	元気高齢者(ボランティア等)の受入れ支援	介護助手の受入れ支援	外国人介護職員の受入れ支援	介護職員の住居借上支援
30 100.0	15 50.0	11 36.7	11 36.7	9 30.0	6 20.0	9 30.0	13 43.3	7 23.3
	人材紹介料の補助	潜在介護福祉士の(再)就職支援	ロボット・ICT活用による職員の負担軽減への支援	子育て世代が働きやすい環境の整備への支援	合同就職相談会の実施	介護福祉士養成施設に対する財政的支援	その他	自治体からの支援がなくても人材の確保ができています
	18 60.0	6 20.0	10 33.3	11 36.7	3 10.0	6 20.0	0 0.0	0 0.0
								無回答
								3 10.0

問8 今後、貴施設において外国人介護職員を受け入れる予定はありますか。新規に受け入れる場合の在留資格の希望についてあてはまるものをお選びください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1. 特定活動(経済連携協定「EPA」) | 5. 留学 |
| 2. 介護 | 6. その他(具体的に:) |
| 3. 技能実習(介護) | 7. 在留資格にこだわりはない |
| 4. 特定技能1号(介護) | 8. 新規に受け入れる予定はない |

問8で「1」～「6」のいずれかに回答した方にお伺いします。

問8-1 問8で回答した新規に受け入れを希望する外国人介護職員について、在留資格別に採用を希望する国籍をご記入ください。

在留資格	採用したい国籍										国籍にこだわりはない	無回答		
	インドネシア	フィリピン	ベトナム	中国	ミャンマー	カンボジア	ネパール	モンゴル	タイ	その他				
①【特定活動】(経済連携協定(EPA))	1	2	3									11		
②【介護】	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11			
③【技能実習】(介護)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11			
④【特定技能1号】(介護)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11			
⑤【留学】	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11			
⑥その他	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11			
⑦在留資格にこだわりはない	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11			

全ての方に伺います。

問9 外国人介護職員を、貴施設で受け入れるにあたり、自治体の取組として効果的と考えるものは次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---|-----------------------------------|
| 1. 在留資格の違いや、受入れ手続きの流れ等を理解するための研修やセミナーの実施 | 6. 外国人介護職員に対する介護に関する研修や日本語研修などの支援 |
| 2. 受入れのための入管手続きなどの事務の支援(施設向け相談窓口の設置) | 7. 介護福祉士試験合格のための支援 |
| 3. 受入れにあたり施設にかかる経費の補助等の経済的支援(住居費等) ※給与や紹介手数料は含まない | 8. その他() |
| 4. 外国人介護職員向け相談窓口等の生活支援 | 9. 自治体からの支援がなくても、十分受入れができる |
| 5. 受入れ施設の職員のための研修(教育方法や、文化等の理解、コミュニケーションの方法等) | |

Q8. 新規に受け入れる場合の在留資格の希望

調査数	特定活動(経済連携協定「EPA」)	介護	技能実習(介護)	特定技能1号(介護)	留学	その他	在留資格にこだわりはない	新規に受け入れる予定はない
30 100.0	3 10.0	9 30.0	5 16.7	13 43.3	1 3.3	1 3.3	2 6.7	7 23.3
								無回答 2 6.7

Q8. 在留資格で受入れる国(1)【特定活動】(経済連携協定(EPA))

調査数	インドネシア	フィリピン	ベトナム	中国	ミャンマー	カンボジア	ネパール	モンゴル	タイ	その他	国籍にこだわりはない	無回答
3 100.0	1 33.3	2 66.7	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3

Q8. 在留資格で受入れる国(2)【介護】

調査数	インドネシア	フィリピン	ベトナム	中国	ミャンマー	カンボジア	ネパール	モンゴル	タイ	その他	国籍にこだわりはない	無回答
9 100.0	2 22.2	2 22.2	3 33.3	1 11.1	3 33.3	2 22.2	1 11.1	1 11.1	2 22.2	0 0.0	5 55.6	0 0.0

Q8. 在留資格で受入れる国(3)【技能実習】(介護)

調査数	インドネシア	フィリピン	ベトナム	中国	ミャンマー	カンボジア	ネパール	モンゴル	タイ	その他	国籍にこだわりはない	無回答
5 100.0	2 40.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0

Q8. 在留資格で受入れる国(4)【特定技能1号】(介護)

調査数	インドネシア	フィリピン	ベトナム	中国	ミャンマー	カンボジア	ネパール	モンゴル	タイ	その他	国籍にこだわりはない	無回答
13 100.0	5 38.5	2 15.4	5 38.5	1 7.7	8 61.5	2 15.4	1 7.7	1 7.7	2 15.4	7 53.8	2 15.4	0 0.0

Q8. 在留資格で受入れる国(5)【留学】

調査数	インドネシア	フィリピン	ベトナム	中国	ミャンマー	カンボジア	ネパール	モンゴル	タイ	その他	国籍にこだわりはない	無回答
1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0

Q8. 在留資格で受入れる国(6)【その他】

調査数	インドネシア	フィリピン	ベトナム	中国	ミャンマー	カンボジア	ネパール	モンゴル	タイ	その他	国籍にこだわりはない	無回答
1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0

Q8. 在留資格で受入れる国(7)【在留資格にこだわりはない】

調査数	インドネシア	フィリピン	ベトナム	中国	ミャンマー	カンボジア	ネパール	モンゴル	タイ	その他	国籍にこだわりはない	無回答
2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0

Q9. 外国人介護職員を、受け入れるにあたり、自治体の取組として効果的と考えるもの

調査数	在留資格の違いや、受入れ手続きの流れ等を理解するための研修やセミナーの実施	受入れのための入管手続きなどの事務の支援(施設向け相談窓口の設置)	受入れにあたり施設にかかる経費の補助等の経済的支援(住居費等) ※給与や紹介手数料は含まない	外国人介護職員向け相談窓口等の生活支援	受入れ施設の職員のための研修(教育方法や、文化等の理解、コミュニケーションの方法等)	外国人介護職員に対する介護に関する研修や日本語研修などの支援	介護福祉士試験合格のための支援	その他
30 100.0	7 23.3	13 43.3	17 56.7	6 20.0	12 40.0	17 56.7	15 50.0	0 0.0
							自治体からの支援がなくても、十分受入れができる	無回答 1 3.3 3 10.0

問10 職員の早期離職防止や定着促進を図るために、実施しているものを教えてください。

(あてはまるものすべてに○)

1. 残業を少なくする、有給休暇を取りやすくする等の労働条件の改善に取り組んでいる
2. 本人の希望に応じた勤務体制にする等の労働条件の改善に取り組んでいる
3. 賃金水準を向上させている
4. 能力や仕事ぶりを評価し、賃金などの処遇に反映している
5. 職員の仕事内容と必要な能力等を明示している
6. キャリアに応じた給与体系を整備している
7. 非正規職員から正規職員への転換の機会を設けている
8. 新人の指導担当・アドバイザーを置いている
9. 能力開発を充実させている(社内研修実施、社外講習等の受講・支援等)
10. 管理者・リーダー層の部下育成や動機付け、能力向上に向けた教育研修に力を入れている
11. 仕事内容の希望を聞いて配置している
12. 悩み、不満、不安などの相談窓口を設けている(メンタルヘルス対策を含む)
13. 健康対策や健康管理に力を入れている
14. 職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図っている(定期的なミーティング、意見交換会、チームケア等)
15. 経営者・管理者と従業員が経営方針、ケア方針を共有する機会を設けている
16. 業務改善や効率化等による働きやすい職場作りに力を入れている
17. 介護ロボットやICT等の導入による働きやすい職場作りに力を入れている
18. 福利厚生を充実させ、職場内の交流を深めている(カラオケ、ボーリングなどの同好会、親睦会等の実施を含む)
19. 職場環境を整えている(休憩室、談話室、出社時に座れる席の確保等)
20. 子育て支援を行っている(子ども預かり所を設ける、保育費用支援等)
21. スポットワーク等(短時間・単発の就労や有償ボランティア)を受入れている
22. その他(具体的に)
23. 特に方策はとっていない

問11 『スポットワーク等(短時間・単発の就労や有償ボランティア)』の受入れについてどのように考えていますか。(○はひとつ)

1. すでに受け入れている	4. 必要ではない
2. 活用に向けて検討している	5. わからない
3. 必要だと思うが、具体的な検討などはしていない	

Q10.職員の早期離職防止や定着促進を図るため実施しているもの

調査数	残業を少なくする、有給休暇を取りやすくする等の労働条件の改善に取り組んでいる	本人の希望に応じた勤務体制にする等の労働条件の改善に取り組んでいる	賃金水準を向上させている	能力や仕事ぶりを評価し、賃金などの処遇に反映している	職員の仕事内容と必要な能力等を明示している	キャリアに応じた給与体系を整備している	非正規職員から正規職員への転換の機会を設けている	新人の指導担当・アドバイザーを置いている
30 100.0	22 73.3	14 46.7	17 56.7	16 53.3	8 26.7	15 50.0	17 56.7	7 23.3
	能力開発を充実させている(社内研修実施、社外講習等の受講・支援等)	管理者・リーダー層の部下育成や動機付け、能力向上に向けた教育研修に力を入れている	仕事内容の希望を聞いて配置している	悩み、不満、不安などの相談窓口を設けている(メンタルヘルス対策を含む)	健康対策や健康管理に力を入れている	職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図っている(定期的なミーティング、意見交換会、チームケア等)	経営者・管理者と従業員が経営方針、ケア方針を共有する機会を設けている	業務改善や効率化等による働きやすい職場作りに力を入れている
	9 30.0	8 26.7	10 33.3	14 46.7	7 23.3	13 43.3	8 26.7	11 36.7
	介護ロボットやICT等の導入による働きやすい職場作りに力を入れている	福利厚生を充実させ、職場内の交流を深めている(カラオケ、ボーリングなどの同好会、親睦会等の実施を含む)	職場環境を整えている(休憩室、談話室、出社時に座れる席の確保等)	子育て支援を行っている(子ども預かり所を設ける、保育費用支援等)	スポットワーク等(短時間・単発の就労や有償ボランティア)を受入れている	その他	特に方策はとっていない	無回答
	12 40.0	7 23.3	9 30.0	6 20.0	8 26.7	0 0.0	0 0.0	2 6.7

Q11.『スポットワーク等(短時間・単発の就労や有償ボランティア)』の受入れについて

調査数	すでに受け入れている	活用に向けて検討している	必要だと思うが、具体的な検討などはしていない	必要ではない	わからない	無回答
30 100.0	13 43.3	3 10.0	7 23.3	3 10.0	3 10.0	1 3.3

問12 『スポットワーク等（短時間・単発の就労や有償ボランティア）』について、どのようなイメージを持っていますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 柔軟に人材を確保できる	5. 人材の質にばらつきがある
2. 急な欠員に対応できる	6. 教育・研修に時間がかかる
3. 採用コストを抑えられる	7. 職員との連携や利用者とのコミュニケーションが取りづらい
4. 働き方改革につながる	8. イメージがわからない

問13 貴施設で採用しているスポットワーク等の働き方について教えてください。

（あてはまるものすべてに○）

1. 直接雇用の短時間勤務者	5. 雇用仲介アプリを使ったスキマバイト
2. 直接雇用の単発バイト	6. ギグワーク（業務委託契約した単発の仕事）
3. 人材派遣	7. その他（ ）
4. 有償ボランティア	8. スポットワーク等を活用していない

問14 『介護助手』の受入れについてどのように考えていますか。（○はひとつ）

1. すでに受け入れている	4. 必要だと思うが、具体的な検討などはしていない
2. 受け入れる準備をしている	5. 必要ではない
3. 受け入れるかの検討をしている	6. わからない

問15 貴施設における介護職員等処遇改善加算の届出状況を教えてください。（○はひとつ）

1. 届出をしている（届出予定を含む）	→ 問15-1へ
2. 届出をしていない	→ 問15-2へ

問15で「1. 届出をしている（届出予定を含む）」と回答した方にお伺いします。

問15-1 貴施設では、どのように介護職員等処遇改善計画書の周知を行っていますか。

（あてはまるものすべてに○）

1. 掲示板等への掲示	3. 面談・会議等での説明
2. メールや閲覧形式等による通知	4. その他（具体的に ）

問15で「2. 届出をしていない」と回答した方にお伺いします。

問15-2 介護職員等処遇改善加算の届出を行わない理由について、教えてください。

（あてはまるものすべてに○）

1. 対象の制約のため困難	5. 非常勤職員等の処遇上の問題
2. 事務作業が煩雑	6. 賃金改善の必要性がない
3. 追加費用負担の発生	7. 算定要件を達成できない
4. 利用者負担の発生	8. その他（具体的に ）

Q12『スポットワーク等（短時間・単発の就労や有償ボランティア）』について、どのようなイメージを持っていますか

調査数	柔軟に人材を確保できる	急な欠員に対応できる	採用コストを抑えられる	働き方改革につながる	人材の質にばらつきがある	教育・研修に時間がかかる	職員との連携や利用者とのコミュニケーションが取りづらい	イメージがわからない
30	12	9	3	7	17	8	9	1
100.0	40.0	30.0	10.0	23.3	56.7	26.7	30.0	3.3
無回答								
2								
6.7								

Q13.スポットワーク等の働き方について

調査数	直接雇用の短時間勤務者	直接雇用の単発バイト	人材派遣	有償ボランティア	雇用仲介アプリを使ったスキマバイト	ギグワーク（業務委託契約した単発の仕事）	その他	スポットワーク等を活用していない
30	9	4	4	0	8	0	0	11
100.0	30.0	13.3	13.3	0.0	26.7	0.0	0.0	36.7
無回答								
2								
6.7								

Q14『介護助手』の受入れについて

調査数	すでに受け入れている	受け入れる準備をしている	受け入れるかの検討をしている	必要だと思うが、具体的な検討などはしていない	必要ではない	わからない	無回答
30	23	0	1	5	0	0	1
100.0	76.7	0.0	3.3	16.7	0.0	0.0	3.3

Q15.介護職員等処遇改善加算の届出状況

調査数	届出をしている（届出予定を含む）	届出をしていない	無回答
30	29	0	1
100.0	96.7	0.0	3.3

Q15-1.介護職員等処遇改善計画書の周知

調査数	掲示板等への掲示	メールや閲覧形式等による通知	面談・会議等での説明	その他	無回答
29	23	7	6	0	0
100.0	79.3	24.1	20.7	0.0	0.0

Q15-2.介護職員等処遇改善加算の届出を行わない理由

調査数	対象の制約のため困難	事務作業が煩雑	追加費用負担の発生	利用者負担の発生	非常勤職員等の処遇上の問題	賃金改善の必要性がない	算定要件を達成できない	その他
0	0	0	0	0	0	0	0	0
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答								
0								
0.0								

全ての方に伺います。

問 16 令和6年度に離職（注1）した人数は何名ですか。

注1)「離職者」とは、令和6年度中に施設を退職したり、解雇された者をいい、他企業への出向者・出向復帰者を
含み、同一企業内での転出入者を除く。

注2) 正規職員・非正規職員とは

- 正規職員(雇用している労働者で雇用期間の定めのない者)
- 非正規職員(正規職員以外の労働者(契約、嘱託、パートなど))
- 常勤労働者(1週の所定労働時間が主たる正規職員と同じ者)
- 短時間労働者(1週の所定労働時間が主たる正規職員に比べ短い者)

	介護職員	看護職員	その他
①正規職員（注2）	人	人	人
②非正規職員（注2）	人	人	人
常勤労働者	人	人	人
短時間労働者	人	人	人

待機者及び入退所者についてお伺いします。

問 17 令和7年10月1日時点の待機者の人数を記入してください。

人

問 18 貴施設における待機者数は満床にするために十分であると感じていますか。（〇はひとつ）

1. 十分である	2. どちらかといえば十分	3. どちらかといえば十分ではない	4. 十分ではない
----------	---------------	-------------------	-----------

問 18で「3」「4」のいずれかに回答した方にお伺いします。

問 18-1 待機者数が、満床にするために十分ではない理由として考えられる要因はどれですか。

(あてはまるものすべてに〇)

1. 近隣に高齢者施設が多い	
2. 施設へのアクセスが悪い	
3. 居住費等の利用料が高額である	
4. 医療処置など特別なケアを要する入所者の受入が困難である	
5. 建物・設備の老朽化	
6. 入所希望者に施設の特色が伝わっていない	
7. その他（具体的に： _____）	

Q16.離職人数別①正規職員(1)介護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	無回答
30	0	2	11	10	0	0	0	0	0	0	7
100.0	0.0	6.7	36.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	23.3

Q16.離職人数別①正規職員(2)看護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	無回答
30	4	5	12	0	0	0	0	0	0	0	9
100.0	13.3	16.7	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	30.0

Q16.離職人数別①正規職員(3)その他【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	無回答
30	6	4	9	0	0	0	0	0	0	0	11
100.0	20.0	13.3	30.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	36.7

Q16.離職人数別②非正規職員(1)介護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	無回答
30	3	7	7	2	0	0	0	0	0	0	11
100.0	10.0	23.3	23.3	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	36.7

Q16.離職人数別②非正規職員(2)看護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	無回答
30	6	4	5	2	0	0	0	0	0	0	13
100.0	20.0	13.3	16.7	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	43.3

Q16.離職人数別②非正規職員(3)その他【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	無回答
30	2	4	6	5	0	0	0	0	0	0	13
100.0	6.7	13.3	20.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	43.3

Q16.離職人数別 ②のうち常勤労働者(1)介護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	無回答
30	4	3	3	0	0	0	0	0	0	0	20
100.0	13.3	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7

Q16.離職人数別 ②のうち常勤労働者(2)看護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	無回答
30	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	23
100.0	20.0	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	76.7

Q16.離職人数別 ②のうち常勤労働者(3)その他【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	無回答
30	6	2	1	1	0	0	0	0	0	0	20
100.0	20.0	6.7	3.3	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7

Q16.離職人数別 ②のうち短時間労働者(1)介護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	無回答
30	3	7	4	1	0	0	0	0	0	0	15
100.0	10.0	23.3	13.3	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0

Q16.離職人数別 ②のうち短時間労働者(2)看護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	無回答
30	5	1	5	2	0	0	0	0	0	0	17
100.0	16.7	3.3	16.7	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	56.7

Q16.離職人数別 ②のうち短時間労働者(3)その他【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	無回答
30	2	6	5	3	0	0	0	0	0	0	14
100.0	6.7	20.0	16.7	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	46.7

Q16.合計【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	無回答
30	0	0	3	7	8	6	0	0	0	0	6
100.0	0.0	0.0	10.0	23.3	26.7	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0

Q17.待機者の人数【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	無回答
30	16	2	7	0	0	0	0	0	0	0	5
100.0	53.3	6.7	23.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7

Q17.待機者の人数

調査数	平均	最小値	最大値
9	2.56	1.00	5.00
100.0			

Q18.待機者数は満床にするために十分であると感じていますか

調査数	十分である	どちらかといえ ば十分	どちらかといえ ば十分ではない	十分ではない	無回答
30	1	3	8	16	2
100.0	3.3	10.0	26.7	53.3	6.7

全ての方に伺います。

問 19 空床を解消するために必要な支援として効果が期待できると思うものはどれですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 特定の入所希望者への経済的支援
2. 従来型への改築・新築の推奨・支援
3. 職員の加配に対する財政支援
4. 医療ニーズなど特別なケアを要する入所希望者受け入れへの財政支援
5. 要介護1・2の特列入所の要件緩和
6. 入退所プロセスの簡素化
7. 介護スタッフ施設職員の安定的な供給
8. 高齢者施設・住まいの相談センターの機能強化
9. その他 (具体的に:)

問 20 貴施設では次のことを理由に、入所(継続)を断ることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | | |
|---------|-----------|----------------|-----------|
| 1. 医療処置 | → 問 20-1へ | 3. 医療処置及び認知症以外 | → 問 20-5へ |
| 2. 認知症 | → 問 20-3へ | 4. 断ることはない | → 問 21へ |

問 20で「1. 医療処置」と回答した方にお伺いします。

問 20-1 何の医療処置を理由に入所を断ることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|---------------------------------------|
| 1. 点滴の管理 | 9. 経管栄養(経鼻経管栄養) |
| 2. 中心静脈栄養 | 10. 経管栄養(胃ろう・腸ろう) |
| 3. 透析 | 11. 痰吸引 |
| 4. ストーマ(人工肛門)の処置 | 12. モニター測定(血圧、心拍、酸素飽和度等) |
| 5. 酸素療法 | 13. 褥瘡の処置 |
| 6. レスピレーター(人工呼吸器) | 14. カテーテル(コンドームカテーテル、留置カテーテル、ウロストーマ等) |
| 7. 気管切開の処置 | 15. その他 |
| 8. 疼痛の看護 | (具体的に:) |

問 20で「1. 医療処置」と回答した方にお伺いします。

問 20-2 貴施設では、医療処置を理由に、入所(継続)を断る場合、次のいずれかの機関を紹介していますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|---------------|
| 1. 介護療養型医療施設(介護医療院) | 4. どこも紹介していない |
| 2. 医療療養型医療施設 | 5. その他 |
| 3. 一般病床 | (具体的に:) |

Q18-1.待機者数が、満床にするために十分ではない理由として考えられる要因はどれですか

調査数	近隣に高齢者施設が多い	施設へのアクセスが悪い	居住費等の利用料が高額である	医療処置など特別なケアを要する入所者の受入が困難である	建物・設備の老朽化	入所希望者に施設の特徴が伝わっていない	その他	無回答
24 100.0	16 66.7	6 25.0	5 20.8	11 45.8	4 16.7	4 16.7	1 4.2	1 4.2

Q19.空床を解消するために必要な支援として効果が期待できると思うものはどれですか

調査数	特定の入所希望者への経済的支援	従来型への改築・新築の推奨・支援	職員の加配に対する財政支援	医療ニーズなど特別なケアを要する入所希望者受け入れへの財政支援	要介護1・2の特列入所の要件緩和	入退所プロセスの簡素化	介護スタッフ施設職員の安定的な供給	高齢者施設・住まいの相談センターの機能強化
30 100.0	8 26.7	5 16.7	15 50.0	17 56.7	6 20.0	10 33.3	18 60.0	2 6.7
							その他	無回答
							1 3.3	2 6.7

Q20.入所(継続)を断る理由

調査数	医療処置	認知症	医療処置及び認知症以外	断ることはない	無回答
30 100.0	23 76.7	10 33.3	5 16.7	4 13.3	2 6.7

Q20-1.何の医療処置を理由に入所を断ることがありますか

調査数	点滴の管理	中心静脈栄養	透析	ストーマ(人工肛門)の処置	酸素療法	レスピレーター(人工呼吸器)	気管切開の処置	疼痛の看護
23 100.0	6 26.1	20 87.0	21 91.3	1 4.3	9 39.1	18 78.3	17 73.9	8 34.8
	経管栄養(経鼻経管栄養)	経管栄養(胃ろう・腸ろう)	痰吸引	モニター測定(血圧、心拍、酸素飽和度等)	褥瘡の処置	カテーテル(コンドームカテーテル、留置カテーテル、ウロストーマ等)	その他	無回答
	15 65.2	2 8.7	4 17.4	8 34.8	0 0.0	1 4.3	3 13.0	0 0.0

Q20-2.医療処置を理由に、入所(継続)を断る場合、いずれかの機関を紹介していますか

調査数	介護療養型医療施設(介護医療院)	医療療養型医療施設	一般病床	どこも紹介していない	その他	無回答
23 100.0	8 34.8	11 47.8	7 30.4	4 17.4	3 13.0	2 8.7

問 20 で「2. 認知症」と回答した方にお伺いします。

問 20-3 認知症状を理由に入所（継続）を断る場合、その方の認知症高齢者の日常生活自立度はどの程度ですか。（〇はひとつ）

1. II 以上 2. III 以上 3. IV 以上 4. M 以上 5. その他（具体的に ）

問 20 で「2. 認知症」と回答した方にお伺いします。

問 20-4 認知症状を理由に入所（継続）を断る場合、断る理由となる具体的な症状はどのようなものですか。（あてはまるものすべてに〇）

1. 昼夜逆転がある	5. 収集癖がある
2. 大声を出す	6. 物や衣類を壊す
3. 介護に抵抗する	7. 他者に手を出す
4. 1人で出たがる	8. その他 （具体的に ）

問 20 で「3. 医療処置及び認知症以外」と回答した方にお伺いします。

問 20-5 具体的にどのような理由でしょうか。

自由記載

全ての方に伺います。

問 21 貴施設では「身元保証人」がいないことを理由に、入所（継続）を断ることがありますか。

（〇はひとつ）

1. はい 2. いいえ 3. その他（具体的に ）

問 21 で「1. はい」と回答した方にお伺いします。

問 21-1 入所（継続）を断る理由について記入してください。

自由記載

Q20-3 認知症状を理由に入所（継続）を断る場合、その方の認知症高齢者の日常生活自立度はどの程度ですか

調査数	II 以上	III 以上	IV 以上	M 以上	その他	無回答
10	0	0	0	4	5	1
100.0	0.0	0.0	0.0	40.0	50.0	10.0

Q20-4 認知症状を理由に入所（継続）を断る場合、断る理由となる具体的な症状はどのようなものですか

調査数	昼夜逆転がある	大声を出す	介護に抵抗する	1人で出たがる	収集癖がある	物や衣類を壊す	他者に手を出す	その他
10	1	5	4	3	0	3	9	1
100.0	10.0	50.0	40.0	30.0	0.0	30.0	90.0	10.0
								無回答
								0
								0.0

Q21 「身元保証人」がいないことを理由に、入所（継続）を断ることがありますか

調査数	はい	いいえ	その他	無回答
30	10	11	5	4
100.0	33.3	36.7	16.7	13.3

施設のサービスや運営、取組状況についてお伺いします。

全ての方に伺います。

問 22 貴施設ではショートステイの利用申込みは、通常、入所日の何日くらい前なら希望の日程で対応できますか。(〇はひとつ)

1. 前日	4. 2週間から1か月前	7. ショートステイを実施していない → 問 24 へ
2. 2日前から1週間前	5. 1か月から2か月前	
3. 1週間から2週間前	6. 2か月以上前	

問 23 ショートステイの利用申込みについて受入れできない場合、どのようなことが理由になっていますか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 利用希望日が満床だった	3. 重度の人への対応が困難であった
2. 医療処置の対応が困難であった	4. その他(具体的に)
	5. 受入れできないことがない

問 24 令和7年10月1日時点の貴施設の入所者に対するリハビリテーションの実施状況についてお伺いします。

リハビリ実施人数(実人数)と、うち個別リハビリ実施人数(実人数)を記入してください。
(複数種類のリハビリを行っている場合は、それぞれのメニューに重複して計上してください)

	リハビリ実施人数(実人数)		うち個別リハビリ実施人数(実人数)
①理学療法	人		人
②作業療法	人		人
③言語療法	人		人

問 25 貴施設の運営やサービス向上のために、どのような情報や支援が必要ですか。次のうち必要と考えられる情報・支援を3つまでお選びください。(〇は3つまで)

1. 介護保険制度・介護報酬等に関する情報	11. 定員の空き状況、空室・空床に関する情報
2. 介護保険以外の保健・福祉サービスに関する情報	12. 緊急時ショートステイや入院などの受入れ先情報
3. 情報提供・相談等の窓口	13. 事業者連絡会等に関する運営サポート、バックアップ
4. 介護技術・方法に関する情報	14. ケアカンファレンス等の運営サポート、バックアップ
5. 認知症ケアに関する情報	15. サービス展開のための土地・建物に関する情報
6. 医療処置を必要とする場合のケアに関する情報	16. その他(具体的に)
7. 困難事例、多問題事例に関するケース情報提供、助言	17. 特に必要な情報・支援はない
8. 介護予防に関する情報	
9. 研修・講座等に関する情報	
10. 周辺事業所や医療機関に関する情報	

Q22. ショートステイの利用申込みは、入所日の何日くらい前なら希望の日程で対応できますか

調査数	前日	2日前から1週間前	1週間から2週間前	2週間から1か月前	1か月から2か月前	2か月以上前	ショートステイを実施していない	無回答
30	6	8	5	2	3	4	0	2
100.0	20.0	26.7	16.7	6.7	10.0	13.3	0.0	6.7

Q23. ショートステイの利用申込みについて受入れできない場合の理由

調査数	利用希望日が満床だった	医療処置の対応が困難であった	重度の人への対応が困難であった	その他	受入れできないことがない	無回答
28	25	12	6	2	1	0
100.0	89.3	42.9	21.4	7.1	3.6	0.0

Q24. 理学療法(1)リハビリ実施人数(実人数)【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
30	0	0	3	1	3	1	2	1	3	1	15
100.0	0.0	0.0	10.0	3.3	10.0	3.3	6.7	3.3	10.0	3.3	50.0

Q24. 理学療法(2)うち個別リハビリ実施人数(実人数)【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
30	0	0	3	1	3	2	1	1	3	1	15
100.0	0.0	0.0	10.0	3.3	10.0	6.7	3.3	3.3	10.0	3.3	50.0

Q24. 作業療法(1)リハビリ実施人数(実人数)【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
30	0	0	4	0	5	1	3	0	3	0	14
100.0	0.0	0.0	13.3	0.0	16.7	3.3	10.0	0.0	10.0	0.0	46.7

Q24. 作業療法(2)うち個別リハビリ実施人数(実人数)【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
30	0	0	4	1	5	1	2	0	3	0	14
100.0	0.0	0.0	13.3	3.3	16.7	3.3	6.7	0.0	10.0	0.0	46.7

Q24. 言語療法(1)リハビリ実施人数(実人数)【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
30	1	3	2	2	1	1	3	0	0	0	17
100.0	3.3	10.0	6.7	6.7	3.3	3.3	10.0	0.0	0.0	0.0	56.7

Q24. 言語療法(2)うち個別リハビリ実施人数(実人数)【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
30	2	2	3	2	0	1	3	0	0	0	17
100.0	6.7	6.7	10.0	6.7	0.0	3.3	10.0	0.0	0.0	0.0	56.7

Q25. 運営やサービス向上のために、必要と考えられる情報・支援

調査数	介護保険制度・介護報酬等に関する情報	介護保険以外の保健・福祉サービスに関する情報	情報提供・相談等の窓口	介護技術・方法に関する情報	認知症ケアに関する情報	医療処置を必要とする場合のケアに関する情報	困難事例、多問題事例に関するケース情報提供、助言	介護予防に関する情報
30	21	4	3	3	5	4	11	0
100.0	70.0	13.3	10.0	10.0	16.7	13.3	36.7	0.0
	研修・講座等に関する情報	周辺事業所や医療機関に関する情報	定員の空き状況、空室・空床に関する情報	緊急時ショートステイや入院などの受入れ先情報	事業者連絡会等に関する運営サポート、バックアップ	ケアカンファレンス等の運営サポート、バックアップ	サービス展開のための土地・建物に関する情報	その他
	6	5	1	1	1	1	2	2
	20.0	16.7	3.3	3.3	3.3	3.3	6.7	6.7
							特に必要な情報・支援はない	無回答
							0	4
							0.0	13.3

問 26 地域とどのような内容で連携をとっていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 地域の行事への参加	5. 地元商店街や企業からの商品等購入
2. 講師として指導してもらう	6. 認知症サポーター養成講座の開催
3. 施設イベントへの招待	7. 災害対策・避難訓練
4. 小学校・中学校の体験学習	8. その他(具体的に)
	9. 特にない

問 27 介護ロボット等、ICT機器の導入や利用についてどのような課題・問題があるとお考えですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 導入コストが高い	7. 清掃や消耗品管理などの維持管理が大変である
2. どのような介護ロボットやICT機器があるかわからない	8. 投資に見合うだけの効果がない
3. ケアに介護ロボットを活用することに違和感を覚える	9. 介護現場の実態に合う介護ロボットやICT機器がない、現場の役に立つ介護ロボットやICT機器がない
4. 技術的に使いこなせるか心配である	10. その他(具体的に)
5. 誤作動の不安がある	11. 課題・問題は特にない
6. 設置や保管等に場所をとられてしまう	

Q26.地域とどのような内容で連携をとっていますか

調査数	地域の行事への参加	講師として指導してもらう	施設イベントへの招待	小学校・中学校の体験学習	地元商店街や企業からの商品等購入	認知症サポーター養成講座の開催	災害対策・避難訓練	その他
30	18	1	12	4	0	0	12	5
100.0	60.0	3.3	40.0	13.3	0.0	0.0	40.0	16.7
							特にない	無回答
							2	2
							6.7	6.7

Q27.介護ロボット等、ICT機器の導入や利用についての課題・問題

調査数	導入コストが高い	どのような介護ロボットやICT機器があるかわからない	ケアに介護ロボットを活用することに違和感を覚える	技術的に使いこなせるか心配である	誤作動の不安がある	設置や保管等に場所をとられてしまう	清掃や消耗品管理などの維持管理が大変である	投資に見合うだけの効果がない
30	26	1	1	12	3	4	7	3
100.0	86.7	3.3	3.3	40.0	10.0	13.3	23.3	10.0
					介護現場の実態に合う介護ロボットやICT機器がない、現場の役に立つ介護ロボットやICT機器がない	その他	課題・問題は特にない	無回答
					5	3	1	2
					16.7	10.0	3.3	6.7

問 28 ボランティアの受け入れ頻度とよこはまシニアボランティアポイント事業の実施状況について教えてください。(1)、(2)それぞれに○を一つ)

	1. ほぼ毎日	2. 週1日(月4回)程度	3. 月2回程度	4. 月1回程度	5. 年に数回程度	6. 受け入れていない
(1) よこはまシニアボランティアポイント事業	1	2	3	4	5	6
(2) その他のボランティア	1	2	3	4	5	6

問 28 の (1) (2) で「1」～「5」のいずれかに回答した方にお伺いします。

問 28-1 施設で受け入れているボランティアの活動内容をお選びください。(1)、(2)それぞれあてはまるものすべてに○)

(1) よこはまシニアボランティアの活動内容

1. レクリエーションなどの指導、参加支援(音楽の演奏・踊り等も含む)	6. 話し相手
2. お茶出しや食堂内での配膳、下膳などの補助	7. 洗濯物の整理や衣類の縫製
3. 食事介助の補助	8. 入浴後の整髪、ドライヤーかけ、からだ拭き等
4. 散歩、外出、館内移動の補助	9. 施設への利用者の送迎
5. 施設関係行事の手伝い	10. その他(具体的にお書きください)

(2) その他のボランティアの活動内容

1. レクリエーションなどの指導、参加支援(音楽の演奏・踊り等も含む)	6. 話し相手
2. お茶出しや食堂内での配膳、下膳などの補助	7. 洗濯物の整理や衣類の縫製
3. 食事介助の補助	8. 入浴後の整髪、ドライヤーかけ、からだ拭き等
4. 散歩、外出、館内移動の補助	9. 施設への利用者の送迎
5. 施設関係行事の手伝い	10. その他(具体的にお書きください)

Q28.ボランティアの受け入れ頻度(1)よこはまシニアボランティアポイント事業

調査数	ほぼ毎日	週1日(月4回)程度	月2回程度	月1回程度	年に数回程度	受け入れていない	無回答
30	1	3	1	4	3	12	6
100.0	3.3	10.0	3.3	13.3	10.0	40.0	20.0

Q28.ボランティアの受け入れ頻度(2)その他のボランティア

調査数	ほぼ毎日	週1日(月4回)程度	月2回程度	月1回程度	年に数回程度	受け入れていない	無回答
30	0	6	1	1	8	11	3
100.0	0.0	20.0	3.3	3.3	26.7	36.7	10.0

Q28-1.ボランティアの活動内容(1)よこはまシニアボランティアポイント事業

調査数	レクリエーションなどの指導、参加支援(音楽の演奏・踊り等も含む)	お茶出しや食堂内での配膳、下膳などの補助	食事介助の補助	散歩、外出、館内移動の補助	施設関係行事の手伝い	話し相手	洗濯物の整理や衣類の縫製	入浴後の整髪、ドライヤーかけ、からだ拭き等
12	9	0	0	1	0	2	0	0
100.0	75.0	0.0	0.0	8.3	0.0	16.7	0.0	0.0
						施設への利用者の送迎	その他	無回答
						0	1	1
						0.0	8.3	8.3

Q28-1.ボランティアの活動内容(2)その他のボランティアの活動内容

調査数	レクリエーションなどの指導、参加支援(音楽の演奏・踊り等も含む)	お茶出しや食堂内での配膳、下膳などの補助	食事介助の補助	散歩、外出、館内移動の補助	施設関係行事の手伝い	話し相手	洗濯物の整理や衣類の縫製	入浴後の整髪、ドライヤーかけ、からだ拭き等
16	14	4	0	1	4	2	1	3
100.0	87.5	25.0	0.0	6.3	25.0	12.5	6.3	18.8
						施設への利用者の送迎	その他	無回答
						0	1	0
						0.0	6.3	0.0

全ての方に伺います。

問 29 貴施設を運営する上での問題点はどれですか。(〇は3つまで)

1. 今の介護報酬では、人材の確保・定着のために十分な賃金を払えない	2. 経営(収支)が苦しく、労働条件や労働環境改善をしたくても出来ない	3. 良質な人材の確保が難しい	4. 新規利用者の確保が難しい	5. 介護従事者の介護業務に関する知識や技術が不足している	6. 介護従事者の介護業務に臨む意欲や姿勢に問題がある	7. 管理者の指導・管理能力が不足している	8. 教育・研修の時間が十分に取れない	9. 介護従事者間のコミュニケーションが不足している	10. 経営者・管理者と職員間のコミュニケーションが不足している	11. 利用者や利用者の家族の介護サービスに対する理解が不足している	12. 介護保険の改正等についての的確な情報や説明が得られない	13. 指定介護サービス提供に関する書類作成が煩雑で、時間に追われている	14. 雇用管理等についての情報や指導が不足している	15. その他(具体的に)	16. 特に問題はない
------------------------------------	-------------------------------------	-----------------	-----------------	-------------------------------	-----------------------------	-----------------------	---------------------	----------------------------	----------------------------------	------------------------------------	---------------------------------	--------------------------------------	----------------------------	----------------	-------------

施設の老朽化対策について伺います。

問 30 施設の築年数をお選びください。(あてはまるもの1つに〇)

注1)増築をした施設の場合、既存建物の築年数をお選びください。

1. 0～4年	5. 20～24年	9. 40～44年
2. 5～9年	6. 25～29年	10. 45～49年
3. 10～14年	7. 30～34年	11. 50年以上
4. 15～19年	8. 35～39年	

問 31 施設の大規模修繕の予定をお選びください。(あてはまるもの1つに〇)

1. 大規模修繕の具体的な予定が10年以内にある	2. 大規模修繕の必要性を感じているが、具体的な予定を立てられていない	3. 大規模修繕を10年以内に実施する必要性を感じていない
--------------------------	-------------------------------------	-------------------------------

※大規模修繕に該当する例:施設の全体または広範囲、複数個所にわたって実施するもの(外壁補修、屋上防水の更新、居室やトイレの内装リニューアル、照明設備のLED化、非常用自家発電設備の導入、空調配管の更新、エレベーターの更新、厨房設備の更新、浴槽の交換等。)

※大規模修繕に該当しない例:施設の一部で実施するもの、応急的対応・メンテナンス行為(外壁調査、屋上防水の部分的な補修、漏水した部分のみの天井の補修、電球の交換、エレベーターの定期保守・メンテナンス等。)

Q29.施設を運営する上での問題点

調査数	今の介護報酬では、人材の確保・定着のために十分な賃金を払えない	経営(収支)が苦しく、労働条件や労働環境改善をしたくても出来ない	良質な人材の確保が難しい	新規利用者の確保が難しい	介護従事者の介護業務に関する知識や技術が不足している	介護従事者の介護業務に臨む意欲や姿勢に問題がある	管理者の指導・管理能力が不足している	教育・研修の時間が十分に取れない
30 100.0	15 50.0	11 36.7	16 53.3	9 30.0	1 3.3	1 3.3	2 6.7	6 20.0
	介護従事者間のコミュニケーションが不足している	経営者・管理者と職員間のコミュニケーションが不足している	利用者や利用者の家族の介護サービスに対する理解が不足している	介護保険の改正等についての的確な情報や説明が得られない	指定介護サービス提供に関する書類作成が煩雑で、時間に追われている	雇用管理等についての情報や指導が不足している	その他	特に問題はない
	1 3.3	1 3.3	0 0.0	0 0.0	6 20.0	1 3.3	1 3.3	0 0.0
								無回答
								3 10.0

Q30.施設の築年数

調査数	0～4年	5～9年	10～14年	15～19年	20～24年	25～29年	30～34年	35～39年
30 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	9 30.0	15 50.0	5 16.7	0 0.0	0 0.0
					40～44年	45～49年	50年以上	無回答
					0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 3.3

Q31.施設の大規模修繕の予定

調査数	大規模修繕の具体的な予定が10年以内にある	大規模修繕の必要性を感じているが、具体的な予定を立てられていない	大規模修繕を10年以内に実施する必要性を感じていない	無回答
30 100.0	6 20.0	16 53.3	4 13.3	4 13.3

問 31 で 1 と回答した方にお伺いします。

問 31-1 予定している大規模修繕の概要を記入してください。

※該当しない場合、「0」とご記入ください。

※不明な場合、「-」とご記入ください。

※エリア・棟を分けて発注する等、工事が複数の期にわたる場合には、まとめて記載していただいて構いません。

※設計管理料や工事に伴う一時移転等の付随する費用が発生した場合には、合わせてご記入ください。

①時期 (西暦)	②工事費総額 (税込)	③工事費の資金調達 (税込)				④工事内容 (あてはまるものすべてに○)
		※②の内訳 (概数)				
		ア 自己資金	イ 補助金	ウ 借入金	エ その他寄付等	
年	約 万円	約 万円	約 万円	約 万円	約 万円	01 外壁 02 屋根/屋上防水 03 内装 04 電気設備 05 空調設備 06 給排水設備 07 EV等昇降機 08 消防設備 09 その他の設備機器 ()

問 31 で 2 と回答した方にお伺いします。

問 31-2 大規模修繕の具体的な予定が立てられない理由をお選びください。(あてはまるものすべてに○)

【準備資金の不足】	
1. 自己資金を十分に確保できない (具体的に))
2. 活用できる補助制度がない)
3. 借入金を十分に借りられない (具体的に))
4. その他 ()
【工事、用地や代替施設の確保等】	
5. 建築価格や資材価格が高騰している)
6. 用地の確保が困難)
7. 工事中に利用者と職員が移転して事業を継続する代替施設の確保が困難)
8. 作業スペースがなく (狭く)、重機や足場を組むことが困難)
9. 資材の搬入、残土搬出、資材置き場、仮設事務所のスペースが困難)
10. その他 ()
【その他】	
()

Q31-1. 予定している大規模修繕の概要①時期(西暦)【クラス分け】

調査数	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	無回答
6	0	1	1	0	0	0	4
100.0	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	66.7

Q31-1. 予定している大規模修繕の概要②工事費総額(税込)【クラス分け】

調査数	0円	1~100 0万円未 満	1000~ 2000万 円未満	2000~ 3000万 円未満	3000~ 4000万 円未満	4000~ 5000万 円未満	5000~ 6000万 円未満	6000~ 7000万 円未満	7000~ 8000万 円未満	8000~ 9000万 円未満	9000~ 10000 万円未満	10000 万円以上	無回答
6	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	4
100.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7

Q31-1. 予定している大規模修繕の概要③工事費の資金調達(税込)ア 自己資金【クラス分け】

調査数	0円	1~100 0万円未 満	1000~ 2000万 円未満	2000~ 3000万 円未満	3000~ 4000万 円未満	4000~ 5000万 円未満	5000~ 6000万 円未満	6000~ 7000万 円未満	7000~ 8000万 円未満	8000~ 9000万 円未満	9000~ 10000 万円未満	10000 万円以上	無回答
6	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
100.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7

Q31-1. 予定している大規模修繕の概要③工事費の資金調達(税込)イ 補助金【クラス分け】

調査数	0円	1~100 0万円未 満	1000~ 2000万 円未満	2000~ 3000万 円未満	3000~ 4000万 円未満	4000~ 5000万 円未満	5000~ 6000万 円未満	6000~ 7000万 円未満	7000~ 8000万 円未満	8000~ 9000万 円未満	9000~ 10000 万円未満	10000 万円以上	無回答
6	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
100.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	83.3

Q31-1. 予定している大規模修繕の概要③工事費の資金調達(税込)ウ 借入金【クラス分け】

調査数	0円	1~100 0万円未 満	1000~ 2000万 円未満	2000~ 3000万 円未満	3000~ 4000万 円未満	4000~ 5000万 円未満	5000~ 6000万 円未満	6000~ 7000万 円未満	7000~ 8000万 円未満	8000~ 9000万 円未満	9000~ 10000 万円未満	10000 万円以上	無回答
6	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	5
100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	83.3

Q31-1. 予定している大規模修繕の概要③工事費の資金調達(税込)エ その他寄付等【クラス分け】

調査数	0円	1~100 0万円未 満	1000~ 2000万 円未満	2000~ 3000万 円未満	3000~ 4000万 円未満	4000~ 5000万 円未満	5000~ 6000万 円未満	6000~ 7000万 円未満	7000~ 8000万 円未満	8000~ 9000万 円未満	9000~ 10000 万円未満	10000 万円以上	無回答
6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

Q31-1. 予定している大規模修繕の概要④工事内容

調査数	外壁	屋根/屋 上防水	内装	電気設備	空調設備	給排水設 備	EV等昇 降機	消防設備	その他の 設備機器	無回答
6	0	1	1	3	2	0	0	1	0	3
100.0	0.0	16.7	16.7	50.0	33.3	0.0	0.0	16.7	0.0	50.0

Q31-2. 大規模修繕の具体的な予定が立てられない理由

調査数	【準備資金の不足】自己資金を十分に確保できない	【準備資金の不足】活用できる補助制度がない	【準備資金の不足】借入金を十分に借りられない	【準備資金の不足】その他	【工事、用地や代替施設の確保等】建築価格や資材価格が高騰している	【工事、用地や代替施設の確保等】用地の確保が困難	【工事、用地や代替施設の確保等】工事中に利用者と職員が移転して事業を継続する代替施設の確保が困難	【工事、用地や代替施設の確保等】作業スペースがなく (狭く)、重機や足場を組むことが困難
16	10	4	2	1	10	0	3	0
100.0	62.5	25.0	12.5	6.3	62.5	0.0	18.8	0.0
					【工事、用地や代替施設の確保等】資材の搬入、残土搬出、資材置き場、仮設事務所のスペースが困難	【工事、用地や代替施設の確保等】その他	【その他】	無回答
					1	0	1	2
					6.3	0.0	6.3	12.5

全ての方に伺います。

問 32 貴施設の建物、設備の老朽化による機能低下や劣化の状況について、場所、設備ごとにご回答をお願いします。（それぞれに○はひとつ）

※ 本調査における「老朽化の程度」は、建築の専門家等による診断結果ではなく、ご回答者様からみて、次項の主な例にあてはまる数が多いかどうかによりご回答をお願いするものです。

	小 ← 老朽化の程度 → 大				
	1	2	3	4	5
01 外壁					
02 屋根/屋上防水					
03 内装（居室、廊下、階段、食堂、事務室等）					
04 電気設備					
05 空調設備					
06 給排水設備					
07 エレベーター昇降機					
08 消防設備					
09 その他の設備機器（ ）					

【上記の判断基準例】

- 非常に良好：明らかな不具合はなく、見た目・機能ともに非常に良好な状態。今後数年間は修繕の必要はなし。
- 良好：一部に経年劣化が見られるが、機能に支障はなく、使用上の問題はない。定期的な点検・軽微な補修で対応可能。
- やや劣化：外観や機能劣化が見られ、今後数年以内に修繕・交換の検討が必要。使用には支障がないが、注意が必要。
- 劣化が著しい：劣化が進んでおり、部分的に使用に支障がある。早期の修繕・交換が望ましい状態。
- 非常に劣化している：著しい損傷や故障があり、安全性や機能性に重大な問題がある。即時の対応が必要。

問 33 老朽化による機能低下や劣化を原因として、利用者の安全性や生活の質の向上に関して生じている課題についてお聞かせください。（あてはまるもの最大2つに○）

1. 日常のケアが停止、変更になること増加	
2. 転倒・転落リスクが高まる	
3. ヒートショック、熱中症のリスクが高まる	
4. QOLの低下が懸念される	
5. 災害発生時の避難の困難性が高まる	
6. プライバシーの確保が困難	
7. その他（ ）	
8. 特になし	

問 33 で「1」～「7」のいずれかに回答した方にお伺いします。

問 33-1 具体的なエピソードをお聞かせください。

例) 給湯設備の故障による利用者への食事提供や入浴提供への影響がある。
夏にエアコンの故障により、利用者が熱中症になる可能性がある。
エレベーターの不具合や水漏れが発生することで、職員の業務に支障をきたす可能性がある。

Q32 建物、設備の老朽化による機能低下や劣化の状況 01外壁

調査数	1 小	2	3	4	5 大	無回答
30	3	4	9	6	2	6
100.0	10.0	13.3	30.0	20.0	6.7	20.0

Q32 建物、設備の老朽化による機能低下や劣化の状況 02屋根/屋上防水

調査数	1 小	2	3	4	5 大	無回答
30	4	4	6	7	4	5
100.0	13.3	13.3	20.0	23.3	13.3	16.7

Q32 建物、設備の老朽化による機能低下や劣化の状況 03内装（居室、廊下、階段、食堂、事務室等）

調査数	1 小	2	3	4	5 大	無回答
30	0	6	14	2	3	5
100.0	0.0	20.0	46.7	6.7	10.0	16.7

Q32 建物、設備の老朽化による機能低下や劣化の状況 04電気設備

調査数	1 小	2	3	4	5 大	無回答
30	0	5	11	4	6	4
100.0	0.0	16.7	36.7	13.3	20.0	13.3

Q32 建物、設備の老朽化による機能低下や劣化の状況 05空調設備

調査数	1 小	2	3	4	5 大	無回答
30	2	2	4	10	8	4
100.0	6.7	6.7	13.3	33.3	26.7	13.3

Q32 建物、設備の老朽化による機能低下や劣化の状況 06給排水設備

調査数	1 小	2	3	4	5 大	無回答
30	1	1	11	6	6	5
100.0	3.3	3.3	36.7	20.0	20.0	16.7

Q32 建物、設備の老朽化による機能低下や劣化の状況 07エレベーター昇降機

調査数	1 小	2	3	4	5 大	無回答
30	1	7	8	7	3	4
100.0	3.3	23.3	26.7	23.3	10.0	13.3

Q32 建物、設備の老朽化による機能低下や劣化の状況 08消防設備

調査数	1 小	2	3	4	5 大	無回答
30	4	3	10	7	1	5
100.0	13.3	10.0	33.3	23.3	3.3	16.7

Q32 建物、設備の老朽化による機能低下や劣化の状況 09その他の設備機器

調査数	1 小	2	3	4	5 大	無回答
30	2	1	2	2	0	23
100.0	6.7	3.3	6.7	6.7	0.0	76.7

Q33.老朽化による機能低下や劣化を原因として、利用者の安全性や生活の質の向上に関して生じている課題についてお聞かせください

調査数	日常のケアが停止、変更になること増加	転倒・転落リスクが高まる	ヒートショック、熱中症のリスクが高まる	QOLの低下が懸念される	災害発生時の避難の困難性が高まる	プライバシーの確保が困難	その他	特になし
30	15	3	8	4	7	1	2	3
100.0	50.0	10.0	26.7	13.3	23.3	3.3	6.7	10.0
								無回答
								3
								10.0

全ての方に伺います。

問 34 大規模修繕に用いるための積立金の準備状況をお選びください。(あてはまるものすべてに○)

1. 施設単位で、修繕のみに用いる積立金を独立して確保している	
2. 施設単位で、他の積立金(人件費等)と合算して確保している	
3. 法人単位で、修繕のみに用いる積立金を独立して確保している	
4. 法人単位で、他の積立金(人件費等)と合算して確保している	
5. その他 ()	
6. 計画的に確保していない	

問 34 で 1～2 と回答した方にお伺いします。

問 34-1 施設として準備している大規模修繕に活用できる積立金の額をお選びください。

(あてはまるもの1つに○)

1. 0円(積立なし)	5. 2,000万円～5,000万円未満
2. ～500万円未満	6. 5,000万円～1億円未満
3. 500万円～1,000万円未満	7. 1億円以上
4. 1,000万円～2,000万円未満	8. 金額不明/回答できない

問 34 で 6 と回答した方にお伺いします。

問 34-2 大規模修繕に用いるための積立金を計画的に確保していない理由をお選びください。

(あてはまるものすべてに○)

1. 運営費が逼迫しており、積立に回す余裕がないため	
2. 修繕の際は都度、現金預金や補助金、借入で対応する方針のため	
3. 建物が比較的新しく、まだ積立の必要性を感じていないため	
4. 修繕積立金として積み立てると用途が限定されるため(柔軟な資金運用を優先しているため)	
5. 修繕積立の制度や方法について十分な情報がないため	
6. その他 ()	

全ての方に伺います。

問 35 中長期(5～10年後)の、施設の大規模修繕に備える費用の準備状況をお選びください。

(あてはまるもの1つに○)

1. 費用を確保できる見通し	
2. 費用を確保することが難しい	
3. わからない	
4. 10年以内に大規模修繕の予定がない	

Q34.大規模修繕に用いるための積立金の準備状況をお選びください

調査数	施設単位で、修繕のみに用いる積立金を独立して確保している	施設単位で、他の積立金(人件費等)と合算して確保している	法人単位で、修繕のみに用いる積立金を独立して確保している	法人単位で、他の積立金(人件費等)と合算して確保している	その他	計画的に確保していない	無回答
30	2	1	3	5	1	13	6
100.0	6.7	3.3	10.0	16.7	3.3	43.3	20.0

Q34-1.施設として準備している大規模修繕に活用できる積立金の額

調査数	0円(積立なし)	～500万円未満	500万円～1,000万円未満	1,000万円～2,000万円未満	2,000万円～5,000万円未満	5,000万円～1億円未満	1億円以上	金額不明/回答できない
3	0	2	0	1	0	0	0	0
100.0	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
								無回答
								0
								0.0

Q34-2.大規模修繕に用いるための積立金を計画的に確保していない理由

調査数	運営費が逼迫しており、積立に回す余裕がないため	修繕の際は都度、現金預金や補助金、借入で対応する方針のため	建物が比較的新しく、まだ積立の必要性を感じていないため	修繕積立金として積み立てると用途が限定されるため(柔軟な資金運用を優先しているため)	修繕積立の制度や方法について十分な情報がないため	その他	無回答
13	6	6	0	1	3	2	1
100.0	46.2	46.2	0.0	7.7	23.1	15.4	7.7

Q35.中長期(5～10年後)の、施設の大規模修繕に備える費用の準備状況

調査数	費用を確保できる見通し	費用を確保することが難しい	わからない	10年以内に大規模修繕の予定がない	無回答
30	3	9	12	1	5
100.0	10.0	30.0	40.0	3.3	16.7

問 36 既存施設における中長期（5～10年後）の事業展開をお選びください。

（あてはまるものすべてに○）

1. 現状維持のまま	
2. 定員規模の拡大を検討している	
3. 定員規模の縮小を検討している	
4. 他施設との合併を検討している	
5. 廃止・撤退を検討している	
6. 一部の事業の廃止・撤退を検討している（具体的に）	
7. その他（）	
8. 検討していない	

問 37 施設運営の中長期（5～10年後）の見通しにおける課題をお選びください。

（それぞれあてはまるもの1つに○）

	小さい	課題の大きさ			大きい
	1	2	3	4	5
1. 利用者の需要、確保	1	2	3	4	5
2. 職員の確保	1	2	3	4	5
3. 後継者不足	1	2	3	4	5
4. 事業を展開するための資金の確保	1	2	3	4	5
5. 大規模修繕、改築（建替え）	1	2	3	4	5
6. 介護保険制度、高齢者福祉の動向	1	2	3	4	5
7. その他（）	1	2	3	4	5

【上記の判断基準例】

- 1 (非常に小さい)問題なし:現状で特に課題は見られない。
- 2 (小さい)軽微な課題:現状では大きな問題はないが、将来的に注意が必要。
- 3 (中程度)課題あり:現状維持は可能だが、改善の余地がある。
- 4 (大きい)重要な課題:中期的に対応が必要。計画的な改善が求められる。
- 5 (非常に大きい)深刻な課題:早急な対応が必要。放置すると運営に重大な支障が出る。

問 38 今後の事業展開に向けて、施設の建物・設備の老朽化によって生じる懸念事項についてお聞かせください。

Q36.既存施設における中長期（5～10年後）の事業展開

調査数	現状維持のまま	定員規模の拡大を検討している	定員規模の縮小を検討している	他施設との合併を検討している	廃止・撤退を検討している	一部の事業の廃止・撤退を検討している	その他	検討していない
30	22	1	0	0	0	0	0	1
100.0	73.3	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3
								無回答
								6
								20.0

Q37.施設運営の中長期（5～10年後）の見通しにおける課題 01利用者の需要、確保

調査数	1 小さい	2	3	4	5 大きい	無回答
30	0	3	4	11	7	5
100.0	0.0	10.0	13.3	36.7	23.3	16.7

Q37.施設運営の中長期（5～10年後）の見通しにおける課題 02職員の確保

調査数	1 小さい	2	3	4	5 大きい	無回答
30	0	0	4	8	13	5
100.0	0.0	0.0	13.3	26.7	43.3	16.7

Q37.施設運営の中長期（5～10年後）の見通しにおける課題 03後継者不足

調査数	1 小さい	2	3	4	5 大きい	無回答
30	4	3	9	5	2	7
100.0	13.3	10.0	30.0	16.7	6.7	23.3

Q37.施設運営の中長期（5～10年後）の見通しにおける課題 04事業を展開するための資金の確保

調査数	1 小さい	2	3	4	5 大きい	無回答
30	1	2	10	6	5	6
100.0	3.3	6.7	33.3	20.0	16.7	20.0

Q37.施設運営の中長期（5～10年後）の見通しにおける課題 05大規模修繕、改築（建替え）

調査数	1 小さい	2	3	4	5 大きい	無回答
30	0	3	5	11	7	4
100.0	0.0	10.0	16.7	36.7	23.3	13.3

Q37.施設運営の中長期（5～10年後）の見通しにおける課題 06介護保険制度、高齢者福祉の動向

調査数	1 小さい	2	3	4	5 大きい	無回答
30	1	0	10	7	7	5
100.0	3.3	0.0	33.3	23.3	23.3	16.7

Q37.施設運営の中長期（5～10年後）の見通しにおける課題 07その他

調査数	1 小さい	2	3	4	5 大きい	無回答
30	1	0	1	0	0	28
100.0	3.3	0.0	3.3	0.0	0.0	93.3

問 39 期待する支援策について、該当するものをお選びください。（あてはまるもの最大3つまで）

1. 災害発生時の利用者及び職員の安全確保を目的とした設備改修への費用補助	
2. プライバシー確保、感染症への対応のための設備改修への費用補助	
3. 職員の負担軽減、生産性向上に向けた設備改修の費用補助（介護ロボット・ICT機器の導入、DX化等）	
4. 省エネ、SDGs等に向けた設備改修の費用補助	
5. 設備の老朽化による大規模修繕への費用補助	
6. 建築や設備の専門コンサルへの費用補助	
7. 借入申請要件の緩和（具体的に	）
8. 工事中に利用者と職員が移転して事業を継続できる代替施設の建築、もしくは確保	
9. 介護報酬（基本報酬、地域区分等）の引上げ	
10. その他（	）
11. なし	

ご協力ありがとうございました。

Q39.期待する支援策

調査数	災害発生時の利用者及び職員の安全確保を目的とした設備改修への費用補助	プライバシー確保、感染症への対応のための設備改修への費用補助	職員の負担軽減、生産性向上に向けた設備改修の費用補助（介護ロボット・ICT機器の導入、DX化等）	省エネ、SDGs等に向けた設備改修の費用補助	設備の老朽化による大規模修繕への費用補助	建築や設備の専門コンサルへの費用補助	借入申請要件の緩和	工事中に利用者と職員が移転して事業を継続できる代替施設の建築、もしくは確保
30 100.0	14 46.7	3 10.0	12 40.0	4 13.3	21 70.0	1 3.3	1 3.3	3 10.0
					介護報酬（基本報酬、地域区分等）の引上げ	その他	なし	無回答
					15 50.0	0 0.0	0 0.0	4 13.3

アンケートご協力をお願い

日頃から、本市の高齢者保健福祉行政に御理解と御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

横浜市では、横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画・認知症施策推進計画の改定に際し、3年に1度、介護サービス事業所(居住系)の皆様の御意見をお伺いする調査を実施しています。

この調査の結果につきましては、高齢者保健福祉施策を検討する際の重要な基礎資料となりますので、業務ご多用のところお手数をおかけいたしますが、本調査の趣旨を御理解いただき、御協力を賜りますようお願いいたします。

調査の回答については、12月8日(月)までにご回答くださいますよう、併せて御協力をお願いいたします。

なお、調査報告に関する秘密が保持されることと、個々の施設ごとの調査結果を公表するものではなく、サービスごとの横浜市全体の集計結果を公表する予定であることを申し添えます。

貴事業所の概要についてお伺いします。

問1 事業所名等を教えてください。(事業所番号がない場合は、記入不要です。)

事業所名										
介護保険事業所番号										

グループホームの事業所の方にお伺いします。

問2 貴事業所での共用型認知症対応型通所介護の状況についてお選びください。(○はひとつ)

1. 実施している
2. 実施していたが取り下げた
3. 実施していないが今後実施予定 ⇒実施予定時期 令和_____年頃 ・不明
4. 実施する予定はない

Q2. 共用型認知症対応型通所介護の状況

調査数	実施している	実施していたが取り下げた	実施していないが今後実施予定	実施する予定はない	無回答
205	9	1	1	143	51
100.0	4.4	0.5	0.5	69.8	24.9

グループホーム以外の事業所の方にお伺いします。

問3 認知症入居者のケアをするにあたり、フロアやユニットを分けて対応していますか。(〇はひとつ)

1. 分けている 2. 分けていない

問3で「1. 分けている」と回答した方にお伺いします。

問3-1 分けているフロア・ユニットの数についてご記入ください。

認知症対応 ⇒ _____フロア 全フロア ⇒ _____フロア
 _____ユニット 全ユニット数 ⇒ _____ユニット

すべての事業所の方にお伺いします。

職員、人材確保、処遇等についてお伺いします。

問4 令和7年10月1日時点の貴事業所の職員数についてご記入ください。

職員数とは、貴事業所が実施する全ての事業に従事する者(正規・非正規職員問わず)の在籍者総数です。また、職員の市内在住状況を教えてください。ただし、派遣労働者、委託業務従事者は含まれません。該当者がいない場合は空白で結構です。

- 注1) 資格ではなく、従事している仕事(職種)に着目して入力してください。
 なお、兼務している職員については、主として従事する仕事(職種)にのみ入力してください。
- 注2) 正規職員・非正規職員とは
 正規職員(雇用している労働者で雇用期間の定めのない者)
 非正規職員(正規職員以外の労働者(契約、嘱託、パートなど))
- 注3) PT(理学療法士)、OT(作業療法士)、ST(言語聴覚士)等の機能訓練指導員

職種別(下記の職種のみ)(注1)	正規職員(注2)	非正規職員(注2)
①介護職員	人	人
②看護職員	人	人
③生活相談員	人	人
④PT・OT・ST等(注3)	人	人
⑤ケアマネジャー	人	人
⑥その他職員	人	人
職員総人数 正規職員 : 市内在住 () 人、市外在住 () 人 非正規職員: 市内在住 () 人、市外在住 () 人		

Q3. フロアやユニットを分けて対応

調査数	分けている	分けていない	無回答
205	44	134	27
100.0	21.5	65.4	13.2

Q3-1. フロア・ユニット数(1)認知症対応フロア

調査数	平均	最小値	最大値
39	2.03	1.00	3.00
100.0			

Q3-1. フロア・ユニット数(3)全フロア

調査数	平均	最小値	最大値
25	2.20	1.00	3.00
100.0			

Q3-1. フロア・ユニット数(2)認知症対応ユニット

調査数	平均	最小値	最大値
35	3.06	1.00	42.00
100.0			

Q3-1. フロア・ユニット数(4)全ユニット

調査数	平均	最小値	最大値
24	3.00	1.00	21.00
100.0			

Q4. ①介護職員 正規職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
205	7	7	55	58	36	10	3	0	0	0	29
100.0	3.4	3.4	26.8	28.3	17.6	4.9	1.5	0.0	0.0	0.0	14.1

Q4. ①介護職員 非正規職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
205	4	2	41	42	60	11	6	0	0	0	39
100.0	2.0	1.0	20.0	20.5	29.3	5.4	2.9	0.0	0.0	0.0	19.0

Q4. ②看護職員 正規職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
205	29	33	35	2	1	1	1	0	0	0	103
100.0	14.1	16.1	17.1	1.0	0.5	0.5	0.5	0.0	0.0	0.0	50.2

Q4. ②看護職員 非正規職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
205	26	30	37	3	4	2	0	0	0	0	103
100.0	12.7	14.6	18.0	1.5	2.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.2

Q4. ③生活相談員 正規職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
205	32	54	12	0	0	0	0	0	0	0	107
100.0	15.6	26.3	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	52.2

Q4. ③生活相談員 非正規職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
205	50	14	8	0	0	0	0	0	0	0	133
100.0	24.4	6.8	3.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	64.9

Q4. ④PT・OT・ST等 正規職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
205	49	17	4	0	0	0	0	0	0	0	135
100.0	23.9	8.3	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	65.9

Q4. ④PT・OT・ST等 非正規職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
205	50	12	3	0	0	0	0	0	0	0	140
100.0	24.4	5.9	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	68.3

Q4. ⑤ケアマネジャー 正規職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
205	25	57	19	0	0	0	0	0	0	0	104
100.0	12.2	27.8	9.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.7

Q4. ⑤ケアマネジャー 非正規職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
205	39	31	7	0	0	0	0	0	0	0	128
100.0	19.0	15.1	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	62.4

Q4. ⑥その他職員 正規職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
205	22	36	33	7	6	0	0	0	0	0	101
100.0	10.7	17.6	16.1	3.4	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	49.3

Q4. ⑥その他職員 非正規職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
205	20	25	37	22	13	0	0	0	0	0	88
100.0	9.8	12.2	18.0	10.7	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	42.9

Q4. 職員総人数正規職員 市内在住【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
205	1	14	54	56	36	10	3	2	0	0	29
100.0	0.5	6.8	26.3	27.3	17.6	4.9	1.5	1.0	0.0	0.0	14.1

Q4. 職員総人数正規職員 市外在住【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
205	19	30	56	12	4	2	1	0	0	0	81
100.0	9.3	14.6	27.3	5.9	2.0	1.0	0.5	0.0	0.0	0.0	39.5

Q4. 職員総人数非正規職員 市内在住【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
205	3	6	33	35	61	19	6	2	0	0	40
100.0	1.5	2.9	16.1	17.1	29.8	9.3	2.9	1.0	0.0	0.0	19.5

Q4. 職員総人数非正規職員 市外在住【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
205	32	29	37	8	2	0	1	0	0	0	96
100.0	15.6	14.1	18.0	3.9	1.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	46.8

問4-1 貴施設での外国人介護職員の採用状況について、令和7年10月1日現在で、採用している外国人介護職員の在留資格であてはまるものをお選びください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. 特定活動(経済連携協定「EPA」) | 5. 留学 |
| 2. 介護 | 6. その他(具体的に:) |
| 3. 技能実習(介護) | 7. 外国人介護職員を採用していない |
| 4. 特定技能1号(介護) | |

問4-1で「1」～「6」のいずれかに回答した方にお伺いします。

問4-2 問4-1で回答した外国人介護職員の在留資格について、令和7年10月1日現在で、資格別の採用人数を国籍別にご記入ください。非該当の在留資格・国籍については無回答(空白)で結構です。

	採用人数 (人)									
	インドネシア	フィリピン	ベトナム	中国	ミャンマー	カンボジア	ネパール	モンゴル	タイ	その他
在留資格										
①『特定活動』(経済連携協定(EPA))										
②『介護』										
③『技能実習』(介護)										
④『特定技能1号』(介護)										
⑤『留学』										
⑥その他										

Q4-1. 外国人介護職員の採用状況

調査数	特定活動(経済連携協定「EPA」)	介護	技能実習(介護)	特定技能1号(介護)	留学	その他	外国人介護職員を採用していない	無回答
205	2	27	14	42	1	26	102	15
100.0	1.0	13.2	6.8	20.5	0.5	12.7	49.8	7.3

	インドネシア		フィリピン		ベトナム		中国		ミャンマー		カンボジア		ネパール		モンゴル		タイ		その他	
	施設数	人数	施設数	人数	施設数	人数	施設数	人数	施設数	人数	施設数	人数	施設数	人数	施設数	人数	施設数	人数	施設数	人数
①特定活動	1	1	1	2	0	0														
②介護	6	12	4	5	8	11	7	9	1	3	0	0	3	6	0	0	0	0	3	5
③技能実習	3	6	0	0	7	15	0	0	4	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
④特定技能1号	23	60	2	2	14	26	4	4	14	34	0	0	1	2	0	0	0	0	2	3
⑤留学	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑥その他	2	4	17	34	1	2	4	6	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	3	4

全ての方に伺います。

問5 貴事業所では、従業員の職種別（注1）過不足の状況はいかがですか。

（①～⑦それぞれで○はひとつ）

「不足」とは、募集を必要としていることを指します。

注1) 資格ではなく、従事している仕事（職種）に着目してください。

注2) PT(理学療法士)、OT(作業療法士)、ST(言語聴覚士)等の機能訓練指導員

職種別(注1)	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種はない
①介護職員	1	2	3	4	5	6
②看護職員	1	2	3	4	5	6
③生活相談員	1	2	3	4	5	6
④PT・OT・ST等(注2)	1	2	3	4	5	6
⑤ケアマネジャー	1	2	3	4	5	6
⑥その他職員	1	2	3	4	5	6
⑦全体でみた場合(上記①～⑥について)	1	2	3	4	5	6

問5の⑦で1～3と回答した方にお伺いします。

問5-1 「⑦全体でみた場合」で、不足している理由はどれですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 採用が困難である	3. 事業拡大によって必要人数が増大した
2. 離職率が高い（定着率が低い）	4. その他（具体的に)

Q5. 従業員の職種別過不足状況(1)介護職員

調査数	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種はない	無回答
205	32	47	57	45	3	13	8
100.0	15.6	22.9	27.8	22.0	1.5	6.3	3.9

Q5. 従業員の職種別過不足状況(2)看護職員

調査数	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種はない	無回答
205	5	8	19	73	0	55	45
100.0	2.4	3.9	9.3	35.6	0.0	26.8	22.0

Q5. 従業員の職種別過不足状況(3)生活相談員

調査数	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種はない	無回答
205	4	4	8	65	0	74	50
100.0	2.0	2.0	3.9	31.7	0.0	36.1	24.4

Q5. 従業員の職種別過不足状況(4)PT・OT・ST等

調査数	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種はない	無回答
205	3	4	7	29	0	100	62
100.0	1.5	2.0	3.4	14.1	0.0	48.8	30.2

Q5. 従業員の職種別過不足状況(5)ケアマネジャー

調査数	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種はない	無回答
205	4	9	13	79	2	50	48
100.0	2.0	4.4	6.3	38.5	1.0	24.4	23.4

Q5. 従業員の職種別過不足状況(6)その他職員

調査数	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種はない	無回答
205	3	4	20	86	1	34	57
100.0	1.5	2.0	9.8	42.0	0.5	16.6	27.8

Q5. 従業員の職種別過不足状況(7)全体でみた場合(上記全てについて)

調査数	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種はない	無回答
205	12	35	54	53	2	5	44
100.0	5.9	17.1	26.3	25.9	1.0	2.4	21.5

Q5-1. 「全体でみた場合」で、不足している理由

調査数	採用が困難である	離職率が高い(定着率が低い)	事業拡大によって必要人数が増大した	その他	無回答
101	88	24	8	7	1
100.0	87.1	23.8	7.9	6.9	1.0

全ての方に伺います。

問6 令和6年度の人材確保の状況について、人材派遣会社または人材紹介会社の活用によって確保した人数は何名ですか。該当者がいない場合は空白で結構です。

	介護職員	看護職員	その他
① 正規職員	人	人	人
うち人材紹介会社の活用	人	人	人
② 非正規職員	人	人	人
うち人材紹介会社の活用	人	人	人
人材派遣会社の活用	人	人	人

問7 貴事業所では職員の採用に際し、どのような工夫を行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. ハローワークや福祉人材センターを頻繁に訪れている	8. 新規卒業者や若手にこだわらないようにしている
2. 求人の際し、仕事そのものの魅力や労働条件を掲載する等求人内容を工夫している	9. 近隣の事業所と連携し、採用に関し情報交換をしている
3. 職員や知人と連絡を密にとり、人材についての情報の提供を受けている	10. 福祉系教育機関への働きかけを積極的に行っている
4. 採用について、従来より多くコストをかけている	11. 採用説明会や職場体験を実施している
5. 自事業所の理念やアピールポイントをHP等を介して対外的に発信している	12. 内定後のフォローをしっかりと行っている
6. 介護資格や介護経験の有無にこだわらないようにしている	13. くるみん認定など、国や地方自治体の認定等取得している
7. 福祉系の教育機関出身者にこだわらないようにしている	14. 子育て支援を行っている(子ども預かり所を設ける、保育費用支援等)
	15. その他(具体的に)
	16. 特に行っていない

Q6. 人材確保状況①正規職員(1)介護職員【クラス分け】												
調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答	
205	17	11	25	6	1	0	0	0	0	0	0	145
100.0	8.3	5.4	12.2	2.9	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	70.7
Q6. 人材確保状況①正規職員(2)看護職員【クラス分け】												
205	20	7	7	0	0	0	0	0	0	0	0	171
100.0	9.8	3.4	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	83.4
Q6. 人材確保状況①正規職員(3)その他【クラス分け】												
205	23	3	4	0	1	0	0	0	0	0	0	174
100.0	11.2	1.5	2.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	84.9
Q6. 人材確保状況①うち人材紹介会社の活用(1)介護職員【クラス分け】												
205	20	8	18	0	0	0	0	0	0	0	0	159
100.0	9.8	3.9	8.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	77.6
Q6. 人材確保状況①うち人材紹介会社の活用(2)看護職員【クラス分け】												
205	20	5	4	0	0	0	0	0	0	0	0	176
100.0	9.8	2.4	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	85.9
Q6. 人材確保状況①うち人材紹介会社の活用(3)その他【クラス分け】												
205	26	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	176
100.0	12.7	1.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	85.9
Q6. 人材確保状況②非正規職員(1)介護職員【クラス分け】												
205	17	16	16	5	4	1	1	0	0	0	0	145
100.0	8.3	7.8	7.8	2.4	2.0	0.5	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	70.7
Q6. 人材確保状況②非正規職員(2)看護職員【クラス分け】												
205	22	9	6	0	1	0	0	0	0	0	0	167
100.0	10.7	4.4	2.9	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	81.5
Q6. 人材確保状況②非正規職員(3)その他【クラス分け】												
205	25	5	4	0	1	0	0	0	0	0	0	170
100.0	12.2	2.4	2.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	82.9
Q6. 人材確保状況②うち人材紹介会社の活用(1)介護職員【クラス分け】												
205	22	8	7	1	0	0	0	0	0	0	0	167
100.0	10.7	3.9	3.4	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	81.5
Q6. 人材確保状況②うち人材紹介会社の活用(2)看護職員【クラス分け】												
205	22	6	1	0	1	0	0	0	0	0	0	175
100.0	10.7	2.9	0.5	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	85.4
Q6. 人材確保状況②うち人材紹介会社の活用(3)その他【クラス分け】												
205	25	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	178
100.0	12.2	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	86.8
Q6. 人材確保状況人材派遣会社の活用(1)介護職員【クラス分け】												
205	21	10	18	3	1	0	0	0	0	0	0	152
100.0	10.2	4.9	8.8	1.5	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	74.1
Q6. 人材確保状況人材派遣会社の活用(2)看護職員【クラス分け】												
205	24	3	4	0	0	0	0	0	0	0	0	174
100.0	11.7	1.5	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	84.9
Q6. 人材確保状況人材派遣会社の活用(3)その他【クラス分け】												
205	27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	178
100.0	13.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	86.8
Q6. 合計 介護職員【クラス分け】												
205	15	12	41	11	6	5	1	0	0	0	0	114
100.0	7.3	5.9	20.0	5.4	2.9	2.4	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	55.6
Q6. 合計 看護職員【クラス分け】												
205	20	11	14	2	1	0	0	0	0	0	0	157
100.0	9.8	5.4	6.8	1.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	76.6
Q6. 合計 その他【クラス分け】												
205	24	6	7	1	2	0	0	0	0	0	0	165
100.0	11.7	2.9	3.4	0.5	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	80.5

Q7. 職員採用の工夫

調査数	ハローワーク や福祉人材セ ンターを頻繁 に訪れている	求人に際し、 仕事そのもの の魅力や労働 条件を掲載す る等求人内容 を工夫している	職員や知人と 連絡を密にと り、人材につ いての情報の提 供を受けてい る	採用につい て、従来より多 くコストをかけ ている	自事業所の理 念やアピール ポイントをHP 等を介して対 外的に発信し ている	介護資格や介 護経験の有無 にこだわらな いようにしてい る	福祉系の教育 機関出身者に こだわらないよ うにしている	新規卒業者や 若手にこだわ らないようにし ている
205 100.0	53 25.9	80 39.0	76 37.1	39 19.0	73 35.6	84 41.0	80 39.0	84 41.0
	近隣の事業所 と連携し、採用 に関し情報交 換をしている	福祉系教育機 関への働きか けを積極的に 行っている	採用説明会や 職場体験を実 施している	内定後のフォ ローをしっかり 行っている	くるみん認定な ど、国や地方 自治体の認定 等を取得して いる	子育て支援を 行っている(子 ども預かり所を 設ける、保育 費用支援等)	その他	特に行ってい ない
	34 16.6	16 7.8	34 16.6	62 30.2	2 1.0	7 3.4	10 4.9	12 5.9
								無回答
								10 4.9

問8 介護職員の人材不足に対し、新たな人材の確保に向けた自治体の取組として、効果的と考えるものは次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 若い世代に向けた介護業界のイメージアップ	9. 人材紹介料の補助
2. 職場体験を実施する事業所への支援	10. 潜在介護福祉士の(再)就職支援
3. 新たに介護業界へ就職をする者が資格取得等に関する研修参加をする際の支援	11. ロボット・ICT活用による職員の負担軽減への支援
4. 多様な働き方(時短、夜間のみ、週休3日)の導入支援	12. 子育て世代が働きやすい環境の整備への支援
5. 元気高齢者(ボランティア等)の受入れ支援	13. 合同就職相談会の実施
6. 介護助手の受入れ支援	14. 介護福祉士養成施設に対する財政的支援
7. 外国人介護職員の受入れ支援	15. その他()
8. 介護職員の住居借上支援	16. 自治体からの支援がなくても人材の確保ができています

問9 今後、貴施設において外国人介護職員を受け入れる予定はありますか。新規に受け入れる場合の在留資格の希望についてあてはまるものをお選びください。(あてはまるものすべてに○)

1. 特定活動(経済連携協定「EPA」)	5. 留学
2. 介護	6. その他(具体的に:)
3. 技能実習(介護)	7. 在留資格にこだわりはない
4. 特定技能1号(介護)	8. 新規に受け入れる予定はない

問9で「1」～「6」のいずれかに回答した方にお伺いします。

問9-1 問9で回答した新規に受け入れを希望する外国人介護職員について、在留資格別に採用を希望する国籍をご記入ください。

	採用したい国籍										
	インドネシア	フィリピン	ベトナム	中国	ミャンマー	カンボジア	ネパール	モンゴル	タイ	その他	国籍にこだわりはない
在留資格											
①【特定活動】(経済連携協定(EPA))	1	2	3								11
②【介護】	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
③【技能実習】(介護)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
④【特定技能1号】(介護)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
⑤【留学】	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
⑥その他	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
⑦在留資格にこだわりはない	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11

Q8. 人材の確保に向けた自治体の取組として、効果的と考えるもの

調査数	若い世代に向けた介護業界のイメージアップ	職場体験を実施する事業所への支援	新たに介護業界へ就職をする者が資格取得等に関する研修参加をする際の支援	多様な働き方(時短、夜間のみ、週休3日)の導入支援	元気高齢者(ボランティア等)の受入れ支援	介護助手の受入れ支援	外国人介護職員の受入れ支援	介護職員の住居借上支援
205 100.0	110 53.7	58 28.3	85 41.5	97 47.3	42 20.5	28 13.7	56 27.3	42 20.5
	人材紹介料の補助	潜在介護福祉士の(再)就職支援	ロボット・ICT活用による職員の負担軽減への支援	子育て世代が働きやすい環境の整備への支援	合同就職相談会の実施	介護福祉士養成施設に対する財政的支援	その他	自治体からの支援がなくても人材の確保ができています
	70 34.1	30 14.6	58 28.3	58 28.3	13 6.3	32 15.6	10 4.9	7 3.4
								無回答
								14 6.8

Q9. 新規に受け入れる場合の在留資格の希望

調査数	特定活動(経済連携協定「EPA」)	介護	技能実習(介護)	特定技能1号(介護)	留学	その他	在留資格にこだわりはない	新規に受け入れる予定はない
205 100.0	7 3.4	29 14.1	21 10.2	42 20.5	0 0.0	6 2.9	12 5.9	105 51.2
								無回答
								16 7.8

Q9-1. 在留資格で受入れる国(1)特定活動(経済連携協定「EPA」)

調査数	インドネシア	フィリピン	ベトナム	中国	ミャンマー	カンボジア	ネパール	モンゴル	タイ	その他	国籍にこだわりはない	無回答
7 100.0	1 14.3	1 14.3	1 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 71.4	1 14.3

Q9-1. 在留資格で受入れる国(2)介護

調査数	インドネシア	フィリピン	ベトナム	中国	ミャンマー	カンボジア	ネパール	モンゴル	タイ	その他	国籍にこだわりはない	無回答
29 100.0	7 24.1	6 20.7	4 13.8	0 0.0	4 13.8	0 0.0	1 3.4	1 3.4	1 3.4	1 3.4	0 0.0	15 51.7

Q9-1. 在留資格で受入れる国(3)技能実習(介護)

調査数	インドネシア	フィリピン	ベトナム	中国	ミャンマー	カンボジア	ネパール	モンゴル	タイ	その他	国籍にこだわりはない	無回答
21 100.0	6 28.6	2 9.5	4 19.0	0 0.0	2 9.5	0 0.0	1 4.8	0 0.0	1 4.8	1 4.8	11 52.4	1 4.8

Q9-1. 在留資格で受入れる国(4)特定技能1号(介護)

調査数	インドネシア	フィリピン	ベトナム	中国	ミャンマー	カンボジア	ネパール	モンゴル	タイ	その他	国籍にこだわりはない	無回答
42 100.0	13 31.0	6 14.3	8 19.0	1 2.4	9 21.4	1 2.4	4 9.5	0 0.0	2 4.8	0 0.0	0 0.0	16 38.1

Q9-1. 在留資格で受入れる国(5)留学

調査数	インドネシア	フィリピン	ベトナム	中国	ミャンマー	カンボジア	ネパール	モンゴル	タイ	その他	国籍にこだわりはない	無回答
0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

Q9-1. 在留資格で受入れる国(6)その他

調査数	インドネシア	フィリピン	ベトナム	中国	ミャンマー	カンボジア	ネパール	モンゴル	タイ	その他	国籍にこだわりはない	無回答
6 100.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 50.0	2 33.3

Q9-1. 在留資格で受入れる国(7)在留資格にこだわりはない

調査数	インドネシア	フィリピン	ベトナム	中国	ミャンマー	カンボジア	ネパール	モンゴル	タイ	その他	国籍にこだわりはない	無回答
12 100.0	0 0.0	3 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	8 66.7	1 8.3

全ての方に伺います。

問 10 外国人介護職員を、貴事業所で受け入れるにあたり、自治体の取組として効果的と考えるものは次のうちどれですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 在留資格の違いや、受入れ手続きの流れ等を理解するための研修やセミナーの実施	6. 外国人介護職員に対する介護に関する研修や日本語研修などの支援
2. 受入れのための入管手続きなどの事務の支援（事業所向け相談窓口の設置）	7. 介護福祉士試験合格のための支援
3. 受入れにあたり事業所にかかる経費の補助等の経済的支援（住居費等）※給与や紹介手数料は含まない	8. その他（ ）
4. 外国人介護職員向け相談窓口等の生活支援	9. 自治体からの支援がなくても、十分受入れができる
5. 受入れ事業所の職員のための研修（教育方法や、文化等の理解、コミュニケーションの方法等）	

問 11 職員の早期離職防止や定着促進を図るために、実施しているものを教えてください。

（あてはまるものすべてに○）

1. 残業を少なくする、有給休暇を取りやすくする等の労働条件の改善に取り組んでいる
2. 本人の希望に応じた勤務体制にする等の労働条件の改善に取り組んでいる
3. 賃金水準を向上させている
4. 能力や仕事ぶりを評価し、賃金などの処遇に反映している
5. 職員の仕事内容と必要な能力等を明示している
6. キャリアに応じた給与体系を整備している
7. 非正規職員から正規職員への転換の機会を設けている
8. 新人の指導担当・アドバイザーを置いている
9. 能力開発を充実させている（社内研修実施、社外講習等の受講・支援等）
10. 管理者・リーダー層の部下育成や動機付け、能力向上に向けた教育研修に力を入れている
11. 仕事内容の希望を聞いて配置している
12. 悩み、不満、不安などの相談窓口を設けている（メンタルヘルス対策を含む）
13. 健康対策や健康管理に力を入れている
14. 職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図っている（定期的なミーティング、意見交換会、チームケア等）
15. 経営者・管理者と従業員が経営方針、ケア方針を共有する機会を設けている
16. 業務改善や効率化等による働きやすい職場作りに力を入れている
17. 介護ロボットや ICT 等の導入による働きやすい職場作りに力を入れている
18. 福利厚生を充実させ、職場内の交流を深めている（カラオケ、ボーリングなどの同好会、親睦会等の実施を含む）
19. 職場環境を整えている（休憩室、談話室、出社時に座れる席の確保等）
20. 子育て支援を行っている（子ども預かり所を設ける、保育費用支援等）
21. スポットワーク等（短時間・単発の就労や有償ボランティア）を受入れている
22. その他（具体的に ）
23. 特に方策はとっていない

Q10.外国人介護職員を、受け入れるにあたり、自治体の取組として効果的と考えるもの

調査数	在留資格の違いや、受入れ手続きの流れ等を理解するための研修やセミナーの実施	受入れのための入管手続きなどの事務の支援（事業所向け相談窓口の設置）	受入れにあたり事業所にかかる経費の補助等の経済的支援（住居費等）※給与や紹介手数料は含まない	外国人介護職員向け相談窓口等の生活支援	受入れ事業所の職員のための研修（教育方法や、文化等の理解、コミュニケーションの方法等）	外国人介護職員に対する介護に関する研修や日本語研修などの支援	介護福祉士試験合格のための支援	その他
205 100.0	58 28.3	61 29.8	70 34.1	61 29.8	70 34.1	99 48.3	67 32.7	7 3.4
							自治体からの支援がなくても、十分受入れができる	無回答
							13 6.3	41 20.0

Q11.職員の早期離職防止や定着促進を図るため実施しているもの

調査数	残業を少なくする、有給休暇を取りやすくする等の労働条件の改善に取り組んでいる	本人の希望に応じた勤務体制にする等の労働条件の改善に取り組んでいる	賃金水準を向上させている	能力や仕事ぶりを評価し、賃金などの処遇に反映している	職員の仕事内容と必要な能力等を明示している	キャリアに応じた給与体系を整備している	非正規職員から正規職員への転換の機会を設けている	新人の指導担当・アドバイザーを置いている
205 100.0	142 69.3	126 61.5	84 41.0	79 38.5	44 21.5	59 28.8	86 42.0	40 19.5
	能力開発を充実させている（社内研修実施、社外講習等の受講・支援等）	管理者・リーダー層の部下育成や動機付け、能力向上に向けた教育研修に力を入れている	仕事内容の希望を聞いて配置している	悩み、不満、不安などの相談窓口を設けている（メンタルヘルス対策を含む）	健康対策や健康管理に力を入れている	職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図っている（定期的なミーティング、意見交換会、チームケア等）	経営者・管理者と従業員が経営方針、ケア方針を共有する機会を設けている	業務改善や効率化等による働きやすい職場作りに力を入れている
	50 24.4	51 24.9	58 28.3	103 50.2	44 21.5	107 52.2	63 30.7	74 36.1
	介護ロボットや ICT 等の導入による働きやすい職場作りに力を入れている	福利厚生を充実させ、職場内の交流を深めている（カラオケ、ボーリングなどの同好会、親睦会等の実施を含む）	職場環境を整えている（休憩室、談話室、出社時に座れる席の確保等）	子育て支援を行っている（子ども預かり所を設ける、保育費用支援等）	スポットワーク等（短時間・単発の就労や有償ボランティア）を受入れている	その他	特に方策はとっていない	無回答
	43 21.0	26 12.7	48 23.4	12 5.9	20 9.8	2 1.0	1 0.5	6 2.9

問12 『スポットワーク等（短時間・単発の就労や有償ボランティア）』の受入れについてどのように考えていますか。（○はひとつ）

1. すでに受け入れている	4. 必要ではない
2. 活用に向けて検討している	5. わからない
3. 必要だと思うが、具体的な検討などはしていない	

問13 『スポットワーク等（短時間・単発の就労や有償ボランティア）』について、どのようなイメージを持っていますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 柔軟に人材を確保できる	5. 人材の質にばらつきがある
2. 急な欠員に対応できる	6. 教育・研修に時間がかかる
3. 採用コストを抑えられる	7. 職員との連携や利用者とのコミュニケーションが取りづらい
4. 働き方改革につながる	8. イメージがわからない

問14 貴施設で採用しているスポットワーク等の働き方について教えてください。

（あてはまるものすべてに○）

1. 直接雇用の短時間勤務者	5. 雇用仲介アプリを使ったスキマバイト
2. 直接雇用の単発バイト	6. ギグワーク（業務委託契約した単発の仕事）
3. 人材派遣	7. その他（ ）
4. 有償ボランティア	8. スポットワーク等を活用していない

問15 『介護助手』の受入れについてどのように考えていますか。（○はひとつ）

1. すでに受け入れている	4. 必要だと思うが、具体的な検討などはしていない
2. 受け入れる準備をしている	5. 必要ではない
3. 受け入れるかの検討をしている	6. わからない

Q12.『スポットワーク等（短時間・単発の就労や有償ボランティア）』の受入れ

調査数	すでに受け入れている	活用に向けて検討している	必要だと思うが、具体的な検討などはしていない	必要ではない	わからない	無回答
205	51	18	56	29	41	10
100.0	24.9	8.8	27.3	14.1	20.0	4.9

Q13.『スポットワーク等（短時間・単発の就労や有償ボランティア）』のイメージ

調査数	柔軟に人材を確保できる	急な欠員に対応できる	採用コストを抑えられる	働き方改革につながる	人材の質にばらつきがある	教育・研修に時間がかかる	職員との連携や利用者とのコミュニケーションが取りづらい	イメージがわからない
205	52	67	26	31	101	44	72	25
100.0	25.4	32.7	12.7	15.1	49.3	21.5	35.1	12.2
								無回答
								12
								5.9

Q14.採用しているスポットワーク等の働き方

調査数	直接雇用の短時間勤務者	直接雇用の単発バイト	人材派遣	有償ボランティア	雇用仲介アプリを使ったスキマバイト	ギグワーク（業務委託契約した単発の仕事）	その他	スポットワーク等を活用していない
205	28	21	20	5	21	0	3	114
100.0	13.7	10.2	9.8	2.4	10.2	0.0	1.5	55.6
								無回答
								16
								7.8

Q15.『介護助手』の受入れについて

調査数	すでに受け入れている	受け入れる準備をしている	受け入れるかの検討をしている	必要だと思うが、具体的な検討などはしていない	必要ではない	わからない	無回答
205	22	1	4	54	68	43	13
100.0	10.7	0.5	2.0	26.3	33.2	21.0	6.3

問 16 貴事業所における介護職員等処遇改善加算の届出状況について、教えてください。(〇はひとつ)

1. 介護職員等処遇改善加算の届出をしている(届出予定を含む)	→	問 16-1 へ
2. 届出をしていない	→	問 16-2 へ
3. 対象外である	→	問 17 へ

問 16 で「1」と回答した方にお伺いします。

問 16-1 貴事業所では、どのように介護職員等処遇改善計画書の周知を行っていますか。
(あてはまるものすべてに〇)

1. 掲示板等への掲示	3. 面談・会議等での説明
2. メールや回覧形式等による通知	4. その他(具体的に)

問 16 で「2」と回答した方にお伺いします。

問 16-2 介護職員等処遇改善加算の届出を行わない理由について、教えてください。

(あてはまるものすべてに〇)

1. 対象の制約のため困難	5. 非常勤職員等の処遇上の問題
2. 事務作業が煩雑	6. 賃金改善の必要性がない
3. 追加費用負担の発生	7. 算定要件を達成できない
4. 利用者負担の発生	8. その他 (具体的に)

Q16-介護職員等処遇改善加算の届出状況

調査数	介護職員等処遇改善加算の届出をしている(届出予定を含む)	届出をしていない	対象外である	無回答
205	171	3	24	7
100.0	83.4	1.5	11.7	3.4

Q16-1-介護職員等処遇改善計画書の周知

調査数	掲示板等への掲示	メールや回覧形式等による通知	面談・会議等での説明	その他	無回答
171	100	67	60	5	5
100.0	58.5	39.2	35.1	2.9	2.9

Q16-2-介護職員等処遇改善加算の届出を行わない理由

調査数	対象の制約のため困難	事務作業が煩雑	追加費用負担の発生	利用者負担の発生	非常勤職員等の処遇上の問題	賃金改善の必要性がない	算定要件を達成できない	その他
3	0	3	0	1	0	0	0	0
100.0	0.0	100.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
								無回答
								0
								0.0

全ての方に伺います。

問 17 令和6年度の離職（注1）した人数は何名ですか。

注1)「離職者」とは、令和6年度中に事業所を退職したり、解雇された者をいい、他企業への出向者・出向復帰者を
含み、同一企業内での転出入者を除く。

注2) 正規職員・非正規職員とは

- 正規職員(雇用している労働者で雇用期間の定めのない者)
- 非正規職員(正規職員以外の労働者(契約、嘱託、パートなど))
- 常勤労働者(1週の所定労働時間が主たる正規職員と同じ者)
- 短時間労働者(1週の所定労働時間が主たる正規職員に比べ短い者)

	介護職員	看護職員	その他
①正規職員(注2)	人	人	人
②非正規職員(注2)	人	人	人
常勤労働者	人	人	人
短時間労働者	人	人	人

待機者及び入居者の状況についてお伺いします。

問 18 令和7年10月1日時点の入所待ち者数(待機者数)を記入してください。

人

令和6年3月末日までに開所したグループホームの事業所の方にお伺いします。

問 19 令和6年4月1日～令和7年3月31日の1年間の入居者について、入居前の住所地の人数をご記入
ください。

入居前所在地が市内の方	人
入居前所在地が市外の方	人

Q17.離職人数別①正規職員(1)介護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	無回答
205	30	29	44	9	2	0	0	0	0	0	91
100.0	14.6	14.1	21.5	4.4	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	44.4

Q17.離職人数別①正規職員(2)看護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	無回答
205	31	14	7	1	1	0	0	0	0	0	151
100.0	15.1	6.8	3.4	0.5	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	73.7

Q17.離職人数別①正規職員(3)その他【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	無回答
205	29	9	3	0	0	0	0	0	0	0	164
100.0	14.1	4.4	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	80.0

Q17.離職人数別②非正規職員(1)介護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	無回答
205	25	28	48	11	5	2	0	0	0	0	86
100.0	12.2	13.7	23.4	5.4	2.4	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	42.0

Q17.離職人数別②非正規職員(2)看護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	無回答
205	28	15	11	1	0	0	0	0	0	0	150
100.0	13.7	7.3	5.4	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	73.2

Q17.離職人数別②非正規職員(3)その他【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	無回答
205	26	8	8	1	0	0	0	0	0	0	162
100.0	12.7	3.9	3.9	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	79.0

Q17.離職人数別②のうち常勤労働者(1)介護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	無回答
205	35	8	10	0	0	0	0	0	0	0	152
100.0	17.1	3.9	4.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	74.1

Q17.離職人数別②のうち常勤労働者(2)看護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	無回答
205	28	7	1	0	0	0	0	0	0	0	169
100.0	13.7	3.4	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	82.4

Q17.離職人数別②のうち常勤労働者(3)その他【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	無回答
205	29	4	0	0	0	0	0	0	0	0	172
100.0	14.1	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	83.9

Q17.離職人数別②のうち短時間労働者(1)介護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	無回答
205	27	13	25	6	3	1	0	0	0	0	130
100.0	13.2	6.3	12.2	2.9	1.5	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	63.4

Q17.離職人数別②のうち短時間労働者(2)看護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	無回答
205	29	9	4	0	0	0	0	0	0	0	163
100.0	14.1	4.4	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	79.5

Q17.離職人数別②のうち短時間労働者(3)その他【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	無回答
205	27	8	5	0	0	0	0	0	0	0	165
100.0	13.2	3.9	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	80.5

Q17.合計 介護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	無回答
205	22	28	69	16	13	3	0	0	0	0	54
100.0	10.7	13.7	33.7	7.8	6.3	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	26.3

Q17.合計 看護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	無回答
205	26	20	19	3	1	0	0	0	0	0	136
100.0	12.7	9.8	9.3	1.5	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.3

Q17.合計 その他【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	無回答
205	25	12	12	1	0	0	0	0	0	0	155
100.0	12.2	5.9	5.9	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.6

Q18.令和7年10月1日時点の待機者の人数【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	無回答
205	51	14	82	16	11	1	3	1	0	0	26
100.0	24.9	6.8	40.0	7.8	5.4	0.5	1.5	0.5	0.0	0.0	12.7

Q19.入居前の住所地の人数 入居前所在地が市内の方

調査数	平均	最小値	最大値
53	7.30	1.00	23.00
100.0			

Q19.入居前の住所地の人数 入居前所在地が市外の方

調査数	平均	最小値	最大値
25	0.80	0.00	5.00
100.0			

事業所のサービスや運営、取組状況についてお伺いします。

全ての方に伺います。

問 20 貴事業所の運営やサービス向上のために、どのような情報や支援が必要ですか。次のうち必要と考えられる情報・支援を3つまでお選びください。(○は3つまで)

1. 介護保険制度・介護報酬等に関する情報	11. 定員の空き状況、空室・空床に関する情報
2. 介護保険以外の保健・福祉サービスに関する情報	12. 緊急時ショートステイや入院などの受入れ先情報
3. 情報提供・相談等の窓口	13. 事業者連絡会等に関する運営サポート、バックアップ
4. 介護技術・方法に関する情報	14. ケアカンファレンス等の運営サポート、バックアップ
5. 認知症ケアに関する情報	15. サービス展開のための土地・建物に関する情報
6. 医療処置を必要とする場合のケアに関する情報	16. その他
7. 困難事例、多問題事例に関するケース情報提供、助言	17. 特に必要な情報・支援はない
8. 介護予防に関する情報	
9. 研修・講座等に関する情報	
10. 周辺事業所や医療機関に関する情報	

問 21 地域とどのような内容で連携をとっていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 地域の行事への参加	5. 地元商店街や企業からの商品等購入
2. 講師として指導してもらう	6. 認知症サポーター養成講座の開催
3. 事業所イベントへの招待	7. 災害対策・避難訓練
4. 小学校・中学校の体験学習	8. その他(具体的に)
	9. 特にない

問 22 介護ロボット等、ICT機器の導入や利用についてどのような課題・問題があるとお考えですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 導入コストが高い	7. 清掃や消耗品管理などの維持管理が大変である
2. どのような介護ロボットやICT機器があるかわからない	8. 投資に見合うだけの効果がない
3. ケアに介護ロボットを活用することに違和感を覚える	9. 介護現場の実態に合う介護ロボットやICT機器がない、現場の役に立つ介護ロボットやICT機器がない
4. 技術的に使いこなせるか心配である	10. その他(具体的に)
5. 誤作動の不安がある	11. 課題・問題は特にない
6. 設置や保管等に場所をとられてしまう	

Q20.運営やサービス向上のために、必要と考えられる情報・支援

調査数	介護保険制度・介護報酬等に関する情報	介護保険以外の保健・福祉サービスに関する情報	情報提供・相談等の窓口	介護技術・方法に関する情報	認知症ケアに関する情報	医療処置を必要とする場合のケアに関する情報	困難事例、多問題事例に関するケース情報提供、助言	介護予防に関する情報
205 100.0	83 40.5	35 17.1	29 14.1	36 17.6	69 33.7	26 12.7	64 31.2	12 5.9
	研修・講座等に関する情報	周辺事業所や医療機関に関する情報	定員の空き状況、空室・空床に関する情報	緊急時ショートステイや入院などの受入れ先情報	事業者連絡会等に関する運営サポート、バックアップ	ケアカンファレンス等の運営サポート、バックアップ	サービス展開のための土地・建物に関する情報	その他
	47 22.9	28 13.7	21 10.2	19 9.3	12 5.9	3 1.5	4 2.0	6 2.9
							特に必要な情報・支援はない	無回答
							6 2.9	11 5.4

Q21.地域とどのような内容で連携をとっていますか

調査数	地域の行事への参加	講師として指導してもらう	事業所イベントへの招待	小学校・中学校の体験学習	地元商店街や企業からの商品等購入	認知症サポーター養成講座の開催	災害対策・避難訓練	その他
205 100.0	107 52.2	8 3.9	54 26.3	24 11.7	25 12.2	12 5.9	69 33.7	9 4.4
							特にない	無回答
							41 20.0	10 4.9

Q22.介護ロボット等、ICT機器の導入や利用についての課題・問題

調査数	導入コストが高い	どのような介護ロボットやICT機器があるかわからない	ケアに介護ロボットを活用することに違和感を覚える	技術的に使いこなせるか心配である	誤作動の不安がある	設置や保管等に場所をとられてしまう	清掃や消耗品管理などの維持管理が大変である	投資に見合うだけの効果がない
205 100.0	123 60.0	51 24.9	27 13.2	76 37.1	52 25.4	49 23.9	58 28.3	29 14.1
					介護現場の実態に合う介護ロボットやICT機器がない、現場の役に立つ介護ロボットやICT機器がない	その他	課題・問題は特にない	無回答
	25 12.2	6 2.9	16 7.8	16 7.8				16 7.8

問 23 ボランティアの受入れ頻度とよこはまシニアボランティアポイント事業の実施状況について教えてください。（（１）、（２）それぞれあてはまるものすべてに○）

	1. ほぼ毎日	2. 週1日 (月4回) 程度	3. 月2回 程度	4. 月1回 程度	5. 年に数 回程度	6. 受け入 れていない
(1) よこはまシニア ボランティアポイント 事業	1	2	3	4	5	6
(2) その他のボラン ティア	1	2	3	4	5	6

問 23 で「1」～「5」のいずれかに回答した方にお伺いします。

問 23-1 事業所で受け入れているボランティアの活動内容をお選びください。
（（１）、（２）それぞれあてはまるものすべてに○）

(1) よこはまシニアボランティアの活動内容

1. レクリエーションなどの指導、参加支援 (音楽の演奏・踊り等も含む)	6. 話し相手
2. お茶出しや食堂内での配膳、下膳などの補助	7. 洗濯物の整理や衣類の縫製
3. 食事介助の補助	8. 入浴後の整髪、ドライヤーかけ、からだ拭き等
4. 散歩、外出、館内移動の補助	9. 施設への利用者の送迎
5. 施設関係行事の手伝い	10. その他(具体的にお書きください)

(2) その他のボランティアの活動内容

1. レクリエーションなどの指導、参加支援 (音楽の演奏・踊り等も含む)	6. 話し相手
2. お茶出しや食堂内での配膳、下膳などの補助	7. 洗濯物の整理や衣類の縫製
3. 食事介助の補助	8. 入浴後の整髪、ドライヤーかけ、からだ拭き等
4. 散歩、外出、館内移動の補助	9. 施設への利用者の送迎
5. 施設関係行事の手伝い	10. その他(具体的にお書きください)

Q23実施状況(1)よこはまシニアボランティアポイント事業

調査数	ほぼ毎日	週1日(月4 回)程度	月2回程度	月1回程度	年に数回程度	受け入れてい ない	無回答
205	1	6	0	3	7	150	38
100.0	0.5	2.9	0.0	1.5	3.4	73.2	18.5

Q23実施状況(2)その他のボランティア

調査数	ほぼ毎日	週1日(月4 回)程度	月2回程度	月1回程度	年に数回程度	受け入れてい ない	無回答
205	0	8	16	22	48	88	23
100.0	0.0	3.9	7.8	10.7	23.4	42.9	11.2

Q23-1.ボランティアの活動内容(2)その他のボランティアの活動内容

調査数	レクリエーションなどの指導、 参加支援(音楽の演奏・踊り 等も含む)	お茶出しや食 堂内での配 膳、下膳など の補助	食事介助の補 助	散歩、外出、館 内移動の補助	施設関係行事 の手伝い	話し相手	洗濯物の整理 や衣類の縫製	入浴後の整 髪、ドライヤー かけ、からだ 拭き等
94	81	5	2	2	10	16	2	1
100.0	86.2	5.3	2.1	2.1	10.6	17.0	2.1	1.1
						施設への利用 者の送迎	その他	無回答
						1	3	1
						1.1	3.2	1.1

Q23-1.ボランティアの活動内容(2)その他のボランティアの活動内容

調査数	レクリエーションなどの指導、 参加支援(音楽の演奏・踊り 等も含む)	お茶出しや食 堂内での配 膳、下膳など の補助	食事介助の補 助	散歩、外出、館 内移動の補助	施設関係行事 の手伝い	話し相手	洗濯物の整理 や衣類の縫製	入浴後の整 髪、ドライヤー かけ、からだ 拭き等
94	81	5	2	2	10	16	2	1
100.0	86.2	5.3	2.1	2.1	10.6	17.0	2.1	1.1
						施設への利用 者の送迎	その他	無回答
						1	3	1
						1.1	3.2	1.1

全ての方に伺います。

問 24 貴事業所を運営する上での問題点はどれですか。(〇は3つまで)

1. 今の介護報酬では、人材の確保・定着のために十分な賃金を払えない	
2. 経営（収支）が苦しく、労働条件や労働環境改善をしたくても出来ない	
3. 良質な人材の確保が難しい	
4. 新規利用者の確保が難しい	
5. 介護従事者の介護業務に関する知識や技術が不足している	
6. 介護従事者の介護業務に臨む意欲や姿勢に問題がある	
7. 管理者の指導・管理能力が不足している	
8. 教育・研修の時間が十分に取れない	
9. 介護従事者間のコミュニケーションが不足している	
10. 経営者・管理者と職員間のコミュニケーションが不足している	
11. 利用者や利用者の家族の介護サービスに対する理解が不足している	
12. 介護保険の改正等についての的確な情報や説明が得られない	
13. 指定介護サービス提供に関する書類作成が煩雑で、時間に追われている	
14. 雇用管理等についての情報や指導が不足している	
15. その他（具体的に)	
16. 特に問題はない	

ご協力ありがとうございました。

Q24.施設を運営する上での問題点

調査数	今の介護報酬では、人材の確保・定着のために十分な賃金を払えない	経営（収支）が苦しく、労働条件や労働環境改善をしたくても出来ない	良質な人材の確保が難しい	新規利用者の確保が難しい	介護従事者の介護業務に関する知識や技術が不足している	介護従事者の介護業務に臨む意欲や姿勢に問題がある	管理者の指導・管理能力が不足している	教育・研修の時間が十分に取れない
205 100.0	70 34.1	34 16.6	121 59.0	21 10.2	38 18.5	19 9.3	12 5.9	55 26.8
	介護従事者間のコミュニケーションが不足している	経営者・管理者と職員間のコミュニケーションが不足している	利用者や利用者の家族の介護サービスに対する理解が不足している	介護保険の改正等についての的確な情報や説明が得られない	指定介護サービス提供に関する書類作成が煩雑で、時間に追われている	雇用管理等についての情報や指導が不足している	その他	特に問題はない
	20 9.8	9 4.4	17 8.3	9 4.4	29 14.1	4 2.0	3 1.5	9 4.4
								無回答
								13 6.3

アンケートご協力をお願い

日頃から、本市の高齢者保健福祉行政に御理解と御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

横浜市では、横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画・認知症施策推進計画の改定に際し、3年に1度、介護サービス事業所（訪問・通所系）の皆様のご意見を伺う調査を実施しています。

この調査の結果につきましては、高齢者保健福祉施策を検討する際の重要な基礎資料となりますので、業務ご多用のところお手数をおかけいたしますが、本調査の趣旨を御理解いただき、御協力を賜りますようお願いいたします。

調査の回答については、12月8日（月）までにご回答くださいますよう、併せて御協力をお願いいたします。

なお、調査報告に関する秘密が保持されることと、個々の施設ごとの調査結果を公表するものではなく、サービスごとの横浜市全体の集計結果を公表する予定であることを申し添えます。

貴事業所の概要についてお伺いします。

問1 貴事業所のお名前、介護保険事業所番号等をご記入ください。

※ 封筒の宛名記載の事業所名をご記入ください。

事業所名		介護保険 事業所番号								
------	--	---------------	--	--	--	--	--	--	--	--

問2 市内で現在提供しているサービス等について、あてはまる番号に○をつけてください。（それぞれあてはまるものに○）

区分	現在実施しているサービス	区分	現在実施しているサービス
居宅介護支援	1	福祉用具貸与	1
介護予防支援	1	介護予防福祉用具貸与	1
訪問介護	1	特定福祉用具販売	1
横浜市訪問介護相当サービス	1	特定介護予防福祉用具販売	1
横浜市訪問型生活援助サービス	1	特定施設入居者生活介護	1
訪問入浴介護	1	介護予防特定施設入居者生活介護	1
介護予防訪問入浴介護	1	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1
訪問看護	1	地域密着型通所介護	1
介護予防訪問看護	1	夜間対応型訪問介護	1
訪問リハビリテーション	1	認知症対応型通所介護	1
介護予防訪問リハビリテーション	1	介護予防認知症対応型通所介護	1
居宅療養管理指導	1	小規模多機能型居宅介護	1
介護予防居宅療養管理指導	1	介護予防小規模多機能型居宅介護	1
通所介護	1	看護小規模多機能型居宅介護	1
横浜市通所介護相当サービス	1	認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	1
通所リハビリテーション	1	介護予防認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	1
介護予防通所リハビリテーション	1	地域密着型特定施設入居者生活介護	1
短期入所生活介護	1	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	1
介護予防短期入所生活介護	1	介護老人福祉施設	1
短期入所療養介護	1	介護老人保健施設	1
介護予防短期入所療養介護	1	介護医療院	1
住宅改修	1		

Q2. 市内で現在提供しているサービス(1)現在実施しているサービス

調査数	居宅介護支援	介護予防支援	訪問介護	横浜市訪問介護相当サービス	横浜市訪問型生活援助サービス	訪問入浴介護	介護予防訪問入浴介護	訪問看護
744 100.0	129 17.3	77 10.3	237 31.9	145 19.5	43 5.8	28 3.8	20 2.7	157 21.1
	介護予防訪問看護	訪問リハビリテーション	介護予防訪問リハビリテーション	居宅療養管理指導	介護予防居宅療養管理指導	通所介護	横浜市通所介護相当サービス	通所リハビリテーション
	106 14.2	45 6.0	39 5.2	10 1.3	6 0.8	123 16.5	149 20.0	37 5.0
	介護予防通所リハビリテーション	短期入所生活介護	介護予防短期入所生活介護	短期入所療養介護	介護予防短期入所療養介護	住宅改修	福祉用具貸与	介護予防福祉用具貸与
	31 4.2	8 1.1	7 0.9	20 2.7	19 2.6	6 0.8	11 1.5	9 1.2
	特定福祉用具販売	特定介護予防福祉用具販売	特定施設入居者生活介護	介護予防特定施設入居者生活介護	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	地域密着型通所介護	夜間対応型訪問介護	認知症対応型通所介護
	9 1.2	9 1.2	2 0.3	2 0.3	20 2.7	128 17.2	12 1.6	25 3.4
	介護予防認知症対応型通所介護	小規模多機能型居宅介護	介護予防小規模多機能型居宅介護	看護小規模多機能型居宅介護	認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	介護予防認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	地域密着型特定施設入居者生活介護	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
	4 0.5	32 4.3	18 2.4	10 1.3	7 0.9	3 0.4	0 0.0	1 0.1
	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護医療院	無回答				
	7 0.9	21 2.8	0 0.0	7 0.9				

職員、人材確保、処遇等についてお伺いします。

問3 令和7年10月1日時点の貴事業所の職員数についてご記入ください。

職員数とは、貴事業所が実施する全てのサービスに従事する者（正規・非正規職員問わず）の総数です。また、職員の市内在住状況を教えてください。ただし、派遣労働者、委託業務従事者は含みません。該当者がいない場合は空白で結構です。

- 注1) 資格ではなく、従事している仕事(職種)に着目して入力してください。
 なお、兼務している職員については、主として従事する仕事(職種)にのみ入力してください。
 注2) 正規職員・非正規職員とは
 正規職員(雇用している労働者で雇用期間の定めのない者)
 非正規職員(正規職員以外の労働者(契約、嘱託、パートなど))
 注3) PT(理学療法士)、OT(作業療法士)、ST(言語聴覚士)等の機能訓練指導員

職種別(下記の職種のみ)(注1)	正規職員(注2)	非正規職員(注2)
①介護職員	人	人
②看護職員	人	人
③生活相談員	人	人
④PT・OT・ST等(注3)	人	人
⑤ケアマネジャー	人	人
⑥その他職員	人	人
職員総人数 正規職員 : 市内在住 () 人、市外在住 () 人 非正規職員: 市内在住 () 人、市外在住 () 人		

問3-1 貴施設での外国人介護職員(看護職員も含む)の採用状況について、令和7年10月1日現在で、採用している外国人介護職員の在留資格であてはまるものをお選びください。(あてはまるものすべてに○)

1. 特定活動(経済連携協定「EPA」)	5. 留学
2. 介護	6. その他(具体的に:)
3. 技能実習(介護)	7. 外国人介護職員を採用していない
4. 特定技能1号(介護)	

Q3. ①介護職員 正規職員【クラス分け】											
調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
744	28	95	287	69	18	4	16	2	0	0	225
100.0	3.8	12.8	38.6	9.3	2.4	0.5	2.2	0.3	0.0	0.0	30.2
Q3. ①介護職員 非正規職員【クラス分け】											
調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
744	16	30	165	124	116	41	16	8	1	1	226
100.0	2.2	4.0	22.2	16.7	15.6	5.5	2.2	1.1	0.1	0.1	30.4
Q3. ②看護職員 正規職員【クラス分け】											
調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
744	52	66	126	49	13	3	1	0	0	0	434
100.0	7.0	8.9	16.9	6.6	1.7	0.4	0.1	0.0	0.0	0.0	58.3
Q3. ②看護職員 非正規職員【クラス分け】											
調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
744	26	86	206	54	19	2	0	0	0	0	351
100.0	3.5	11.6	27.7	7.3	2.6	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	47.2
Q3. ③生活相談員 正規職員【クラス分け】											
調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
744	47	117	125	2	1	0	0	0	0	0	452
100.0	6.3	15.7	16.8	0.3	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.8
Q3. ③生活相談員 非正規職員【クラス分け】											
調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
744	98	39	30	0	0	0	0	0	0	0	577
100.0	13.2	5.2	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	77.6
Q3. ④PT・OT・ST等 正規職員【クラス分け】											
調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
744	68	66	103	19	12	1	0	0	0	0	475
100.0	9.1	8.9	13.8	2.6	1.6	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	63.8
Q3. ④PT・OT・ST等 非正規職員【クラス分け】											
調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
744	81	73	58	11	3	0	0	0	0	0	518
100.0	10.9	9.8	7.8	1.5	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	69.6
Q3. ⑤ケアマネジャー 正規職員【クラス分け】											
調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
744	65	56	66	6	0	0	0	0	0	0	551
100.0	8.7	7.5	8.9	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	74.1
Q3. ⑤ケアマネジャー 非正規職員【クラス分け】											
調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
744	87	37	21	0	0	0	0	0	0	0	599
100.0	11.7	5.0	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	80.5
Q3. ⑥その他職員 正規職員【クラス分け】											
調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
744	56	113	61	17	7	1	1	0	0	0	488
100.0	7.5	15.2	8.2	2.3	0.9	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	65.6
Q3. ⑥その他職員 非正規職員【クラス分け】											
調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
744	36	73	113	27	28	5	3	0	0	0	459
100.0	4.8	9.8	15.2	3.6	3.8	0.7	0.4	0.0	0.0	0.0	61.7
Q3. 職員総人数 正規職員 市内在住【クラス分け】											
調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
744	3	80	363	122	70	6	14	6	3	0	77
100.0	0.4	10.8	48.8	16.4	9.4	0.8	1.9	0.8	0.4	0.0	10.3
Q3. 職員総人数 正規職員 市外在住【クラス分け】											
調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
744	65	177	152	14	7	3	1	2	0	0	323
100.0	8.7	23.8	20.4	1.9	0.9	0.4	0.1	0.3	0.0	0.0	43.4
Q3. 職員総人数 非正規職員 市内在住【クラス分け】											
調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
744	8	48	190	128	134	61	30	11	0	1	133
100.0	1.1	6.5	25.5	17.2	18.0	8.2	4.0	1.5	0.0	0.1	17.9
Q3. 職員総人数 非正規職員 市外在住【クラス分け】											
調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
744	107	109	91	25	6	3	5	0	0	0	398
100.0	14.4	14.7	12.2	3.4	0.8	0.4	0.7	0.0	0.0	0.0	53.5

Q3-1. 外国人介護職員の採用状況									
調査数	特定活動(経済連携協定「EPA」)	介護	技能実習(介護)	特定技能1号(介護)	留学	その他	外国人介護職員を採用していない	無回答	
744	3	32	15	29	2	32	578	78	
100.0	0.4	4.3	2.0	3.9	0.3	4.3	77.7	10.5	

問3-1で「1」～「6」のいずれかに回答した方にお伺いします。

問3-2 問3-1で回答した外国人介護職員（看護職員も含む）の在留資格について、令和7年10月1日現在で、資格別の採用人数を国籍別にご記入ください。非該当の在留資格・国籍については無回答（空白）で結構です。

	採用人数 (人)									
	インドネシア	フィリピン	ベトナム	中国	ミャンマー	カンボジア	ネパール	モンゴル	タイ	その他
在留資格										
①『特定活動』（経済連携協定(EPA)）										
②『介護』										
③『技能実習』（介護）										
④『特定技能1号』（介護）										
⑤『留学』										
⑥その他										

全ての方に伺います。

問4 貴事業所では、従業員の職種別（注1）過不足の状況はいかがですか。

（それぞれの職種で〇はひとつ）

「不足」とは、募集を必要としていることを指します。

注1) 資格ではなく、従事している仕事(職種)に着目してください。

注2) PT(理学療法士)、OT(作業療法士)、ST(言語聴覚士)等の機能訓練指導員

職種別(注1)	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種はない
①介護職員（訪問介護員含む）	1	2	3	4	5	6
②看護職員	1	2	3	4	5	6
③生活相談員	1	2	3	4	5	6
④PT・OT・ST等（注2）	1	2	3	4	5	6
⑤ケアマネジャー	1	2	3	4	5	6
⑥その他職員	1	2	3	4	5	6
⑦全体でみた場合(上記①～⑥について)	1	2	3	4	5	6

問4の⑦で1～3と回答した方にお伺いします。

問4-1 「⑦全体でみた場合」で、不足している理由はどれですか。（あてはまるものすべてに〇）

1. 採用が困難である	3. 事業拡大によって必要人数が増大した
2. 離職率が高い（定着率が低い）	4. その他（具体的に)

	インドネシア		フィリピン		ベトナム		中国		ミャンマー		カンボジア		ネパール		モンゴル		タイ		その他	
	施設数	人数	施設数	人数	施設数	人数	施設数	人数	施設数	人数	施設数	人数	施設数	人数	施設数	人数	施設数	人数	施設数	人数
①特定活動	0	0	1	1	1	3														
②介護	5	8	5	6	5	14	9	15	3	4	0	0	2	3	0	0	0	0	6	16
③技能実習	5	17	0	0	6	12	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	1	1	2	6
④特定技能1号	11	23	2	4	11	16	2	3	11	31	0	0	1	5	0	0	0	0	2	4
⑤留学	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑥その他	3	3	11	29	4	4	6	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	11

Q4. 従業員の職種別過不足状況(1)介護職員

調査数	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種はない	無回答
744	121	165	135	143	8	74	98
100.0	16.3	22.2	18.1	19.2	1.1	9.9	13.2

Q4. 従業員の職種別過不足状況(2)看護職員

調査数	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種はない	無回答
744	41	67	125	199	3	92	217
100.0	5.5	9.0	16.8	26.7	0.4	12.4	29.2

Q4. 従業員の職種別過不足状況(3)生活相談員

調査数	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種はない	無回答
744	7	15	39	186	2	184	311
100.0	0.9	2.0	5.2	25.0	0.3	24.7	41.8

Q4. 従業員の職種別過不足状況(4)PT・OT・ST等

調査数	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種はない	無回答
744	33	44	53	122	5	203	284
100.0	4.4	5.9	7.1	16.4	0.7	27.3	38.2

Q4. 従業員の職種別過不足状況(5)ケアマネジャー

調査数	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種はない	無回答
744	19	29	38	64	0	269	325
100.0	2.6	3.9	5.1	8.6	0.0	36.2	43.7

Q4. 従業員の職種別過不足状況(6)その他職員

調査数	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種はない	無回答
744	14	37	56	195	2	141	299
100.0	1.9	5.0	7.5	26.2	0.3	19.0	40.2

Q4. 従業員の職種別過不足状況(7)全体でみた場合(上記全てについて)

調査数	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種はない	無回答
744	54	99	148	129	2	42	270
100.0	7.3	13.3	19.9	17.3	0.3	5.6	36.3

Q4-1.「全体でみた場合」で、不足している理由

調査数	採用が困難である	離職率が高い(定着率が低い)	事業拡大によって必要人数が増大した	その他	無回答
301	263	57	33	28	2
100.0	87.4	18.9	11.0	9.3	0.7

全ての方に伺います。

問5 令和6年度の人材確保の状況について、人材派遣会社または人材紹介会社の活用によって確保した人数は何名ですか。該当者がいない場合は空白で結構です。

	介護職員	看護職員	その他
① 正規職員	人	人	人
うち人材紹介会社の活用	人	人	人
② 非正規職員	人	人	人
うち人材紹介会社の活用	人	人	人
人材派遣会社の活用	人	人	人

問6 貴事業所では職員の採用に際し、どのような工夫を行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. ハローワークや福祉人材センターを頻りに訪れている	8. 新規卒業者や若手にこだわらないようにしている
2. 求人の際、仕事そのものの魅力や労働条件を掲載する等求人内容を工夫している	9. 近隣の事業所と連携し、採用に関し情報交換をしている
3. 職員や知人と連絡を密にとり、人材についての情報の提供を受けている	10. 福祉系教育機関への働きかけを積極的に行っている
4. 採用について、従来より多くコストをかけている	11. 採用説明会や職場体験を実施している
5. 自事業所の理念やアピールポイントをHP等を介して対外的に発信している	12. 内定後のフォローをしっかりと行っている
6. 介護資格や介護経験の有無にこだわらないようにしている	13. くるみん認定など、国や地方自治体の認定等を取っている
7. 福祉系の教育機関出身者にこだわらないようにしている	14. 子育て支援を行っている(子ども預かり所を設ける、保育費用支援等)
	15. その他(具体的に)
	16. 特に行っていない

問7 介護職員(看護職員も含む)の人材不足に対し、新たな人材の確保に向けた自治体の取組として、効果的と考えるものは次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 若い世代に向けた介護業界のイメージアップ	9. 人材紹介料の補助
2. 職場体験を実施する事業所への支援	10. 潜在介護福祉士の(再)就職支援
3. 新たに介護業界へ就職をする者が資格取得等に関する研修参加をする際の支援	11. ロボット・ICT活用による職員の負担軽減への支援
4. 多様な働き方(時短、夜間のみ、週休3日)の導入支援	12. 子育て世代が働きやすい環境の整備への支援
5. 元気高齢者(ボランティア等)の受入れ支援	13. 合同就職相談会の実施
6. 介護助手の受入れ支援	14. 介護福祉士養成施設に対する財政的支援
7. 外国人介護職員の受入れ支援	15. その他()
8. 介護職員の住居借上支援	16. 自治体からの支援がなくても人材の確保ができています

Q5. 人材確保状況①正規職員(1)介護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
744	0	44	46	26	11	5	0	0	0	0	612
100.0	5.9	6.2	3.5	1.5	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	82.3

Q5. 人材確保状況①正規職員(2)看護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
744	0	35	39	24	3	1	0	1	0	0	641
100.0	4.7	5.2	3.2	0.4	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	86.2

Q5. 人材確保状況①正規職員(3)その他【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
744	0	44	18	13	1	0	0	0	0	0	668
100.0	5.9	2.4	1.7	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	89.8

Q5. 人材確保状況①うち人材紹介会社の活用(1)介護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
744	0	48	36	8	7	2	0	0	0	0	643
100.0	6.5	4.8	1.1	0.9	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	86.4

Q5. 人材確保状況①うち人材紹介会社の活用(2)看護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
744	0	46	27	15	0	1	1	0	0	0	654
100.0	6.2	3.6	2.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	87.9

Q5. 人材確保状況①うち人材紹介会社の活用(3)その他【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
744	0	50	14	8	0	0	0	0	0	0	672
100.0	6.7	1.9	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	90.3

Q5. 人材確保状況②非正規職員(1)介護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
744	0	38	46	46	8	5	1	1	0	0	599
100.0	5.1	6.2	6.2	1.1	0.7	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	80.5

Q5. 人材確保状況②非正規職員(2)看護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
744	0	36	35	30	2	1	0	0	0	1	639
100.0	4.8	4.7	4.0	0.3	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	85.9

Q5. 人材確保状況②非正規職員(3)その他【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
744	0	42	14	18	1	0	0	0	0	0	669
100.0	5.6	1.9	2.4	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	89.9

Q5. 人材確保状況②うち人材紹介会社の活用(1)介護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
744	0	58	28	14	0	0	0	0	0	0	644
100.0	7.8	3.8	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	86.6

Q5. 人材確保状況②うち人材紹介会社の活用(2)看護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
744	0	49	19	12	0	0	0	0	0	0	664
100.0	6.6	2.6	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	89.2

Q5. 人材確保状況②うち人材紹介会社の活用(3)その他【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
744	0	49	7	7	0	0	0	0	0	0	681
100.0	6.6	0.9	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	91.5

Q5. 人材確保状況③人材派遣会社の活用(1)介護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
744	0	53	18	16	1	1	0	0	0	1	654
100.0	7.1	2.4	2.2	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	87.9

Q5. 人材確保状況③人材派遣会社の活用(2)看護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
744	0	47	14	12	0	1	0	0	2	0	668
100.0	6.3	1.9	1.6	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	89.8

Q5. 人材確保状況③人材派遣会社の活用(3)その他【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
744	0	51	2	4	0	0	0	0	0	0	687
100.0	6.9	0.3	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	92.3

Q5. 合計【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
744	0	31	63	111	22	32	5	3	0	2	475
100.0	4.2	8.5	14.9	3.0	3.0	4.3	0.7	0.4	0.0	0.3	63.8

Q6. 職員採用の工夫

調査数	ハローワークや福祉人材センターを頻りに訪れている	求人に際し、仕事そのものの魅力や労働条件を掲載する等求人内容を工夫している	職員や知人と連絡を密にとり、人材についての情報の提供を受けている	採用について、従来より多くコストをかけている	自事業所の理念やアピールポイントをHP等を介して対外的に発信している	介護資格や介護経験の有無にこだわらないようにしている	福祉系の教育機関出身者にこだわらないようにしている	新規学卒者や若手にこだわらないようにしている
744 100.0	142 19.1	311 41.8	297 39.9	163 21.9	268 36.0	235 31.6	205 27.6	228 30.6
	近隣の事業所と連携し、採用に関し情報交換をしている	福祉系教育機関への働きかけを積極的に行っている	採用説明会や職場体験を実施している	内定後のフォローをしっかりと行っている	くるみん認定など、国や地方自治体の認定等を取っている	子育て支援を行っている(子ども預かり所を設ける、保育費用支援等)	その他	特に行っていない
	59 7.9	41 5.5	77 10.3	181 24.3	9 1.2	42 5.6	44 5.9	52 7.0
								無回答
								31 4.2

Q7. 人材の確保に向けた自治体の取組として、効果的と考えるもの

調査数	若い世代に向けた介護業界のイメージアップ	職場体験を実施する事業所への支援	新たに介護業界へ就職する者が資格取得等に関する研修参加をする際の支援	多様な働き方(時短、夜間のみ、週休3日)の導入支援	元気高齢者(ボランティア等)の受入れ支援	介護助手の受入れ支援	外国人介護職員の受入れ支援	介護職員の住居借上支援
744 100.0	423 56.9	203 27.3	278 37.4	310 41.7	123 16.5	60 8.1	71 9.5	98 13.2
	人材紹介料の補助	潜在介護福祉士の(再)就職支援	ロボット・ICT活用による職員の負担軽減への支援	子育て世代が働きやすい環境の整備への支援	合同就職相談会の実施	介護福祉士養成施設に対する財政的支援	その他	自治体からの支援がなくても人材の確保ができています
	277 37.2	115 15.5	121 16.3	290 39.0	42 5.6	102 13.7	56 7.5	23 3.1
								無回答
								51 6.9

問8 今後、貴施設において外国人介護職員（看護職員も含む）を受け入れる予定はありますか。新規に受け入れる場合の在留資格の希望についてあてはまるものをお選びください。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1. 特定活動（経済連携協定「EPA」） | 5. 留学 |
| 2. 介護 | 6. その他（具体的に： ） |
| 3. 技能実習（介護） | 7. 在留資格にこだわりはない |
| 4. 特定技能1号（介護） | 8. 新規に受け入れる予定はない |

問8で「1」～「6」のいずれかに回答した方にお伺いします。

問8-1 問8で回答した新規に受け入れを希望する外国人介護職員（看護職員も含む）について、在留資格別に採用を希望する国籍をご記入ください。

	採用したい国籍										国籍にこだわりはない	無回答	
	インドネシア	フィリピン	ベトナム	中国	ミャンマー	カンボジア	ネパール	モンゴル	タイ	その他			
在留資格													
①【特定活動】（経済連携協定（EPA））	1	2	3									11	
②【介護】	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11		
③【技能実習】（介護）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11		
④【特定技能1号】（介護）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11		
⑤【留学】	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11		
⑥その他	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11		
⑦在留資格にこだわりはない	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11		

全ての方に伺います。

問9 外国人介護職員（看護職員も含む）を、貴事業所で受け入れるにあたり、自治体の取組として効果的と考えるものは次のうちどれですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|---|-----------------------------------|
| 1. 在留資格の違いや、受入れ手続きの流れ等を理解するための研修やセミナーの実施 | 6. 外国人介護職員に対する介護に関する研修や日本語研修などの支援 |
| 2. 受入れのための入管手続きなどの事務の支援（事業所向け相談窓口の設置） | 7. 介護福祉士試験合格のための支援 |
| 3. 受入れにあたり事業所にかかる経費の補助等の経済的支援（住居費等）※給与や紹介手数料は含まない | 8. その他（ ） |
| 4. 外国人介護職員向け相談窓口等の生活支援 | 9. 自治体からの支援がなくても、十分受入れができる |
| 5. 受入れ事業所の職員のための研修（教育方法や、文化等の理解、コミュニケーションの方法等） | |

Q8. 新規に受け入れる場合の在留資格の希望

調査数	特定活動（経済連携協定「EPA」）	介護	技能実習（介護）	特定技能1号（介護）	留学	その他	在留資格にこだわりはない	新規に受け入れる予定はない
744	7	72	27	53	3	20	40	519
100.0	0.9	9.7	3.6	7.1	0.4	2.7	5.4	69.8
								無回答
								62
								8.3

Q8. 在留資格で受入れる国 (1)【特定活動】（経済連携協定（EPA））

調査数	インドネシア	フィリピン	ベトナム	中国	ミャンマー	カンボジア	ネパール	モンゴル	タイ	その他	国籍にこだわりはない	無回答
7	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
100.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	71.4

Q8. 在留資格で受入れる国 (2)【介護】

調査数	インドネシア	フィリピン	ベトナム	中国	ミャンマー	カンボジア	ネパール	モンゴル	タイ	その他	国籍にこだわりはない	無回答
72	12	8	7	2	4	3	4	1	1	1	0	50
100.0	16.7	11.1	9.7	2.8	5.6	4.2	5.6	1.4	1.4	1.4	0.0	69.4

Q8. 在留資格で受入れる国 (3)【技能実習】（介護）

調査数	インドネシア	フィリピン	ベトナム	中国	ミャンマー	カンボジア	ネパール	モンゴル	タイ	その他	国籍にこだわりはない	無回答
27	7	2	5	0	0	0	0	0	0	1	0	15
100.0	25.9	7.4	18.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7	0.0	55.6

Q8. 在留資格で受入れる国 (4)【特定技能1号】（介護）

調査数	インドネシア	フィリピン	ベトナム	中国	ミャンマー	カンボジア	ネパール	モンゴル	タイ	その他	国籍にこだわりはない	無回答
53	20	3	15	1	19	1	11	1	1	1	0	20
100.0	37.7	5.7	28.3	1.9	35.8	1.9	20.8	1.9	1.9	1.9	0.0	37.7

Q8. 在留資格で受入れる国 (5)【留学】

調査数	インドネシア	フィリピン	ベトナム	中国	ミャンマー	カンボジア	ネパール	モンゴル	タイ	その他	国籍にこだわりはない	無回答
3	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
100.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3

Q8. 在留資格で受入れる国 (6)【その他】

調査数	インドネシア	フィリピン	ベトナム	中国	ミャンマー	カンボジア	ネパール	モンゴル	タイ	その他	国籍にこだわりはない	無回答
20	3	0	3	0	1	0	0	1	0	0	0	10
100.0	15.0	0.0	15.0	0.0	5.0	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	5.0	50.0

Q8. 在留資格で受入れる国 (7)【在留資格にこだわりはない】

調査数	インドネシア	フィリピン	ベトナム	中国	ミャンマー	カンボジア	ネパール	モンゴル	タイ	その他	国籍にこだわりはない	無回答
40	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	33
100.0	5.0	5.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	82.5

Q9. 外国人介護職員を、受け入れるにあたり、自治体の取組として効果的と考えるもの

調査数	在留資格の違いや、受入れ手続きの流れ等を理解するための研修やセミナーの実施	受入れのための入管手続きなどの事務の支援（事業所向け相談窓口の設置）	受入れにあたり事業所にかかる経費の補助等の経済的支援（住居費等）※給与や紹介手数料は含まない	外国人介護職員向け相談窓口等の生活支援	受入れ事業所の職員のための研修（教育方法や、文化等の理解、コミュニケーションの方法等）	外国人介護職員に対する介護に関する研修や日本語研修などの支援	介護福祉士試験合格のための支援	その他
744	205	229	270	219	285	342	172	46
100.0	27.6	30.8	36.3	29.4	38.3	46.0	23.1	6.2
								無回答
								22
								181
								3.0
								24.3

問 10 職員の早期離職防止や定着促進を図るために実施しているものを教えてください。
(あてはまるものすべてに○)

1. 残業を少なくする、有給休暇を取りやすくする等の労働条件の改善に取り組んでいる
2. 本人の希望に応じた勤務体制にする等の労働条件の改善に取り組んでいる
3. 賃金水準を向上させている
4. 能力や仕事を評価し、賃金などの処遇に反映している
5. 職員の仕事内容と必要な能力等を明示している
6. キャリアに応じた給与体系を整備している
7. 非正規職員から正規職員への転換の機会を設けている
8. 新人の指導担当・アドバイザーを置いている
9. 能力開発を充実させている（社内研修実施、社外講習等の受講・支援等）
10. 管理者・リーダー層の部下育成や動機付け、能力向上に向けた教育研修に力を入れている
11. 仕事内容の希望を聞いて配置している
12. 悩み、不満、不安などの相談窓口を設けている（メンタルヘルス対策を含む）
13. 健康対策や健康管理に力を入れている
14. 職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図っている（定期的なミーティング、意見交換会、チームケア等）
15. 経営者・管理者と従業員が経営方針、ケア方針を共有する機会を設けている
16. 業務改善や効率化等による働きやすい職場作りに力を入れている
17. 介護ロボットや ICT 等の導入による働きやすい職場作りに力を入れている
18. 福利厚生を充実させ、職場内の交流を深めている（カラオケ、ボーリングなどの同好会、親睦会等の実施を含む）
19. 職場環境を整えている（休憩室、談話室、出社時に座れる席の確保等）
20. 子育て支援を行っている（子ども預かり所を設ける、保育費用支援等）
21. スポットワーク等（短時間・単発の就労や有償ボランティア）を受入れている
22. その他（具体的に)
23. 特に方策はとっていない

Q10.職員の早期離職防止や定着促進を図るため実施しているもの

調査数	残業を少なくする、有給休暇を取りやすくする等の労働条件の改善に取り組んでいる	本人の希望に応じた勤務体制にする等の労働条件の改善に取り組んでいる	賃金水準を向上させている	能力や仕事を評価し、賃金などの処遇に反映している	職員の仕事内容と必要な能力等を明示している	キャリアに応じた給与体系を整備している	非正規職員から正規職員への転換の機会を設けている	新人の指導担当・アドバイザーを置いている
744	515	483	293	276	145	233	310	155
100.0	69.2	64.9	39.4	37.1	19.5	31.3	41.7	20.8
	能力開発を充実させている（社内研修実施、社外講習等の受講・支援等）	管理者・リーダー層の部下育成や動機付け、能力向上に向けた教育研修に力を入れている	仕事内容の希望を聞いて配置している	悩み、不満、不安などの相談窓口を設けている（メンタルヘルス対策を含む）	健康対策や健康管理に力を入れている	職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図っている（定期的なミーティング、意見交換会、チームケア等）	経営者・管理者と従業員が経営方針、ケア方針を共有する機会を設けている	業務改善や効率化等による働きやすい職場作りに力を入れている
	182	139	247	299	192	426	220	237
	24.5	18.7	33.2	40.2	25.8	57.3	29.6	31.9
	介護ロボットや ICT 等の導入による働きやすい職場作りに力を入れている	福利厚生を充実させ、職場内の交流を深めている（カラオケ、ボーリングなどの同好会、親睦会等の実施を含む）	職場環境を整えている（休憩室、談話室、出社時に座れる席の確保等）	子育て支援を行っている（子ども預かり所を設ける、保育費用支援等）	スポットワーク等（短時間・単発の就労や有償ボランティア）を受入れている	その他	特に方策はとっていない	無回答
	90	115	155	64	42	7	15	34
	12.1	15.5	20.8	8.6	5.6	0.9	2.0	4.6

問11 『スポットワーク等(短時間・単発の就労や有償ボランティア)』の受入れについてどのように考えていますか。(〇はひとつ)

1. すでに受け入れている	4. 必要ではない
2. 活用に向けて検討している	5. わからない
3. 必要だと思うが、具体的な検討などはしていない	

問12 『スポットワーク等(短時間・単発の就労や有償ボランティア)』について、どのようなイメージを持っていますか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 柔軟に人材を確保できる	5. 人材の質にばらつきがある
2. 急な欠員に対応できる	6. 教育・研修に時間がかかる
3. 採用コストを抑えられる	7. 職員との連携や利用者とのコミュニケーションが取りづらい
4. 働き方改革につながる	8. イメージがわからない

問13 貴施設で採用しているスポットワーク等の働き方について教えてください。

(あてはまるものすべてに〇)

1. 直接雇用の短時間勤務者	5. 雇用仲介アプリを使ったスキマバイト
2. 直接雇用の単発バイト	6. ギグワーク(業務委託契約した単発の仕事)
3. 人材派遣	7. その他()
4. 有償ボランティア	8. スポットワーク等を活用していない

問14 『介護助手』の受入れについてどのように考えていますか。(〇はひとつ)

1. すでに受け入れている	4. 必要だと思うが、具体的な検討などはしていない
2. 受け入れる準備をしている	5. 必要ではない
3. 受け入れるかの検討をしている	6. わからない

Q11『スポットワーク等(短時間・単発の就労や有償ボランティア)』の受入れ

調査数	すでに受け入れている	活用に向けて検討している	必要だと思うが、具体的な検討などはしていない	必要ではない	わからない	無回答
744	120	23	230	169	165	37
100.0	16.1	3.1	30.9	22.7	22.2	5.0

Q12『スポットワーク等(短時間・単発の就労や有償ボランティア)』のイメージ

調査数	柔軟に人材を確保できる	急な欠員に対応できる	採用コストを抑えられる	働き方改革につながる	人材の質にばらつきがある	教育・研修に時間がかかる	職員との連携や利用者とのコミュニケーションが取りづらい	イメージがわからない
744	188	214	91	132	325	196	304	167
100.0	25.3	28.8	12.2	17.7	43.7	26.3	40.9	22.4
								無回答
								43
								5.8

Q13.採用しているスポットワーク等の働き方

調査数	直接雇用の短時間勤務者	直接雇用の単発バイト	人材派遣	有償ボランティア	雇用仲介アプリを使ったスキマバイト	ギグワーク(業務委託契約した単発の仕事)	その他	スポットワーク等を活用していない
744	88	43	37	11	45	4	9	501
100.0	11.8	5.8	5.0	1.5	6.0	0.5	1.2	67.3
								無回答
								59
								7.9

Q14『介護助手』の受入れについて

調査数	すでに受け入れている	受け入れる準備をしている	受け入れるかの検討をしている	必要だと思うが、具体的な検討などはしていない	必要ではない	わからない	無回答
744	47	7	8	135	290	204	53
100.0	6.3	0.9	1.1	18.1	39.0	27.4	7.1

問 15 貴事業所における介護職員等処遇改善加算の届出状況について、教えてください。(〇はひとつ)

1. 介護職員等処遇改善加算の届出をしている(届出予定を含む) →	問 15-1 へ
2. 届出をしていない →	問 15-2 へ
3. 対象外である →	問 16 へ

問 15 で「1」と回答した方にお伺いします。

問 15-1 貴事業所では、どのように介護職員等処遇改善計画書の周知を行っていますか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 掲示板等への掲示	3. 面談・会議等での説明
2. メールや回覧形式等による通知	4. その他(具体的に)

問 15 で「2」と回答した方にお伺いします。

問 15-2 介護職員等処遇改善加算の届出を行わない理由について、教えてください。(あてはまるものすべてに〇)

1. 対象の制約のため困難	5. 非常勤職員等の処遇上の問題
2. 事務作業が煩雑	6. 賃金改善の必要性がない
3. 追加費用負担の発生	7. 算定要件を達成できない
4. 利用者負担の発生	8. その他(具体的に)

全ての方に伺います。

問 16 令和6年度に離職(注1)した人数は何名ですか。

注1)「離職者」とは、令和6年度中に事業所を退職したり、解雇された者をいい、他企業への出向者・出向復帰者を
含み、同一企業内での転出入者を除く。

注2) 正規職員・非正規職員とは

正規職員(雇用している労働者で雇用期間の定めのない者)

非正規職員(正規職員以外の労働者(契約、嘱託、パートなど))

常勤労働者(1週の所定労働時間が主たる正規職員と同じ者)

短時間労働者(1週の所定労働時間が主たる正規職員に比べ短い者)

	介護職員	看護職員	その他
①正規職員(注2)	人	人	人
②非正規職員(注2)	人	人	人
常勤労働者	人	人	人
短時間労働者	人	人	人

Q15.介護職員等処遇改善加算の届出状況

調査数	介護職員等処遇改善加算の届出をしている(届出予定を含む)	届出をしていない	対象外である	無回答
744	568	32	110	34
100.0	76.3	4.3	14.8	4.6

Q15-1.介護職員等処遇改善計画書の周知

調査数	掲示板等への掲示	メールや回覧形式等による通知	面談・会議等での説明	その他	無回答
568	263	226	296	15	20
100.0	46.3	39.8	52.1	2.6	3.5

Q15-2.介護職員等処遇改善加算の届出を行わない理由

調査数	対象の制約のため困難	事務作業が煩雑	追加費用負担の発生	利用者負担の発生	非常勤職員等の処遇上の問題	賃金改善の必要性がない	算定要件を達成できない	その他
32	5	14	2	6	2	3	8	4
100.0	15.6	43.8	6.3	18.8	6.3	9.4	25.0	12.5
								無回答
								4
								12.5

Q16.離職人数別①正規職員(1)介護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
744	110	89	44	7	4	0	0	0	0	0	490
100.0	14.8	12.0	5.9	0.9	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	65.9

Q16.離職人数別①正規職員(2)看護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
744	86	67	25	2	0	0	0	0	0	0	564
100.0	11.6	9.0	3.4	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.8

Q16.離職人数別②非正規職員(1)介護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
744	86	96	106	11	4	1	0	0	0	0	440
100.0	11.6	12.9	14.2	1.5	0.5	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	59.1

Q16.離職人数別②非正規職員(1)看護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
744	86	96	106	11	4	1	0	0	0	0	440
100.0	11.6	12.9	14.2	1.5	0.5	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	59.1

Q16.離職人数別②非正規職員(2)看護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
744	79	62	40	1	1	0	0	0	0	0	561
100.0	10.6	8.3	5.4	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.4

Q16.離職人数別②非正規職員(3)その他【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
744	76	27	22	5	1	0	0	0	0	0	613
100.0	10.2	3.6	3.0	0.7	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	82.4

Q16.離職人数別②のうち常勤労働者(1)介護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	無回答
744	85	32	14	0	0	0	0	0	0	0	613
100.0	11.4	4.3	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	82.4

Q16.離職人数別②のうち常勤労働者(2)看護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	無回答
744	76	17	6	0	0	0	0	0	0	0	645
100.0	10.2	2.3	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	86.7

Q16.離職人数別②のうち常勤労働者(3)その他【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	無回答
744	74	7	2	1	0	0	0	0	0	0	660
100.0	9.9	0.9	0.3	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	88.7

Q16.離職人数別②のうち短時間労働者(1)介護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	無回答
744	68	63	79	6	3	0	0	0	0	0	525
100.0	9.1	8.5	10.6	0.8	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	70.6

Q16.離職人数別②のうち短時間労働者(2)看護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	無回答
744	72	41	26	1	0	0	0	0	0	0	604
100.0	9.7	5.5	3.5	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	81.2

Q16.離職人数別②のうち短時間労働者(3)その他【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	無回答
744	64	20	21	4	0	0	0	0	0	0	635
100.0	8.6	2.7	2.8	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	85.3

Q16.合計 介護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	無回答
744	85	108	139	28	11	0	1	0	0	0	372
100.0	11.4	14.5	18.7	3.8	1.5	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	50.0

Q16.合計 看護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	無回答
744	74	90	71	5	1	0	0	0	0	0	503
100.0	9.9	12.1	9.5	0.7	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	67.6

Q16.合計 その他【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	無回答
744	69	50	37	6	3	0	0	0	0	0	579
100.0	9.3	6.7	5.0	0.8	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	77.8

事業所のサービスや運営、取組状況についてお伺いします。

問 17 貴事業所の運営やサービス向上のために、どのような情報や支援が必要ですか。

次のうち必要と考えられる情報・支援を3つまでお選びください。(〇は3つまで)

1. 介護保険制度・介護報酬等に関する情報	12. 緊急時のショートステイや入院などの受入れ先情報
2. 介護保険以外の保健・福祉サービスに関する情報	13. 事業者連絡会等による運営サポート、バックアップ
3. 情報提供・相談等の窓口	14. ケアカンファレンス等の運営サポート、バックアップ
4. 介護技術・方法に関する情報	15. サービス展開のための土地・建物に関する情報
5. 認知症ケアに関する情報	16. 職員研修、交流会
6. 医療処置を必要とする場合のケアに関する情報	17. 医療機関との連携
7. 困難事例、多問題事例に関するケースの情報提供、助言	18. その他
8. 介護予防に関する情報	19. 特に必要な情報・支援はない
9. 研修・講座等に関する情報	(具体的に)
10. 周辺事業所や医療機関に関する情報	
11. 定員の空き状況、空室・空床に関する情報	

問 18 医療・介護連携について、事業所として取り組んでいることがありますか。

(あてはまるものすべてに〇)

1. 医療機関と利用者について情報共有ができてい る	6. 職員研修
2. 在宅医療連携拠点到に相談している	7. 緊急時の対応
3. 在宅医療連携拠点が実施する多職種連携研修や 事例検討などに参加している	8. その他 (具体的に)
4. 往診をしてくれる医師・医療機関がある	9. 連携していない
5. 急変時の受入など提携している病院がある	

小規模多機能型居宅介護・看護小規模多機能型居宅介護の事業所の方にお伺いします。

問 19 令和7年10月1日時点での登録待ち者数(貴事業所への登録を希望して申し込みを待っている人数)を記入してください。

人

Q17.運営やサービス向上のために、必要と考えられる情報・支援

調査数	介護保険制度・介護報酬等に関する情報	介護保険以外の保健・福祉サービスに関する情報	情報提供・相談等の窓口	介護技術・方法に関する情報	認知症ケアに関する情報	医療処置を必要とする場合のケアに関する情報	困難事例、多問題事例に関するケースの情報提供、助言	介護予防に関する情報
744 100.0	412 55.4	126 16.9	96 12.9	131 17.6	108 14.5	59 7.9	166 22.3	32 4.3
	研修・講座等に関する情報	周辺事業所や医療機関に関する情報	定員の空き状況、空室・空床に関する情報	緊急時のショートステイや入院などの受入れ先情報	事業者連絡会等による運営サポート、バックアップ	ケアカンファレンス等の運営サポート、バックアップ	サービス展開のための土地・建物に関する情報	職員研修、交流会
	157 21.1	41 5.5	32 4.3	37 5.0	36 4.8	22 3.0	21 2.8	113 15.2
					医療機関との連携	その他	特に必要な情報・支援はない	無回答
					110 14.8	17 2.3	31 4.2	58 7.8

Q18.医療・介護連携について、事業所として取り組んでいること

調査数	医療機関と利用者について情報共有ができてい る	在宅医療連携 拠点到に相談 している	在宅医療連携 拠点が実施す る多職種連携 研修や事例検 討などに参加 している	往診をしてく れる医師・医療 機関がある	急変時の受入 など提携してい る病院がある	職員研修	緊急時の対応	その他
744 100.0	363 48.8	79 10.6	122 16.4	220 29.6	86 11.6	273 36.7	272 36.6	13 1.7
							連携してい ない	無回答
							94 12.6	73 9.8

Q19.登録待ち者数【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人
744 100.0	197 26.5	11 1.5	28 3.8	2 0.3	2 0.3	5 0.7	1 0.1	4 0.5
						70~99人	100人以上	無回答
						4 0.5	2 0.3	488 65.6

Q19.登録待ち者数

調査数	平均
59 100.0	20.80

全ての方に伺います。

問 20 事業を運営する上での課題は何ですか。次から、主なものを3つまでお選びください。

(〇は3つまで)

1. 今の介護報酬では、人材の確保・定着のために十分な賃金を払えない
2. 経営（収支）が苦しく、労働条件や労働環境改善をしたくても出来ない
3. 良質な人材の確保が難しい
4. 新規利用者の確保が難しい
5. 介護従事者の介護業務に関する知識や技術が不足している
6. 介護従事者の介護業務に臨む意欲や姿勢に問題がある
7. 管理者の指導・管理能力が不足している
8. 教育・研修の時間が十分に取れない
9. 介護従事者間のコミュニケーションが不足している
10. 経営者・管理者と職員間のコミュニケーションが不足している
11. 利用者や利用者の家族の介護サービスに対する理解が不足している
12. 介護保険の改正等についての的確な情報や説明が得られない
13. 指定介護サービス提供に関する書類作成が煩雑で、時間に追われている
14. 雇用管理等についての情報や指導が不足している
15. その他（具体的に
16. 特に問題はない

総合事業や市の事業等についてお伺いします。

問 21 総合事業のうち、横浜市訪問介護相当サービス、横浜市訪問型生活援助サービス（サービスA）、横浜市通所介護相当サービスを実施していますか。（〇はひとつ）

1. 実施している → <input type="text" value="問21-1へ"/>	2. 実施していない → <input type="text" value="以上で調査は終了です"/>
---	--

問 21 で「1. 実施している」と回答した事業所にお伺いします。

問 21-1 横浜市訪問型生活援助サービス（サービスA）を提供していますか。（〇はひとつ）

1. 提供している → <input type="text" value="問21-2へ"/>	2. 提供していない → <input type="text" value="問21-5へ"/>
---	--

問 21-1 で「1. 提供している」と回答した事業所にお伺いします。

問 21-2 サービスAの提供に従事する一定の研修受講者及び入門的研修修了者（※）の採用人数をご記入ください。（令和7年10月1日時点）

（※）ホームヘルパー等の資格はないが、介護事業所での研修を受講すること等で、サービスAを提供できる方

Q20.事業を運営する上での課題

調査数	今の介護報酬では、人材の確保・定着のために十分な賃金を払えない	経営（収支）が苦しく、労働条件や労働環境改善をしたくても出来ない	良質な人材の確保が難しい	新規利用者の確保が難しい	介護従事者の介護業務に関する知識や技術が不足している	介護従事者の介護業務に臨む意欲や姿勢に問題がある	管理者の指導・管理能力が不足している	教育・研修の時間が十分に取れない
744 100.0	224 30.1	146 19.6	207 27.8	105 14.1	27 3.6	13 1.7	31 4.2	81 10.9
	介護従事者間のコミュニケーションが不足している	経営者・管理者と職員間のコミュニケーションが不足している	利用者や利用者の家族の介護サービスに対する理解が不足している	介護保険の改正等についての的確な情報や説明が得られない	指定介護サービス提供に関する書類作成が煩雑で、時間に追われている	雇用管理等についての情報や指導が不足している	その他	特に問題はない
	11 1.5	12 1.6	25 3.4	12 1.6	108 14.5	7 0.9	10 1.3	13 1.7
								無回答
								337 45.3

Q21.横浜市訪問介護相当サービス、横浜市訪問型生活援助サービス、横浜市通所介護相当サービスの実施

調査数	実施している	実施していない	無回答
744 100.0	331 44.5	288 38.7	125 16.8

Q21-1.横浜市訪問型生活援助サービスの提供

調査数	提供している	提供していない	無回答
331 100.0	47 14.2	268 81.0	16 4.8

Q21-2.サービスAの提供に従事する一定の研修受講者及び入門的研修修了者の採用人数【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人
47 100.0	21 44.7	5 10.6	4 8.5	0 0.0	1 2.1	2 4.3	0 0.0	0 0.0
						70～99人	100人以上	無回答
						0 0.0	0 0.0	14 29.8

問 21-1 で「1. 提供している」と回答した事業所にお伺いします。

問 21-3 事業所としてサービスAを提供している理由について該当するものをお選びください。
(あてはまるものすべてに○)

1. 利用者の状態に沿ったサービスが提供できるため
2. ホームヘルパー等の資格がなくとも、一定の研修受講者又は入門的研修修了者が提供できるため
3. 利用者の介護予防・自立支援に資するため
4. その他
(具体的に)

問 21-1 で「1. 提供している」と回答した事業所にお伺いします。

問 21-4 サービスAを提供するにあたっての課題について該当するものをお選びください。
(あてはまるものに○ (○は2つまで))

1. 一定の研修受講者又は入門的研修修了者を確保することが難しい
2. 自社で一定の研修を行う人員・時間が確保できない
3. 事業の内容・目的について把握する機会が少ない
4. 処遇改善等の加算がない
5. 報酬が訪問介護や訪問介護相当サービスと比べて安い
6. 有資格者が提供しても、サービスAに従事した時間は常勤換算に算入できない
7. その他
(具体的に)
8. 特になし

【問 21-1 で「2. 提供していない」と回答した事業所にお伺いします。

問 21-5 提供していない理由として最も適当なものをお選びください。(○はひとつ)

1. 重度介護者の支援を中心としているため
2. ホームヘルパー等の有資格者を優先して雇用する必要があるため
3. サービスAの利用ニーズが想定されないため
4. その他
(具体的に)

ご協力ありがとうございました。

Q21-3.事業所としてサービスAを提供している理由

調査数	利用者の状態に沿ったサービスが提供できるため	ホームヘルパー等の資格がなくとも、一定の研修受講者又は入門的研修修了者が提供できるため	利用者の介護予防・自立支援に資するため	その他	無回答
47 100.0	23 48.9	6 12.8	25 53.2	4 8.5	4 8.5

Q21-4.サービスAを提供するにあたっての課題

調査数	一定の研修受講者又は入門的研修修了者を確保することが難しい	自社で一定の研修を行う人員・時間が確保できない	事業の内容・目的について把握する機会が少ない	処遇改善等の加算がない	報酬が訪問介護や訪問介護相当サービスと比べて安い	有資格者が提供しても、サービスAに従事した時間は常勤換算に算入できない	その他	特になし
47 100.0	4 8.5	2 4.3	3 6.4	18 38.3	20 42.6	10 21.3	1 2.1	9 19.1
								無回答 5 10.6

Q21-5.提供していない理由

調査数	重度介護者の支援を中心としているため	ホームヘルパー等の有資格者を優先して雇用する必要があるため	サービスAの利用ニーズが想定されないため	その他	無回答
268 100.0	14 5.2	52 19.4	80 29.9	58 21.6	64 23.9

アンケートご協力をお願い

日頃から、本市の高齢者保健福祉行政に御理解と御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

横浜市では、横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画・認知症施策推進計画の改定に際し、3年に1度、居宅介護支援事業所の皆様の御意見をお伺いする調査を実施しています。

この調査の結果につきましては、高齢者保健福祉施策を検討する際の重要な基礎資料となりますので、業務ご多用のところお手数をおかけいたしますが、本調査の趣旨を御理解いただき、御協力を賜りますようお願いいたします。

調査の回答については、12月8日(月)までにご回答くださいますよう、併せて御協力をお願いいたします。

なお、調査報告に関する秘密が保持されることと、個々の施設ごとの調査結果を公表するものではなく、サービスごとの横浜市全体の集計結果を公表する予定であることを申し添えます。

貴事業所の概要についてお伺いします。

問1 貴事業所のお名前、介護保険事業所番号等をご記入ください。

事業所名		介護保険 事業所番号										
------	--	---------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

令和7年10月1日現在のことについてお伺いします。

問2 同一の建物内又は敷地内で行っている事業は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 訪問介護	25. 特定施設入居者生活介護
2. 横浜市訪問介護相当サービス	26. 介護予防特定施設入居者生活介護
3. 横浜市訪問型生活援助サービス	27. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
4. 訪問入浴介護	28. 地域密着型通所介護
5. 介護予防訪問入浴介護	29. 夜間対応型訪問介護
6. 訪問看護	30. 認知症対応型通所介護
7. 介護予防訪問看護	31. 介護予防認知症対応型通所介護
8. 訪問リハビリテーション	32. 小規模多機能型居宅介護
9. 介護予防訪問リハビリテーション	33. 介護予防小規模多機能型居宅介護
10. 居宅療養管理指導	34. 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)
11. 介護予防居宅療養管理指導	35. 介護予防認知症対応型共同生活介護(グループホーム)
12. 通所介護	36. 地域密着型特定施設入居者生活介護
13. 横浜市通所介護相当サービス	37. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
14. 通所リハビリテーション	38. 看護小規模多機能型居宅介護
15. 介護予防通所リハビリテーション	39. 介護老人福祉施設
16. 短期入所生活介護	40. 介護老人保健施設
17. 介護予防短期入所生活介護	41. 介護医療院
18. 短期入所療養介護	42. 病院
19. 介護予防短期入所療養介護	43. 診療所
20. 福祉用具貸与	44. 薬局
21. 介護予防福祉用具貸与	45. 有料老人ホーム・軽費老人ホーム・養護老人ホームなど(介護保険外)
22. 特定福祉用具販売	46. 配食(食事)サービス
23. 特定介護予防福祉用具販売	47. 送迎(移送)サービス
24. 住宅改修	48. 介護保険外の宿泊サービス
	49. その他
	50. 上記の事業は行っていない

Q2. 同一の建物内又は敷地内で行っている事業

調査数	訪問介護	横浜市訪問介護相当サービス	横浜市訪問型生活援助サービス	訪問入浴介護	介護予防訪問入浴介護	訪問看護	介護予防訪問看護	訪問リハビリテーション
339 100.0	102 30.1	52 15.3	17 5.0	3 0.9	1 0.3	69 20.4	44 13.0	10 2.9
	介護予防訪問リハビリテーション	居宅療養管理指導	介護予防居宅療養管理指導	通所介護	横浜市通所介護相当サービス	通所リハビリテーション	介護予防通所リハビリテーション	短期入所生活介護
	9 2.7	10 2.9	2 0.6	59 17.4	58 17.1	12 3.5	10 2.9	17 5.0
	介護予防短期入所生活介護	短期入所療養介護	介護予防短期入所療養介護	福祉用具貸与	介護予防福祉用具貸与	特定福祉用具販売	特定介護予防福祉用具販売	住宅改修
	15 4.4	7 2.1	6 1.8	16 4.7	15 4.4	14 4.1	14 4.1	7 2.1
	特定施設入居者生活介護	介護予防特定施設入居者生活介護	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	地域密着型通所介護	夜間対応型訪問介護	認知症対応型通所介護	介護予防認知症対応型通所介護	小規模多機能型居宅介護
	3 0.9	0 0.0	9 2.7	26 7.7	5 1.5	13 3.8	3 0.9	5 1.5
	介護予防小規模多機能型居宅介護	認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	介護予防認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	地域密着型特定施設入居者生活介護	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	看護小規模多機能型居宅介護	介護老人福祉施設	介護老人保健施設
	2 0.6	2 0.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 0.9	17 5.0	7 2.1
	介護医療院	病院	診療所	薬局	有料老人ホーム・軽費老人ホーム・養護老人ホームなど(介護保険外)	配食(食事)サービス	送迎(移送)サービス	介護保険外の宿泊サービス
	0 0.0	5 1.5	7 2.1	3 0.9	4 1.2	2 0.6	2 0.6	0 0.0
						その他	上記の事業は行っていない	無回答
						30 8.8	78 23.0	3 0.9

職員、人材確保、処遇等についてお伺いします。

問3 令和7年10月1日時点の貴事業所の職員数についてご記入ください。

職員数とは、貴事業所が実施する全ての事業に従事する者（正規・非正規職員問わず）の在籍者総数です。また、職員の市内在住状況を教えてください。

ただし、派遣労働者、委託業務従事者は含みません。該当者がいない場合は空白で結構です。

注1) 資格ではなく、従事している仕事(職種)に着目して入力してください。

なお、兼務している職員については、主として従事する仕事(職種)にのみ入力してください。

注2) 正規職員・非正規職員とは

正規職員(雇用している労働者で雇用期間の定めのない者)

非正規職員(正規職員以外の労働者(契約、嘱託、パートなど))

職種別(下記の職種のみ)(注1)	正規職員(注2)	非正規職員(注2)
①ケアマネジャー	人	人
②その他職員	人	人
職員総数 正規職員:市内在住()人、市外在住()人		
非正規職員:市内在住()人、市外在住()人		

問4 貴事業所では、ケアマネジャーの過不足の状況はいかがですか。(〇はひとつ)

「不足」とは、募集を必要としていることを指します。

	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種はいない
ケアマネジャー	1	2	3	4	5	6

問4で1~3と回答した方にお伺いします。

問4-1 不足している理由はどれですか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 採用が困難である	3. 事業拡大によって必要人数が増大した
2. 離職率が高い(定着率が低い)	4. その他()

全ての方にお伺いします。

問5 スポットワーク等(短時間・単発の就労や有償ボランティア)の受入れについてどのように考えていますか。(〇はひとつ)

1. すでに受け入れている	4. 必要ではない
2. 活用に向けて検討している	5. わからない
3. 必要だと思うが、具体的な検討などはしていない	

Q3. 職員数:ケアマネジャー(1)正規職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
339	1	83	209	29	11	0	0	0	0	0	6
100.0	0.3	24.5	61.7	8.6	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8

Q3. 職員数:ケアマネジャー(2)非正規職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
339	65	83	53	1	0	0	0	0	0	0	137
100.0	19.2	24.5	15.6	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.4

Q3. 職員数:その他職員(3)正規職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
339	80	35	16	4	5	0	0	0	0	0	199
100.0	23.6	10.3	4.7	1.2	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	58.7

Q3. 職員数:その他職員(4)非正規職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
339	75	37	11	3	1	3	4	2	0	0	203
100.0	22.1	10.9	3.2	0.9	0.3	0.9	1.2	0.6	0.0	0.0	59.9

Q3. 職員数:職員総人数(5)正規職員(市内在住)【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
339	2	86	175	34	16	0	1	0	0	0	25
100.0	0.6	25.4	51.6	10.0	4.7	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	7.4

Q3. 職員数:職員総人数(6)正規職員(市外在住)【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
339	52	85	53	3	0	0	0	0	0	0	146
100.0	15.3	25.1	15.6	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	43.1

Q3. 職員数:職員総人数(7)非正規職員(市内在住)【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
339	50	73	52	7	4	4	7	2	0	0	140
100.0	14.7	21.5	15.3	2.1	1.2	1.2	2.1	0.6	0.0	0.0	41.3

Q3. 職員数:職員総人数(8)非正規職員(市外在住)【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
339	88	18	7	2	1	0	0	0	0	0	223
100.0	26.0	5.3	2.1	0.6	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	65.8

Q4. ケアマネジャー過不足状況

調査数	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種はいない	無回答
339	52	69	87	127	1	1	2
100.0	15.3	20.4	25.7	37.5	0.3	0.3	0.6

Q4-1. ケアマネジャー不足理由

調査数	採用が困難である	離職率が高い(定着率が低い)	事業拡大によって必要人数が増大した	その他	無回答
208	182	28	26	26	1
100.0	87.5	13.5	12.5	12.5	0.5

Q5. スポットワーク等(短時間・単発の就労や有償ボランティア)の受入れについて

調査数	すでに受け入れている	活用に向けて検討している	必要だと思うが、具体的な検討などはしていない	必要ではない	わからない	無回答
339	15	5	85	166	67	1
100.0	4.4	1.5	25.1	49.0	19.8	0.3

問6 スポットワーク等(短時間・単発の就労や有償ボランティア)について、どのようなイメージを持っていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 柔軟に人材を確保できる	5. 人材の質にばらつきがある
2. 急な欠員に対応できる	6. 教育・研修に時間がかかる
3. 採用コストを抑えられる	7. 職員との連携や利用者とのコミュニケーションが取りづらい
4. 働き方改革につながる	8. イメージがわからない

問7 貴施設で採用しているスポットワーク等の働き方について教えてください。

(あてはまるものすべてに○)

1. 直接雇用の短時間勤務者	5. 雇用仲介アプリを使ったスキマバイト
2. 直接雇用の単発バイト	6. ギグワーク(業務委託契約した単発の仕事)
3. 人材派遣	7. その他()
4. 有償ボランティア	8. スポットワーク等を活用していない

問8 『介護助手』の受入れについてどのように考えていますか。(○はひとつ)

1. すでに受け入れている	4. 必要だと思うが、具体的な検討などはしていない
2. 受け入れる準備をしている	5. 必要ではない
3. 受け入れるかの検討をしている	6. わからない

居宅介護支援事業の状況についてお伺いします。

問9 地域の住民活動や介護保険外のサービス等に関する地域資源を把握するために活用しているものがあれば教えてください。(あてはまるものすべてに○)

1. ヨコハマ地域活動・サービス検索ナビ	7. 自治会・町内会との情報交換
2. ふくしらべ	8. 民生委員・児童委員との情報交換
3. 地域ケアプラザとの情報交換	9. 区役所との情報交換
4. 市社会福祉協議会との情報交換	10. その他()
5. 区社会福祉協議会との情報交換	11. 特に活用しているものはない
6. 地区社会福祉協議会との情報交換	

Q6. スポットワーク等(短時間・単発の就労や有償ボランティア)についてのイメージ

調査数	柔軟に人材を確保できる	急な欠員に対応できる	採用コストを抑えられる	働き方改革につながる	人材の質にばらつきがある	教育・研修に時間がかかる	職員との連携や利用者とのコミュニケーションが取りづらい	イメージがわからない
339 100.0	70 20.6	43 12.7	29 8.6	70 20.6	138 40.7	121 35.7	124 36.6	98 28.9
								無回答
								5 1.5

Q7. 採用しているスポットワーク等の働き方について

調査数	直接雇用の短時間勤務者	直接雇用の単発バイト	人材派遣	有償ボランティア	雇用仲介アプリを使ったスキマバイト	ギグワーク(業務委託契約した単発の仕事)	その他	スポットワーク等を活用していない
339 100.0	24 7.1	6 1.8	11 3.2	3 0.9	0 0.0	1 0.3	4 1.2	286 84.4
								無回答
								16 4.7

Q8. 『介護助手』の受入れについて

調査数	すでに受け入れている	受け入れる準備をしている	受け入れるかの検討をしている	必要だと思うが、具体的な検討などはしていない	必要ではない	わからない	無回答
339 100.0	6 1.8	1 0.3	1 0.3	40 11.8	167 49.3	108 31.9	16 4.7

Q9. 地域の住民活動や介護保険外のサービス等に関する地域資源を把握するために活用しているもの

調査数	ヨコハマ地域活動・サービス検索ナビ	ふくしらべ	地域ケアプラザとの情報交換	市社会福祉協議会との情報交換	区社会福祉協議会との情報交換	地区社会福祉協議会との情報交換	自治会・町内会との情報交換	民生委員・児童委員との情報交換
339 100.0	123 36.3	24 7.1	292 86.1	25 7.4	70 20.6	40 11.8	76 22.4	119 35.1
								無回答
								2 0.6

問 10 貴事業所の運営上の課題についてお伺いします。(あてはまるものすべてに○)

1. 今の介護報酬では、人材の確保・定着のために十分な賃金を払えない
2. 経営(収支)が苦しく、労働条件や労働環境改善をしたくても出来ない
3. 新規利用者の獲得が困難
4. ケアマネジャーの教育・研修の十分な時間がとれない
5. 困難事例が多い
6. 利用者からの苦情への対応
7. 地域包括支援センター(地域ケアプラザ)との連携がうまく行っていない(予防給付の受け入れ等)
8. 区・市との連携がうまく行っていない
9. サービス事業所との連携がうまくいっていない
10. 医療機関との連携がうまくいっていない
11. 介護保険の改正等についての的確な情報や説明が速やかに得られない
12. サービス提供事業所やインフォーマルサービスに関する情報が入手できない
13. 主任ケアマネジャーが確保できない
14. その他(具体的に)
15. 特に問題はない

各種サービス利用についてお伺いします。

問 11 介護医療院への入所を調整した際に、満床で入所できなかったことはありますか。
(○はひとつ)

1. ある	2. ない
-------	-------

ご協力ありがとうございました。

Q10.運営上の課題

調査数	今の介護報酬では、人材の確保・定着のために十分な賃金を払えない	経営(収支)が苦しく、労働条件や労働環境改善をしたくても出来ない	新規利用者の獲得が困難	ケアマネジャーの教育・研修の十分な時間がとれない	困難事例が多い	利用者からの苦情への対応	地域包括支援センター(地域ケアプラザ)との連携がうまくいっていない(予防給付の受け入れ等)	区・市との連携がうまくいっていない
339 100.0	196 57.8	114 33.6	67 19.8	126 37.2	119 35.1	26 7.7	15 4.4	8 2.4
	サービス事業所との連携がうまくいっていない	医療機関との連携がうまくいっていない	介護保険の改正等についての的確な情報や説明が速やかに得られない	サービス提供事業所やインフォーマルサービスに関する情報が入手できない	主任ケアマネジャーが確保できない	その他	特に問題はない	無回答
	0 0.0	12 3.5	33 9.7	15 4.4	52 15.3	22 6.5	36 10.6	2 0.6

Q11.介護医療院へ入所できなかったこと

調査数	ある	ない	無回答
339	62	252	25
100.0	18.3	74.3	7.4

アンケートご協力をお願い

日頃から、本市の高齢者保健福祉行政に御理解と御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

横浜市では、横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画・認知症施策推進計画の改定に際し、3年に1度、地域ケアプラザの皆様の御意見をお伺いする調査を実施しています。

この調査の結果につきましては、高齢者保健福祉施策を検討する際の重要な基礎資料となりますので、業務ご多用のところお手数をおかけいたしますが、本調査の趣旨を御理解いただき、御協力を賜りますようお願いいたします。

調査の回答については、12月8日(月)までにご回答くださいますよう、併せて御協力をお願いいたします。

なお、調査報告に関する秘密が保持されることと、個々の施設ごとの調査結果を公表するものではなく、サービスごとの横浜市全体の集計結果を公表する予定であることを申し添えます。

貴地域ケアプラザについてお伺いします。

問1 地域ケアプラザ名等をご記入ください。

貴ケアプラザ名	
---------	--

問2 令和7年10月末時点の現職種（他地域ケアプラザでの勤務を含む）の職員の勤続年数はどのくらいですか。該当する各職員の「職種」、「勤続年数」を下表①にそれぞれ番号でお答えください。（複数配置している職種については、下の表②③④の方にお答えください）

① 勤続年数 職種 (○をお付けください)	勤続年数							
	6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年～15年未満	15年以上
社会福祉士等	1	2	3	4	5	6	7	8
保健師等	1	2	3	4	5	6	7	8
主任ケアマネジャー等	1	2	3	4	5	6	7	8
生活支援コーディネーター	1	2	3	4	5	6	7	8
地域活動交流コーディネーター	1	2	3	4	5	6	7	8

(複数配置(2人目以降)の場合は下記欄にご記入ください)

② 勤続年数 職種 (○をお付けください)	勤続年数							
	6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年～15年未満	15年以上
社会福祉士等	1	2	3	4	5	6	7	8
保健師等	1	2	3	4	5	6	7	8
主任ケアマネジャー等	1	2	3	4	5	6	7	8
生活支援コーディネーター	1	2	3	4	5	6	7	8
地域活動交流コーディネーター	1	2	3	4	5	6	7	8

③ 勤続年数 職種 (○をお付けください)	勤続年数							
	6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年～15年未満	15年以上
社会福祉士等	1	2	3	4	5	6	7	8
保健師等	1	2	3	4	5	6	7	8
主任ケアマネジャー等	1	2	3	4	5	6	7	8

④ 勤続年数 職種 (○をお付けください)	勤続年数							
	6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年～15年未満	15年以上
社会福祉士等	1	2	3	4	5	6	7	8
保健師等	1	2	3	4	5	6	7	8
主任ケアマネジャー等	1	2	3	4	5	6	7	8

Q2A.職員の勤続年数(1)社会福祉士等

調査数	6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年～15年未満	15年以上	無回答
93	3	4	10	8	19	23	13	11	2
100.0	3.2	4.3	10.8	8.6	20.4	24.7	14.0	11.8	2.2

Q2A.職員の勤続年数(2)保健師等

調査数	6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年～15年未満	15年以上	無回答
93	2	7	8	8	12	25	12	16	3
100.0	2.2	7.5	8.6	8.6	12.9	26.9	12.9	17.2	3.2

Q2A.職員の勤続年数(3)主任ケアマネジャー等

調査数	6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年～15年未満	15年以上	無回答
93	2	2	9	8	10	17	15	22	8
100.0	2.2	2.2	9.7	8.6	10.8	18.3	16.1	23.7	8.6

Q2A.職員の勤続年数(4)生活支援コーディネーター

調査数	6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年～15年未満	15年以上	無回答
93	3	12	15	4	18	21	7	3	10
100.0	3.2	12.9	16.1	4.3	19.4	22.6	7.5	3.2	10.8

Q2A.職員の勤続年数(5)地域活動交流コーディネーター

調査数	6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年～15年未満	15年以上	無回答
93	8	14	10	5	12	13	14	8	9
100.0	8.6	15.1	10.8	5.4	12.9	14.0	15.1	8.6	9.7

Q2B.職員の勤続年数(2人目)(1)社会福祉士等

調査数	6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年～15年未満	15年以上	無回答
93	7	10	3	2	3	8	1	0	59
100.0	7.5	10.8	3.2	2.2	3.2	8.6	1.1	0.0	63.4

Q2B.職員の勤続年数(2人目)(2)保健師等

調査数	6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年～15年未満	15年以上	無回答
93	1	8	2	2	1	1	0	0	78
100.0	1.1	8.6	2.2	2.2	1.1	1.1	0.0	0.0	83.9

Q2B.職員の勤続年数(2人目)(3)主任ケアマネジャー等

調査数	6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年～15年未満	15年以上	無回答
93	1	0	0	1	2	0	0	0	89
100.0	1.1	0.0	0.0	1.1	2.2	0.0	0.0	0.0	95.7

Q2B.職員の勤続年数(2人目)(4)生活支援コーディネーター

調査数	6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年～15年未満	15年以上	無回答
93	0	1	0	0	0	0	0	0	92
100.0	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	98.9

Q2B.職員の勤続年数(2人目)(5)地域活動交流コーディネーター

調査数	6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年～15年未満	15年以上	無回答
93	0	0	0	0	0	0	0	0	93
100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

Q2C.職員の勤続年数(3人目)(1)社会福祉士等

調査数	6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年～15年未満	15年以上	無回答
93	1	0	0	0	0	0	0	0	92
100.0	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	98.9

Q2C.職員の勤続年数(3人目)(2)保健師等

調査数	6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年～15年未満	15年以上	無回答
93	0	1	0	0	0	0	0	0	92
100.0	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	98.9

Q2C.職員の勤続年数(3人目)(3)主任ケアマネジャー等

調査数	6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年～15年未満	15年以上	無回答
93	0	0	0	0	0	0	0	0	93
100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

Q2D.職員の勤続年数(4人目)(1)社会福祉士等

調査数	6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年～15年未満	15年以上	無回答
93	0	0	0	0	0	0	0	0	93
100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

Q2D.職員の勤続年数(4人目)(2)保健師等

調査数	6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年～15年未満	15年以上	無回答
93	0	1	0	0	0	0	0	0	93
100.0	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

Q2D.職員の勤続年数(4人目)(3)主任ケアマネジャー等

調査数	6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年～15年未満	15年以上	無回答
93	0	0	0	0	0	0	0	0	93
100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

問3 スポットワーク等(短時間・単発の就労や有償ボランティア)の受入れについてどのように考えていますか。(〇はひとつ)

1. すでに受け入れている	4. 必要ではない
2. 活用に向けて検討している	5. わからない
3. 必要だと思うが、具体的な検討などはしていない	

問4 スポットワーク等(短時間・単発の就労や有償ボランティア)について、どのようなイメージを持っていますか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 柔軟に人材を確保できる	5. 人材の質にばらつきがある
2. 急な欠員に対応できる	6. 教育・研修に時間がかかる
3. 採用コストを抑えられる	7. 職員との連携や利用者とのコミュニケーションが取りづらい
4. 働き方改革につながる	8. イメージがわからない

問5 貴施設で採用しているスポットワーク等の働き方について教えてください。

(あてはまるものすべてに〇)

1. 直接雇用の短時間勤務者	5. 雇用仲介アプリを使ったスキマバイト
2. 直接雇用の単発バイト	6. ギグワーク(業務委託契約した単発の仕事)
3. 人材派遣	7. その他()
4. 有償ボランティア	8. スポットワーク等を活用していない

問6 『介護助手』の受入れについてどのように考えていますか。(〇はひとつ)

1. すでに受け入れている	4. 必要だと思うが、具体的な検討などはしていない
2. 受け入れる準備をしている	5. 必要ではない
3. 受け入れるかの検討をしている	6. わからない

地域包括支援センターの業務についてお伺いします。

問7 介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務の課題と考えることは何ですか。(〇は3つまで)

1. 利用者に介護予防を理解してもらうのが困難
2. 委託を受ける居宅介護支援事業者が少ない/無い
3. 介護予防支援の指定を受けている居宅介護支援事業所が少ない/無い
4. 認定結果が出る前の暫定プランを立てにくい(作業後に要介護となった場合無報酬)
5. インフォーマルサービスが不足している
6. 介護予防プランを作成するための知識・技術を習得する機会が不足している
7. 委託先のケアマネジャーが作成したケアプランへの指導がしにくい
8. 委託先のケアマネジャーが介護予防を理解していない
9. サービス提供事業者が見つからない
10. その他()
11. 特になし

Q3. スポットワーク等(短時間・単発の就労や有償ボランティア)の受入れについて

調査数	すでに受け入れている	活用に向けて検討している	必要だと思うが、具体的な検討などはしていない	必要ではない	わからない	無回答
93	11	4	40	21	16	1
100.0	11.8	4.3	43.0	22.6	17.2	1.1

Q4. スポットワーク等(短時間・単発の就労や有償ボランティア)のイメージ

調査数	柔軟に人材を確保できる	急な欠員に対応できる	採用コストを抑えられる	働き方改革につながる	人材の質にばらつきがある	教育・研修に時間がかかる	職員との連携や利用者とのコミュニケーションが取りづらい	イメージがわからない
93	31	39	12	21	44	36	42	15
100.0	33.3	41.9	12.9	22.6	47.3	38.7	45.2	16.1
								無回答
								1
								1.1

Q5. 採用しているスポットワーク等の働き方について

調査数	直接雇用の短時間勤務者	直接雇用の単発バイト	人材派遣	有償ボランティア	雇用仲介アプリを使ったスキマバイト	ギグワーク(業務委託契約した単発の仕事)	その他	スポットワーク等を活用していない
93	16	0	10	1	2	1	2	65
100.0	17.2	0.0	10.8	1.1	2.2	1.1	2.2	69.9
								無回答
								1
								1.1

Q6. 『介護助手』の受入れについて

調査数	すでに受け入れている	受け入れる準備をしている	受け入れるかの検討をしている	必要だと思うが、具体的な検討などはしていない	必要ではない	わからない	無回答
93	7	0	3	28	31	23	1
100.0	7.5	0.0	3.2	30.1	33.3	24.7	1.1

Q7. 介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務の課題

調査数	利用者に介護予防を理解してもらうのが困難	委託を受ける居宅介護支援事業者が少ない/無い	介護予防支援の指定を受けている居宅介護支援事業所が少ない/無い	認定結果が出る前の暫定プランを立てにくい(作業後に要介護となった場合無報酬)	インフォーマルサービスが不足している	介護予防プランを作成するための知識・技術を習得する機会が不足している	委託先のケアマネジャーが作成したケアプランへの指導がしにくい	委託先のケアマネジャーが介護予防を理解していない
93	26	83	30	37	21	5	17	6
100.0	28.0	89.2	32.3	39.8	22.6	5.4	18.3	6.5
					サービス提供事業者が見つからない	その他	特になし	無回答
					15	4	2	1
					16.1	4.3	2.2	1.1

問8 総合相談・支援業務の課題と考えることは何ですか。(〇は3つまで)

1. 地域包括支援センターの存在・役割が利用者・高齢者に十分に周知されていない	
2. 三職種(社会福祉士等・保健師等・主任ケアマネジャー等)間の連携	
3. 生活支援コーディネーター・地域活動交流コーディネーターとの連携	
4. 制度改正が複雑・頻繁なことから、利用者への説明が追いつかない	
5. 制度改正が複雑・頻繁なことから、職員の習熟度を上げるのが困難	
6. 日曜日・祝日の相談件数が少ない(窓口を空ける必要性に乏しい)	
7. 行政からの情報提供が少なく、伝達が体系化されていない	
8. 業務が繁忙で訪問による相談・支援が思うようにできない	
9. 区役所からのケース引継ぎが不十分である	
10. その他()	
11. 特になし	

問9 権利擁護業務について、成年後見制度の利用を促進するためにはどのようなことが必要だと思いますか。(該当するもの上位3つまで〇をつけてください)

1. 講演会・出前講座等での市民への周知	
2. 支援者(事業所の職員)への研修	
3. 成年後見制度・高齢者や障害者虐待等に関する相談機関の充実	
4. 司法・福祉・医療などの連携体制の強化	
5. 本人・親族申立ての支援	
6. 日常生活自立支援事業から成年後見制度への移行支援	
7. 成年後見制度の利用に関する助成制度の拡充	
8. 市民後見人について、市民や関係機関への周知	
9. 警察や消防等の公的機関、銀行や郵便局等の金融機関、電車やタクシー等の交通機関、地域の商業施設など、身近な生活にかかわる事業者とのネットワーク構築	
10. その他()	
11. 特になし	

Q8. 総合相談・支援業務の課題

調査数	地域包括支援センターの存在・役割が利用者・高齢者に十分に周知されていない	三職種(社会福祉士等・保健師等・主任ケアマネジャー等)間の連携	生活支援コーディネーター・地域活動交流コーディネーターとの連携	制度改正が複雑・頻繁なことから、利用者への説明が追いつかない	制度改正が複雑・頻繁なことから、職員の習熟度を上げるのが困難	日曜日・祝日の相談件数が少ない(窓口を空ける必要性に乏しい)	行政からの情報提供が少なく、伝達が体系化されていない	業務が繁忙で訪問による相談・支援が思うようにできない
93 100.0	26 28.0	5 5.4	13 14.0	17 18.3	20 21.5	62 66.7	8 8.6	61 65.6
					区役所からのケース引継ぎが不十分である	その他	特になし	無回答
					13 14.0	10 10.8	1 1.1	1 1.1

Q9. 成年後見制度の利用を促進するため必要なこと

調査数	講演会・出前講座等での市民への周知	支援者(事業所の職員)への研修	成年後見制度・高齢者や障害者虐待等に関する相談機関の充実	司法・福祉・医療などの連携体制の強化	本人・親族申立ての支援	日常生活自立支援事業から成年後見制度への移行支援	成年後見制度の利用に関する助成制度の拡充	市民後見人について、市民や関係機関への周知
93 100.0	30 32.3	28 30.1	41 44.1	38 40.9	41 44.1	15 16.1	40 43.0	5 5.4
					警察や消防等の公的機関、銀行や郵便局等の金融機関、電車やタクシー等の交通機関、地域の商業施設など、身近な生活にかかわる事業者とのネットワーク構築	その他	特になし	無回答
					19 20.4	6 6.5	0 0.0	1 1.1

問 10 包括的・継続的ケアマネジメント支援の課題と考えることは何ですか。(○は3つまで)

1. 地域連携の成功事例の蓄積、相互の情報提供が少なく、参考にできるものが少ない	
2. 診療所医師との関係づくり	
3. 歯科医師との関係づくり	
4. 薬剤師との関係づくり	
5. 病院の医療ソーシャルワーカーとの関係づくり	
6. 在宅医療連携拠点との関係づくり	
7. ケアマネジャーから相談を受けた際にヒントを与えられるような知識・経験が少ない	
8. 地域のインフォーマルサービスの開発支援・育成支援・連携支援の知識・経験が少ない	
9. 介護・福祉にとどまらない地域課題の解決に向けた知識・経験が少ない	
10. 担当圏域内の要援護者情報や既存の社会資源の情報が不足している	
11. 三職種(社会福祉士等・保健師等・主任ケアマネジャー等)間の連携	
12. 生活支援コーディネーター・地域活動交流コーディネーターとの連携	
13. その他()	
14. 特になし	

問 11 これまでに実施した包括的・継続的ケアマネジメント支援は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 居宅介護支援事業所への訪問	9. 関係機関の意見交換会の場の設定
2. ケアマネジャーのニーズ把握	10. 関係機関との情報共有のためのルールづくり
3. 現任ケアマネジャー向け研修会等	11. ケアマネジャー同士のネットワーク構築
4. 新任・就労予定ケアマネジャー向け研修会等	12. プラン立案・振り返りの相談支援
5. 医師会・診療所医師へのアプローチ	13. 地域の社会資源マップの作成
6. 医療ソーシャルワーカーへのアプローチ	14. サービス担当者会議開催支援
7. ボランティア団体・NPO等へのアプローチ	15. 事例検討会(困難事例を含む)
8. 在宅医療連携拠点へのアプローチ	16. その他()

問 12 保険外の活動やサービスを組み合わせて作成したケアプランはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 通いの場(体操・運動・趣味などの活動、食事会などの定期的な交流)	9. 生活援助(掃除、洗濯、買い物、調理など)
2. 通いの場への送迎	10. 話し相手
3. 医療機関・福祉施設・役所への送迎	11. 訪問による理美容
4. 医療機関・福祉施設・役所への送迎前後の付き添い	12. 歯科などの訪問診療
5. 栄養改善を目的とした配食	13. 介護等が必要になった場合の住宅改造
6. 見守り・安否確認	14. 紙おむつの購入
7. 緊急時の通報システム	15. その他()
8. ごみ出し	16. 特になし

Q10.包括的・継続的ケアマネジメント支援の課題

調査数	地域連携の成功事例の蓄積、相互の情報提供が少なく、参考にできるものが少ない	診療所医師との関係づくり	歯科医師との関係づくり	薬剤師との関係づくり	病院の医療ソーシャルワーカーとの関係づくり	在宅医療連携拠点との関係づくり	ケアマネジャーから相談を受けた際にヒントを与えられるような知識・経験が少ない	地域のインフォーマルサービスの開発支援・育成支援・連携支援の知識・経験が少ない
93 100.0	30 32.3	20 21.5	6 6.5	3 3.2	20 21.5	13 14.0	11 11.8	34 36.6
		介護・福祉にとどまらない地域課題の解決に向けた知識・経験が少ない	担当圏域内の要援護者情報や既存の社会資源の情報が不足している	三職種(社会福祉士等・保健師等・主任ケアマネジャー等)間の連携	生活支援コーディネーター・地域活動交流コーディネーターとの連携	その他	特になし	無回答
		30 32.3	20 21.5	7 7.5	13 14.0	9 9.7	4 4.3	2 2.2

Q11.これまでに実施した包括的・継続的ケアマネジメント支援

調査数	居宅介護支援事業所への訪問	ケアマネジャーのニーズ把握	現任ケアマネジャー向け研修会等	新任・就労予定ケアマネジャー向け研修会等	医師会・診療所医師へのアプローチ	医療ソーシャルワーカーへのアプローチ	ボランティア団体・NPO等へのアプローチ	在宅医療連携拠点へのアプローチ
93 100.0	57 61.3	61 65.6	79 84.9	75 80.6	50 53.8	47 50.5	33 35.5	50 53.8
	関係機関の意見交換会の場の設定	関係機関との情報共有のためのルールづくり	ケアマネジャー同士のネットワーク構築	プラン立案・振り返りの相談支援	地域の社会資源マップの作成	サービス担当者会議開催支援	事例検討会(困難事例を含む)	その他
	60 64.5	18 19.4	71 76.3	43 46.2	27 29.0	49 52.7	65 69.9	5 5.4
								無回答
								2 2.2

Q12.保険外の活動やサービスを組み合わせて作成したケアプラン

調査数	通いの場(体操・運動・趣味などの活動、食事会などの定期的な交流)	通いの場への送迎	医療機関・福祉施設・役所への送迎	医療機関・福祉施設・役所への送迎前後の付き添い	栄養改善を目的とした配食	見守り・安否確認	緊急時の通報システム	ごみ出し
93 100.0	73 78.5	7 7.5	6 6.5	6 6.5	41 44.1	53 57.0	28 30.1	69 74.2
	生活援助(掃除、洗濯、買い物、調理など)	話し相手	訪問による理美容	歯科などの訪問診療	介護等が必要になった場合の住宅改造	紙おむつの購入	その他	特になし
	42 45.2	9 9.7	23 24.7	28 30.1	34 36.6	15 16.1	1 1.1	2 2.2
								無回答
								3 3.2

問 13 地域の住民活動や介護保険外のサービス等に関する地域資源を共有するために活用しているものがあれば教えてください。(あてはまるものすべてに○)

1. ヨコハマ地域活動・サービス検索ナビ	7. 自治会・町内会との情報交換
2. ふくしらべ	8. 民生委員・児童委員との情報交換
3. 居宅介護支援事業所との情報交換	9. 区役所との情報交換
4. 市社会福祉協議会との情報交換	10. その他 ()
5. 区社会福祉協議会との情報交換	11. 特に活用しているものはない
6. 地区社会福祉協議会との情報交換	

問 14 区役所の社会福祉職・保健師に期待することは何ですか。(あてはまるものすべてに○)
また、選択した「期待すること」について、区がその役割を果たしていると思いますか。

	期待すること (あてはまるものすべてに○)	「期待すること」で○を付けた項目について、 下記にお答えください(○はひとつ)			
		十分果たしていると思う	まあまあ果たしていると思う	あまり果たしているとは思えない	果たしているとは思わない
①支援困難事例への対応	1 ⇒	1	2	3	4
②ケースカンファレンス	1 ⇒	1	2	3	4
③苦情相談への対応	1 ⇒	1	2	3	4
④介護保険以外のサービスや制度の利用	1 ⇒	1	2	3	4
⑤介護保険法で判断に困るとき	1 ⇒	1	2	3	4
⑥医療・健康状態などの相談・助言	1 ⇒	1	2	3	4
⑦虐待が認められる・虐待のおそれのあるケースへの対応	1 ⇒	1	2	3	4
⑧精神疾患の方への対応	1 ⇒	1	2	3	4
⑨地域課題の解決に向けた地域ケア会議の支援	1 ⇒	1	2	3	4
⑩その他 (具体的に)	1 ⇒	1	2	3	4

Q13.地域の住民活動や介護保険外のサービス等に関する地域資源を共有するために活用しているもの

調査数	ヨコハマ地域活動・サービス検索ナビ	ふくしらべ	居宅介護支援事業所との情報交換	市社会福祉協議会との情報交換	区社会福祉協議会との情報交換	地区社会福祉協議会との情報交換	自治会・町内会との情報交換	民生委員・児童委員との情報交換
93	48	26	63	15	60	53	65	75
100.0	51.6	28.0	67.7	16.1	64.5	57.0	69.9	80.6
					区役所との情報交換	その他	特に活用しているものはない	無回答
					63	2	1	1
					67.7	2.2	1.1	1.1

Q14.区役所の社会福祉職・保健師に期待すること

調査数	支援困難事例への対応	ケースカンファレンス	苦情相談への対応	介護保険以外のサービスや制度の利用	介護保険法で判断に困るとき	医療・健康状態などの相談・助言	虐待が認められる・虐待のおそれのあるケースへの対応	精神疾患の方への対応
93	87	60	46	36	47	39	82	75
100.0	93.5	64.5	49.5	38.7	50.5	41.9	88.2	80.6
						地域課題の解決に向けた地域ケア会議の支援	その他	無回答
						65	1	2
						69.9	1.1	2.2

Q14.期待すること(1)支援困難事例への対応

調査数	十分果たしていると思う	まあまあ果たしていると思う	あまり果たしているとは思えない	果たしているとは思わない	無回答
87	25	46	11	5	0
100.0	28.7	52.9	12.6	5.7	0.0

Q14.期待すること(6)医療・健康状態などの相談・助言

調査数	十分果たしていると思う	まあまあ果たしていると思う	あまり果たしているとは思えない	果たしているとは思わない	無回答
39	6	27	5	1	0
100.0	15.4	69.2	12.8	2.6	0.0

Q14.期待すること(2)ケースカンファレンス

調査数	十分果たしていると思う	まあまあ果たしていると思う	あまり果たしているとは思えない	果たしているとは思わない	無回答
60	20	34	3	1	2
100.0	33.3	56.7	5.0	1.7	3.3

Q14.期待すること(7)虐待が認められる・虐待のおそれのあるケースへの対応

調査数	十分果たしていると思う	まあまあ果たしていると思う	あまり果たしているとは思えない	果たしているとは思わない	無回答
82	22	42	14	2	2
100.0	26.8	51.2	17.1	2.4	2.4

Q14.期待すること(3)苦情相談への対応

調査数	十分果たしていると思う	まあまあ果たしていると思う	あまり果たしているとは思えない	果たしているとは思わない	無回答
46	8	26	10	1	1
100.0	17.4	56.5	21.7	2.2	2.2

Q14.期待すること(8)精神疾患の方への対応

調査数	十分果たしていると思う	まあまあ果たしていると思う	あまり果たしているとは思えない	果たしているとは思わない	無回答
75	14	34	23	3	1
100.0	18.7	45.3	30.7	4.0	1.3

Q14.期待すること(4)介護保険以外のサービスや制度の利用

調査数	十分果たしていると思う	まあまあ果たしていると思う	あまり果たしているとは思えない	果たしているとは思わない	無回答
36	4	21	9	2	0
100.0	11.1	58.3	25.0	5.6	0.0

Q14.期待すること(9)地域課題の解決に向けた地域ケア会議の支援

調査数	十分果たしていると思う	まあまあ果たしていると思う	あまり果たしているとは思えない	果たしているとは思わない	無回答
65	11	30	19	4	1
100.0	16.9	46.2	29.2	6.2	1.5

Q14.期待すること(5)介護保険法で判断に困るとき

調査数	十分果たしていると思う	まあまあ果たしていると思う	あまり果たしているとは思えない	果たしているとは思わない	無回答
47	6	22	12	7	0
100.0	12.8	46.8	25.5	14.9	0.0

Q14.期待すること(10)その他

調査数	十分果たしていると思う	まあまあ果たしていると思う	あまり果たしているとは思えない	果たしているとは思わない	無回答
1	0	0	0	1	0
100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

問 15 所管する圏域を営業エリアとする居宅介護支援事業所のケアマネジャーは、その業務を適切に行っていると思いますか。次の各項目についてお答えください。（それぞれあてはまる番号に○はひとつ）

	十分行っている と思う	まあまあ行っている と思う	あまり行っていない と思う	行っていない と思う
①自立支援・重度化予防の理念の理解とケアプランへの反映	1	2	3	4
②サービス担当者会議の開催による利用者・家族等との目標の共有化及びケアプランへの反映	1	2	3	4
③地域のインフォーマルサービスを取り入れるための情報収集や利用のための調整	1	2	3	4
④介護保険以外の公的サービスについての情報収集及び必要に応じたケアプランへの反映	1	2	3	4
⑤医療との連携	1	2	3	4
⑥主治医（医療機関）と情報の共有化	1	2	3	4
⑦地域包括支援センターとの連携	1	2	3	4
⑧制度に関する情報収集や、資質向上のための研修への積極的な取組	1	2	3	4
⑨利用者が要支援認定を受けた場合に利用者に係る必要な情報を介護予防支援事業所に提供する	1	2	3	4
⑩特定の居宅介護サービスを位置付けない等利用者によるサービスの選択に資する情報提供の実施	1	2	3	4
⑪利用者からの苦情の受付及び苦情解決に向けた適切な対応	1	2	3	4

地域包括ケアシステムについてお伺いします。

問 16 今後の高齢社会の進展を踏まえ、地域包括ケアシステムの深化・推進に取り組んでいます。地域包括ケアシステムの深化・推進に向けて優先度の高いと思う課題は何ですか。（○は2つまで）

1. 多様な在宅介護サービスを提供できる事業所の整備
2. 介護従事者の人材確保
3. 医療・介護の連携を含む在宅医療体制の構築
4. 在宅医療人材の確保・育成
5. 介護予防に取り組む市民意識の醸成
6. 介護予防人材の育成及び支援
7. 多様な生活支援・サービスの提供
8. 高齢者のニーズに応じた施設や住まいの提供
9. 認知症への地域の理解
10. 高齢者の社会参加の機会の創出
11. 高齢者本人・家族の主体的な意思決定の支援
12. その他（)
13. 特になし

Q15.居宅介護支援事業所のケアマネジャーの業務について

(1)自立支援・重度化予防の理念の理解とケアプランへの反映

調査数	十分行っている と思う	まあまあ行っている と思う	あまり行っていない と思う	行っていない と思う	無回答
93	13	65	11	0	4
100.0	14.0	69.9	11.8	0.0	4.3

(2)サービス担当者会議の開催による利用者・家族等との目標の共有化及びケアプランへの反映

調査数	十分行っている と思う	まあまあ行っている と思う	あまり行っていない と思う	行っていない と思う	無回答
93	26	61	3	0	3
100.0	28.0	65.6	3.2	0.0	3.2

(3)地域のインフォーマルサービスを取り入れるための情報収集や利用のための調整

調査数	十分行っている と思う	まあまあ行っている と思う	あまり行っていない と思う	行っていない と思う	無回答
93	9	44	36	1	3
100.0	9.7	47.3	38.7	1.1	3.2

(4)介護保険以外の公的サービスについての情報収集及び必要に応じたケアプランへの反映

調査数	十分行っている と思う	まあまあ行っている と思う	あまり行っていない と思う	行っていない と思う	無回答
93	12	48	30	0	3
100.0	12.9	51.6	32.3	0.0	3.2

(5)医療との連携

調査数	十分行っている と思う	まあまあ行っている と思う	あまり行っていない と思う	行っていない と思う	無回答
93	25	62	1	0	5
100.0	26.9	66.7	1.1	0.0	5.4

(6)主治医（医療機関）と情報の共有化

調査数	十分行っている と思う	まあまあ行っている と思う	あまり行っていない と思う	行っていない と思う	無回答
93	18	65	6	0	4
100.0	19.4	69.9	6.5	0.0	4.3

(7)地域包括支援センターとの連携

調査数	十分行っている と思う	まあまあ行っている と思う	あまり行っていない と思う	行っていない と思う	無回答
93	21	67	2	0	3
100.0	22.6	72.0	2.2	0.0	3.2

(8)制度に関する情報収集や、資質向上のための研修への積極的な取組

調査数	十分行っている と思う	まあまあ行っている と思う	あまり行っていない と思う	行っていない と思う	無回答
93	18	60	8	0	7
100.0	19.4	64.5	8.6	0.0	7.5

(9)利用者が要支援認定を受けた場合に利用者に係る必要な情報を介護予防支援事業所に提供する

調査数	十分行っている と思う	まあまあ行っている と思う	あまり行っていない と思う	行っていない と思う	無回答
93	22	60	8	0	3
100.0	23.7	64.5	8.6	0.0	3.2

(10)特定の居宅介護サービスを位置付けない等利用者によるサービスの選択に資する情報提供の実施

調査数	十分行っている と思う	まあまあ行っている と思う	あまり行っていない と思う	行っていない と思う	無回答
93	19	61	9	0	4
100.0	20.4	65.6	9.7	0.0	4.3

(11)利用者からの苦情の受付及び苦情解決に向けた適切な対応

調査数	十分行っている と思う	まあまあ行っている と思う	あまり行っていない と思う	行っていない と思う	無回答
93	19	65	6	0	3
100.0	20.4	69.9	6.5	0.0	3.2

Q16.地域包括ケアシステムの構築に向けて優先度の高いと思う課題

調査数	多様な在宅介護サービスを提供できる事業所の整備	介護従事者の人材確保	医療・介護の連携を含む在宅医療体制の構築	在宅医療人材の確保・育成	介護予防に取り組む市民意識の醸成	介護予防人材の育成及び支援	多様な生活支援・サービスの提供	高齢者のニーズに応じた施設や住まいの提供
93	16	42	9	3	12	11	35	1
100.0	17.2	45.2	9.7	3.2	12.9	11.8	37.6	1.1
			認知症への地域の理解	高齢者の社会参加の機会の創出	高齢者本人・家族の主体的な意思決定の支援	その他	特になし	無回答
			22	17	9	4	0	2
			23.7	18.3	9.7	4.3	0.0	2.2

地域ケア会議についてお伺いします。

問 17 地域ケア会議を開催して得られる効果は何ですか。
(個別ケース、包括レベルそれぞれ、○は3つまで)

	① 個別ケース	② 包括レベル
1. 個別課題の解決やそのための気づき	1	1
2. ケースの自立支援に資するケアマネジメントの検討ができる	2	2
3. 医療と介護のネットワーク構築	3	3
4. 地域住民、団体とのネットワーク構築	4	4
5. 地域課題の把握、明確化	5	5
6. 社会資源の開発	6	6
7. 他の専門的な職種から意見がきける	7	7
8. 地域住民から意見が聞ける	8	8
9. 個別ケースその他 ()	9	
10. 包括レベルその他 ()		9

問 18 現時点で、地域ケア会議(個別ケース、包括レベル)で課題に思うことは何ですか。
(個別ケース、包括レベルそれぞれ、○は3つまで)

	① 個別ケース	② 包括レベル
1. テーマの選定が難しい	1	1
2. 会議の事前準備の調整(出席者への依頼、出席者への説明等)が難しい	2	2
3. 会議の運営・進捗が難しい	3	3
4. 課題の共有までで終わってしまい解決策の提案に至らない	4	4
5. 会議後の役割をどう分担してよいかわからない	5	5
6. 会議後の課題解決策の実践について評価ができていない	6	6
7. 個別ケース検討結果で得た課題を蓄積、分析し、地域課題として抽出することが難しい	7	7
8. 参加者のケア会議に対する理解が不足している	8	8
9. ケア会議の開催目的が共有できていない	9	9
10. 事例検討会との違いがわからない(見いだせない)	10	10
11. 必要な専門職の参加が不足している	11	11
12. 自立支援に資するケアマネジメントの検討ができていない	12	12
13. 個別ケースその他 (具体的に)	13	
14. 包括レベルその他 (具体的に)		13

Q17.地域ケア会議を開催して得られる効果(1)個別ケース

調査数	個別課題の解決やそのための気づき	ケースの自立支援に資するケアマネジメントの検討ができる	医療と介護のネットワーク構築	地域住民、団体とのネットワーク構築	地域課題の把握、明確化	社会資源の開発	他の専門的な職種から意見がきける	地域住民から意見が聞ける
93	72	21	10	29	33	1	31	45
100.0	77.4	22.6	10.8	31.2	35.5	1.1	33.3	48.4
						個別ケースその他	包括レベルその他	無回答
						2	0	3
						2.2	0.0	3.2

Q17.地域ケア会議を開催して得られる効果(2)包括レベル

調査数	個別課題の解決やそのための気づき	ケースの自立支援に資するケアマネジメントの検討ができる	医療と介護のネットワーク構築	地域住民、団体とのネットワーク構築	地域課題の把握、明確化	社会資源の開発	他の専門的な職種から意見がきける	地域住民から意見が聞ける
93	15	1	24	64	63	21	19	34
100.0	16.1	1.1	25.8	68.8	67.7	22.6	20.4	36.6
						個別ケースその他	包括レベルその他	無回答
						0	0	5
						0.0	0.0	5.4

Q18.地域ケア会議での課題(1)個別ケース

調査数	テーマの選定が難しい	会議の事前準備の調整(出席者への依頼、出席者への説明等)が難しい	会議の運営・進捗が難しい	課題の共有までで終わってしまい解決策の提案に至らない	会議後の役割をどう分担してよいかわからない	会議後の課題解決策の実践について評価ができていない	個別ケース検討結果で得た課題を蓄積、分析し、地域課題として抽出することが難しい	参加者のケア会議に対する理解が不足している
93	35	34	7	34	8	32	23	14
100.0	37.6	36.6	7.5	36.6	8.6	34.4	24.7	15.1
		ケア会議の開催目的が共有できていない	事例検討会との違いがわからない(見いだせない)	必要な専門職の参加が不足している	自立支援に資するケアマネジメントの検討ができていない	個別ケースその他	包括レベルその他	無回答
		2	16	3	12	1	0	6
		2.2	17.2	3.2	12.9	1.1	0.0	6.5

Q18.地域ケア会議での課題(2)包括レベル

調査数	テーマの選定が難しい	会議の事前準備の調整(出席者への依頼、出席者への説明等)が難しい	会議の運営・進捗が難しい	課題の共有までで終わってしまい解決策の提案に至らない	会議後の役割をどう分担してよいかわからない	会議後の課題解決策の実践について評価ができていない	個別ケース検討結果で得た課題を蓄積、分析し、地域課題として抽出することが難しい	参加者のケア会議に対する理解が不足している
93	42	35	8	42	13	35	15	15
100.0	45.2	37.6	8.6	45.2	14.0	37.6	16.1	16.1
		ケア会議の開催目的が共有できていない	事例検討会との違いがわからない(見いだせない)	必要な専門職の参加が不足している	自立支援に資するケアマネジメントの検討ができていない	個別ケースその他	包括レベルその他	無回答
		4	2	5	5	0	1	2
		4.3	2.2	5.4	5.4	0.0	1.1	2.2

認知症事業についてお伺いします。

問 19 認知症に関してどのような取組を行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 認知症予防の講座の開催	7. 成年後見制度や権利擁護に関する講演会等の開催
2. 認知症に関する相談会等の開催 (総合相談以外)	8. 介護者のつどい・家族の会等の介護者に対する支援
3. 認知症サポーター養成講座の開催	9. 認知症の人や家族等のための交流の場や居場所づくり
4. 認知症キャラバン・メイトの支援	10. 若年性認知症の人への支援
5. 包括エリアネットワーク構築のための連絡会の開催	11. その他 ()
6. 地域のネットワーク構築のための事業への参加	12. 特になし

問 20 横浜市の認知症施策について、今後充実が必要と思うものは何ですか。(○は3つまで)

1. 認知症予防	9. 家族が認知症の理解を深めるための支援
2. 早期発見のための取組	10. 介護者のつどい・家族の会等
3. 相談窓口	11. 認知症の人や家族等のための交流の場や居場所づくり
4. 認知症を専門に行う医療機関情報	12. 見守りや話し相手等のインフォーマルサービス
5. 専門医の訪問診療	13. 若年性認知症の人への支援
6. 認知症症状悪化時の緊急入院対応	14. その他 ()
7. 合併症がある認知症の人の入院対応	15. 特になし
8. 地域住民の認知症に対する正しい理解の普及	

ご協力ありがとうございました。

Q19.認知症に関して行っている取組

調査数	認知症予防の講座の開催	認知症に関する相談会等の開催(総合相談以外)	認知症サポーター養成講座の開催	認知症キャラバン・メイトの支援	包括エリアネットワーク構築のための連絡会の開催	地域のネットワーク構築のための事業への参加	成年後見制度や権利擁護に関する講演会等の開催	介護者のつどい・家族の会等の介護者に対する支援
93 100.0	66 71.0	25 26.9	86 92.5	67 72.0	16 17.2	40 43.0	59 63.4	79 84.9
				認知症の人や家族等のための交流の場や居場所づくり	若年性認知症の人への支援	その他	特になし	無回答
				57 61.3	14 15.1	0 0.0	0 0.0	2 2.2

Q20.横浜市の認知症施策について、今後充実が必要と思うもの

調査数	認知症予防	早期発見のための取組	相談窓口	認知症を専門に行う医療機関情報	専門医の訪問診療	認知症症状悪化時の緊急入院対応	合併症がある認知症の人の入院対応	地域住民の認知症に対する正しい理解の普及
93 100.0	10 10.8	21 22.6	10 10.8	11 11.8	36 38.7	53 57.0	22 23.7	35 37.6
	家族が認知症の理解を深めるための支援	介護者のつどい・家族の会等	認知症の人や家族等のための交流の場や居場所づくり	見守りや話し相手等のインフォーマルサービス	若年性認知症の人への支援	その他	特になし	無回答
	21 22.6	2 2.2	19 20.4	19 20.4	9 9.7	1 1.1	0 0.0	1 1.1

アンケートご協力をお願い

日頃から、本市の高齢者保健福祉行政に御理解と御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

横浜市では、横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画・認知症施策推進計画の改定に際し、3年に1度、医療機関の皆様の御意見をお伺いする調査を実施しています。

この調査の結果につきましては、高齢者保健福祉施策を検討する際の重要な基礎資料となりますので、業務ご多用のところお手数をおかけいたしますが、本調査の趣旨を御理解いただき、御協力を賜りますようお願いいたします。

調査の回答については、12月8日(月)までにご回答くださいますよう、併せて御協力をお願いいたします。

なお、調査報告に関する秘密が保持されることと、個々の施設ごとの調査結果を公表するものではなく、サービスごとの横浜市全体の集計結果を公表する予定であることを申し添えます。

問合せ先	部署 :
	電話番号 :

※ 内容確認のため、お問合せをさせていただく場合がございますので、問合せ窓口となる部署を記載してください。

1 医療機関について

貴院の情報を教えてください。

医療機関名（法人名）						
（病院、診療所名）						
分類（〇はひとつ）	1. 病院	2. 診療所				
病院、診療所の所在区（〇はひとつ）	1. 青葉区	5. 神奈川区	9. 栄区	13. 戸塚区	17. 緑区	
	2. 旭区	6. 金沢区	10. 瀬谷区	14. 中区	18. 南区	
	3. 泉区	7. 港南区	11. 都筑区	15. 西区		
	4. 磯子区	8. 港北区	12. 鶴見区	16. 保土ヶ谷区		

分類

調査数	病院	診療所	無回答
1368	87	1229	52
100.0	6.4	89.8	3.8

病院、診療所の所在区

調査数	青葉区	旭区	泉区	磯子区	神奈川区	金沢区	港南区	港北区
1368	125	78	50	50	80	62	76	141
100.0	9.1	5.7	3.7	3.7	5.8	4.5	5.6	10.3
	栄区	瀬谷区	都筑区	鶴見区	戸塚区	中区	西区	保土ヶ谷区
	35	37	74	72	83	92	71	57
	2.6	2.7	5.4	5.3	6.1	6.7	5.2	4.2
						緑区	南区	無回答
						62	66	57
						4.5	4.8	4.2

2 認知症の診療について

問1 診療で認知症(疑い含む)の人に対応することはありますか。

1. ある → 間2へ	2. ない → 間6へ
-------------	-------------

問2 認知症患者の相談窓口として、どこを紹介していますか。(複数回答可)

1. 区役所高齢・障害支援課
2. 地域包括支援センター(地域ケアプラザ等)
3. 認知症疾患医療センター
4. 在宅医療連携拠点
5. その他(具体的に)

問3 認知症患者への支援について、本人や家族等にどのような支援を行っていますか。(複数回答可)

1. 情報提供を行っている(例 介護保険制度・相談窓口・つどい)
2. 相談支援を行っている
3. 支援を行っていない
4. その他(具体的に)

問4 認知症の医療的問題についてどの関係機関と連携していますか(複数回答可)

1. 認知症疾患医療センター
2. 専門病院
3. 認知症専門医
4. 認知症サポート医
5. 在宅医療連携拠点
6. その他(具体的に)
7. 特に相談していない

問5 認知症の医療的問題以外の対応についてどの関係機関と連携していますか。(複数回答可)

1. 認知症疾患医療センター
2. 専門病院
3. 認知症専門医
4. 認知症サポート医
5. 在宅医療連携拠点
6. 若年性認知症支援コーディネーター
7. 区役所高齢・障害支援課
8. 地域包括支援センター(地域ケアプラザ等)
9. ケアマネジャー(居宅介護支援事業所)
10. その他(具体的に)
11. 特に相談していない

Q1. 診療で認知症(疑い含む)の人に対応すること

調査数	ある	ない	無回答
1368	1102	253	13
100.0	80.6	18.5	1.0

Q2. 認知症患者の相談窓口の紹介先

調査数	区役所高齢・障害支援課	地域包括支援センター(地域ケアプラザ等)	認知症疾患医療センター	在宅医療連携拠点	その他	無回答
1102	380	550	337	109	227	63
100.0	34.5	49.9	30.6	9.9	20.6	5.7

Q3. 認知症患者への支援について、本人や家族等への支援

調査数	情報提供を行っている(例 介護保険制度・相談窓口・つどい)	相談支援を行っている	支援を行っていない	その他	無回答
1102	720	340	243	47	31
100.0	65.3	30.9	22.1	4.3	2.8

Q4. 認知症の医療的問題について関係機関との連携

調査数	認知症疾患医療センター	専門病院	認知症専門医	認知症サポート医	在宅医療連携拠点	その他	特に相談していない	無回答
1102	310	397	293	96	137	48	336	21
100.0	28.1	36.0	26.6	8.7	12.4	4.4	30.5	1.9

Q5. 認知症の医療的問題以外の対応について関係機関と連携

調査数	認知症疾患医療センター	専門病院	認知症専門医	認知症サポート医	在宅医療連携拠点	若年性認知症支援コーディネーター	区役所高齢・障害支援課	地域包括支援センター(地域ケアプラザ等)
1102	130	202	126	51	114	17	284	494
100.0	11.8	18.3	11.4	4.6	10.3	1.5	25.8	44.8
					ケアマネジャー(居宅介護支援事業所)	その他	特に相談していない	無回答
					608	40	237	22
					55.2	3.6	21.5	2.0

3 認知症疾患医療センターについて

問6 認知症疾患医療センターの役割・機能として、知っているものを選んでください。（複数回答可）

1. 認知症に関する専門医療相談
2. 認知症の鑑別診断
3. 認知症の行動・心理症状と身体合併症への急性期対応
4. 関係機関・関係者等の認知症疾患に関する地域連携促進
5. 認知症疾患医療に関する情報の集約及びその発信
6. 診断後等支援（相談支援、ピアサポート活動等）
7. 特になし
8. 認知症疾患医療センターを知らない

問7 横浜市の認知症疾患医療センターについて、連携したことがある医療機関を選んでください。（複数回答可）

1. 済生会横浜市東部病院
2. 横浜市立みなと赤十字病院
3. 横浜ほうゆう病院
4. 横浜市立大学附属病院
5. 横浜市総合保健医療センター診療所
6. 横浜総合病院
7. 横浜舞岡病院
8. 横浜栄共済病院
9. 横浜相原病院
10. 特になし

Q6. 認知症疾患医療センターの役割・機能として、知っているもの

調査数	認知症に関する専門医療相談	認知症の鑑別診断	認知症の行動・心理症状と身体合併症への急性期対応	関係機関・関係者等の認知症疾患に関する地域連携促進	認知症疾患医療に関する情報の集約及びその発信	診断後等支援（相談支援、ピアサポート活動等）	特になし	認知症疾患医療センターを知らない
1368	668	581	359	311	225	246	196	377
100.0	48.8	42.5	26.2	22.7	16.4	18.0	14.3	27.6
								無回答
								31
								2.3

Q7. 横浜市の認知症疾患医療センターについて、連携したことがある医療機関

調査数	済生会横浜市東部病院	横浜市立みなと赤十字病院	横浜ほうゆう病院	横浜市立大学附属病院	横浜市総合保健医療センター診療所	横浜総合病院	横浜舞岡病院	横浜栄共済病院
1368	131	138	109	166	160	92	151	59
100.0	9.6	10.1	8.0	12.1	11.7	6.7	11.0	4.3
						横浜相原病院	特になし	無回答
						51	728	31
						3.7	53.2	2.3

4 横浜市の認知症に関する取組全般について

問8 以下の中から、横浜市の取組として、(1)知っているもの、(2)連携・活用・参加したことがあるものを選んでください。

それぞれ○はひとつ
(該当しない場合、○は不要)

	(1) 知っているもの	(2) 連携・活用・参加したことがあるもの
①認知症疾患医療センター	1	1
②認知症初期集中支援チーム	2	2
③もの忘れ検診	3	3
④認知症サポート医	4	4
⑤かかりつけ医研修(認知症対応力向上研修)	5	5
⑥認知症カフェ	6	6
⑦介護者のつどい	7	7
⑧認知症高齢者等 SOS ネットワーク(見守りシール事業含む)	8	8
⑨オレンジガイド(横浜市版認知症ケアパスガイド)	9	9
⑩若年性認知症支援コーディネーター	10	10
⑪知っているものはない	11	—

問9 今後の横浜市の取組としてどのようなことを期待しますか。(複数回答可)

1. 市民に向けた認知症の正しい知識・理解の普及
2. 認知症の予防・社会参加につながる取組
3. 認知症の医療・介護の取組
4. 認知症の人の権利擁護
5. 認知症の人の見守り体制づくり
6. 介護者支援の取組
7. 認知症の本人や家族の居場所の充実
8. 認知症バリアフリーの推進
9. 医療機関と介護事業所の連携強化
10. その他(具体的に)
11. 特になし

Q8. 横浜市の取組(1)知っているもの

調査数	認知症疾患医療センター	認知症初期集中支援チーム	もの忘れ検診	認知症サポート医	かかりつけ医研修(認知症対応力向上研修)	認知症カフェ	介護者のつどい	認知症高齢者等 SOS ネットワーク(見守りシール事業含む)
1368 100.0	592 43.3	219 16.0	516 37.7	460 33.6	517 37.8	322 23.5	178 13.0	150 11.0
					オレンジガイド(横浜市版認知症ケアパスガイド)	若年性認知症支援コーディネーター	知っているものはない	無回答
					196 14.3	130 9.5	366 26.8	76 5.6

Q8. 横浜市の取組(2)連携・活用・参加したことがあるもの

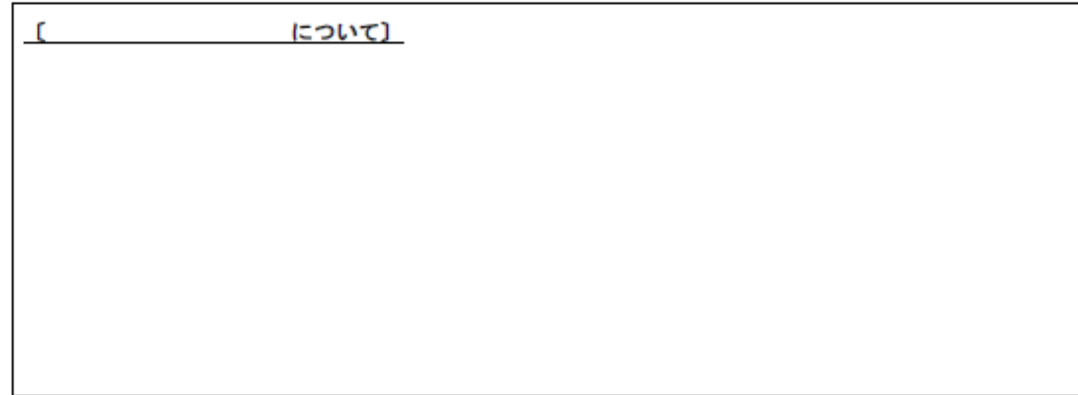
調査数	認知症疾患医療センター	認知症初期集中支援チーム	もの忘れ検診	認知症サポート医	かかりつけ医研修(認知症対応力向上研修)	認知症カフェ	介護者のつどい	認知症高齢者等 SOS ネットワーク(見守りシール事業含む)
1368 100.0	224 16.4	50 3.7	151 11.0	106 7.7	162 11.8	45 3.3	24 1.8	23 1.7
					オレンジガイド(横浜市版認知症ケアパスガイド)	若年性認知症支援コーディネーター	知っているものはない	無回答
					36 2.6	11 0.8	0 0.0	994 72.7

Q9. 今後の横浜市の取組として期待すること

調査数	市民に向けた認知症の正しい知識・理解の普及	認知症の予防・社会参加につながる取組	認知症の医療・介護の取組	認知症の人の権利擁護	認知症の人の見守り体制づくり	介護者支援の取組	認知症の本人や家族の居場所の充実	認知症バリアフリーの推進
1368 100.0	747 54.6	596 43.6	739 54.0	247 18.1	591 43.2	554 40.5	493 36.0	217 15.9
					医療機関と介護事業所の連携強化	その他	特になし	無回答
					499 36.5	29 2.1	122 8.9	34 2.5

最後に、認知症関連の取組に対する要望・ご意見など、テーマを設定いただき、ご自由にご記入ください。

[_____ について]



ご協力ありがとうございました。

アンケートご協力をお願い

日頃から、本市の高齢者保健福祉行政に御理解と御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

横浜市では、横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画・認知症施策推進計画の改定に際し、3年に1度、ケアマネジャーの皆様の御意見をお伺いする調査を実施しています。

この調査の結果につきましては、高齢者保健福祉施策を検討する際の重要な基礎資料となりますので、業務ご多用のところお手数をおかけいたしますが、本調査の趣旨を御理解いただき、御協力を賜りますようお願いいたします。

調査の回答については、12月1日(月)までにご回答くださいますよう、併せて御協力をお願いいたします。

なお、調査報告に関する秘密が保持されることと、個人を特定されることはなく、サービスごとの横浜市全体の集計結果を公表する予定であることを申し添えます。

問7 あなたは、現在の職場（事業所）の労働条件や労働環境に対して、悩みや不満を感じていますか。
（○はひとつ）

1. 感じている	2. 感じていない → 問8へ
----------	-----------------

問7-1へ

問7で「1. 感じている」と回答した方にお伺いします。

問7-1 労働条件や労働環境のどこに悩みや不満を感じていますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 職場での人間関係が良くない	12. 労働時間が長い
2. 人手が足りない	13. 福祉機器の不足、機器操作の不慣れ、事業所の構造に不安がある
3. 仕事内容のわりに賃金が低い	14. 雇用が不安定である
4. 有給休暇が取りにくい	15. 不払い残業がある・多い
5. 身体的負担が大きい（腰痛や体力に不安がある）	16. 職務として行う医療的な行為に不安がある
6. 業務に対する社会的評価が低い	17. 仕事上の怪我などへの補償がない
7. 精神的にきつい	18. 正規職員になれない
8. 休憩が取りにくい	19. トラブル時に組織として対応してくれるかどうか不安がある
9. 夜間や深夜時間帯に何か起こるのではないかと不安がある	20. その他（ ）
10. 健康面（感染症や怪我）の不安がある	
11. 労働時間が不規則である	

すべての方にお伺いします。

問8 昨年1年間（令和6年1月1日～12月31日）の収入をお伺いします。年間収入（賞与及び残業代金等を全て含みます）について、あてはまるものをお選びください。（○はひとつ）

1. 昨年は働いていなかった	5. 150万円以上～200万円未満
2. 103万円以下	6. 200万円以上～300万円未満
3. 103万円超～130万円未満	7. 300万円以上～400万円未満
4. 130万円以上～150万円未満	8. 400万円以上～500万円未満
	9. 500万円以上

Q7. 労働条件や労働環境に対して、悩みや不満有無

調査数	感じている	感じていない	無回答
657	355	300	2
100.0	54.0	45.7	0.3

Q7-1. 労働条件や労働環境の不満点

調査数	職場での人間関係が良くない	人手が足りない	仕事内容のわりに賃金が低い	有給休暇が取りにくい	身体的負担が大きい（腰痛や体力に不安がある）	業務に対する社会的評価が低い	精神的にきつい	休憩が取りにくい
355	38	119	242	61	47	142	151	101
100.0	10.7	33.5	68.2	17.2	13.2	40.0	42.5	28.5
	夜間や深夜時間帯に何か起こるのではないかと不安がある	健康面（感染症や怪我）の不安がある	労働時間が不規則である	労働時間が長い	福祉機器の不足、機器操作の不慣れ、事業所の構造に不安がある	雇用が不安定である	不払い残業がある・多い	職務として行う医療的な行為に不安がある
	75	42	30	56	31	19	15	2
	21.1	11.8	8.5	15.8	8.7	5.4	4.2	0.6
	仕事上の怪我などへの補償がない	正規職員になれない	トラブル時に組織として対応してくれるかどうか不安がある	その他	無回答			
	1	2	51	58	0			
	0.3	0.6	14.4	16.3	0.0			

Q8. 年間収入

調査数	昨年は働いていなかった	103万円以下	103万円超～130万円未満	130万円以上～150万円未満	150万円以上～200万円未満	200万円以上～300万円未満	300万円以上～400万円未満	400万円以上～500万円未満
657	11	15	13	12	37	93	215	160
100.0	1.7	2.3	2.0	1.8	5.6	14.2	32.7	24.4
							500万円以上	無回答
							88	13
							13.4	2.0

問9 あなたは、今後、他の職場へ転職することを考えていますか。(〇はひとつ)

1. 考えている	2. 考えていない	3. わからない
----------	-----------	----------

問9-1へ

問10へ

問9で「1. 考えている」と回答した方にお伺いします。

問9-1 今後どのような分野への転職を考えていますか。(〇はひとつ)

1. 福祉系(介護関係)	2. 福祉系(介護以外)	3. それ以外	4. 未定
--------------	--------------	---------	-------

問9で「1. 考えている」と回答した方にお伺いします。

問9-2 他の職場へ転職することを考えている理由は何ですか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 人員整理・勧奨退職・法人解散・事業不振等のため	8. 法人や事業所の理念や運営のあり方に不満があったため
2. 他に良い仕事・職場があったため	9. 家族の転職・転勤、又は事業所の移転のため
3. 新しい資格を取ったから	10. 定年・雇用契約の満了のため
4. 収入が少なかったため	11. 病気・高齢のため
5. 自分の将来の見込みが立たなかったため	12. 結婚・出産・妊娠・育児のため
6. 自分に向かない仕事だったため	13. 家族の介護・看護のため
7. 職場の人間関係に問題があったため	14. その他()

すべての方にお伺いします。

ケアマネジャー業務の担当状況(令和7年10月現在)についてお伺いします。

問10 あなたの勤務形態は、次のうちどれですか。(〇はひとつ)

1. 常勤・専従	2. 常勤・兼務	3. 非常勤・専従	4. 非常勤・兼務
----------	----------	-----------	-----------

問11 あなたが担当している利用者数について伺います。担当する利用者や件数がない場合は「0」と記入してください。

	要支援者・事業対象者	要介護者
担当利用者数 (令和7年9月末時点)	人	人

問12 問11の担当利用者数(予防含む)について、最も利用者数の多い区の番号に〇をつけてください。(〇はひとつ)

1. 青葉区	5. 神奈川区	9. 栄区	13. 戸塚区	17. 緑区
2. 旭区	6. 金沢区	10. 瀬谷区	14. 中区	18. 南区
3. 泉区	7. 港南区	11. 都筑区	15. 西区	
4. 磯子区	8. 港北区	12. 鶴見区	16. 保土ヶ谷区	

Q9. 転職意向

調査数	考えている	考えていない	わからない	無回答
657	105	346	204	2
100.0	16.0	52.7	31.1	0.3

Q9-1. 転職意向分野

調査数	福祉系(介護関係)	福祉系(介護以外)	それ以外	未定	無回答
105	47	9	28	20	1
100.0	44.8	8.6	26.7	19.0	1.0

Q9-2. 転職することを考えている理由

調査数	人員整理・勧奨退職・法人解散・事業不振等のため	他に良い仕事・職場があったため	新しい資格を取ったから	収入が少なかったため	自分の将来の見込みが立たなかったため	自分に向かない仕事だったため	職場の人間関係に問題があったため	法人や事業所の理念や運営のあり方に不満があったため
105	11	11	4	46	32	15	21	32
100.0	10.5	10.5	3.8	43.8	30.5	14.3	20.0	30.5
	家族の転職・転勤、又は事業所の移転のため	定年・雇用契約の満了のため	病気・高齢のため	結婚・出産・妊娠・育児のため	家族の介護・看護のため	その他	無回答	
	1	7	7	1	9	23	0	
	1.0	6.7	6.7	1.0	8.6	21.9	0.0	

Q10 勤務形態

調査数	常勤・専従	常勤・兼務	非常勤・専従	非常勤・兼務	無回答
657	401	163	77	15	1
100.0	61.0	24.8	11.7	2.3	0.2

Q11-1. 担当利用者数—要支援者・事業対象者

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人
657	25	24	125	137	255	42	26	1
100.0	3.8	3.7	19.0	20.9	38.8	6.4	4.0	0.2
	70~99人	100人以上	無回答			0	0	22
	0.0	0.0				0.0	0.0	3.3

Q11-2. 担当利用者数—要介護者

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人
657	10	6	19	29	85	148	343	4
100.0	1.5	0.9	2.9	4.4	12.9	22.5	52.2	0.6
	70~99人	100人以上	無回答			0	1	12
	0.0	0.2				0.0	0.2	1.8

Q12. 最も利用者数の多い区

調査数	青葉区	旭区	泉区	磯子区	神奈川区	金沢区	港南区	港北区
657	44	50	36	33	50	41	55	54
100.0	6.7	7.6	5.5	5.0	7.6	6.2	8.4	8.2
	栄区	瀬谷区	都筑区	鶴見区	戸塚区	中区	西区	保土ヶ谷区
	30	56	18	37	28	4	21	35
	4.6	8.5	2.7	5.6	4.3	0.6	3.2	5.3
	緑区	南区	無回答			36	20	9
	5.5	3.0				5.5	3.0	1.4

問 13 あなたは、利用者に対して、どのような基準を重視してサービス事業所を紹介していますか。

主なものを2つまでお選びください。(○は2つまで)

1. 利用者の自宅から近いかどうか	
2. 利用者・家族が望むサービス内容・プログラムであるかどうか	
3. ケアマネジャーの目から見て、サービスの質が高い事業所であるかどうか	
4. 自分が勤務している居宅介護支援事業所の併設事業所であるかどうか	
5. 介護サービス評価センターの認証を受けているかどうか	
6. 利用者・家族が知っている、又は希望する事業所であるかどうか	
7. その他 ()	
8. 特になし	

担当地域におけるサービスの状況についてお伺いします。

問 14 「担当している利用者が最も多い区」で、事業所数もしくは定員など、量的に不足していると感じるサービスはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 訪問介護	22. 特定福祉用具販売
2. 横浜市訪問介護相当サービス	23. 特定介護予防福祉用具販売
3. 横浜市訪問型生活援助サービス	24. 住宅改修
4. 訪問入浴介護	25. 特定施設入居者生活介護
5. 介護予防訪問入浴介護	26. 介護予防特定施設入居者生活介護
6. 訪問看護	27. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
7. 介護予防訪問看護	28. 夜間対応型訪問介護
8. 訪問リハビリテーション	29. 認知症対応型通所介護
9. 介護予防訪問リハビリテーション	30. 介護予防認知症対応型通所介護
10. 居宅療養管理指導	31. 小規模多機能型居宅介護
11. 介護予防居宅療養管理指導	32. 介護予防小規模多機能型居宅介護
12. 通所介護	33. 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)
13. 横浜市通所介護相当サービス	34. 介護予防認知症対応型共同生活介護(グループホーム)
14. 通所リハビリテーション	35. 地域密着型特定施設入居者生活介護
15. 介護予防通所リハビリテーション	36. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
16. 短期入所生活介護	37. 看護小規模多機能型居宅介護
17. 介護予防短期入所生活介護	38. 介護老人福祉施設
18. 短期入所療養介護	39. 介護老人保健施設
19. 介護予防短期入所療養介護	40. 介護医療院
20. 福祉用具貸与	41. 特になし
21. 介護予防福祉用具貸与	

Q13.どのような基準を重視してサービス事業所を紹介しているか

調査数	利用者の自宅から近いかどうか	利用者・家族が望むサービス内容・プログラムであるかどうか	ケアマネジャーの目から見て、サービスの質が高い事業所であるかどうか	自分が勤務している居宅介護支援事業所の併設事業所であるかどうか	介護サービス評価センターの認証を受けているかどうか	利用者・家族が知っている、又は希望する事業所であるかどうか	その他	特になし
657	59	603	353	14	2	204	13	1
100.0	9.0	91.8	53.7	2.1	0.3	31.1	2.0	0.2
								無回答
								2
								0.3

Q14.事業所数もしくは定員など、量的に不足していると感じるサービス

調査数	訪問介護	横浜市訪問介護相当サービス	横浜市訪問型生活援助サービス	訪問入浴介護	介護予防訪問入浴介護	訪問看護	介護予防訪問看護	訪問リハビリテーション
657	338	180	115	89	12	8	6	63
100.0	51.4	27.4	17.5	13.5	1.8	1.2	0.9	9.6
	介護予防訪問リハビリテーション	居宅療養管理指導	介護予防居宅療養管理指導	通所介護	横浜市通所介護相当サービス	通所リハビリテーション	介護予防通所リハビリテーション	短期入所生活介護
	31	4	3	36	35	120	43	77
	4.7	0.6	0.5	5.5	5.3	18.3	6.5	11.7
	介護予防短期入所生活介護	短期入所療養介護	介護予防短期入所療養介護	福祉用具貸与	介護予防福祉用具貸与	特定福祉用具販売	特定介護予防福祉用具販売	住宅改修
	28	45	20	1	1	0	0	1
	4.3	6.8	3.0	0.2	0.2	0.0	0.0	0.2
	特定施設入居者生活介護	介護予防特定施設入居者生活介護	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	夜間対応型訪問介護	認知症対応型通所介護	介護予防認知症対応型通所介護	小規模多機能型居宅介護	介護予防小規模多機能型居宅介護
	3	1	186	155	49	13	46	17
	0.5	0.2	28.3	23.6	7.5	2.0	7.0	2.6
	認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	介護予防認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	地域密着型特定施設入居者生活介護	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	看護小規模多機能型居宅介護	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護医療院
	32	14	9	4	83	41	66	84
	4.9	2.1	1.4	0.6	12.6	6.2	10.0	12.8
								特になし
								無回答
								65
								9.9
								8
								1.2

問15 サービス提供事業所に関する情報収集や連絡・調整はどのようにしていますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. サービス提供事業所のパンフレット等の収集	8. ケアプラン作成に必要な部分のみ、近隣にある特定の事業所に対し電話・面談等で直接問合せ・連絡・調整
2. サービス提供事業所のホームページを閲覧	9. サービス提供は原則同一法人内で行うため、その他の事業所との連絡をとる機会はない
3. 地域単位の事業所情報誌等を閲覧	10. ケアマネジャー同士の情報交換・ロコミ
4. 「WAM ネット」の事業所情報を閲覧	11. 事業所が営業に来るとき
5. 「かながわ福祉情報コミュニティ」の事業所情報を閲覧	12. 利用者からの情報や意見・要望
6. 地域包括支援センター（地域ケアプラザ等）からの情報収集	13. その他（ ）
7. 同一区のサービス事業所との定期的な連絡会などに参加	

小規模多機能型サービス（地域密着型サービス）についてお伺いします。

問16 あなたは、小規模多機能型居宅介護（以下、単に「サービス」と言います。）には、どのように対応していますか。もっとも近いものをお選びください。（○はひとつ）

1. サービス内容を概ね理解しており、適している利用者がいれば積極的に紹介している
2. サービス内容を概ね理解しており、紹介したいと考えているが、近隣にサービス事業所がない
3. サービス内容は概ね理解しているが、特に紹介等はしていない → 問16-1
4. サービス内容はよく分からない点もあるが、適すると思われる利用者がいれば、紹介している
5. サービス内容がよく分からないので、特別な対応はしていない
6. その他（ ）

問16で「3. サービス内容は概ね理解しているが、特に紹介等はしていない」と回答した方にお伺いします。

問16-1 小規模多機能型サービスの利用に至らない理由としてあてはまるものをお選びください。（あてはまるものすべてに○）

1. サービス内容に適した利用者がいない
2. 月額定額報酬なので、利用者負担が重くなる
3. 他の介護保険サービスとの併用がしづらい
4. 利用者が使っているサービスを切り替えたくない
5. その他（ ）

Q15.サービス提供事業所に関する情報収集や連絡・調整方法

調査数	サービス提供事業所のパンフレット等の収集	サービス提供事業所のホームページを閲覧	地域単位の事業所情報誌等を閲覧	「WAMネット」の事業所情報を閲覧	「かながわ福祉情報コミュニティ」の事業所情報を閲覧	地域包括支援センター（地域ケアプラザ等）からの情報収集	同一区のサービス事業所との定期的な連絡会などに参加	ケアプラン作成に必要な部分のみ、近隣にある特定の事業所に対し電話・面談等で直接問合せ・連絡・調整
657 100.0	532 81.0	469 71.4	82 12.5	63 9.6	302 46.0	156 23.7	114 17.4	147 22.4
			サービス提供は原則同一法人内で行うため、その他の事業所との連絡をとる機会はない	ケアマネジャー同士の情報交換・ロコミ	事業所が営業に来るとき	利用者からの情報や意見・要望	その他	無回答
3 0.5				448 68.2	383 58.3	232 35.3	20 3.0	3 0.5

Q16.小規模多機能型居宅介護対応方法

調査数	サービス内容を概ね理解しており、適している利用者がいれば積極的に紹介している	サービス内容を概ね理解しており、紹介したいと考えているが、近隣にサービス事業所がない	サービス内容は概ね理解しているが、特に紹介等はしていない	サービス内容はよく分からない点もあるが、適すると思われる利用者がいれば、紹介している	サービス内容がよく分からないので、特別な対応はしていない	その他	無回答
657 100.0	329 50.1	31 4.7	191 29.1	67 10.2	17 2.6	19 2.9	3 0.5

Q16-1.小規模多機能型サービスの利用に至らない理由

調査数	サービス内容に適した利用者がいない	月額定額報酬なので、利用者負担が重くなる	他の介護保険サービスとの併用がしづらい	利用者が使っているサービスを切り替えたくない	その他	無回答
191 100.0	138 72.3	32 16.8	66 34.6	38 19.9	11 5.8	1 0.5

定期巡回・随時対応型訪問介護看護（地域密着型サービス）についてお伺いします。

すべての方にお伺いします。

問 17 あなたは、定期巡回・随時対応型訪問介護看護（以下、単に「サービス」と言います。）には、どのように対応していますか。もっとも近いものをお選びください。（〇はひとつ）

- | |
|--|
| 1. サービス内容を概ね理解しており、適している利用者があれば積極的に紹介している |
| 2. サービス内容を概ね理解しているが、特に紹介等はしていない → 問 17-1 へ |
| 3. サービス内容はよく分からない点もあるが、適すると思われる利用者がいれば、紹介している |
| 4. サービス内容がよく分からないので、特別な対応はしていない |
| 5. その他（) |

問 17で「2. サービス内容を概ね理解しているが、特に紹介等はしていない」と回答した方にお伺いします。

問 17-1 定期巡回・随時対応型訪問介護看護の利用に至らない理由としてあてはまるものをお選びください。（あてはまるものすべてに〇）

- | |
|---------------------------|
| 1. サービス内容に適した利用者がいない |
| 2. 月額定額報酬なので、利用者負担が重くなる |
| 3. 他の介護保険サービスとの併用がしづらい |
| 4. 利用者が使っているサービスを切り替えたくない |
| 5. その他（) |

すべての方にお伺いします。

問 18 保険外の活動やサービスを組み合わせて作成したケアプランはありますか。（あてはまるものすべてに〇）

- | | |
|-------------------------------------|-------------------------|
| 1. 通いの場（体操・運動・趣味などの活動、食事会などの定期的な交流） | 9. 生活援助（掃除、洗濯、買い物、調理など） |
| 2. 通いの場への送迎 | 10. 話し相手 |
| 3. 医療機関・福祉施設・役所への送迎 | 11. 訪問による理美容 |
| 4. 医療機関・福祉施設・役所への送迎前後の付き添い | 12. 歯科などの訪問診療 |
| 5. 栄養改善を目的とした配食 | 13. 介護等が必要になった場合の住宅改造 |
| 6. 見守り・安否確認 | 14. 紙おむつの購入 |
| 7. 緊急時の通報システム | 15. その他（) |
| 8. ごみ出し | 16. 特になし |

Q17.定期巡回・随時対応型訪問介護看護対応方法

調査数	サービス内容を概ね理解しており、適している利用者があれば積極的に紹介している	サービス内容を概ね理解しているが、特に紹介等はしていない	サービス内容はよく分からない点もあるが、適すると思われる利用者がいれば、紹介している	サービス内容がよく分からないので、特別な対応はしていない	その他	無回答
657	387	130	97	19	21	3
100.0	58.9	19.8	14.8	2.9	3.2	0.5

Q17-1.定期巡回・随時対応型訪問介護看護の利用に至らない理由

調査数	サービス内容に適した利用者がいない	月額定額報酬なので、利用者負担が重くなる	他の介護保険サービスとの併用がしづらい	利用者が使っているサービスを切り替えたくない	その他	無回答
130	99	34	36	12	2	3
100.0	76.2	26.2	27.7	9.2	1.5	2.3

Q18.保険外の活動やサービスを組み合わせて作成したケアプラン

調査数	通いの場（体操・運動・趣味などの活動、食事会などの定期的な交流）	通いの場への送迎	医療機関・福祉施設・役所への送迎	医療機関・福祉施設・役所への送迎前後の付き添い	栄養改善を目的とした配食	見守り・安否確認	緊急時の通報システム	ごみ出し
657	317	21	156	92	312	180	178	496
100.0	48.2	3.2	23.7	14.0	47.5	27.4	27.1	75.5
	生活援助（掃除、洗濯、買い物、調理など）	話し相手	訪問による理美容	歯科などの訪問診療	介護等が必要になった場合の住宅改造	紙おむつの購入	その他	特になし
	120	38	371	478	163	267	21	22
	18.3	5.8	56.5	72.8	24.8	40.6	3.2	3.3
								無回答
								5
								0.8

問 19 「担当している利用者が最も多い区」で、今後充実が必要だと思う活動やサービスはありますか。
(それぞれ○はひとつ)

	さらなる充実が必要	充実が必要	あまり必要ない	必要ない
① 通いの場（体操・運動・趣味などの活動、食事会などの定期的な交流）	1	2	3	4
② 通いの場への送迎	1	2	3	4
③ 医療機関・福祉施設・役所への送迎	1	2	3	4
④ 医療機関・福祉施設・役所への送迎前後の付き添い	1	2	3	4
⑤ 栄養改善を目的とした配食	1	2	3	4
⑥ 見守り・安否確認	1	2	3	4
⑦ 緊急時の通報システム	1	2	3	4
⑧ ごみ出し	1	2	3	4
⑨ 生活援助（掃除、洗濯、買い物、調理など）	1	2	3	4
⑩ 話し相手	1	2	3	4
⑪ 訪問による理美容	1	2	3	4
⑫ 歯科などの訪問診療	1	2	3	4
⑬ 介護等が必要になった場合の住宅改造	1	2	3	4
⑭ 紙おむつの購入	1	2	3	4
⑮ その他（具体的に ）	1	2	3	4

問 20 公平で適切なケアプラン作成の観点から、居宅介護支援事業所は、サービス提供事業者から独立している方がいいと思いますか。（○はひとつ）

1. そう思う	3. どちらとも言えない	5. そう思わない
2. ややそう思う	4. あまりそう思わない	

Q19. 充実が必要と思うサービス 1. 通いの場（体操・運動・趣味などの活動、食事会などの定期的な交流）

調査数	さらなる充実が必要	充実が必要	あまり必要ない	必要ない	無回答
657	171	363	61	16	46
100.0	26.0	55.3	9.3	2.4	7.0

Q19. 充実が必要と思うサービス 2. 通いの場への送迎

調査数	さらなる充実が必要	充実が必要	あまり必要ない	必要ない	無回答
657	293	269	36	10	49
100.0	44.6	40.9	5.5	1.5	7.5

Q19. 充実が必要と思うサービス 3. 医療機関・福祉施設・役所への送迎

調査数	さらなる充実が必要	充実が必要	あまり必要ない	必要ない	無回答
657	287	287	24	5	54
100.0	43.7	43.7	3.7	0.8	8.2

Q19. 充実が必要と思うサービス 4. 医療機関・福祉施設・役所への送迎前後の付き添い

調査数	さらなる充実が必要	充実が必要	あまり必要ない	必要ない	無回答
657	289	281	26	4	57
100.0	44.0	42.8	4.0	0.6	8.7

Q19. 充実が必要と思うサービス 5. 栄養改善を目的とした配食

調査数	さらなる充実が必要	充実が必要	あまり必要ない	必要ない	無回答
657	124	322	113	13	85
100.0	18.9	49.0	17.2	2.0	12.9

Q19. 充実が必要と思うサービス 6. 見守り・安否確認

調査数	さらなる充実が必要	充実が必要	あまり必要ない	必要ない	無回答
657	210	333	40	7	67
100.0	32.0	50.7	6.1	1.1	10.2

Q19. 充実が必要と思うサービス 7. 緊急時の通報システム

調査数	さらなる充実が必要	充実が必要	あまり必要ない	必要ない	無回答
657	175	323	70	7	82
100.0	26.6	49.2	10.7	1.1	12.5

Q19. 充実が必要と思うサービス 8. ごみ出し

調査数	さらなる充実が必要	充実が必要	あまり必要ない	必要ない	無回答
657	131	340	87	18	81
100.0	19.9	51.8	13.2	2.7	12.3

Q19. 充実が必要と思うサービス 9. 生活援助（掃除、洗濯、買い物、調理など）

調査数	さらなる充実が必要	充実が必要	あまり必要ない	必要ない	無回答
657	180	327	74	8	68
100.0	27.4	49.8	11.3	1.2	10.4

Q19. 充実が必要と思うサービス 10. 話し相手

調査数	さらなる充実が必要	充実が必要	あまり必要ない	必要ない	無回答
657	187	324	75	8	63
100.0	28.5	49.3	11.4	1.2	9.6

Q19. 充実が必要と思うサービス 11. 訪問による理美容

調査数	さらなる充実が必要	充実が必要	あまり必要ない	必要ない	無回答
657	77	314	160	18	88
100.0	11.7	47.8	24.4	2.7	13.4

Q19. 充実が必要と思うサービス 12. 歯科などの訪問診療

調査数	さらなる充実が必要	充実が必要	あまり必要ない	必要ない	無回答
657	53	260	206	39	99
100.0	8.1	39.6	31.4	5.9	15.1

Q19. 充実が必要と思うサービス 13. 介護等が必要になった場合の住宅改造

調査数	さらなる充実が必要	充実が必要	あまり必要ない	必要ない	無回答
657	48	294	190	29	96
100.0	7.3	44.7	28.9	4.4	14.6

Q19. 充実が必要と思うサービス 14. 紙おむつの購入

調査数	さらなる充実が必要	充実が必要	あまり必要ない	必要ない	無回答
657	83	304	155	21	94
100.0	12.6	46.3	23.6	3.2	14.3

Q19. 充実が必要と思うサービス 15. その他

調査数	さらなる充実が必要	充実が必要	あまり必要ない	必要ない	無回答
657	11	12	7	21	606
100.0	1.7	1.8	1.1	3.2	92.2

Q20. サービス提供事業者から独立している方がいいと思うか

調査数	そう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
657	195	120	233	72	33	4
100.0	29.7	18.3	35.5	11.0	5.0	0.6

問 21 保険外の活動やサービスに関する情報収集はどのようにしていますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 区役所や地域包括支援センター (地域ケアプラザ等)からの情報収集	6. ケアマネジャー同士の情報交換・ロコミ
2. 団体のパンフレット等の収集	7. 利用者からの情報や意見・要望
3. 団体のホームページを閲覧	8. その他 ()
4. 地域単位の情報誌等を閲覧	9. 特に行ってない
5. 団体との定期的な連絡会などに参加	

問 22 医療連携について伺います。医療依存度が高い利用者への支援の経験がありますか(対応したことがある項目すべて選択してください)。(あてはまるものすべてに○)

1. 人工呼吸器	6. 腹膜透析	11. 末梢点滴
2. 在宅酸素	7. 褥瘡	12. 吸引
3. 自己導尿	8. インスリン	13. 胃ろう・食道ろう・腸ろう
4. 膀胱留置カテーテル	9. 創傷処置	14. 経鼻経管栄養
5. ストーマ	10. 中心静脈栄養	15. がん末期の疼痛管理
		16. 1～15の経験はない

問 23 現在、あなたが担当する利用者のうち、訪問診療を利用している利用者数を教えてください。

(○はひとつ)

1. 0人	3. 6～10人	5. 16人～20人	7. 26人～30人
2. 1～5人	4. 11人～15人	6. 21人～25人	8. 31人以上

問 24 かかりつけ医(主治医)との連携状況について教えてください。(○はひとつ)

1. 常に連携している	3. ほとんど連携していない
2. 必要な時に連携している	4. 連携する必要性を感じたことがない

問 24-1 へ

問 25 へ

問 24で「1. 常に連携している」「2. 必要な時に連携している」と回答した方にお伺いします。

問 24-1 かかりつけ医(主治医)と具体的にどのような連携をしていますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 医療情報(身体状況、疾患、内服情報等)の提供を受けている
2. 認知症の症状や治療等について相談している
3. 介護支援に関する医療面でのアドバイスを受けている
4. 本人の自宅での様子など、日常生活に関する情報提供をしている
5. ケアプランを提供している
6. サービス担当者会議への出席や会議内容を提供している
7. その他 ()

Q21.保険外の活動やサービスに関する情報収集方法

調査数	区役所や地域包括支援センター(地域ケアプラザ等)からの情報収集	団体のパンフレット等の収集	団体のホームページを閲覧	地域単位の情報誌等を閲覧	団体との定期的な連絡会などに参加	ケアマネジャー同士の情報交換・ロコミ	利用者からの情報や意見・要望	その他
657	568	271	251	135	84	508	251	13
100.0	86.5	41.2	38.2	20.5	12.8	77.3	38.2	2.0
							特に行ってない	無回答
							9	5
							1.4	0.8

Q22.医療依存度が高い利用者への支援の経験

調査数	人工呼吸器	在宅酸素	自己導尿	膀胱留置カテーテル	ストーマ	腹膜透析	褥瘡	インスリン
657	119	566	316	529	444	129	531	508
100.0	18.1	86.1	48.1	80.5	67.6	19.6	80.8	77.3
	創傷処置	中心静脈栄養	末梢点滴	吸引	胃ろう・食道ろう・腸ろう	経鼻経管栄養	がん末期の疼痛管理	1～15の経験はない
	265	259	196	437	424	241	513	30
	40.3	39.4	29.8	66.5	64.5	36.7	78.1	4.6
								無回答
								7
								1.1

Q23.訪問診療利用者数

調査数	0人	1～5人	6～10人	11人～15人	16人～20人	21人～25人	26人～30人	31人以上
657	32	217	248	99	31	10	0	13
100.0	4.9	33.0	37.7	15.1	4.7	1.5	0.0	2.0
								無回答
								7
								1.1

Q24.かかりつけ医(主治医)との連携状況

調査数	常に連携している	必要な時に連携している	ほとんど連携していない	連携する必要性を感じたことがない	無回答
657	97	518	31	1	10
100.0	14.8	78.8	4.7	0.2	1.5

Q24-1.かかりつけ医(主治医)との連携内容

調査数	医療情報(身体状況、疾患、内服情報等)の提供を受けている	認知症の症状や治療等について相談している	介護支援に関する医療面でのアドバイスを受けている	本人の自宅での様子など、日常生活に関する情報提供をしている	ケアプランを提供している	サービス担当者会議への出席や会議内容を提供している	その他	無回答
615	564	235	314	328	504	293	11	3
100.0	91.7	38.2	51.1	53.3	82.0	47.6	1.8	0.5

すべての方にお伺いします。

問 25 ケアプランの作成にあたって、医療機関等からの情報収集などを行っていますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 主治医の意見書を入手
2. 意見書を記載した主治医に対して電話・面談等で直接問合せ・連絡・情報収集
3. 意見書を記載した主治医以外のかかりつけ医に対して電話・面談等で直接問合せ・連絡・情報収集
4. 入院歴のある人の場合は入院していた医療機関に対して問合せ・連絡・情報収集
5. 往診・受診・通院・入院時に同行
6. 医療相談室MSWを通じた情報収集等
7. 家族を通じて医師に指示を確認
8. カンファレンス
9. その他 ()
10. 特に行っていない

問 26 医療連携を円滑に進めるために工夫していることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 連絡ノート等を活用している	5. その他 ()
2. 電話やメール等でこまめに連絡をとっている	6. 特になし
3. 定期的な会議等の場を設けている	
4. 在宅医療連携拠点に相談している	

問 27 医療機関との連携で困ることがあれば教えてください。(あてはまるものすべてに○)

1. 医師といつ連絡を取ればよいか分からない	7. サービス担当者会議の日程調整が難しい
2. 専門用語が多く理解が困難	8. 退院してからの連絡が取りにくい
3. 退院までの準備期間が短い	9. 書類を頼んでも対応が遅い、嫌がられる
4. 医療機関側の介護保険の説明が遅い	10. 個人情報保護で医療的な情報が取りにくい
5. 主治医意見書の到着が遅い	11. その他 ()
6. 医療側からの一方的な意見で支援方法が決定され、介護側の意見が考慮されない	12. 困ったことはない

Q25.ケアプランの作成にあたって、医療機関等からの情報収集内容

調査数	主治医の意見書を入手	意見書を記載した主治医以外のかかりつけ医に対して電話・面談等で直接問合せ・連絡・情報収集	意見書を記載した主治医以外のかかりつけ医に対して電話・面談等で直接問合せ・連絡・情報収集	入院歴のある人の場合は入院していた医療機関に対して問合せ・連絡・情報収集	往診・受診・通院・入院時に同行	医療相談室MSWを通じた情報収集等	家族を通じて医師に指示を確認	カンファレンス
657 100.0	603 91.8	225 34.2	129 19.6	251 38.2	423 64.4	462 70.3	368 56.0	347 52.8
						その他	特に行っていない	無回答
						9 1.4	9 1.4	13 2.0

Q26.医療連携を円滑に進めるために工夫していること

調査数	連絡ノート等を活用している	電話やメール等でこまめに連絡をとっている	定期的な会議等の場を設けている	在宅医療連携拠点に相談している	その他	特になし	無回答
657 100.0	156 23.7	361 54.9	72 11.0	71 10.8	79 12.0	144 21.9	18 2.7

Q27.医療機関との連携で困ること

調査数	医師といつ連絡を取ればよいか分からない	専門用語が多く理解が困難	退院までの準備期間が短い	医療機関側の介護保険の説明が遅い	主治医意見書の到着が遅い	医療側からの一方的な意見で支援方法が決定され、介護側の意見が考慮されない	サービス担当者会議の日程調整が難しい	退院してからの連絡が取りにくい
657 100.0	272 41.4	86 13.1	205 31.2	86 13.1	242 36.8	114 17.4	316 48.1	113 17.2
						その他	困ったことはない	無回答
						144 21.9	47 7.2	19 2.9

問 28 在宅医療・介護の相談窓口として各区に設置する在宅医療連携拠点（在宅医療相談室）をご存知ですか。（〇はひとつ）

1. 知っている	2. 知らない → 問 29 へ
----------	----------------------------------

[問 28-1 へ](#)

問 28 で「1. 知っている」と回答されている方に伺います。

問 28-1 在宅医療連携拠点では医療・介護の相談のほか、研修や事例検討会、多職種連携会議などを行っています。在宅医療連携拠点を利用したことはありますか。（〇はひとつ）

1. 利用したことがある	2. 利用したことはない
--------------	--------------

すべての方にお伺いします。

問 29 認知症の人の医療連携を進める上で必要なことは何ですか。（あてはまるものすべてに〇）

1. 医師から身体健康管理等について助言が受けられること	4. 認知症の行動心理症状（BPSD）が悪化したときに、入院できる病院があること
2. 医師から認知症の行動心理症状（BPSD）について助言が受けられること	5. 受診時、医師が認知症の人への対応をしてくれること
3. 身体の病状が急変したときに、入院できる病院の相談ができること	6. 受診につながらない人に対する医師の訪問
	7. その他（ ）

サービス担当者会議についてお伺いします。

問 30 サービス担当者会議開催（令和7年7月～9月）にあたり「参加を呼びかけた人」、「実際に参加した人」それぞれをお答えください。（それぞれについて、あてはまる番号に〇）

	①参加を呼びかけた人	②実際に参加した人
①利用者	1	1
②家族	2	2
③主治医	3	3
④主治医以外の医療機関関係者（医師・看護師・MSW等）	4	4
⑤薬剤師	5	5
⑥サービス提供事業者（リハビリ専門職以外）	6	6
⑦サービス提供事業者等（リハビリ専門職）	7	7
⑧地域包括支援センター職員	8	8
⑨区役所の保健師	9	9
⑩区役所のケースワーカー	10	10
⑪民生委員・児童委員	11	11
⑫その他（ ）	12	12

Q28.在宅医療連携拠点認知

調査数	知っている	知らない	無回答
657	538	108	11
100.0	81.9	16.4	1.7

Q28-1.在宅医療連携拠点利用経験

調査数	利用したことがある	利用したことはない	無回答
538	351	179	8
100.0	65.2	33.3	1.5

Q29.認知症の人の医療連携を進める上で必要なこと

調査数	医師から身体健康管理等について助言が受けられること	医師から認知症の行動心理症状（BPSD）について助言が受けられること	身体の病状が急変したときに、入院できる病院の相談ができること	認知症の行動心理症状（BPSD）が悪化したときに、入院できる病院があること	受診時、医師が認知症の人への対応をしてくれること	受診につながらない人に対する医師の訪問	その他	無回答
657	365	424	481	490	333	364	18	16
100.0	55.6	64.5	73.2	74.6	50.7	55.4	2.7	2.4

Q30.サービス担当者会議開催について 1.参加を呼びかけた人

調査数	利用者	家族	主治医	主治医以外の医療機関関係者（医師・看護師・MSW等）	薬剤師	サービス提供事業者（リハビリ専門職以外）	サービス提供事業者等（リハビリ専門職）	地域包括支援センター職員
657	618	615	346	358	267	575	566	309
100.0	94.1	93.6	52.7	54.5	40.6	87.5	86.1	47.0
				区役所の保健師	区役所のケースワーカー	民生委員・児童委員	その他	無回答
				54	103	26	13	25
				8.2	15.7	4.0	2.0	3.8

Q30.サービス担当者会議開催について 2.実際に参加した人

調査数	利用者	家族	主治医	主治医以外の医療機関関係者（医師・看護師・MSW等）	薬剤師	サービス提供事業者（リハビリ専門職以外）	サービス提供事業者等（リハビリ専門職）	地域包括支援センター職員
657	585	568	182	282	182	531	491	227
100.0	89.0	86.5	27.7	42.9	27.7	80.8	74.7	34.6
				区役所の保健師	区役所のケースワーカー	民生委員・児童委員	その他	無回答
				44	70	18	10	65
				6.7	10.7	2.7	1.5	9.9

地域ケア会議についてお伺いします。

問 31 横浜市の地域ケア会議（個別ケース、包括レベル）に出席したことはありますか。（○はひとつ）

1. 出席したことがある	2. 出席したことはない
--------------	--------------

問 32 地域ケア会議に期待することは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 多様な職種・立場の人たちから意見が聴ける（つながりができる）こと → 問 32-1へ
2. よりよい支援につなげられること
3. 自らの知識・見識を広げるきっかけとなること
4. 自立支援に資するケアマネジメントにつなげられること
5. その他（ ）

問 32で「1. 多様な職種・立場の人たちから意見が聴ける（つながりができる）こと」に○をつけられた方にお伺いします。

問 32-1 特にそう思う職種・立場の方はどちらですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 医師	7. 栄養士	13. NPO、ボランティア団体
2. 看護師	8. 薬剤師	14. 社会福祉協議会
3. 保健師	9. サービス提供事業者	15. 地域包括支援センター
4. リハビリ専門職（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等）	10. 法律関係者	16. 行政職員
5. 歯科医師	11. 民生委員・児童委員	17. その他（ ）
6. 歯科衛生士	12. 地縁団体（自治会、老人クラブ等）	

すべての方にお伺いします。

問 33 現時点で、地域ケア会議で課題に思うことは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 参加する機会がない（参加依頼がない）
2. 参加する時間がない（参加依頼はあるが、自身の時間がとれない）
3. 形式的に開催されているだけと感じる
4. 自らのケアプランの不足点を指摘されるだけになってしまう
5. サービス担当者会議との違いが分からない
6. その他（ ）
7. 特になし

Q31 横浜市の地域ケア会議出席経験

調査数	出席したことがある	出席したことはない	無回答
657	390	262	5
100.0	59.4	39.9	0.8

Q32 地域ケア会議に期待することは

調査数	多様な職種・立場の人たちから意見が聴ける（つながりができる）こと	よりよい支援につなげられること	自らの知識・見識を広げるきっかけとなること	自立支援に資するケアマネジメントにつなげられること	その他	無回答
657	536	447	400	274	29	15
100.0	81.6	68.0	60.9	41.7	4.4	2.3

Q32-1 多様な職種・立場の人たちから意見が聴けると思う職種・立場の方

調査数	医師	看護師	保健師	リハビリ専門職（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等）	歯科医師	歯科衛生士	栄養士	薬剤師
536	344	299	183	260	101	52	118	153
100.0	64.2	55.8	34.1	48.5	18.8	9.7	22.0	28.5
	サービス提供事業者	法律関係者	民生委員・児童委員	地縁団体（自治会、老人クラブ等）	NPO、ボランティア団体	社会福祉協議会	地域包括支援センター	行政職員
	278	200	240	143	104	113	326	239
	51.9	37.3	44.8	26.7	19.4	21.1	60.8	44.6
							その他	無回答
							15	31
							2.8	5.8

Q33 現時点で、地域ケア会議で課題に思うこと

調査数	参加する機会がない（参加依頼がない）	参加する時間がない（参加依頼はあるが、自身の時間がとれない）	形式的に開催されているだけと感じる	自らのケアプランの不足点を指摘されるだけになってしまう	サービス担当者会議との違いが分からない	その他	特になし	無回答
657	264	150	196	34	27	33	98	24
100.0	40.2	22.8	29.8	5.2	4.1	5.0	14.9	3.7

ケアマネジャー業務全般に関するお考えについてお伺いします。

問 34 ケアマネジャー業務を行う上で、課題として考えているのはどのようなことですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. サービス事業者に関する情報が少ない	9. 相談する人が身近にいない
2. 介護保険の目的である自立支援に向けたプランを作成しても、利用者・家族に理解されない	10. 所属事業所の関連事業者からのサービスに偏る
3. 忙しくて利用者の意見・要望を聞き調整する時間が十分とれない	11. 記録など書類の量が多く負担となっている
4. 支援困難事例のケアマネジメントの方法がわからない	12. 介護保険サービスを利用せず(組み込まない)、インフォーマルサービスや民間サービスだけのケアプラン調整だと、介護報酬で算定できない
5. 認知症のある人に対する支援の手段がわからない	13. インフォーマルサービスや民間サービスの利用を提案しても利用者や家族に受け入れられない
6. 医療機関との連携がうまくとれない	14. 要介護認定が出る前のいわゆる「暫定ケアプラン」調整の労力について、「要支援」の認定が出た際には介護報酬で評価されない
7. 地域包括支援センター(地域ケアプラザ等)との連携がうまくいかない	15. ケアマネジャー業務以外の相談や頼まれごと
8. 区や市との連携がうまくいかない	16. その他()
	17. 課題はない

問 35 ケアマネジャー業務の中で、どのようなことに負担感を感じますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 利用者や家族に対する業務内容の説明と同意	10. 介護報酬請求事務
2. 課題分析のための居宅訪問・面接	11. 夜間や休日の相談対応
3. サービス担当者会議の開催・調整	12. ケアマネジャー業務以外の相談や頼まれごと
4. ケアプラン原案に対する利用者・家族の同意	13. 利用者本人と家族の意向が異なる場合の調整
5. ケアプランの交付(書類の作成など)	14. 利用者の経済的問題等の相談
6. 状況確認のための毎月の居宅訪問・面接	15. 認知症等の利用者にかかわる成年後見手続等の手配
7. 主治医や医療機関と連絡調整	16. その他()
8. 利用者や事業所の苦情対応	17. 特に負担に感じることはない
9. 要介護認定などの申請代行	

問 36 ケアプランを作成する上で、わからないことや困ったことがあったとき、誰に相談していますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 同一法人のケアマネジャー	8. 国民健康保険団体連合会
2. 他法人のケアマネジャー	9. かながわ福祉サービス振興会
3. 地域のケアマネジャー連絡会	10. サービス事業者
4. 地域包括支援センター(地域ケアプラザ等)	11. 医師
5. 区役所(高齢・障害支援課)	12. その他()
6. 横浜市健康福祉局	13. 相談できる相手がいない
7. 神奈川県	14. 困ったりすることはない

Q34.ケアマネジャー業務を行う上で、課題として考えていること

調査数	サービス事業者に関する情報が少ない	介護保険の目的である自立支援に向けたプランを作成しても、利用者・家族に理解されない	忙しくて利用者の意見・要望を聞き調整する時間が十分とれない	支援困難事例のケアマネジメントの方法がわからない	認知症のある人に対する支援の手段がわからない	医療機関との連携がうまくとれない	地域包括支援センター(地域ケアプラザ等)との連携がうまくいかない	区や市との連携がうまくいかない
657 100.0	80 12.2	187 28.5	129 19.6	121 18.4	53 8.1	92 14.0	51 7.8	75 11.4
	相談する人が身近にいない	所属事業所の関連事業者からのサービスに偏る	記録など書類の量が多く負担となっている	介護保険サービスを利用せず(組み込まない)、インフォーマルサービスや民間サービスだけのケアプラン調整だと、介護報酬で算定できない	インフォーマルサービスや民間サービスの利用を提案しても利用者や家族に受け入れられない	要介護認定が出る前のいわゆる「暫定ケアプラン」調整の労力について、「要支援」の認定が出た際には介護報酬で評価されない	ケアマネジャー業務以外の相談や頼まれごと	その他
	17 2.6	32 4.9	510 77.6	310 47.2	122 18.6	431 65.6	437 66.5	59 9.0
							課題はない	無回答
							8 1.2	5 0.8

Q35.ケアマネジャー業務負担内容

調査数	利用者や家族に対する業務内容の説明と同意	課題分析のための居宅訪問・面接	サービス担当者会議の開催・調整	ケアプラン原案に対する利用者・家族の同意	ケアプランの交付(書類の作成など)	状況確認のための毎月の居宅訪問・面接	主治医や医療機関と連絡調整	利用者や事業所の苦情対応
657 100.0	113 17.2	75 11.4	239 36.4	62 9.4	150 22.8	152 23.1	158 24.0	261 39.7
	要介護認定などの申請代行	介護報酬請求事務	夜間や休日の相談対応	ケアマネジャー業務以外の相談や頼まれごと	利用者本人と家族の意向が異なる場合の調整	利用者の経済的問題等の相談	認知症等の利用者にかかわる成年後見手続等の手配	その他
	49 7.5	115 17.5	323 49.2	460 70.0	402 61.2	410 62.4	257 39.1	46 7.0
							特に負担に感じることはない	無回答
							17 2.6	4 0.6

Q36.ケアプランを作成する上での相談先

調査数	同一法人のケアマネジャー	他法人のケアマネジャー	地域のケアマネジャー連絡会	地域包括支援センター(地域ケアプラザ等)	区役所(高齢・障害支援課)	横浜市健康福祉局	神奈川県	国民健康保険団体連合会
657 100.0	577 87.8	154 23.4	69 10.5	338 51.4	175 26.6	59 9.0	2 0.3	13 2.0
		かながわ福祉サービス振興会	サービス事業者	医師	その他	相談できる相手がいない	困ったりすることはない	無回答
		1 0.2	126 19.2	53 8.1	13 2.0	9 1.4	7 1.1	5 0.8

問 37 問 36 について、どのようなことを相談していますか。なお、相談できる相手がいない場合や困っていることがない場合は、どのようなことを相談したいと思うか、についてお答えください。

(あてはまるものすべてに○)

1. 複雑多様化した問題を抱える事例への対応に関する こと	6. 医療知識に関する こと
2. 利用者・家族間の意見調整に関する こと	7. 介護報酬請求事務に関する こと
3. 居宅サービスの適否判断の解釈に関する こと (運営基準等を含む)	8. その他 ()
4. 3. 以外のケアマネジャー業務に関する こと	9. 特に相談することはない
5. 介護保険外のサービスの利用に関する こと	

問 38 自分自身の「ケアマネジャー業務のレベルアップ」のために、現在、どのような取組を行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自主的な勉強会を行っている	6. 外部研修に積極的に参加している
2. 事業者連絡会等に積極的に参加している	7. 参考書などを読んでいる
3. ケースカンファレンス等で具体的な検討をし、 助言を受けている	8. インターネット等による情報収集を行っている
4. 法人内の研修に積極的に参加している	9. その他 ()
5. 地域包括支援センターが主催する研修、事例 検討会に参加する	10. 特にな

問 39 自分自身の「ケアマネジャー業務のレベルアップ」のために、現在は行っていないが、今後始めたいと思っている取組はありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自主的な勉強会を行いたい	6. 参考書などを読んで知識などを増やしたい
2. 事業者連絡会等に積極的に参加したい	7. ネットワークによる情報収集
3. 具体的な検討・助言を得られるケースカンファ レンス等を行いたい	8. 関連資格の取得や勉強
4. 法人内の研修に積極的に参加したい	9. その他 ()
5. 外部研修に積極的に参加したい	10. 特にな

Q37.ケアプランを作成する上での相談内容

調査数	複雑多様化した問題を抱える事例への対応に関する こと	利用者・家族間の意見調整に関する こと	居宅サービスの適否判断の解釈に関する こと(運営基準等を含む)	「居宅サービスの適否判断の解釈」以外の ケアマネジャー業務に関する こと	介護保険外のサービスの利用に関する こと	医療知識に関する こと	介護報酬請求 事務に関する こと	その他	
657 100.0	495 75.3	285 43.4	295 44.9	200 30.4	312 47.5	236 35.9	185 28.2	12 1.8	
								特に相談することはない	無回答
								13 2.0	8 1.2

Q38.「ケアマネジャー業務のレベルアップ」のためにに行っている取組

調査数	自主的な勉強会を行っている	事業者連絡会等に積極的に参加している	ケースカンファレンス等で具体的な検討をし、 助言を受けている	法人内の研修に積極的に参加している	地域包括支援センターが主催する研修、 事例検討会に参加する	外部研修に積極的に参加している	参考書などを読んでいる	インターネット等による情報 収集を行っている		
657 100.0	154 23.4	258 39.3	183 27.9	272 41.4	437 66.5	353 53.7	124 18.9	340 51.8		
								その他	特にな	無回答
								8 1.2	10 1.5	9 1.4

Q39.「ケアマネジャー業務のレベルアップ」のための取組意向

調査数	自主的な勉強会を行いたい	事業者連絡会等に積極的に参加したい	具体的な検討・助言を得られるケースカン ファレンス等を行いたい	法人内の研修に積極的に参加したい	外部研修に積極的に参加したい	参考書などを読んで知識な どを増やしたい	ネットワークによる情報 収集	関連資格の取得や勉強		
657 100.0	77 11.7	146 22.2	173 26.3	85 12.9	285 43.4	133 20.2	165 25.1	146 22.2		
								その他	特にな	無回答
								13 2.0	74 11.3	22 3.3

地域包括支援センターの役割についてお伺いします。

問 40 地域包括支援センターはその役割を果たしていると思いますか。次の各項目それぞれについてお答えください。（それぞれについて、あてはまる番号に○をひとつ）

	十分果たしていると思う	まあまあ果たしていると思う	あまり果たしているとは思えない	果たしているとは思わない
①介護予防ケアマネジメントを通じた介護予防の推進	1	2	3	4
②高齢者の健康づくりや介護予防の推進	1	2	3	4
③医療と介護の連携推進	1	2	3	4
④ケアマネジャーに対する日常的な個別指導・相談の役割	1	2	3	4
⑤支援困難事例への個別指導・相談の役割	1	2	3	4
⑥地域におけるケアマネジャーのネットワークづくりの役割	1	2	3	4
⑦多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築	1	2	3	4
⑧地域の総合相談窓口としての役割	1	2	3	4
⑨実態把握等による要介護高齢者の早期発見と対応の役割	1	2	3	4
⑩高齢者虐待防止・権利擁護の役割	1	2	3	4
⑪その他（ ）	1	2	3	4

Q40.地域包括支援センターの役割について 1.介護予防ケアマネジメントを通じた介護予防の推進

調査数	十分果たしていると思う	まあまあ果たしていると思う	あまり果たしているとは思えない	果たしているとは思わない	無回答
657	107	383	107	29	31
100.0	16.3	58.3	16.3	4.4	4.7

Q40.地域包括支援センターの役割について 2.高齢者の健康づくりや介護予防の推進

調査数	十分果たしていると思う	まあまあ果たしていると思う	あまり果たしているとは思えない	果たしているとは思わない	無回答
657	119	409	72	17	40
100.0	18.1	62.3	11.0	2.6	6.1

Q40.地域包括支援センターの役割について 3.医療と介護の連携推進

調査数	十分果たしていると思う	まあまあ果たしていると思う	あまり果たしているとは思えない	果たしているとは思わない	無回答
657	74	323	183	36	41
100.0	11.3	49.2	27.9	5.5	6.2

Q40.地域包括支援センターの役割について 4.ケアマネジャーに対する日常的な個別指導・相談の役割

調査数	十分果たしていると思う	まあまあ果たしていると思う	あまり果たしているとは思えない	果たしているとは思わない	無回答
657	80	294	187	59	37
100.0	12.2	44.7	28.5	9.0	5.6

Q40.地域包括支援センターの役割について 5.支援困難事例への個別指導・相談の役割

調査数	十分果たしていると思う	まあまあ果たしていると思う	あまり果たしているとは思えない	果たしているとは思わない	無回答
657	86	315	166	56	34
100.0	13.1	47.9	25.3	8.5	5.2

Q40.地域包括支援センターの役割について 6.地域におけるケアマネジャーのネットワークづくりの役割

調査数	十分果たしていると思う	まあまあ果たしていると思う	あまり果たしているとは思えない	果たしているとは思わない	無回答
657	89	356	137	38	37
100.0	13.5	54.2	20.9	5.8	5.6

Q40.地域包括支援センターの役割について 7.多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築

調査数	十分果たしていると思う	まあまあ果たしていると思う	あまり果たしているとは思えない	果たしているとは思わない	無回答
657	78	364	146	33	36
100.0	11.9	55.4	22.2	5.0	5.5

Q40.地域包括支援センターの役割について 8.地域の総合相談窓口としての役割

調査数	十分果たしていると思う	まあまあ果たしていると思う	あまり果たしているとは思えない	果たしているとは思わない	無回答
657	173	369	67	17	31
100.0	26.3	56.2	10.2	2.6	4.7

Q40.地域包括支援センターの役割について 9.実態把握等による要介護高齢者の早期発見と対応の役割

調査数	十分果たしていると思う	まあまあ果たしていると思う	あまり果たしているとは思えない	果たしているとは思わない	無回答
657	102	350	140	25	40
100.0	15.5	53.3	21.3	3.8	6.1

Q40.地域包括支援センターの役割について 10.高齢者虐待防止・権利擁護の役割

調査数	十分果たしていると思う	まあまあ果たしていると思う	あまり果たしているとは思えない	果たしているとは思わない	無回答
657	106	375	107	25	44
100.0	16.1	57.1	16.3	3.8	6.7

Q40.地域包括支援センターの役割について 11.その他

調査数	十分果たしていると思う	まあまあ果たしていると思う	あまり果たしているとは思えない	果たしているとは思わない	無回答
657	3	22	5	5	622
100.0	0.5	3.3	0.8	0.8	94.7

問 41 区役所に期待することは何ですか。(あてはまるものすべてに○) また、選択した「期待すること」について、区がその役割を果たしていると思いますか。

	期待すること (あてはまるものすべてに○)	区が役割を果たしているか (○はひとつ)			
		十分果たしていると思う	まあまあ果たしていると思う	あまり果たしているとは思えない	果たしているとは思わない
①支援困難事例への対応	1 ⇒	1	2	3	4
②ケースカンファレンス	1 ⇒	1	2	3	4
③苦情相談への対応	1 ⇒	1	2	3	4
④介護保険のサービスや制度の利用	1 ⇒	1	2	3	4
⑤介護保険法で判断に困るとき	1 ⇒	1	2	3	4
⑥医療・健康状態などの相談・助言	1 ⇒	1	2	3	4
⑦虐待が認められる・虐待のおそれのあるケースへの対応	1 ⇒	1	2	3	4
⑧精神疾患の方への対応	1 ⇒	1	2	3	4
⑨その他 ()	1 ⇒	1	2	3	4

介護予防ケアマネジメントを担当したことがある方にお伺いします。

問 42 介護予防ケアマネジメントが利用者の状態の改善や生活機能の向上に効果的であったと思いますか。(○はひとつ)

1. 効果があった	2. 効果が得られなかった → 問 43 へ
-----------	--

[問 42-1 へ](#)

問 42 で「1. 効果があった」と回答した方にお伺いします。

問 42-1 どのような効果がありましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 要介護度が改善または維持した
2. 目標達成により生活の質が改善した
3. 自立に向けてより意欲的に日常生活を送れるようになった
4. 自分の生きがいを見つけ生活できるようになった
5. その他 ()

Q41-1.区役所に期待すること

調査数	支援困難事例への対応	ケースカンファレンス	苦情相談への対応	介護保険のサービスや制度の利用	介護保険法で判断に困るとき	医療・健康状態などの相談・助言	虐待が認められる・虐待のおそれのあるケースへの対応	精神疾患の方への対応
657 100.0	563 85.7	221 33.6	411 62.6	223 33.9	400 60.9	190 28.9	485 73.8	463 70.5
							その他 11 1.7	無回答 34 5.2

Q41-2.区が役割を果たしているか 1.支援困難事例への対応

調査数	十分果たしていると思う	まあまあ果たしていると思う	あまり果たしているとは思えない	果たしているとは思わない	無回答
563 100.0	43 7.6	272 48.3	191 33.9	46 8.2	11 2.0

Q41-2.区が役割を果たしているか 2.ケースカンファレンス

調査数	十分果たしていると思う	まあまあ果たしていると思う	あまり果たしているとは思えない	果たしているとは思わない	無回答
221 100.0	17 7.7	117 52.9	66 29.9	15 6.8	6 2.7

Q41-2.区が役割を果たしているか 3.苦情相談への対応

調査数	十分果たしていると思う	まあまあ果たしていると思う	あまり果たしているとは思えない	果たしているとは思わない	無回答
411 100.0	34 8.3	195 47.4	122 29.7	33 8.0	27 6.6

Q41-2.区が役割を果たしているか 4.介護保険のサービスや制度の利用

調査数	十分果たしていると思う	まあまあ果たしていると思う	あまり果たしているとは思えない	果たしているとは思わない	無回答
223 100.0	35 15.7	108 48.4	53 23.8	14 6.3	13 5.8

Q41-2.区が役割を果たしているか 5.介護保険法で判断に困るとき

調査数	十分果たしていると思う	まあまあ果たしていると思う	あまり果たしているとは思えない	果たしているとは思わない	無回答
400 100.0	49 12.3	198 49.5	102 25.5	33 8.3	18 4.5

Q41-2.区が役割を果たしているか 6.医療・健康状態などの相談・助言

調査数	十分果たしていると思う	まあまあ果たしていると思う	あまり果たしているとは思えない	果たしているとは思わない	無回答
190 100.0	23 12.1	92 48.4	48 25.3	15 7.9	12 6.3

Q41-2.区が役割を果たしているか 7.虐待が認められる・虐待のおそれのあるケースへの対応

調査数	十分果たしていると思う	まあまあ果たしていると思う	あまり果たしているとは思えない	果たしているとは思わない	無回答
485 100.0	56 11.5	273 56.3	120 24.7	23 4.7	13 2.7

Q41-2.区が役割を果たしているか 8.精神疾患の方への対応

調査数	十分果たしていると思う	まあまあ果たしていると思う	あまり果たしているとは思えない	果たしているとは思わない	無回答
463 100.0	31 6.7	202 43.6	170 36.7	42 9.1	18 3.9

Q41-2.区が役割を果たしているか 9.その他

調査数	十分果たしていると思う	まあまあ果たしていると思う	あまり果たしているとは思えない	果たしているとは思わない	無回答
11 100.0	1 9.1	2 18.2	3 27.3	5 45.5	0 0.0

Q42.介護予防ケアマネジメント効果

調査数	効果があった	効果が得られなかった	無回答
657 100.0	458 69.7	167 25.4	32 4.9

Q42-1.介護予防ケアマネジメント効果があった内容

調査数	要介護度が改善または維持した	目標達成により生活の質が改善した	自立に向けてより意欲的に日常生活を送れるようになった	自分の生きがいを見つけ生活できるようになった	その他	無回答
458 100.0	187 40.8	196 42.8	290 63.3	120 26.2	5 1.1	4 0.9

アンケートご協力をお願い

日頃から、本市の高齢者保健福祉行政に御理解と御協力を賜り厚くお礼申し上げます。
 横浜市では、横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画・認知症施策推進計画の改定に際し、3年に1度、訪問介護員（ホームヘルパー）の皆様の御意見をお伺いする調査を実施しています。
 この調査の結果につきましては、高齢者保健福祉施策を検討する際の重要な基礎資料となりますので、業務ご多用のところお手数をおかけいたしますが、本調査の趣旨を御理解いただき、御協力を賜りますようお願いいたします。
 調査の回答については、12月8日（月）までにご回答くださいますよう、併せて御協力をお願いいたします。
 なお、調査報告に関する秘密が保持されることと、個人を特定されることはなく、サービスごとの横浜市全体の集計結果を公表する予定であることを申し添えます。

あなたご自身のことについて、お伺いします。

問1 あなたの性別・年齢をお選びください。

〔性別〕（〇はひとつ）※選択することに違和感がある場合は回答不要です。

1. 男性	2. 女性
-------	-------

〔年齢〕あなたの年齢（令和7年10月1日現在）をお選びください。（〇はひとつ）

1. 20歳未満	4. 30～34歳	7. 45～49歳	10. 60～64歳
2. 20～24歳	5. 35～39歳	8. 50～54歳	11. 65～69歳
3. 25～29歳	6. 40～44歳	9. 55～59歳	12. 70歳以上

問2 あなたの就業形態、勤務形態についてお伺いします。あなたの就業形態は次のうちどれですか。

（〇はひとつ）

1. 正社員（正規職員）
2. 非正（規）社員 （パート、アルバイト、派遣職員、非常勤職員、嘱託職員、契約社員、登録ヘルパー等） （注）登録ヘルパーとは本人が所属先に登録しておき、本人の都合のよい時に働く方です。

Q1-1. 性別

調査数	男性	女性	無回答
416	78	327	11
100.0	18.8	78.6	2.6

Q1-2. 年齢

調査数	20歳未満	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳
416	0	8	11	22	20	28	42	67
100.0	0.0	1.9	2.6	5.3	4.8	6.7	10.1	16.1
				55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	無回答
				72	64	33	43	6
				17.3	15.4	7.9	10.3	1.4

Q2. 就業形態

調査数	正社員（正規職員）	非正（規）社員 （パート、アルバイト、派遣職員、非常勤職員、嘱託職員、契約社員、登録ヘルパー等）	無回答
416	244	170	2
100.0	58.7	40.9	0.5

問2で「2. 非正（規）社員」と回答した方にお伺いします。

問2-1 あなたの勤務形態はどのように定められていますか。

右欄の説明をご参照いただき、あてはまるものをお選びください。（○はひとつ）

1. 常勤	事業所の定める正社員の所定労働時間と同じ時間を勤務する
2. 非常勤（定型的）	1日の所定労働時間又は1週間の労働日数が常勤労働者より少ないが、労働日及び労働日の労働時間が定型的・固定的に決まっている
3. 非常勤（非定型的）	月、週、又は日の労働時間が、一定期間毎に作成される勤務表により、非定型的に特定される（登録ヘルパー等）
4. その他	急な仕事のために臨時に雇用されて勤務している

すべての方にお伺いします。

問3 あなたの現在の勤め先（事業所の所在地）はどちらですか。（○はひとつ）

1. 青葉区	5. 神奈川区	9. 栄区	13. 戸塚区	17. 緑区
2. 旭区	6. 金沢区	10. 瀬谷区	14. 中区	18. 南区
3. 泉区	7. 港南区	11. 都筑区	15. 西区	
4. 磯子区	8. 港北区	12. 鶴見区	16. 保土ヶ谷区	

問4 介護サービスの仕事に携わってからの通算の経験年数は、どのくらいですか。（○はひとつ）

1. 1年未満	3. 2～3年未満	5. 5～7年未満	7. 10～20年未満
2. 1～2年未満	4. 3～5年未満	6. 7～10年未満	8. 20年以上

問5 あなたは、現在の職場（事業所）の労働条件や労働環境に対して、悩みや不満を感じていますか。（○はひとつ）

1. 感じている → <input type="checkbox"/> 問5-1へ	2. 感じていない → <input type="checkbox"/> 問6へ
---	--

問5で「1. 感じている」と回答した方にお伺いします。

問5-1 労働条件や労働環境のどこに悩みや不満を感じていますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 職場での人間関係が良くない	12. 労働時間が長い
2. 人手が足りない	13. 福祉機器の不足、機器操作の不慣れ、事業所の構造に不安がある
3. 仕事内容のわりに賃金が低い	14. 雇用が不安定である
4. 有給休暇が取りにくい	15. 不払い残業がある・多い
5. 身体的負担が大きい（腰痛や体力に不安がある）	16. 職務として行う医療的な行為に不安がある
6. 業務に対する社会的評価が低い	17. 仕事上の怪我などへの補償がない
7. 精神的にきつい	18. 正規職員になれない
8. 休憩が取りにくい	19. トラブル時に組織として対応してくれるかどうか不安がある
9. 夜間や深夜時間帯に何か起こるのではないかと不安がある	20. その他（具体的に）
10. 健康面（感染症や怪我）の不安がある	
11. 労働時間が不規則である	

Q2-1. 勤務形態

調査数	常勤	非常勤(定型的)	非常勤(非定型的)	その他	無回答
170	13	66	89	1	1
100.0	7.6	38.8	52.4	0.6	0.6

Q3. 勤務地

調査数	青葉区	旭区	泉区	磯子区	神奈川区	金沢区	港南区	港北区
416	24	26	22	11	29	17	43	25
100.0	5.8	6.3	5.3	2.6	7.0	4.1	10.3	6.0
	栄区	瀬谷区	都筑区	鶴見区	戸塚区	中区	西区	保土ヶ谷区
	16	40	14	29	23	15	1	20
	3.8	9.6	3.4	7.0	5.5	3.6	0.2	4.8
						緑区	南区	無回答
						26	33	2
						6.3	7.9	0.5

Q4. 介護サービス経験年数

調査数	1年未満	1～2年未満	2～3年未満	3～5年未満	5～7年未満	7～10年未満	10～20年未満	20年以上
416	16	19	27	28	19	45	154	106
100.0	3.8	4.6	6.5	6.7	4.6	10.8	37.0	25.5
								無回答
								2
								0.5

Q5. 労働条件や労働環境に対しての悩みや不満

調査数	感じている	感じていない	無回答
416	173	230	13
100.0	41.6	55.3	3.1

Q5-1. 労働条件や労働環境不満点

調査数	職場での人間関係が良くない	人手が足りない	仕事内容のわりに賃金が低い	有給休暇が取りにくい	身体的負担が大きい(腰痛や体力に不安がある)	業務に対する社会的評価が低い	精神的にきつい	休憩が取りにくい
173	18	101	102	58	52	67	26	43
100.0	10.4	58.4	59.0	33.5	30.1	38.7	15.0	24.9
	夜間や深夜時間帯に何か起こるのではないかと不安がある	健康面(感染症や怪我)の不安がある	労働時間が不規則である	労働時間が長い	福祉機器の不足、機器操作の不慣れ、事業所の構造に不安がある	雇用が不安定である	不払い残業がある・多い	職務として行う医療的な行為に不安がある
	7	35	23	17	10	10	5	7
	4.0	20.2	13.3	9.8	5.8	5.8	2.9	4.0
	仕事上の怪我などへの補償がない	正規職員になれない	トラブル時に組織として対応してくれるかどうか不安がある	その他	無回答			
	9	2	13	14	2			
	5.2	1.2	7.5	8.1	1.2			

すべての方にお伺いします。

問6 昨年1年間（令和6年1月1日～12月31日）の収入をお伺いします。年間収入（賞与及び残業代金等を全て含みます）について、あてはまるものをお選びください。（〇はひとつ）

1. 昨年は働いていなかった	5. 150万円以上～200万円未満
2. 103万円以下	6. 200万円以上～300万円未満
3. 103万円超～130万円未満	7. 300万円以上～400万円未満
4. 130万円以上～150万円未満	8. 400万円以上～500万円未満
	9. 500万円以上

問7 あなたは、今後、他の職場へ転職することを考えていますか。（〇はひとつ）

1. 考えている → 問7-1へ	2. 考えていない	3. わからない
------------------	-----------	----------

問7で「1. 考えている」と回答した方にお伺いします。

問7-1 今後どのような分野への転職を考えていますか。（〇はひとつ）

1. 福祉系（介護関係）	2. 福祉系（介護以外）	3. 福祉系以外	4. 未定
--------------	--------------	----------	-------

問7で「1. 考えている」と回答した方にお伺いします。

問7-2 他の職場へ転職することを考えている理由は何ですか。（あてはまるものすべてに〇）

1. 人員整理・勧奨退職・法人解散・事業不振等のため	8. 法人や事業所の理念や運営のあり方に不満があったため
2. 他に良い仕事・職場があったため	9. 家族の転職・転勤、又は事業所の移転のため
3. 新しい資格を取ったから	10. 定年・雇用契約の満了のため
4. 収入が少なかったため	11. 病気・高齢のため
5. 自分の将来の見込みが立たなかったため	12. 結婚・出産・妊娠・育児のため
6. 自分に向かない仕事だったため	13. 家族の介護・看護のため
7. 職場の人間関係に問題があったため	14. その他（具体的に）

すべての方にお伺いします。

問8 介護の仕事始めてみて、今の介護職に対するイメージとしてあてはまるものを選択してください。（あてはまるものすべてに〇）

1. 社会的に意義がある	7. 体力的・精神的にきつい
2. やりがいがある	8. 感染症等の不安がある
3. 自分自身が成長できる	9. 給与水準が低い
4. 資格をいかすことができる	10. 将来に不安がある
5. 不況であっても安定している	11. その他（ ）
6. 介護ロボットの活用や技術の進展で年齢を重ねても働き続けられる	

Q6. 昨年1年間の収入

調査数	昨年は働いていなかった	103万円以下	103万円超～130万円未満	130万円以上～150万円未満	150万円以上～200万円未満	200万円以上～300万円未満	300万円以上～400万円未満	400万円以上～500万円未満
416	8	57	33	12	27	98	95	55
100.0	1.9	13.7	7.9	2.9	6.5	23.6	22.8	13.2
							500万円以上	無回答
							17	14
							4.1	3.4

Q7. 転職意向

調査数	考えている	考えていない	わからない	無回答
416	47	230	128	11
100.0	11.3	55.3	30.8	2.6

Q7-1. 転職意向分野

調査数	福祉系（介護関係）	福祉系（介護以外）	福祉系以外	未定	無回答
47	18	5	10	14	0
100.0	38.3	10.6	21.3	29.8	0.0

Q7-2. 転職することを考えている理由

調査数	人員整理・勧奨退職・法人解散・事業不振等のため	他に良い仕事・職場があったため	新しい資格を取ったから	収入が少なかったため	自分の将来の見込みが立たなかったため	自分に向かない仕事だったため	職場の人間関係に問題があったため	法人や事業所の理念や運営のあり方に不満があったため
47	2	12	3	23	11	5	7	11
100.0	4.3	25.5	6.4	48.9	23.4	10.6	14.9	23.4
		家族の転職・転勤、又は事業所の移転のため	定年・雇用契約の満了のため	病気・高齢のため	結婚・出産・妊娠・育児のため	家族の介護・看護のため	その他	無回答
		0	1	4	0	5	10	0
		0.0	2.1	8.5	0.0	10.6	21.3	0.0

Q8. 介護職に対するイメージ

調査数	社会的に意義がある	やりがいがある	自分自身が成長できる	資格をいかすことができる	不況であっても安定している	介護ロボットの活用や技術の進展で年齢を重ねても働き続けられる	体力的・精神的にきつい	感染症等の不安がある	
416	188	234	162	179	99	19	163	116	
100.0	45.2	56.3	38.9	43.0	23.8	4.6	39.2	27.9	
						給与水準が低い	将来に不安がある	その他	無回答
						233	85	6	9
						56.0	20.4	1.4	2.2

問9 あなたが現在持っている資格は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 介護職員初任者研修課程修了	8. 介護支援専門員
2. 介護福祉士実務者研修課程修了	9. 准看護師
3. 介護福祉士	10. 看護師
4. 認定介護福祉士	11. 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士
5. 喀痰吸引等研修修了	12. 保健師
6. 生活援助従事者研修	13. 栄養士・管理栄養士
7. 社会福祉士	14. その他
	15. 特に資格はない

問10 あなたは、将来の自分自身のキャリアについてどのように考えていますか。あてはまるキャリアイメージをお答えください。

	あてはまらない	あまりあてはまらない	ある程度あてはまる	あてはまる
① 介護実践者として知識・技術を高めたい	1	2	3	4
② 認知症ケアや看取りケアなどの特定のスキルを極めたい	1	2	3	4
③ 新人職員や実習生の指導をしたい	1	2	3	4
④ 介護の仕事を通じて培った知識・技術を、職場内や地域の介護力向上に役立てたい	1	2	3	4
⑤ 施設・事業所の介護職のまとめ役を担いたい	1	2	3	4
⑥ 施設・事業所全体のマネジメントをしたい	1	2	3	4

問11 あなたは、1日平均何件くらい利用者を訪問していますか。(○はひとつ)

1. 1～2件	2. 3～4件	3. 5件以上
---------	---------	---------

問12 1回当たりの訪問時間はどのくらいの長さの場合が多いですか。(○はひとつ)

1. 30分未満	3. 1時間以上1時間30分未満	5. 2時間以上3時間未満
2. 30分以上1時間未満	4. 1時間30分以上2時間未満	6. 3時間以上

問13 あなたが従事する「身体介護」と「生活援助(家事援助)」の割合は大体どのくらいですか。(○はひとつ)

1. 身体介護のみ	3. 概ね半々	5. 生活援助のみ
2. 身体介護の方が多	4. 生活援助の方が多	

Q9.所持資格

調査数	介護職員初任者研修課程修了	介護福祉士実務者研修課程修了	介護福祉士	認定介護福祉士	喀痰吸引等研修修了	生活援助従事者研修	社会福祉士	介護支援専門員
416 100.0	164 39.4	106 25.5	268 64.4	1 0.2	19 4.6	0 0.0	9 2.2	33 7.9
	准看護師	看護師	理学療法士・作業療法士・言語聴覚士	保健師	栄養士・管理栄養士	その他	特に資格はない	無回答
	0 0.0	3 0.7	1 0.2	0 0.0	7 1.7	26 6.3	1 0.2	4 1.0

Q10.将来の自分自身のキャリアについて 1.介護実践者として知識・技術を高めたい

調査数	あてはまらない	あまりあてはまらない	ある程度あてはまる	あてはまる	無回答
416 100.0	18 4.3	39 9.4	178 42.8	166 39.9	15 3.6

Q10.将来の自分自身のキャリアについて 2.認知症ケアや看取りケアなどの特定のスキルを極めたい

調査数	あてはまらない	あまりあてはまらない	ある程度あてはまる	あてはまる	無回答
416 100.0	36 8.7	79 19.0	166 39.9	101 24.3	34 8.2

Q10.将来の自分自身のキャリアについて 3.新人職員や実習生の指導をしたい

調査数	あてはまらない	あまりあてはまらない	ある程度あてはまる	あてはまる	無回答
416 100.0	125 30.0	141 33.9	78 18.8	42 10.1	30 7.2

Q10.将来の自分自身のキャリアについて 4.介護の仕事を通じて培った知識・技術を、職場内や地域の介護力向上に役立てたい

調査数	あてはまらない	あまりあてはまらない	ある程度あてはまる	あてはまる	無回答
416 100.0	30 7.2	74 17.8	191 45.9	80 19.2	41 9.9

Q10.将来の自分自身のキャリアについて 5.施設・事業所の介護職のまとめ役を担いたい

調査数	あてはまらない	あまりあてはまらない	ある程度あてはまる	あてはまる	無回答
416 100.0	168 40.4	114 27.4	77 18.5	33 7.9	24 5.8

Q10.将来の自分自身のキャリアについて 6.施設・事業所全体のマネジメントをしたい

調査数	あてはまらない	あまりあてはまらない	ある程度あてはまる	あてはまる	無回答
416 100.0	194 46.6	109 26.2	53 12.7	31 7.5	29 7.0

Q11.訪問件数

調査数	1～2件	3～4件	5件以上	無回答
416 100.0	89 21.4	179 43.0	140 33.7	8 1.9

Q12.1回当たりの訪問時間

調査数	30分未満	30分以上1時間未満	1時間以上1時間30分未満	1時間30分以上2時間未満	2時間以上3時間未満	3時間以上	無回答
416 100.0	48 11.5	217 52.2	123 29.6	18 4.3	3 0.7	0 0.0	7 1.7

Q13.「身体介護」と「生活援助(家事援助)」の割合

調査数	身体介護のみ	身体介護の方が多	概ね半々	生活援助の方が多	生活援助のみ	無回答
416 100.0	39 9.4	121 29.1	146 35.1	87 20.9	11 2.6	12 2.9

現在の待遇についてお伺いします。

すべての方にお伺いします。

問 14 法人や事業所に待遇面で取り組んでほしいことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 労働時間（時間帯・総労働時間）の希望を聞いてほしい
2. 職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図ってほしい
3. 賃金、労働時間等の労働条件を改善してほしい
4. 非正規職員から正規職員への転換の機会を設けてほしい
5. 能力や仕事を評価し、配置や処遇に反映してほしい
6. 能力開発（社内研修実施、社外講習等の受講・支援等）を充実してほしい
7. 仕事内容の希望（持ち場の異動など）を聞いてほしい
8. 業務改善や効率化等による働きやすい職場作りに力を入れてほしい
9. 経営者・管理者と従業員が経営方針・ケア方針を共有する機会を設けてほしい
10. キャリアに応じた給与体系を整備してほしい
11. 悩み、不安、不満などの相談窓口を設けてほしい
12. ハラスメント等のトラブルに対して組織で対応してほしい
13. 健康対策や健康管理に力を入れてほしい
14. 福利厚生を充実させ、職場内の交流を深めてほしい
15. 職場環境を整えてほしい（休憩室、談話室、出社時に座れる席の確保等）
16. 新人の指導担当・アドバイザーを置いてほしい
17. 職員の仕事内容と必要な能力等を明示してほしい
18. 管理者・リーダー層の部下育成や動機付け能力向上に向けた教育研修に力を入れてほしい
19. 子育て支援を行ってほしい（子ども預り所を設ける、保育費用支援等）
20. その他（具体的に)
21. 特にない

Q14.法人や事業所に待遇面で取り組んでほしいこと

調査数	労働時間(時間帯・総労働時間)の希望を聞いてほしい	職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図ってほしい	賃金、労働時間等の労働条件を改善してほしい	非正規職員から正規職員への転換の機会を設けてほしい	能力や仕事を評価し、配置や処遇に反映してほしい	能力開発(社内研修実施、社外講習等の受講・支援等)を充実してほしい	仕事内容の希望(持ち場の異動など)を聞いてほしい	業務改善や効率化等による働きやすい職場作りに力を入れてほしい
416 100.0	47 11.3	71 17.1	180 43.3	7 1.7	96 23.1	55 13.2	23 5.5	80 19.2
	経営者・管理者と従業員が経営方針・ケア方針を共有する機会を設けてほしい	キャリアに応じた給与体系を整備してほしい	悩み、不安、不満などの相談窓口を設けてほしい	ハラスメント等のトラブルに対して組織で対応してほしい	健康対策や健康管理に力を入れてほしい	福利厚生を充実させ、職場内の交流を深めてほしい	職場環境を整えてほしい(休憩室、談話室、出社時に座れる席の確保等)	新人の指導担当・アドバイザーを置いてほしい
	35 8.4	71 17.1	23 5.5	21 5.0	50 12.0	62 14.9	34 8.2	33 7.9
	職員の仕事内容と必要な能力等を明示してほしい		管理者・リーダー層の部下育成や動機付け能力向上に向けた教育研修に力を入れてほしい	子育て支援を行ってほしい(子ども預り所を設ける、保育費用支援等)	その他	特にない	無回答	
	24 5.8		41 9.9	21 5.0	5 1.2	102 24.5	13 3.1	

研修等についてお伺いします。

問 15 あなたは、現在の職場で過去1年間に外部研修に参加したことはありますか。

①『事業所指定の研修』への参加回数（〇はひとつ）

1. 一度もない	2. 1回	3. 2～3回	4. 4～5回	5. 6回以上
----------	-------	---------	---------	---------

②『自主参加の研修』への参加回数（〇はひとつ）

1. 一度もない	2. 1回	3. 2～3回	4. 4～5回	5. 6回以上
----------	-------	---------	---------	---------

問 15 のいずれかで“研修参加の経験がある”に回答した方にお伺いします。

問 15-1 研修参加の間の代替職員の確保はなされていますか。（〇はひとつ）

1. 確保されている	2. おおむね確保されている	3. 確保されていないことが多い
------------	----------------	------------------

すべての方にお伺いします。

問 16 過去2年間に、参加したいと思っていた研修に「参加できなかった」ことはありますか。

（〇はひとつ）

1. 参加できなかったことがあった → 問 16-1 へ	2. 特にない
------------------------------	---------

問 16 で「1. 参加できなかったことがあった」と回答した方にお伺いします。

問 16-1 参加できなかった理由としてあてはまるものを教えてください。（あてはまるものすべてに〇）

1. 勤務時間と重複してしまった	5. 職場に研修への参加を言い出しづらかった
2. 代替職員が確保できなかった	6. 参加枠が限られていて、職場での自分の優先順位が低かった
3. 当日の急な欠員等であきらめた	7. オンライン参加などの負担の少ない参加方法が用意されていない
4. 自分の都合（休み・病気など）であきらめた	8. 研修概要を把握するのが遅かった（職場内の調整や参加申込が過ぎていた）
	9. その他（ ）

災害時の対応についてお伺いします。

すべての方にお伺いします。

問 17 あなたは、現在の職場で作成されているBCP（事業継続計画）の内容を知っていますか。（〇は1つ）

1. BCPの内容を知っている	2. BCPの内容を知らない	3. BCPが何のことかわからない
-----------------	----------------	-------------------

問 18 現在の職場が地震などの災害で被害を受けた際に、職場の中でのご自分の役割が明確になっていますか。（〇は1つ）

1. 明確になっている	2. 明確になっていない
-------------	--------------

ご協力ありがとうございました。

Q15.研修等について ①『事業所指定の研修』への参加回数

調査数	一度もない	1回	2～3回	4～5回	6回以上	無回答
416	148	94	76	21	63	14
100.0	35.6	22.6	18.3	5.0	15.1	3.4

Q15.研修等について ②『自主参加の研修』への参加回数

調査数	一度もない	1回	2～3回	4～5回	6回以上	無回答
416	212	86	56	9	27	26
100.0	51.0	20.7	13.5	2.2	6.5	6.3

Q15-1.研修参加の間の代替職員の確保状況

調査数	確保されている	おおむね確保されている	確保されていないことが多い	無回答
283	114	119	46	4
100.0	40.3	42.0	16.3	1.4

Q16.過去2年間に、参加したいと思っていた研修に「参加できなかった」こと

調査数	参加できなかったことがあった	特にない	無回答
416	66	331	19
100.0	15.9	79.6	4.6

Q16-1.参加できなかった理由

調査数	勤務時間と重複してしまった	代替職員が確保できなかった	当日の急な欠員等であきらめた	自分の都合（休み・病気など）であきらめた	職場に研修への参加を言い出しづらかった	参加枠が限られていて、職場での自分の優先順位が低かった	オンライン参加などの負担の少ない参加方法が用意されていない	研修概要を把握するのが遅かった（職場内の調整や参加申込が過ぎていた）	その他	無回答
66	44	33	8	12	8	3	8	5		
100.0	66.7	50.0	12.1	18.2	12.1	4.5	12.1	7.6		
									7	0
									10.6	0.0

Q17.現在の職場で作成されているBCP（事業継続計画）の内容認知

調査数	BCPの内容を知っている	BCPの内容を知らない	BCPが何のことかわからない	無回答
416	313	67	27	9
100.0	75.2	16.1	6.5	2.2

Q18.現在の職場が地震などの災害で被害を受けた際に、職場の中でのご自分の役割

調査数	明確になっている	明確になっていない	無回答
416	286	116	14
100.0	68.8	27.9	3.4

問2で「2. 非正（規）社員」と回答した方にお伺いします。

問2-1 あなたの勤務形態はどのように定められていますか。

右欄の説明をご参照いただき、あてはまるものをお選びください。（○はひとつ）

1. 常勤	施設の定める正社員の所定労働時間と同じ時間を勤務する
2. 非常勤（定型的）	1日の所定労働時間又は1週間の労働日数が常勤労働者より少ないが、労働日及び労働日の労働時間が定型的・固定的に決まっている
3. 非常勤（非定型的）	月、週、又は日の労働時間が、一定期間毎に作成される勤務表により、非定型的に特定される
4. その他	急な仕事のために臨時に雇用されて勤務している

すべての方にお伺いします。

問3 あなたの現在の勤め先（施設の所在地）はどちらですか。（○はひとつ）

1. 青葉区	5. 神奈川区	9. 栄区	13. 戸塚区	17. 緑区
2. 旭区	6. 金沢区	10. 瀬谷区	14. 中区	18. 南区
3. 泉区	7. 港南区	11. 都筑区	15. 西区	
4. 磯子区	8. 港北区	12. 鶴見区	16. 保土ヶ谷区	

問4 介護サービスの仕事に携わってからの通算の経験年数は、どのくらいですか。（○はひとつ）

1. 1年未満	3. 2～3年未満	5. 5～7年未満	7. 10～20年未満
2. 1～2年未満	4. 3～5年未満	6. 7～10年未満	8. 20年以上

問5 あなたは、現在の職場（施設）の労働条件や労働環境に対して、悩みや不満を感じていますか。（○はひとつ）

1. 感じている → <input type="checkbox"/> 問5-1へ	2. 感じていない <input type="checkbox"/>
---	------------------------------------

問5で「1. 感じている」と回答した方にお伺いします。

問5-1 労働条件や労働環境のどこに悩みや不満を感じていますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 職場での人間関係がよくない	12. 労働時間が長い
2. 人手が足りない	13. 福祉機器の不足、機器操作の不慣れ、施設の構造に不安がある
3. 仕事内容のわりに賃金が低い	14. 雇用が不安定である
4. 有給休暇が取りにくい	15. 不払い残業がある・多い
5. 身体的負担が大きい（腰痛や体力に不安がある）	16. 職務として行う医療的な行為に不安がある
6. 業務に対する社会的評価が低い	17. 仕事上の怪我などへの補償がない
7. 精神的にきつい	18. 正規職員になれない
8. 休憩が取りにくい	19. トラブル時に組織として対応してくれるかどうか不安がある
9. 夜間や深夜時間帯に何か起こるのではないかと不安がある	20. その他（具体的に
10. 健康面（感染症や怪我）の不安がある	
11. 労働時間が不規則である	

Q2-1. 勤務形態

調査数	常勤	非常勤(定型的)	非常勤(非定型的)	その他	無回答
468	66	255	146	0	1
100.0	14.1	54.5	31.2	0.0	0.2

Q3. 勤務地

調査数	青葉区	旭区	泉区	磯子区	神奈川区	金沢区	港南区	港北区
1134	78	80	65	42	88	30	82	68
100.0	6.9	7.1	5.7	3.7	7.8	2.6	7.2	6.0
	栄区	瀬谷区	都筑区	鶴見区	戸塚区	中区	西区	保土ヶ谷区
	64	68	73	96	82	19	11	64
	5.6	6.0	6.4	8.5	7.2	1.7	1.0	5.6
						緑区	南区	無回答
						64	50	10
						5.6	4.4	0.9

Q4. 仕事に携わってからの通算の経験年数

調査数	1年未満	1～2年未満	2～3年未満	3～5年未満	5～7年未満	7～10年未満	10～20年未満	20年以上
1134	32	51	59	131	72	132	467	180
100.0	2.8	4.5	5.2	11.6	6.3	11.6	41.2	15.9
								無回答
								10
								0.9

Q5. 労働条件や労働環境に対するの悩みや不満

調査数	感じている	感じていない	無回答
1134	666	453	15
100.0	58.7	39.9	1.3

Q5-1. 労働条件や労働環境の不満点

調査数	職場での人間関係がよくない	人手が足りない	仕事内容のわりに賃金が低い	有給休暇が取りにくい	身体的負担が大きい(腰痛や体力に不安がある)	業務に対する社会的評価が低い	精神的にきつい	休憩が取りにくい
666	119	498	369	124	265	216	184	105
100.0	17.9	74.8	55.4	18.6	39.8	32.4	27.6	15.8
	夜間や深夜時間帯に何か起こるのではないかと不安がある	健康面(感染症や怪我)の不安がある	労働時間が不規則である	労働時間が長い	福祉機器の不足、機器操作の不慣れ、施設の構造に不安がある	雇用が不安定である	不払い残業がある・多い	職務として行う医療的な行為に不安がある
	157	151	105	64	108	40	23	32
	23.6	22.7	15.8	9.6	16.2	6.0	3.5	4.8
	仕事上の怪我などへの補償がない	正規職員になれない	トラブル時に組織として対応してくれるかどうか不安がある	その他	無回答			
	26	7	116	49	2			
	3.9	1.1	17.4	7.4	0.3			

すべての方にお伺いします。

問6 昨年1年間（令和6年1月1日～12月31日）の収入をお伺いします。年間収入（賞与及び残業代金等を全て含みます）について、あてはまるものをお選びください。（〇はひとつ）

1. 昨年は働いていなかった	5. 150万円以上～200万円未満
2. 103万円以下	6. 200万円以上～300万円未満
3. 103万円超～130万円未満	7. 300万円以上～400万円未満
4. 130万円以上～150万円未満	8. 400万円以上～500万円未満
	9. 500万円以上

問7 あなたは、今後、他の職場へ転職することを考えていますか。（〇はひとつ）

1. 考えている → 問7-1へ	2. 考えていない	3. わからない
------------------	-----------	----------

問7で「1. 考えている」と回答した方にお伺いします。

問7-1 今後どのような分野への転職を考えていますか。（〇はひとつ）

1. 福祉系（介護関係）	2. 福祉系（介護以外）	3. 福祉系以外	4. 未定
--------------	--------------	----------	-------

問7で「1. 考えている」と回答した方にお伺いします。

問7-2 他の職場へ転職することを考えている理由は何ですか。（あてはまるものすべてに〇）

1. 人員整理・勧奨退職・法人解散・事業不振等のため	8. 法人や施設・施設の理念や運営のあり方に不満があったため
2. 他に良い仕事・職場があったため	9. 家族の転職・転勤、又は施設の移転のため
3. 新しい資格を取ったから	10. 定年・雇用契約の満了のため
4. 収入が少なかったため	11. 病気・高齢のため
5. 自分の将来の見込みが立たなかったため	12. 結婚・出産・妊娠・育児のため
6. 自分に向かない仕事だったため	13. 家族の介護・看護のため
7. 職場の人間関係に問題があったため	14. その他（具体的に）

すべての方にお伺いします。

問8 介護の仕事始めてみて、今の介護職に対するイメージとしてあてはまるものを選択してください。（あてはまるものすべてに〇）

1. 社会的に意義がある	7. 体力的・精神的にきつい
2. やりがいがある	8. 感染症等の不安がある
3. 自分自身が成長できる	9. 給与水準が低い
4. 資格をいかすことができる	10. 将来に不安がある
5. 不況であっても安定している	11. その他（ ）
6. 介護ロボットの活用や技術の進展で年齢を重ねても働き続けられる	

Q6. 昨年1年間の収入

調査数	昨年は働いていなかった	103万円以下	103万円超～130万円未満	130万円以上～150万円未満	150万円以上～200万円未満	200万円以上～300万円未満	300万円以上～400万円未満	400万円以上～500万円未満
1134	22	65	74	54	90	214	252	236
100.0	1.9	5.7	6.5	4.8	7.9	18.9	22.2	20.8
							500万円以上	無回答
							104	23
							9.2	2.0

Q7. 転職意向

調査数	考えている	考えていない	わからない	無回答
1134	195	519	403	17
100.0	17.2	45.8	35.5	1.5

Q7-1. 転職意向分野

調査数	福祉系（介護関係）	福祉系（介護以外）	福祉系以外	未定	無回答
195	99	21	38	36	1
100.0	50.8	10.8	19.5	18.5	0.5

Q7-2. 転職することを考えている理由

調査数	人員整理・勧奨退職・法人解散・事業不振等のため	他に良い仕事・職場があったため	新しい資格を取ったから	収入が少なかったため	自分の将来の見込みが立たなかったため	自分に向かない仕事だったため	職場の人間関係に問題があったため	法人や施設・施設の理念や運営のあり方に不満があったため
195	11	24	12	94	50	15	34	58
100.0	5.6	12.3	6.2	48.2	25.6	7.7	17.4	29.7
	家族の転職・転勤、又は施設の移転のため	定年・雇用契約の満了のため	病気・高齢のため	結婚・出産・妊娠・育児のため	家族の介護・看護のため	その他	無回答	
	0	5	8	6	11	39	2	
	0.0	2.6	4.1	3.1	5.6	20.0	1.0	

Q8. 介護職に対するイメージ

調査数	社会的に意義がある	やりがいがある	自分自身が成長できる	資格をいかすことができる	不況であっても安定している	介護ロボットの活用や技術の進展で年齢を重ねても働き続けられる	体力的・精神的にきつい	感染症等の不安がある
1134	491	573	398	407	305	80	495	341
100.0	43.3	50.5	35.1	35.9	26.9	7.1	43.7	30.1
	給与水準が低い	将来に不安がある	その他	無回答				
	677	253	30	14				
	59.7	22.3	2.6	1.2				

問9 あなたが現在持っている資格は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 介護職員初任者研修課程修了	8. 介護支援専門員
2. 介護福祉士実務者研修課程修了	9. 准看護師
3. 介護福祉士	10. 看護師
4. 認定介護福祉士	11. 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士
5. 喀痰吸引等研修修了	12. 保健師
6. 生活援助従事者研修	13. 栄養士・管理栄養士
7. 社会福祉士	14. その他
	15. 特に資格はない

問10 あなたは、将来の自分自身のキャリアについてどのように考えていますか。あてはまるキャリアイメージをお答えください。

	あてはまらない	あまりあてはまらない	ある程度あてはまる	あてはまる
① 介護実践者として知識・技術を高めたい	1	2	3	4
② 認知症ケアや看取りケアなどの特定のスキルを極めたい	1	2	3	4
③ 新人職員や実習生の指導をしたい	1	2	3	4
④ 介護の仕事を通じて培った知識・技術を、職場内や地域の介護力向上に役立てたい	1	2	3	4
⑤ 施設・事業所の介護職のまとめ役を担いたい	1	2	3	4
⑥ 施設・事業所全体のマネジメントをしたい	1	2	3	4

Q9. 所持資格

調査数	介護職員初任者研修課程修了	介護福祉士実務者研修課程修了	介護福祉士	認定介護福祉士	喀痰吸引等研修修了	生活援助従事者研修	社会福祉士	介護支援専門員
1134 100.0	391 34.5	257 22.7	750 66.1	4 0.4	119 10.5	1 0.1	19 1.7	82 7.2
	准看護師	看護師	理学療法士・作業療法士・言語聴覚士	保健師	栄養士・管理栄養士	その他	特に資格はない	無回答
	2 0.2	10 0.9	4 0.4	0 0.0	7 0.6	118 10.4	30 2.6	14 1.2

Q10. 将来の自分自身のキャリアについて 1. 介護実践者として知識・技術を高めたい

調査数	あてはまらない	あまりあてはまらない	ある程度あてはまる	あてはまる	無回答
1134 100.0	51 4.5	94 8.3	522 46.0	425 37.5	42 3.7

Q10. 将来の自分自身のキャリアについて 2. 認知症ケアや看取りケアなどの特定のスキルを極めたい

調査数	あてはまらない	あまりあてはまらない	ある程度あてはまる	あてはまる	無回答
1134 100.0	66 5.8	172 15.2	478 42.2	303 26.7	115 10.1

Q10. 将来の自分自身のキャリアについて 3. 新人職員や実習生の指導をしたい

調査数	あてはまらない	あまりあてはまらない	ある程度あてはまる	あてはまる	無回答
1134 100.0	286 25.2	333 29.4	292 25.7	139 12.3	84 7.4

Q10. 将来の自分自身のキャリアについて 4. 介護の仕事を通じて培った知識・技術を、職場内や地域の介護力向上に役立てたい

調査数	あてはまらない	あまりあてはまらない	ある程度あてはまる	あてはまる	無回答
1134 100.0	95 8.4	209 18.4	475 41.9	256 22.6	99 8.7

Q10. 将来の自分自身のキャリアについて 5. 施設・事業所の介護職のまとめ役を担いたい

調査数	あてはまらない	あまりあてはまらない	ある程度あてはまる	あてはまる	無回答
1134 100.0	413 36.4	336 29.6	188 16.6	121 10.7	76 6.7

Q10. 将来の自分自身のキャリアについて 6. 施設・事業所全体のマネジメントをしたい

調査数	あてはまらない	あまりあてはまらない	ある程度あてはまる	あてはまる	無回答
1134 100.0	494 43.6	297 26.2	145 12.8	103 9.1	95 8.4

現在の待遇についてお伺いします。

問 11 法人や施設に待遇面で取り組んでほしいことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 労働時間(時間帯・総労働時間)の希望を聞いてほしい
2. 職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図ってほしい
3. 賃金、労働時間等の労働条件を改善してほしい
4. 非正規職員から正規職員への転換の機会を設けてほしい
5. 能力や仕事を評価し、配置や処遇に反映してほしい
6. 能力開発(社内研修実施、社外講習等の受講・支援等)を充実してほしい
7. 仕事内容の希望(持ち場の異動など)を聞いてほしい
8. 業務改善や効率化等による働きやすい職場作りに力を入れてほしい
9. 経営者・管理者と従業員が経営方針・ケア方針を共有する機会を設けてほしい
10. キャリアに応じた給与体系を整備してほしい
11. 悩み、不安、不満などの相談窓口を設けてほしい
12. ハラスメント等のトラブルに対して組織で対応してほしい
13. 健康対策や健康管理に力を入れてほしい
14. 福利厚生を充実させ、職場内の交流を深めてほしい
15. 職場環境を整えてほしい(休憩室、談話室、出社時に座れる席の確保等)
16. 新人の指導担当・アドバイザーを置いてほしい
17. 職員の仕事内容と必要な能力等を明示してほしい
18. 管理者・リーダー層の部下育成や動機付け能力向上に向けた教育研修に力を入れてほしい
19. 子育て支援を行ってほしい(子ども預り所を設ける、保育費用支援等)
20. その他 (具体的に)
21. 特にない

Q11.法人や施設に待遇面で取り組んでほしいこと

調査数	労働時間(時間帯・総労働時間)の希望を聞いてほしい	職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図ってほしい	賃金、労働時間等の労働条件を改善してほしい	非正規職員から正規職員への転換の機会を設けてほしい	能力や仕事を評価し、配置や処遇に反映してほしい	能力開発(社内研修実施、社外講習等の受講・支援等)を充実してほしい	仕事内容の希望(持ち場の異動など)を聞いてほしい	業務改善や効率化等による働きやすい職場作りに力を入れてほしい
1134 100.0	140 12.3	265 23.4	587 51.8	31 2.7	331 29.2	163 14.4	92 8.1	367 32.4
	経営者・管理者と従業員が経営方針・ケア方針を共有する機会を設けてほしい	キャリアに応じた給与体系を整備してほしい	悩み、不安、不満などの相談窓口を設けてほしい	ハラスメント等のトラブルに対して組織で対応してほしい	健康対策や健康管理に力を入れてほしい	福利厚生を充実させ、職場内の交流を深めてほしい	職場環境を整えてほしい(休憩室、談話室、出社時に座れる席の確保等)	新人の指導担当・アドバイザーを置いてほしい
	115 10.1	268 23.6	128 11.3	119 10.5	126 11.1	206 18.2	279 24.6	143 12.6
	職員の仕事内容と必要な能力等を明示してほしい			管理者・リーダー層の部下育成や動機付け能力向上に向けた教育研修に力を入れてほしい	子育て支援を行ってほしい(子ども預り所を設ける、保育費用支援等)	その他	特にない	無回答
	111 9.8			175 15.4	106 9.3	32 2.8	122 10.8	20 1.8

研修等についてお伺いします。

問 12 あなたは、現在の職場で過去1年間に外部研修に参加したことはありますか。

①『施設指定の研修』への参加回数（〇はひとつ）

1. 一度もない	2. 1回	3. 2～3回	4. 4～5回	5. 6回以上
----------	-------	---------	---------	---------

②『自主参加の研修』への参加回数（〇はひとつ）

1. 一度もない	2. 1回	3. 2～3回	4. 4～5回	5. 6回以上
----------	-------	---------	---------	---------

問 12 のいずれかで“研修参加の経験がある”に回答した方にお伺いします。

問 12-1 研修参加の間の代替職員の確保はなされていますか。（〇はひとつ）

1. 確保されている	2. おおむね確保されている	3. 確保されていないことが多い
------------	----------------	------------------

すべての方にお伺いします。

問 13 過去2年間に、参加したいと思っていた研修に「参加できなかった」ことはありますか。

（〇はひとつ）

1. 参加できなかったことがあった	2. 特にない
-------------------	---------

問 13 で「1. 参加できなかったことがあった」と回答した方にお伺いします。

問 13-1 参加できなかった理由としてあてはまるものを教えてください。（あてはまるものすべてに〇）

1. 勤務時間と重複してしまった	5. 職場に研修への参加を言い出しづらかった
2. 代替職員が確保できなかった	6. 参加枠が限られていて、職場での自分の優先順位が低かった
3. 当日の急な欠員等であきらめた	7. オンライン参加などの負担の少ない参加方法が用意されていない
4. 自分の都合（休み・病気など）であきらめた	8. 研修概要を把握するのが遅かった（職場内の調整や参加申込が過ぎていた）
	9. その他（ ）

災害時の対応についてお伺いします。

すべての方にお伺いします。

問 14 あなたは、現在の職場で作成されているBCP（事業継続計画）の内容を知っていますか。（〇は1つ）

1. BCPの内容を知っている	2. BCPの内容を知らない	3. BCPが何のことかわからない
-----------------	----------------	-------------------

問 15 現在の職場が地震などの災害で被害を受けた際に、職場の中でのご自分の役割が明確になっていますか。（〇は1つ）

1. 明確になっている	2. 明確になっていない
-------------	--------------

ご協力ありがとうございました

Q12.研修について ①『施設指定の研修』への参加回数

調査数	一度もない	1回	2～3回	4～5回	6回以上	無回答
1134	504	205	217	56	120	32
100.0	44.4	18.1	19.1	4.9	10.6	2.8

Q12.研修について ②『自主参加の研修』への参加回数

調査数	一度もない	1回	2～3回	4～5回	6回以上	無回答
1134	728	143	142	24	43	54
100.0	64.2	12.6	12.5	2.1	3.8	4.8

Q12-1.研修参加の間の代替職員の確保状況

調査数	確保されている	おおむね確保されている	確保されていないことが多い	無回答
663	210	322	118	13
100.0	31.7	48.6	17.8	2.0

Q13.過去2年間に、参加したいと思っていた研修に「参加できなかった」こと

調査数	参加できなかったことがあった	特にない	無回答
1134	136	964	34
100.0	12.0	85.0	3.0

Q13-1.参加できなかった理由

調査数	勤務時間と重複してしまった	代替職員が確保できなかった	当日の急な欠員等であきらめた	自分の都合（休み・病気など）であきらめた	職場に研修への参加を言い出しづらかった	参加枠が限られていて、職場での自分の優先順位が低かった	オンライン参加などの負担の少ない参加方法が用意されていない	研修概要を把握するのが遅かった（職場内の調整や参加申込が過ぎていた）	その他	無回答
136	77	38	8	32	16	6	7	12		
100.0	56.6	27.9	5.9	23.5	11.8	4.4	5.1	8.8		
									9	2
									6.6	1.5

Q14.現在の職場で作成されているBCP（事業継続計画）の内容認知

調査数	BCPの内容を知っている	BCPの内容を知らない	BCPが何のことかわからない	無回答
1134	706	277	116	35
100.0	62.3	24.4	10.2	3.1

Q15.現在の職場が地震などの災害で被害を受けた際に、職場の中でのご自分の役割

調査数	明確になっている	明確になっていない	無回答
1134	649	455	30
100.0	57.2	40.1	2.6

施設介護職員調査(海外から来日された介護職員向け)

アンケートご協力のお願い

横浜市では、3年に1度、施設介護職員の皆様の御意見を聞く調査を実施しています。

12月8日(月)までにご回答ください。

なお、個人が特定されることはありません。

あなたのことについて、教えてください。

問1 あなたの性別・年齢を教えてください。

【性別】(〇はひとつ) ※選択することに違和感がある場合は回答不要です。

1. 男性	2. 女性
-------	-------

【年齢】あなたの年齢を教えてください。(〇はひとつ)

1. 20歳未満	4. 30～34歳	7. 45～49歳	10. 60～64歳
2. 20～24歳	5. 35～39歳	8. 50～54歳	11. 65～69歳
3. 25～29歳	6. 40～44歳	9. 55～59歳	12. 70歳以上

問2 あなたは正社員(正規職員)ですか。

(〇はひとつ)

1. 正社員(正規職員)
2. わからない
3. 非正(規)社員(パート、アルバイト、派遣職員、非常勤職員、嘱託職員、契約社員等)

問2で「3. 非正(規)社員」と答えた方に伺います

問2-1 あなたは常勤職員ですか。(〇はひとつ)

1. 常勤
2. 非常勤
3. わからない

Q1-1. 性別

調査数	男性	女性	無回答
254	64	176	14
100.0	25.2	69.3	5.5

Q1-2. 年齢

調査数	20歳未満	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳
254	2	50	97	44	33	6	8	5
100.0	0.8	19.7	38.2	17.3	13.0	2.4	3.1	2.0
				55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	無回答
				0	2	0	0	7
				0.0	0.8	0.0	0.0	2.8

Q2. 正社員(正規職員)

調査数	正社員(正規職員)	わからない	非正(規)社員(パート、アルバイト、派遣職員、非常勤職員、嘱託職員、契約社員等)	無回答
254	187	9	55	3
100.0	73.6	3.5	21.7	1.2

Q2-1. 常勤職員

調査数	常勤	非常勤	わからない	無回答
254	23	27	4	200
100.0	9.1	10.6	1.6	78.7

すべての方に伺います

問3 あなたの勤め先（施設の場所）はどちらですか。（〇はひとつ）

1. 青葉区	5. 神奈川区	9. 栄区	13. 戸塚区	17. 緑区
2. 旭区	6. 金沢区	10. 瀬谷区	14. 中区	18. 南区
3. 泉区	7. 港南区	11. 都筑区	15. 西区	
4. 磯子区	8. 港北区	12. 鶴見区	16. 保土ヶ谷区	

問4 日本で介護の仕事をはじめてからどのくらいですか。（〇はひとつ）

1. 1年未満	3. 2～3年未満	5. 5～7年未満	7. 10～20年未満
2. 1～2年未満	4. 3～5年未満	6. 7～10年未満	8. 20年以上

問5 どの国・地域から来ましたか。（〇はひとつ）

1. インドネシア	5. ミャンマー	9. タイ
2. フィリピン	6. カンボジア	10. その他（ ）
3. ベトナム	7. ネパール	
4. 中国	8. モンゴル	

問6 あなたの在留資格を教えてください。（〇はひとつ）

1. 『特定活動』（経済連携協定（EPA））	4. 『特定技能（1号）』（介護）
2. 『介護』	5. 『留学』
3. 『技能実習』（介護）	6. その他（ ）

問7 あなたの職場に、仕事や生活の悩みを相談できる人がいますか。（〇はひとつ）

1. いる	2. いない
-------	--------

問8 職場以外に、仕事や生活の悩みを相談できる人がいますか。（〇はひとつ）

1. いる	2. いない
-------	--------

Q3. 勤務地

調査数	青葉区	旭区	泉区	磯子区	神奈川区	金沢区	港南区	港北区	
254	13	34	24	15	26	4	2	14	
100.0	5.1	13.4	9.4	5.9	10.2	1.6	0.8	5.5	
	栄区	瀬谷区	都筑区	鶴見区	戸塚区	中区	西区	保土ヶ谷区	
	8	10	18	20	13	4	2	13	
	3.1	3.9	7.1	7.9	5.1	1.6	0.8	5.1	
	緑区	南区	無回答						
	13	19	2						
	5.1	7.5	0.8						

Q4. 日本で介護の仕事をはじめてからの年数

調査数	1年未満	1～2年未満	2～3年未満	3～5年未満	5～7年未満	7～10年未満	10～20年未満	20年以上
254	44	49	34	70	23	15	17	0
100.0	17.3	19.3	13.4	27.6	9.1	5.9	6.7	0.0
								無回答
								2
								0.8

Q5. 出身国・地域

調査数	インドネシア	フィリピン	ベトナム	中国	ミャンマー	カンボジア	ネパール	モンゴル
254	93	23	58	17	51	0	6	0
100.0	36.6	9.1	22.8	6.7	20.1	0.0	2.4	0.0
	タイ	その他	無回答					
	0	5	1					
	0.0	2.0	0.4					

Q6. 在留資格

調査数	『特定活動』（経済連携協定（EPA））	『介護』	『技能実習』（介護）	『特定技能（1号）』（介護）	『留学』	その他	無回答
254	16	63	22	127	2	23	1
100.0	6.3	24.8	8.7	50.0	0.8	9.1	0.4

Q7. 職場に、仕事や生活の悩みを相談できる人

調査数	いる	いない	無回答
254	232	19	3
100.0	91.3	7.5	1.2

Q8. 職場以外に、仕事や生活の悩みを相談できる人

調査数	いる	いない	無回答
254	224	24	6
100.0	88.2	9.4	2.4

問9 仕事や生活の悩みについて、専門家に助けてほしいと思ったことはありますか。

(○はひとつ)

1. ある	2. ない
-------	-------

問10 現在の職場が地震などの災害で被害を受けた際に、職場の中でのご自分の役割が明確になっていますか。(○はひとつ)

1. 明確になっている	2. わからない
-------------	----------

問11 悩みや不安に感じるなどについて、自由に書いてください。

【何語でも良いです】【Any language is OK】【Bahasa apa pun baik-baik saja】

【Kahit anong wika ay maayos】【Ngôn ngữ nào cũng được】【任何语言都可以】

--

ご協力ありがとうございました。

Q9. 仕事や生活の悩みについて、専門家に助けてほしいと思ったこと

調査数	ある	ない	無回答
254	84	169	1
100.0	33.1	66.5	0.4

Q10. 現在の職場が地震などの災害で被害を受けた際に、職場の中でのご自分の役割が明確になっていますか

調査数	明確になっている	わからない	無回答
254	156	95	3
100.0	61.4	37.4	1.2